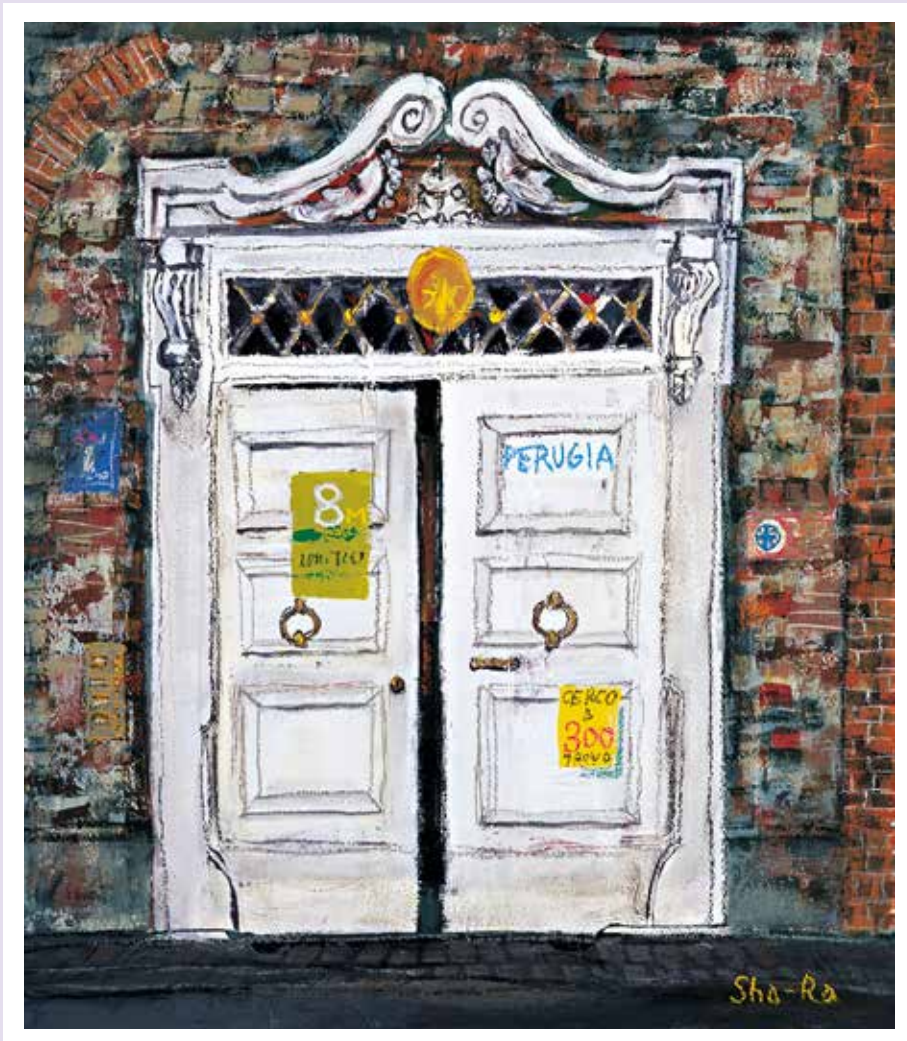


レポート課題集

1・2年次配当科目



2011

 東北福祉大学

2011

レポート課題集

1・2年次配当科目



東北福祉大学通信教育部

目次

レポート提出上の注意

I レポートとは	6
II レポートのワープロ・パソコン印字提出について	8
III 手書き用レポート用紙記入上の注意—一般の科目	10
IV パソコン印字用レポート用紙記入上の注意	14
V スクーリング受講者専用「別レポート」提出上の注意	17
VI 別レポート実施予定科目一覧	17

1・2年生以上配当科目

共通基礎科目

禅のこころ 050001	20
ボランティア論 050002	22
福祉と経済 050003	26
生命の科学 050005	29
法の基礎（日本国憲法を含む）050007	34
歴史を見る眼 050009	36
コミュニケーション英語 050011	39
スポーツ（バレーボール）050014	43
スポーツ（パングolf）050015	45
健康科学 050016	46
人間と教育 050017	50
観光と文化 050018	52
科学的な見方・考え方 050020	55
福祉と生活 050021	60
共通基礎科目 新規履修登録受付停止中の科目	62

社会福祉学科関連専門科目

福祉社会学 050101	64
~20 福祉法学 050102	69
福祉心理学 050103	71
社会福祉原論（職業指導を含む）050104	74
地域福祉論 050105	77
~20 医学一般 050106	80

福祉思想論 050109	84
公衆衛生学 050110	86
NPO 論 050113	89
~20 児童福祉論 050116	91
~20 高齢者福祉論 050117	94
障害者福祉論 050118	97
知的障害者福祉論 050119	102
~20 介護概論 050120	106
福祉機器論 050121	110
リハビリテーション論 050122	114
~20 福祉計画法 050123	117
~20 社会福祉援助技術論Ⅰ（ケースワーク）050126	119
~20 社会福祉援助技術論Ⅱ（社会福祉調査法）050127	122
~20 社会福祉援助技術演習Ⅰ 050130	125
精神保健福祉論Ⅰ 050133	132
精神保健福祉論Ⅱ 050134	135
精神保健 050136	137
精神保健福祉援助技術総論 050137	140
精神保健福祉援助技術各論 050138	143
福祉ボランティア活動 050142	146
福祉リスクマネジメント 050143	149
家族法 050144	151
基礎演習 050145	153
統計情報を見る眼 050146	154
レクリエーション概論 050280	157
社会福祉学科新カリキュラム関連科目	
新カリキュラム関連科目掲載ページ	160
福祉法学 050063	162
高齢者福祉論 050064	165
介護概論 050065	167
児童・家庭福祉論 050066	170
更生保護制度論 050069	171
社会福祉援助技術総論 050070	173
社会福祉援助技術論A 050071	176

社会福祉援助技術論 B 050072	183	産業心理学 050687	271
医学一般 050079	186	組織心理学 050688	272
社会福祉援助技術演習 A 050082	190	人間関係論 050689	273
生活行動と人体 050194	195	人的資源論 050690	275
障害の理解 050195	197		
福祉心理学科関連専門科目		資格科目	
福祉心理学 050103	200	障害児教育Ⅰ 050711	278
心理学概論 050501	201	障害児教育Ⅱ 050712	282
生涯発達心理学 050502	205	障害児の指導法 050715	285
臨床心理学 050503	210	教育原理 050301	287
環境心理学 050504	214	情報処理Ⅰ 050332	290
心理学実験Ⅰ 050505	219	教職論 050702	298
心理学実験Ⅱ 050506	224	高等学校教育課程の意義と編成 050703	300
心理学研究法Ⅰ 050508	228	福祉科の指導法 050704	303
心理学研究法Ⅱ 050509	238	特別活動の指導法 050705	307
人格心理学 050511	243	教育方法論(視聴覚教育等を含む) 050706	309
教育心理学 050513	250	生徒指導論(進路指導を含む) 050707	310
社会心理学 050514	254	カウンセリング(教職免許希望者向け) 050708	312
家族心理学 050515	258		
心理アセスメント 050519	260		
産業カウンセリングⅠ 050680	263	特講科目	
産業カウンセリングⅡ 050681	264	特講・社会福祉学10(スクールソーシャルワーク論) 050210	318
カウンセリングⅠ 050682	266	特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学) 050608	320
カウンセリングⅡ 050683	267	特講・福祉心理学11(受容と排斥の心理学) 050611	322
カウンセリング演習Ⅰ 050685	268		
カウンセリング演習Ⅱ 050686	269		

掲 載 順

1・2年生以上配当科目を「共通基礎科目」「社会福祉学科関連専門科目」「社会福祉学科新カリキュラム関連科目」「福祉心理学科関連専門科目」「資格科目」「特講科目」に区分しました。各区分のなかでは原則として科目コード順に掲載されています。

注

2008年度より「社会教育学科」の方のみが卒業要件単位になる科目(生涯学習概論・教育社会学など)は、掲載いたしておりません。『レポート課題集2007』をご覧ください。

科目別索引

★平成21年度以降入学者のみ履修可
◆平成20年度以前入学者のみ履修可

ア行	
050079	★医学一般……………186
050106	◆医学一般……………80
050113	NPO論……………89
050322	女の民俗…………… 2007年版

カ行	
050065	★介護概論……………167
050120	◆介護概論……………106
050193	★介護技術…………… 3・4
050903	介護実習…………… 3・4
050701	介護実習事前事後指導…………… 3・4
050741	★介護実習事前事後指導 23～…………… 3・4
050708	カウンセリング(教職免許希望者向け)……………312
050682	カウンセリングⅠ……………266
050683	カウンセリングⅡ……………267
050685	カウンセリング演習Ⅰ……………268
050686	カウンセリング演習Ⅱ……………269
050020	科学的な見方・考え方……………55
050512	学習心理学…………… 3・4
050010	教の世界…………… 2004年版
050515	家族心理学……………258
050144	家族法……………151
050504	環境心理学……………214
050018	観光と文化……………52
050012	基礎英作文…………… 2008年版
050145	基礎演習……………153
050301	教育原理……………287
050306	教育史…………… 2007年版
050904	教育実習…………… 3・4
050710	教育実習の事前事後指導…………… 3・4
050304	教育社会学…………… 2007年版
050513	教育心理学……………250
050706	教育方法論(視覚教育等を含む)……………309
050702	教職論……………298
050124	ケアマネジメント論…………… 3・4
050734	軽度発達障害教育総論…………… 3・4
050733	軽度発達障害者の心理…………… 3・4
050016	健康科学……………46
050308	現代社会と社会教育Ⅰ…………… 2007年版
050309	現代社会と社会教育Ⅱ…………… 2007年版
050006	現代社会を見る眼…………… 2008年版
050323	考古学概論…………… 2007年版
050110	公衆衛生学……………86
050069	更生保護制度論……………171
050108	公的扶助論…………… 3・4
050703	高等学校教育課程の意義と編成……………300
050064	★高齢者福祉論……………165
050117	◆高齢者福祉論……………94
050115	国際福祉論…………… 3・4
050019	子どもと社会…………… 2008年版
050011	コミュニケーション英語……………39
050736	コミュニケーション障害教育…………… 3・4
050326	古文書学…………… 2007年版

サ行	
050680	産業カウンセリングⅠ……………263
050681	産業カウンセリングⅡ……………264
050687	産業心理学……………271
050737	視覚障害教育総論…………… 3・4
050719	肢体不自由教育…………… 3・4
050723	肢体不自由者の心理・生理・病理…………… 3・4
050516	児童青年心理学…………… 3・4
050116	◆児童福祉論……………91
050066	★児童・家庭福祉論……………170
050735	自閉症教育総論…………… 3・4
050312-5	社会教育演習Ⅰ～Ⅳ…………… 2007年版
050305	社会教育行政論…………… 2007年版
050307	社会教育計画…………… 2007年版
050303	社会教育史…………… 2007年版
050514	社会心理学……………254
050073	社会調査の基礎…………… 3・4
050114	社会病理学…………… 3・4
050130	◆社会福祉援助技術演習Ⅰ……………125
050131	◆社会福祉援助技術演習Ⅱ…………… 3・4
050082	★社会福祉援助技術演習A……………190
050083	★社会福祉援助技術演習B…………… 3・4
050084	★社会福祉援助技術演習C…………… 3・4
050901	◆社会福祉援助技術現場実習…………… 3・4
050132	◆社会福祉援助技術現場実習指導…………… 3・4
050190	★社会福祉援助技術実習指導A…………… 3・4
050191	★社会福祉援助技術実習指導B…………… 3・4
050070	★社会福祉援助技術総論……………173
050126	◆社会福祉援助技術論Ⅰ(ケースワーク)……………119
050127	◆社会福祉援助技術論Ⅱ(社会福祉調査法)……………122
050128	◆社会福祉援助技術論Ⅲ…………… 3・4
050129	◆社会福祉援助技術論Ⅳ…………… 3・4
050071	★社会福祉援助技術論A……………176
050072	★社会福祉援助技術論B……………183
050907	★社会福祉援助技術実習…………… 3・4
050104	社会福祉原論(職業指導を含む)……………74
050111	社会福祉法制…………… 3・4
050112	社会保険論…………… 2008年版
050107	社会保障論…………… 3・4
050076	就労支援サービス論…………… 3・4
050302	生涯学習概論…………… 2007年版
050711	障害児教育Ⅰ……………278
050712	障害児教育Ⅱ……………282
050905	障害児教育実習…………… 3・4
050716	障害児教育実習の事前・事後指導…………… 3・4
050714	障害児の教育課程…………… 3・4
050715	障害児の指導法……………285
050518	障害児の心理…………… 3・4
050713	障害児の生理・病理…………… 3・4
050906	障害者教育実習…………… 3・4
050740	障害者教育実習の事前・事後指導…………… 3・4
050718	障害者教育総論…………… 3・4
050118	障害者福祉論……………97
050195	★障害の理解……………197
050502	生涯発達心理学……………205

050692	職場のメンタルヘルス	3・4
050013	情報英語	2007年版
050332	情報処理Ⅰ	290
050333	情報処理Ⅱ	2007年版
050334	情報処理Ⅲ	2007年版
050331	情報処理論	2007年版
050327	史料講読	2007年版
050511	人格心理学	243
050690	人的資源論	275
050519	心理アセスメント	260
050501	心理学概論	201
050508	心理学研究法Ⅰ	228
050509	心理学研究法Ⅱ	238
050505	心理学実験Ⅰ	219
050506	心理学実験Ⅱ	224
050507	心理学実験Ⅲ	2008年版
050520	心理療法	3・4
050521	心理療法各論	3・4
050015	スポーツ（バレーボール）	45
050014	スポーツ（バレーボール）	43
050194	★生活行動と人体	195
050140	精神医学	3・4
050139	精神科リハビリテーション学	3・4
050136	精神保健	137
050141	精神保健福祉援助演習	3・4
050138	精神保健福祉援助技術各論	143
050137	精神保健福祉援助技術総論	140
050902	精神保健福祉援助実習	3・4
050133	精神保健福祉論Ⅰ	132
050134	精神保健福祉論Ⅱ	135
050135	精神保健福祉論Ⅲ	3・4
050707	生徒指導論（進路指導を含む）	310
050005	生命の科学	29
050330	西洋美術史	2007年版
050324	先史考古学	2007年版
050001	禅のこころ	20
050709	総合演習	3・4
050688	組織心理学	272
050991	卒業研究	3・4

夕行

050105	地域福祉論	77
050727	知的障害教育	3・4
050721	知的障害者の心理	3・4
050722	知的障害者の生理・病理	3・4
050119	知的障害者福祉論	102
050730	聴覚障害教育	3・4
050725	聴覚障害者の心理	3・4
050726	聴覚障害者の生理・病理	3・4
050732	重複障害教育総論	3・4
050146	統計情報を見る眼	154
050321	東北の山岳信仰	2007年版
050705	特別活動の指導法	307
050771	特別支援教育支援員概論	3・4
050316	図書館概論	2007年版

050205~	特講・社会福祉学5~7	3・4
050210	特講・社会福祉学10	318
050608	特講・福祉心理学8	320
050611	特講・福祉心理学11	322

ナ行

050329	日本美術史	2007年版
050328	日本文化史	2007年版
050689	人間関係論	273
050017	人間と教育	50
050004	人間と宗教	2008年版
050510	認知心理学	3・4

ハ行

050317	博物館概論	2007年版
050729	病弱教育	3・4
050731	病弱教育総論	3・4
050724	病弱者の心理、生理・病理	3・4
050704	福祉科の指導法	303
050121	福祉機器論	110
050080	福祉行財政と福祉計画	3・4
050074	福祉経営論	3・4
050123	◆福祉計画法	117
050125	福祉施設管理論	3・4
050109	福祉思想論	84
050101	福祉社会学	64
050103	福祉心理学	71・200
050003	福祉と経済	26
050021	福祉と生活	60
050063	★福祉法学	162
050102	◆福祉法学	69
050142	福祉ボランティア活動	146
050143	福祉リスクマネジメント	149
050008	文学入門	2008年版
050318	文化財概論	2007年版
050319	文化財の保護と活用	2007年版
050007	法の基礎（日本国憲法を含む）	34
050075	保健医療サービス論	3・4
050002	ボランティア論	22

マ・ラ行

050320	民俗学概論	2007年版
050122	リハビリテーション論	114
050503	臨床心理学	210
050325	歴史考古学	2007年版
050009	歴史を見る眼	36
050280	レクリエーション概論	157
050282	レクリエーション事業	3・4
050281	レクリエーション実技	3・4
050310	レクリエーション論	2007年版
050691	労働法	3・4
050517	老年心理学	3・4

3・4 の表記のある科目は別冊『レポート課題集 2010（3・4年）』を参照してください。

2007年版 の表記がある科目は『レポート課題集2007』を、2008年版 の表記がある科目は『レポート課題集2008』参照してください。

レポート提出上の注意

I レポートとは

レポート作成は、通信教育の主な学習方法です。教科書と参考図書を熟読しながら、出題されたレポート課題にもとづき作成します。作成したレポートは大学あてに送付し、担当教員による添削指導を受け学習を進めます。

レポートの数

レポートは1単位につき1課題です。2単位の科目は2課題、3単位の科目は3課題、4単位の科目は4課題です。スクーリングを受講してもレポート課題数は同じです。

レポートの字数

1課題あたり2,000字程度でまとめてください（引用・参考文献を含む）。最低限1,000字以上は記入してください。ただし、与えられた課題によっては1,000字では字数不足とされることもあります。

レポート用紙

レポート用紙は指定のものを使用してください（英語は別の用紙を使用します）。また、スクーリング受講者専用別レポートを提出する場合を除き、**2課題につき1冊使用**してください（例外：英語、ならびに「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」「精神保健福祉援助演習」「介護実習事前事後指導」「病弱者の心理、生理・病理」「肢体不自由者の心理、生理・病理」など別途指示のある科目は1課題につき1冊使用）。

2単位の科目は1・2単位め、4単位の科目は1・2単位め、もしくは3・4単位めを1冊に記入して同時に提出します。1単位め（もしくは3単位め）は1～8ページ、2単位め（もしくは4単位め）は9～16ページに解答します。

誤字・脱字のないよう下書きを別な用紙に行い、レポート用紙にペンまたはボールペン（黒または青）で清書してください。ワープロ、パソコン印字による提出は、別途許可のある科目で書式設定を守られたもの（p.8～10参照）以外は認められません。

作成のポイント

まず教科書を読み、内容を十分理解してください。そしてレポート課題に沿ってまとめますが、その課題が何を求めているか理解することも大切です。課題の要点を簡潔に要領よくまとめ、再度教科書を読み、さらに参考図書を読んで自分の言葉で表現することが大切です。教科書や参考図書の丸写しは、学習したことにはなりません。論理的に順序よく構成し、誤字脱字のない大学生のレポートとしてふさわしい内容に仕上げてください。

作成のポイントは『自立学習の手引き』『学習の手引き』の関連する章もご覧ください。

説明型レポート

「医学一般」「公衆衛生学」「障害者福祉論」「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術論Ⅰ」「地域福祉論」「精神保健」「精神医学」「認知心理学」「人格心理学」「生徒指導論」「聴覚障害者の生理・病理」「聴覚障害教育」「視覚障害教育総論」など一部科目の一部課題について、論述式ではなく用語や事項の説明を行う「説明型レポート」を導入しています。

「説明型レポート」では各課題ごとに指定された字数（300～500字など『レポート課題集』に記載）で解答を簡潔にまとめていただくことが必要になります（くわしくは『学習の手引き2008』p.145；『学習の手引き2010』p.153）。課題欄が長くなるので、課題欄には「説明型レポート」とか「2010年度の課題に解答」のように記載してください。解答欄は、どの課題に対する解答かわかるように、それぞれの問題番号を明記してから解答を始めてください。

スクーリング受講者に対する「別レポート」

21年度より一部科目の一部課題について、スクーリング受講者に対して、希望により解答可能な専用レポート（通称「別レポート」）を配布しています。

対象科目と該当課題は、p.17～18記載のとおりです（オンデマンドスクーリング受講者も対象になります）。

スクーリング受講者専用別レポート提出締切はスクーリング受講後1カ月です。その他、提出上の注意は、p.17記載のとおりです。

提出方法

「演習」「心理学研究法」「病弱者の心理、生理・病理」「肢体不自由者の心理、生理・病理」

などの科目、およびスクーリング受講者専用別レポートを提出する場合を除き、**2 課題分を 1 冊に記入**していただきます。

また、レポートを提出する際、万が一郵便事故等でレポートが未着の場合は再提出をお願いしますので、必ず控え（コピー）をとってください。提出されたレポートは担当教員が添削し、30日ほどで返送します。

提出用・返信用とも第4種郵便料金（15円）分の切手を貼付してください。また、提出用・返信用表紙などに自分の住所・氏名等を忘れずに記入してください。

レポート提出の際の注意事項の詳細は、p.8～18をご覧ください。

成 績 評 価

レポートの成績は、優（80点以上）、良（79～70点）、可（69～60点）、再提出（59点以下）で表示します。優・良・可が合格です。再提出の評価の場合は、教員の添削指導に従ってさらに内容の理解につとめ、新たに書き直したレポートを再提出してください。

レポートの再提出

再提出の場合も上記の要領により提出しますが、**前回（不合格レポート）の評価・指導票**を、**再提出する評価・指導票裏面の指定欄に貼付**してください。

1 単位分のみ再提出の場合は、何単位めかのレポートを評価・指導票および1ページめ冒頭に明記し、1～8ページめに記入してください。

II レポートのワープロ・パソコン印字提出について

ワープロ・パソコン印字のレポート提出は、郵送のためのレポート用紙表紙も異なりますので、下記手順をよくお読みいただき、**提出のルールを守れるとお考えの方のみご利用**ください。

- (1) ワープロ・パソコン印字提出用レポート用紙表紙を入手、または購入
 - ・新入学および4年次までの進級の際の無料交付レポートをワープロ・パソコン印字提出用で入手しようとする方は、配付された用紙に必要事項を記載して返送ください。期限までにお申込みのない場合は手書き用を送付いたしますので、ご了承ください。
 - ・学年途中や5年次生以上の場合は有料交付となります。
- 郵送申込みの場合 『学習の手引き』巻末の購入申込み用紙＋料金分の郵便小為替・1セット10冊分300円（送料込）を送付いただければ、10日間程度でお送りさせてい

たきます。

通信教育部窓口の場合 購入申込み用紙+現金30円で1冊が購入できます。

(2) ワープロ・パソコン印字で提出する場合は、必ず下記9点をご確認のうえ郵送で提出してください。

- ① パソコン提出が認められている科目 (p.10参照) か
- ② **A4判白色用紙** (各自でご準備ください) **使用 文字サイズ10.5ポイント 左右40字×30行 横書** 片面印刷で (両面印刷不可) 下にページ数をつけているか (余白は上下左右30ミリ) =この書式設定は必ずお守りください。

※設定しても、実際の印字が左右40字にならない場合は、書体 (フォント) を Windows の Word の場合は MS 明朝または MS ゴシックにするとうまくいく場合もあります。

※ページ数は2単位分連番でお願いしますが、1単位ずつでも大丈夫です。

- ③ 各課題の1行めに下記を記載しているか
科目名 ●単位め 学籍番号 氏名
- ④ ③の下1行あけてレポート課題を記入し、その後1行あけて解答をはじめているか
- ⑤ 適切な箇所で段落を作成し、段落の最初で改行するとともに、1字分あけてはじめているか。
- ⑥ 読み直しは行ったか
- ⑦ **表紙への貼り付け方**はまちがっていないか (評価・指導票 \square をめくったところが1ページめになるように。くわしくはレポート用紙評価票裏面、または本冊子 p.17を参照)。
- ⑧ 郵送の際の切手貼付や返信先住所記入、**通常の科目について2単位分まとめて提出**する (演習科目など一部例外あり) ことなどは従来と同じです。**1単位分は原則2ページ以内となりますが、3ページまでは可とします。**また、**本文が1,000字以上ないレポート、実験や演習など別途1課題の字数が4,000字まで可能な科目を除き、1課題が4ページ以上あるレポートは返送します。**
- ⑨ **再提出の場合は、前回 (不合格レポート) の評価・指導票 \square 裏面に貼付してください。**

(3) レポート用紙表紙は英語用 (評価が1単位分のもの) と類似していますが、英語用は演習や実習事前事後指導など以外使用できないので、ご注意ください。

(4) インターネット上の文章などをそのまま用いることは原則として不可です。引用扱いで用いる場合は、必ず引用のルール (『学習の手引き2008』 p.143~144; 『学習の手引き2010』 p.151~152) を守った上でご利用ください。

(5) 他の方と類似レポートがあった場合は、カンニング行為とみなし、一定期間レポート提出禁止などの措置がとられますので、ご注意ください。

(6) **上記の書式に不備がある場合、下記レポート提出許可科目以外は、すべて受付せず返送いたします。**

(7) メールで提出する方法ではなく、あくまで郵送による提出となります。ご注意ください。

(8) ワープロ・パソコン印字レポート提出が**不許可の科目**は下記のとおりです。

共通基礎科目 **歴史を見る眼** 心理系2年次以上科目 **教育心理学**

福祉系2年次以上科目 **社会福祉原論（職業指導を含む）、精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ**

※上記の科目以外はすべてワープロ・パソコン印字提出は可となります。

Ⅲ 手書き用レポート用紙記入上の注意 ——— 一般の科目

「コミュニケーション英語」「情報処理Ⅰ～Ⅲ」「情報処理論」「カウンセリング」および「介護実習事前事後指導」など実習事前事後指導科目・実習科目を除く**一般の科目**のレポート用紙の記入にあたっては、以下の点にご留意ください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

1) 評価指導票㊦に科目名を記入してください。

2) 整理票㊧に科目名を記入し、氏名バーコードを貼付してください。

氏名バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入してください。

若干書式の異なるレポート用紙もありますが、記入することからは同じです。

自分の氏名バーコードを貼付
（バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入）

提出する科目名を記入

教員記載欄です。何も書かないでください。

提出する科目名を記入

再提出の場合、手書きで記入

提出する科目名を記入

氏名バーコードを貼付

学籍番号、氏名を記入

㊦票は記入不要になりました

■評価指導票・整理票・受付票ウラ面

- 1) 氏名・年齢・職業を記入してください。ただし、年齢・職業の記載は任意（自由）とします。
- 2) 再提出の場合は、前回（不合格レポート）の評価・指導票[A]を上欄に貼付してください。

本人記入	氏名	福祉 歩美	年齢 (記入は任意)	42 歳
	職業 (記入は任意)	特別養護老人ホーム 勤務		

■氏名バーコード貼付のお願い

- 1) レポート提出の際に、「整理票[B]」に貼り付けていただくシールです（p.11参照）。
- 2) シールが大きいので欄からはみ出しますが、できるだけきれいに貼ってください。
- 3) 氏名バーコードは、科目修了試験、スクーリングの申込みの際にも貼付をお願いいたします。

※事務処理手順の変更にともない、2005年10月以降「科目名バーコード」の貼付は不要になりました。

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

提出する科目名を記入	科目名	高齢者福祉論			実験・演習科目の担当教員 先生
	住所	(〒989-3201) 仙台市青葉区国見ヶ丘6-149			
自分の郵便番号、住所、氏名、学籍番号を正確に記入	差出人	氏名	学籍番号		
		福祉 歩美	02TW 991		

演習・実験等担当教員が複数の科目のみ、スクーリング担当教員名、ないし課題を選択した教員名を記してください。

■返信用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

書式に不備のあった場合、および字数不足の場合、受け付けせず、返送いたしますので、ご注意ください。

■レポート用紙1ページめ (および9ページめ)

- 1) () 単位めの箇所は何単位めの課題を解答したかを記入してください。
- 2) 課題を記入してください。長い場合もできるだけ省略せず、記入してください。

解答する課題が何単位めかを記入

(/) 単位め

レポートの課題を記入

課題

「子ども虐待の現状と対策」
日本における子ども虐待の現状と
その対策について述べよ。

解答欄

○今年()の3月()北九州市に住む17歳
の少女が警察に保護される事件があ
った()少女の証言で、同居していた
保護者から暴行を受けていたことが
明らかになり、全国に衝撃が走った
のは記憶に新しい。こういった事件()
つまり大人が子どもに対して暴行を
加える()「子ども虐待」()が近年わが国
で急増している。

○このような社会背景を受けて、旧
厚生省は、一昨年11月に国を挙げて

句点(。)読点(、)は、一マス分使用する

段落の始まりは、一マス下げる

「」も一マス分使用する

このような場合、句読点は、次の行の最初のマスを使わず、最後の文字と同じマスに入れる(または欄外に記す)

(16字×11行=176字)

- 1 -

原稿用紙の使い方には、さまざまな約束事があります。ここでは、最低限守ってほしいことを記しておきます。

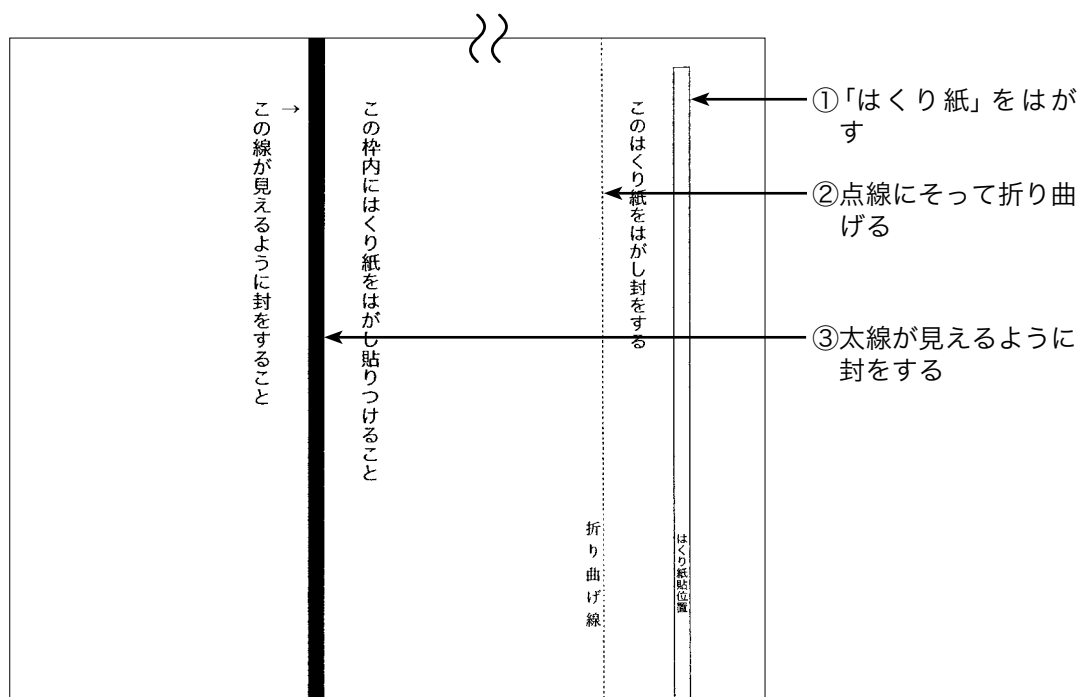
- 1) 段落の始まりは1字下げてください。段落が変わらない場合はページが変わっても1字下げることはいしないでください。
- 2) 句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などは1マス分使用してください。
- 3) 行の最後に、句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などが来た場合は、その行の末に入れてください。次の行の頭には持ってこないでください。
- 4) 2ケタ以上の数字は2ケタずつ1マスに記入してください。たとえば

20	10
----	----

 年となります。
- 5) 本学のレポート用紙を利用する場合は、原稿用紙の冒頭に論文タイトル、氏名を記入する必要はありません。課題は、「課題欄」に記入してください。
- 6) レポートのなかに必要に応じて見出しを付けることはかまいません。とくに1単位分の課題のなかで2つ以上の課題に答えることが要求されている場合は、見出しで区切って解答してください。

■封の仕方

- 1) 提出用表紙がオモテに来るようにして、「はくり紙」をはがし封をしてください。
はくり紙をはがして貼付できない場合は、のりを使って封をしてください。
- 2) ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。



IV パソコン印字用レポート用紙記入上の注意

記入したレポート用紙を、パソコン印字提出用表紙にのり付けして、送付いただくこととなります。

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■返送用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

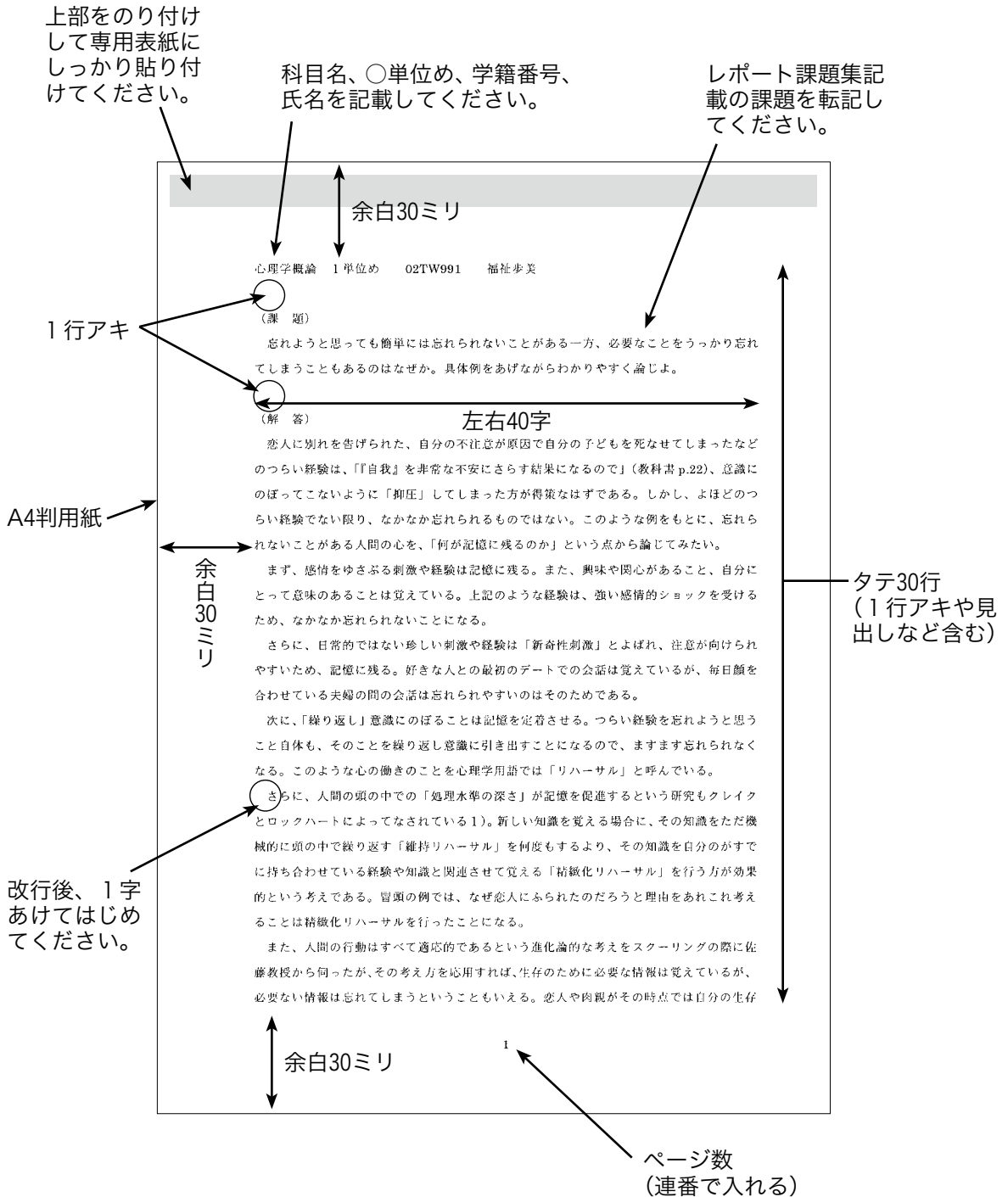
- 1) 科目名、氏名、学籍番号を記入してください。
- 2) 解答した課題番号（1単位めは1、2単位めは2）を○で囲んでください。

ここに氏名バーコード貼付、科目名を記入してください。

学籍番号・氏名・提出する科目名を記入
該当する課題番号を○で囲む
(受付票□のある用紙もありますが、記載は不要です。)

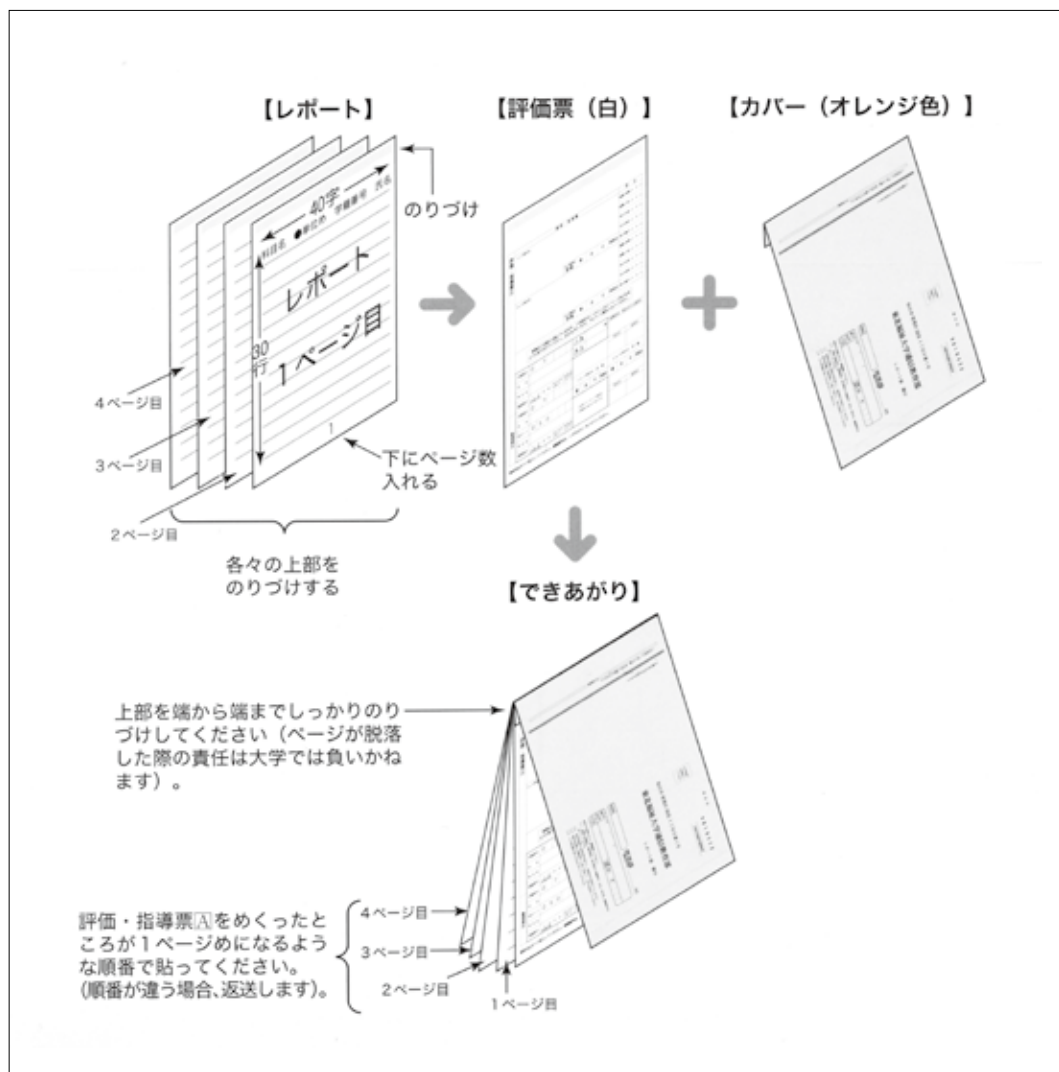
講評・指導欄				評点				
評価・指導票	1 or 3単位め			試験成績	A・B・C			
				演習成績	A・B・C			
				論文成績	A・B・C			
				出席率	A・B・C			
1 or 3単位め 評価			優	良	可	再提出	取付票	A・B・C
学籍番号		02TW991	年齢	42	添削者名	(署名または捺印)		
氏名	福祉 歩美		職業	特別養護 老人ホーム勤務	受付日	返却日		
科目名	心理学概論							
課題番号	①・②・3・4・スクーリング レポート		再提出 レポート					
学籍番号	02TW991		1 or 3単位め 評価		2 or 4単位め 評価			
氏名	福祉 歩美		優	良	可	再提出		
科目コード	050501		福祉 歩美		受付日	返却日		
科目名	心理学概論		*02TW991*					
課題番号	①・②・3・4・スクーリング レポート		再提出 レポート					

■パソコン印字用レポート用紙 1 ページめ



■封の仕方

- 1) 解答を記入したレポート用紙を提出用表紙にのりで貼り付けてください。貼り付け方は、評価・指導票のウラの図（下記）を参考にしてください。貼る順序をまちがえないように注意してください。
- 2) 提出用表紙がオモテになる（解答したレポート用紙を包む）ようにして、はくり紙をはがし封をしてください。
- 3) ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。



V スクーリング受講者専用「別レポート」提出上の注意

- 1) スクーリング受講者専用レポート（以下「別レポート」）は希望者のみが提出すればよいものです。ただし、「別レポート」の対象となる課題が合格済みの方、添削中の方は、別レポートの提出はできません。
- 2) 希望者は提出期限（スクーリング受講後1カ月 ただし「別レポート」が論述式の一部科目は別に指示）を守って、提出してください。
- 3) 「別レポート」を提出した課題は、『レポート課題集』記載の課題は免除されます。また、「別レポート」を提出した課題は、『レポート課題集』記載の課題を提出し、添削指導を受けることはできません。
- 4) 「別レポート」に合格しても、「別レポート」に該当しないレポート課題は、通常の『レポート課題集』記載の課題での提出・合格が必要です。
- 5) 解答はペン書きしてください（鉛筆不可）。
- 6) 2単位分セット提出の1単位分のみ別レポートになる場合は、下記の点にご留意ください。
 - ① 「別レポート」に該当しないレポート課題（たとえば「福祉心理学」の1単位めなど）を提出する際は、「2単位めは別レポートで提出済み」などと、2単位めの講評・指導欄、または課題文を記載する欄などに明確にわかるように記載して提出してください。
 - ② 「別レポート」に該当しないレポート課題（1単位めなど）を単独で提出する際は、「別レポート」の提出以降か、または同時別冊で提出してください。
- 7) 「別レポート」に該当しないレポート課題（1単位めなど）を「別レポート」に貼り付けて出すことはご遠慮ください。
- 8) 「別レポート」が万一再提出になったら、教員から「講評・指導欄」で許可された場合を除き、『レポート課題集』記載の課題での再提出となります。

VI 別レポート実施予定科目一覧

平成23年度にスクーリング受講者専用別レポートを実施する予定の科目は下記のとおりです。担当教員の考えにより、変更される場合があります。ご了承ください。

科目コード	科目名	対象課題
050002	ボランティア論	1単位め
050005	生命の科学	3・4単位め
050007	法の基礎	3・4単位め
050017	人間と教育（注4）	3・4単位め
050020	科学的な見方・考え方（注1）	1・2単位め

科目コード	科目名	対象課題
050021	福祉と生活	1単位め
050063	★福祉法学	2単位め
050064	★高齢者福祉論	2単位め
050065	★介護概論	2単位め
050066	★児童（家庭）福祉論	3・4単位め

科目コード	科目名	対象課題
050070	★社会福祉援助技術総論	3・4単位め
050071	★社会福祉援助技術論A	2単位め
050072	★社会福祉援助技術論B	1単位め
050073	★社会調査の基礎	2単位め
050074	★福祉経営論	2単位め
050075	★保健医療サービス論	2単位め
050079	★医学一般	2単位め
050080	★福祉行財政と福祉計画	2単位め
050101	福祉社会学	3・4単位め
050102	◆福祉法学	3・4単位め
050103	福祉心理学	2単位め
050104	社会福祉原論	1・2単位め
050105	地域福祉論	実施予定未定
050106	◆医学一般	3・4単位め
050107	社会保障論	3・4単位め
050108	公的扶助論	2単位め
050116	◆児童福祉論	3・4単位め
050117	◆高齢者福祉論	3・4単位め
050118	障害者福祉論	3単位め
050119	知的障害者福祉論	2単位め
050121	福祉機器論	1・2単位め
050122	リハビリテーション論	1単位め
050123	◆福祉計画法	2単位め
050125	◆福祉施設管理論	4単位め
050126	◆社会福祉援助技術論Ⅰ	2単位め

科目コード	科目名	対象課題
050127	◆社会福祉援助技術論Ⅱ	2単位め
050128	◆社会福祉援助技術論Ⅲ	1単位め
050129	◆社会福祉援助技術論Ⅳ	2単位め
050133	精神保健福祉論Ⅰ	1単位め
050134	精神保健福祉論Ⅱ	1単位め
050135	精神保健福祉論Ⅲ	2単位め
050137	精神保健福祉援助技術総論	2単位め
050138	精神保健福祉援助技術各論(注2)	3・4単位め
050139	精神科リハビリテーション学	3・4単位め
050143	福祉リスクマネジメント	3・4単位め
050144	家族法	3・4単位め
050501	心理学概論	3・4単位め
050502	生涯発達心理学(注3)	2・4単位め
050503	臨床心理学	1・2単位め
050504	環境心理学(注2)	2単位め
050510	認知心理学	1・2単位め
050511	人格心理学	1・2単位め
050513	教育心理学(注2)	1単位め
050514	社会心理学	2単位め
050515	家族心理学	2単位め
050516	児童青年心理学	2・4単位め
050517	老年心理学	3・4単位め
050518	障害児の心理(注2)	1・4単位め
050519	心理アセスメント	2単位め
050520	心理療法	3単位め

(注1) 一部論述式レポート

(注2) 論述式レポート、専用レポート用紙なし 別締切

(注3) 2単位めは論述式レポート、専用レポート用紙なし 別締切

(注4) 説明型レポート



• **共通基礎科目** •

禅のこころ

科目コード●050001

担当教員●斎藤仙邦



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

禅といえばあなた方は何を連想するでしょうか。たいていの人は、薄暗い禅堂で足を組んで、目を半分閉じてじっと座っている僧を連想するでしょう。また、実際に座禅を体験したことがある人は、足のしびれや、じっとしていることのつらさとともに、静寂な時間の新鮮な経験や終わったときの爽快感などを思い出すでしょう。

私たちはまた、禅がさまざまな文化現象にかかわっていることも知っています。禅僧の書いた文章、書、墨絵に高名なものが数多くあります。茶の湯や能などの伝統芸能、剣道などの武芸にも禅の精神は生きています。つまり、禅は心を静め、精神を統一し、自らの感性を高めるなかで美意識や自己探求と深くかかわってきました。さらに、禅はストレスの多い生活のなかで不安や悩みを抱える人、あるいはもっと深く、人生の根本問題と向き合っている人、それらの人にとって問題解決のための手段のひとつともなってきました。

以上、禅に関することをいくつかあげてみました。この科目では、通信教育という制約があるため、禅がどのような思想か、また歴史的にはどのように発展してきたのについて理解することを目的とします。しかし理解といっても、歴史、人物、思想内容という事柄の理解だけを求めているのではありません。禅とかかわるなかで、自分とはなにか、生きるとはなにか、人生とはなにかという問題意識をもってもらいたいと思います。

教科書

柳田聖山著『禅と日本文化』講談社学術文庫、1985年

レポート課題

1 単位め

教科書の『禅と日本文化』の編 (p.7~122) の論旨を簡潔にまとめなさい。

2 単位め

道元禅の特質についてまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

筆者は、禅が日本文化に与えた影響を様々な観点から考察し日本文化の特質を論じています。

それぞれの節の終わりではその論旨がまとめられているので、筆者の論の進め方に従って極端にならずにまとめてください。感想や自分の意見は必要ありません。文字数以内で最大限必要なことをまとめてください。

2単位め 解説

教科書の「純禅の道を求めて—白隠・隠元・道元」の編 (p.123~236) を読むことが前提ですが、それでは十分でないので他の図書も参考にしてまとめてください。

参考図書

- 鎌田茂雄著『禅とはなにか』講談社学術文庫、1979年
 鈴木大拙著『禅仏教入門』春秋社、2000年
 道元著『正法眼蔵随聞記』岩波文庫
 鎌田茂雄著『正法眼蔵隋聞記講話』講談社学術文庫、1987年
 道元著『典座教訓・赴粥飯法』講談社学術文庫、1991年
 Books Esoterica 第3号『禅の本』、1992年

ボランティア論

科目コード●050002

担当教員●小野芳秀



2 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

ボランティアが地域社会に果たす役割、また地域社会から寄せられる期待は、年々大きくなっています。世間一般にいわれているボランティアとは、どのようなものなのでしょうか。また、なぜ地域社会ではボランティアが必要とされるのでしょうか。ボランティアの基本的理念、またボランティア活動の具体的事例や活動の現場で今どのようなことが問題になっているのか理解を深めましょう。

本科目のレポートの2単位めの課題は、担当教員が課題を提示する「出題方式」(2-1)、または学習者が関心のあるテーマを自由に課題として設定する「選択方式」(2-2)のいずれかを選択してください。

教科書

柴田謙治・原田正樹・名賀亨編『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ』みらい、2010年

(平成22年7月以前履修登録者) 2010年8月より教科書やレポート課題が変更されました。

以前の教科書所持者は『レポート課題集2010(1・2年次)』の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め

以下の1、2の両方の課題に解答してください。

- 1 : ①「地域コミュニティ」、②「地球環境問題」、③「国際協力」、④「災害とボランティア」のいずれか一つのテーマについて、ボランティア活動の背景としてどのようなことが問題となっているのか説明しなさい。
- 2 : 上記①～④のテーマについて、具体的にどのような活動が考えられるか、あなたの自由な意見を述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め
(いずれかを
選択)

2-1 (出題方式)

ボランティアコーディネーターの役割と意義について説明し、ボランティア活動を推進するうえで具体的にどのような取り組み、あるいは仕組み(システム)作りが考えられるか、あなたの自由な意見を述べなさい。

2-2 (選択方式)

ボランティアに関する内容であなたにとって関心のあるテーマを一つ自由に選択し、そのことに対するあなたの自由な意見を述べなさい。

アドバイス

テキストは一通り目を通されることをお勧めします。各単位の課題ごとの、指定箇所をよく読んで理解を深め、キーワードを参考にしながら課題を整理しましょう。

2 単位めの課題をレポートに記載する際は、「2-1」または「2-2」の番号を明記してください。レポート学習が初めてという方は、「2-2」の「選択方式」から取り組んでみてください。

1 単位め
解説

1 : テキストの第5～9章を参考に、①「地域コミュニティ」、②「地球環境問題」、③「国際協力」、④「災害とボランティア」のいずれか一つのテーマを選択し、どのようなことが問題となっているのか整理しましょう。

2 : ①～④のテーマにおける活動の具体例は、学習者自身の活動経験を問いません。日常生活の中であなたが必要と考える活動、またそれらの活動を支援するための仕組みとして考えられるもの等、あなたの自由な意見を述べてください。なお、1と2で選択したテーマが同一である必要はありません。

2 単位め
解説

2-1 (出題方式)

テキストの第11・12章を参考にボランティアコーディネーターの必要性や有用性について述べてください。また、地域におけるボランティア活動を活性化するための方策についてあなたの自由な意見を述べてください。実際の取り組み事例等の紹介でも構いませんが、その場合、現在抱えている課題や改善案についても述べてください。

2-2 (選択方式)

ボランティアについて関心のあるテーマを自由に選び、次ページの構成(図1)を参考にレポートを完成させてください。(例)は、あくまでもレポートの内容を具体的にイメージして頂くための参考例です。例示にとらわれることなく自由に作成してください。

① タイトル→(例)「ボランティア組織の運営における個人負担を軽減させる方法について」等。

②序 論→レポートで「何について書こうとするのか」を明らかにします。また、何故このテーマを選択したのか自身の動機や問題意識について述べてください。

(例)「ボランティア団体が特定の個人に負担を強いる形で運営されている場合、どのようにしたら個人の負担を軽減することができるのか、組織運営方法の改善策について考えてみたい」等の内容。

③本 論→「序論」で提起したテーマについて具体的にどのようなことが課題になっているのか、それに対して調べた内容、具体的解決策や自身の考え等を自由に述べてください。

(例)「実際にどのようなことが問題となっているのか」、「調べた結果どのような解決策があるのか」、「課題に対して自身はどのような解決策を考えるのか」、「自身はどのようにその問題を考えるのか」等。

④結 論→序論で述べたテーマの「答え」についてまとめてください。

(例)「以上、〇〇という課題に対して、～という解決策があることについて述べた」等の内容。

⑤参考文献→引用や参考にした文献・資料等があれば明記してください。表記方法の詳細については『学習の手引き』等を参考にしてください。「番号」、「著者名(編者名)」、「書名(論文名)」、「雑誌名・巻数」、「出版社」、「出版年次」、「引用ページ」(特に引用したページがなければ「出版年次」までの記載で可)の順。

(例)1) 柴田謙治・原田正樹・名賀亨 編『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ』株式会社みらい、2010年 p.78

①タイトル
②序 論
③本 論
④結 論
(⑤参考文献)

図1：「2-2」課題のレポート構成

課題テーマの例としては、「中高生の学校教育におけるボランティアの単位化の是非について」、「善意とボランティア活動について」、「自身のボランティアに対するイメージ」、「ボランティアに関する新聞記事から考えたこと」、「ボランティアの運営に関すること」、「ボランティアを受ける側からの視点」等、ボランティアに関係するテーマであればどのようなものでも構いません。

- ◆2 単位め選択問題のレポート内容を学習に関する研究データまたは教材として活用させていただくことにつきましてご理解とご協力をお願いいたします。なお、レポートの使用にご同意頂けない方は、レポートの1ページ目の余白にその旨を明記してください。レポートは上記の目的以外、個人が特定される形での使用はいたしません。なお、使用の諾否がレポートの評価に反映されることは一切ありません。

福祉と経済

科目コード●050003

担当教員●小松洋吉



4 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

現代の福祉は経済システムの重要な一分野として位置づけられます。そこで、①経済学の考え方がどのように流れてきたのか、②国民経済がどのように循環し、国民所得がどのようなメカニズムで決定するのか、③国民経済の安定均衡のためにとられている経済政策の内容はどのようなものか。またどのような理論的根拠の下に政策が立案されているのか、④混合経済体制下での社会サービスが何を根拠として行われ、その実際はどのようになっているかについて考えてみましょう。

以上の基礎的力を身につけましょう。

教科書

財団法人私立大学通信教育協会編『経済学』

レポート課題

1 単位め	A. スミス（『国富論』）と J. M. ケインズ（『一般理論』）の違いについて整理してみよう。
2 単位め	次の用語を参考にし、国民所得の決定メカニズムについてまとめてみよう。 （用語）総需要と総供給、すなわち均衡条件式は国民所得＝消費＋投資＋財政＋（輸出－輸入）、数量調整経済、投資乗数、好況、不況、投資と貯蓄、有効需要の原理
3 単位め	総需要管理政策をふまえて、経済政策としての財政政策、金融政策、為替政策の手段について述べよ。
4 単位め	混合経済体制下において、社会保障が行われる根拠としての、「分配問題としての市場の失敗」について整理してみよう。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1～4単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できます。

（平成19年度以前履修登録者）『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月で締め切り

ました。

アドバイス

1 単位めと 4 単位めについては、テキストの該当ページや他の文献等も参照のうえ、整理してください。2 単位めと 3 単位めについては、解説を参考にし、まとめてみましょう。新聞等の経済社会の話題にはできるだけ関心をもちつつ課題に取り組んでみましょう。

1 単位め 解説

テキスト pp. 1～29を参考にまとめてみましょう。とくに時代とともに考え方 (ism) がどのように変わっていくのかに主眼をおいて整理しつつ、現代の経済問題の解決にどういう考え方が必要かについても各自考えてみましょう。たとえば少子高齢社会の福祉サービス充足の費用負担をどうするのか。スミスのように「小さな政府」をめざすのか、ケインズのように政府の役割を重視するのか等々についても考えてみましょう。

参考図書

千種義人著『新版 経済学入門』同文館出版、1990年
京極高宣著『福祉の経済思想』ミネルヴァ書房、1995年

2 単位め 解説

テキスト pp.209～258を読み要点を整理してみましょう。その際、次のキーワードを参考としてみましょう。国民経済はどのように循環し、その活動の大きさをどのように計算しているのでしょうか。

経済主体としての家計部門、企業部門、政府部門、海外部門、三面等価の原則、国民総生産、国民純生産、市場価格表示の尺度、要素費用表示の尺度。さらに国民所得決定のキーワードとして、総需要、総供給、インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ、貯蓄、投資、限界消費性向、限界貯蓄性向、乗数理論、有効需要の原理についてまとめてみましょう。

3 単位め 解説

経済政策を考えるにあたって、まず総需要管理政策とは何かについて整理し、そのうえで、財政政策としての政府支出の増減とは具体的にはどういうことか。税政策にはどういうことが考えられるかについて明らかにしてみましょう。また金融政策とは何か、その内容は具体的にはどういうことか。利子率の変化とはどういう意味を持つのか、金融を緩和する、引き締めるとはどういうことか。それはどういう経済状態のときどのような政策を行ったらいいかについても考えてみましょう。さらには為替政策についても考えてみましょう。

4単位め
解説

混合経済体制とは市場経済を土台とし、政府が補完的役割を果たすこと、つまり市場経済と政府の財政活動を混合して行う体制をいいます。混合経済体制の下で福祉政策が行われる経済学的根拠は、分配問題としての「市場の失敗」にあるが、現代の福祉政策はこの守備範囲内にあると考えることが適切か。政府の行う施策は「政府の失敗」につながらないかについて考えてみましょう。そのための参考文献として、大野吉輝著『社会サービスの経済学』勁草書房、1991年をあげておきます。

※なお、特例としてスクーリング受講者のレポート課題はスクーリング時に指示された別の課題を4つ提出でも結構です。できるだけ、スクーリングにご参加ください。お目にかかれますことを楽しみにしています。

生命の科学

科目コード●050005

担当教員●阿部一彦(左)
渡部芳彦(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

生物、とくに人の生命を理解するという事は、とても複雑で難しいことであると考えられがちでした。しかし、生命に関する研究が進むにつれ、思っていたよりもはるかに単純な現象の積み重ねによって、生命体が構成されていることがわかってきました。生命の科学では、ヒトを中心に、その生命活動を支える仕組みについて、一つ一つが単純な仕組みの積み重ねによって成り立っていることを確認しながら、生命の全体像に迫るように意識して学んでいきます。これらの学習を重ねることによって、どのような仕組みが生命活動を支えているのか、生きているということはどういうことなのかについて考える姿勢を身につけていきたいと考えています。

教科書

阿部一彦編著 阿部昌子・渡部芳彦著『生命の科学』東北福祉大学、2003年
(平成14年度以前履修登録者) 財団法人私立大学通信教育協会編『生物学』所持の場合も
下記の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め

次に示す(A)または(B)の課題のうち1つを選択し、その課題について論じなさい。

- (A)① 「個体発生は系統発生を繰り返さず」といわれる。これはどういうことなのか、記しなさい。
② ヒトは誕生によって、それまでの母胎内での生活から自立した胎外での生活に変わることになる。このとき、ヒト新生児の身体機能はどのように変化するのかについて論じなさい。
- (B) 消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器(排出)系による生命を支える分業システムについて論じなさい。

<p>2 単位め</p>	<p>次に示す(A)または(B)の課題のうち1つを選択し、その課題について論じなさい。</p> <p>(A) ヒトは、まわりの状況に関する情報を感覚器をとおして脳に取り込み、そして脳で情報処理して、それらに応じた行動をすることができる。これらの一連の行為に関して、脳・神経系と骨・筋系の機能に基づいて論じなさい。</p> <p>(B)① 筋細胞の構造と収縮の機構について論じなさい。 ② 筋収縮のエネルギー代謝について論じなさい。</p>
<p>3 単位め</p>	<p>次に示す(A)~(C)の課題から1つを選択し、その課題について論じなさい。</p> <p>(A) ヒトの身体のはたらきを調節する神経のはたらきとホルモンのはたらきについて記しなさい。さらに過剰ストレスが身体に与える影響についてもあわせて論じなさい。</p> <p>(B) DNAの構造を理解し、タンパク質の設計図(mRNA)への転写、タンパク質合成の過程(翻訳)について記しなさい。さらにヒトゲノム計画、ポストゲノム計画が私たちの生活にどのような影響を与えると考えられるかについて論じなさい。</p> <p>(C) ヒトは、体内に侵入した病原体から自らを防御する仕組みである免疫系をそなえています。この免疫系について論じなさい。あわせてエイズについても論じなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
<p>4 単位め</p>	<p>次に示す(A)~(C)の課題から1つを選択し、その課題について論じなさい。</p> <p>(A) 生活習慣病とは何か、また、日本人の死因の上位を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は、どのような生活習慣に基づいて発症すると考えられるのかについて論じなさい。そして、日ごろ健康の維持について心がけていること、または、心がけなければいけないことなどについてもあわせて論じなさい。</p> <p>(B)① 誤嚥性肺炎について記しなさい。あわせて口腔ケアの重要性についても論じなさい。 ② 廃用症候群について記しなさい。廃用症候群を予防するためにはどのようなことに留意すべきかについてもあわせて論じなさい。</p> <p>(C) 老化とは何か。老化にともなってヒトの機能はどのように変化するのかについて論じなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

アドバイス

教科書をよく読み、適宜、参考図書などを読むことによって理解を深め、それぞれの課題について、十分に考察して記述してください。また、日ごろから新聞や科学雑誌などにも気を配ることにこころがけ、レポートに取り入れることも重要です。全体をよく理解してから内容をまとめ、自分の言葉で論じてください。

1単位め
解説

(A) ①、②の両方に解答してください。1章を読んで生命の誕生、そして生物の性質について十分に理解してください。生命の不思議さとその神秘性について考えることはとてもたいせつです。

また、2章をよく読んで、ヒトの誕生と成長について十分な知識を得て、新しい命が誕生するということの素晴らしさとそのたいへんさについて整理・考察し、しっかりまとめてください。誕生するということは新生児にとってはじめて体験する、そして多くの危険に満ちた冒険なのですね。命の尊さがあらためて実感されます。

(B) ヒトは食物と空気を取り込んで、体内でそれらを活動のエネルギーや身体を構成する成分として利用しています。食物を取り込んで分解する消化器系、空気を取り込む呼吸器系、取り込んだ栄養素と酸素を全身の細胞に運搬し、各細胞における生化学反応に供するのは循環器系です。ヒトの身体を構成する60兆個に及ぶ各細胞では、活動のエネルギーを産生するとともに身体を構成する成分を生成しています。ところで、生化学反応により生じた老廃物は、肝臓、腎臓を経由して、泌尿器系によって体外に排出されます。3章を読んで、生命活動を支えるこれらの概要を十分に理解し、まとめて論じてください。

2単位め
解説

(A) 4章をよく読んで、脳と神経系について十分に理解してください。現代社会において充実した生活をおくるために重要な知識が得られると思います。脳のはたらきはとても複雑と考えられますが、基本的な仕組みをわかりやすくまとめることは大事です。十分に読みこんで、考察し、わかりやすくまとめることを、こころみてください。そして、3章を読んで、骨に付着した骨格筋の収縮・弛緩によって身体運動が引き起こされることについてあわせて整理し、論じてください。

(B) ①、②の両方に解答してください。

① まず、3章をよく読んで、筋細胞の構造を理解してください。そして、どのようにして細いアクチンフィラメントが太いミオシンフィラメントに滑り込むように引っ張られる滑走運動が生じて筋収縮がおこるのかについて論じてください。

② 激しい瞬発力を要する筋運動を行うときには、ヒトは酸素を利用せずに、いわゆる嫌気的な代謝によりATPを獲得します。しかし、持久力を要する運動を行うときには、酸素を十分に利用して、効率的にATPを生成する機構によりエネルギーを得ています。3章や5章をよく読み、筋収縮のエネルギー代謝について論じてください。

3単位め
解説

(A) ヒトは無意識のうちに内臓機能を調節して生命を維持しています。それらの調節は、自律神経系およびホルモン系（内分泌系）に基づいていますが、ともに間脳の視床下部によってコントロールされています。4章を読み、全体を理解した上で、ヒトの生命機能を調節するシステムについて論じてください。

また、心理的そして社会的過剰ストレスは、視床下部の機能を破綻し、内臓機能の調節をくるわせ、身体的な不都合をもたらします。いわゆる心身症です。現代社会において注目されているストレスによる身体への影響などについても6章および新聞や科学雑誌、参考文献をもとに情報を得て、あわせて論じてください。

- (B) ワトソンとクリックによって遺伝子DNAの二重らせん構造が発見されて以来、それまでとても複雑で理解しがたいと考えられていた遺伝情報の発現に関する仕組みが次々と解明されてきました。4種類の塩基が20種類のアミノ酸の種類と配列順序を決定しているということは、巧妙でかつ、ある意味で単純な機構です。7章をよく読んで、遺伝情報の複製、転写、翻訳の過程について記してください。また、11章、12章を読んで、現在様々な方面から注目されているヒトゲノム計画やポストゲノム計画そしてそれらが社会に与えると考えられる期待される影響や問題視される影響についても論じてください。
- (C) 8章や参考図書を読み、液性免疫と細胞性免疫という視点からまとめると理解しやすいでしょう。このようなシステムによって病原体から私たちの身体が守られています。また、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染すると、免疫系のどの部分のはたらきが妨げられて機能しなくなるのでしょうか。そして、病気が進行するにつれ体内では何が起きているのでしょうか、その予防法も含めて広く理解してまとめてください。

4単位め
解説

- (A) 6章や参考図書を読み、具体的にどのような生活習慣が、どのようにして病気を引き起こす土台となるのかを理解しましょう。悪性新生物（がん）については、DNAの傷害に視点をおいて、そして、心疾患と脳血管疾患については血液循環系の支障に視点をおいて考察してください。現在、日本人の死亡のうち、実に6割はこれらの三大疾患が原因となっています。そこで、これらの生活習慣病の成り立ちを十分に理解した上で、その予防につとめ、健康を維持していつまでも生き生きと生活したいものですね。
- (B) ①、②の両方に解答してください。近年、原因不明の発熱やそれに引き続く呼吸器疾患の原因として誤嚥性肺炎が注目されています。特に重い障害のある人や高齢の人では深刻な問題です。5章をよく読んで理解してください。通常私たちでは嚥下反射や咳反射によって（とても多くの細菌を含んでいる）唾液が気管に侵入しないような仕組みがはたらいっているのですが、これらのはたらきに支障があるとたいへんです。
- また、障害のある人や高齢の人にとって廃用症候群も大きな問題です。6章のとくに3節など、11章の7節、8節などを読んで、自分の考えでまとめて整理してください。
- (C) 高齢になっても元気で感性豊かな充実した人生をおくるためには、老化についても十分な知識を持つことがたいせつです。誰にとっても避けて通れない大きな問題が、老化の問題です。10章を十分に読んで、老化ならびに老化にともなって私たちの身体の機能

がどのように変化するのか考えてください。また、11章の2節や終章についても理解して、自らの人生について考え、そして社会福祉の対象となる利用者の方々へのよりよい支援につなげることがとてもたいせつですね。

参考図書

参考となる文献は教科書の各章末に記載しています。また、新聞や科学雑誌なども活用してください。

法の基礎 (日本国憲法を含む)

科目コード●050007

担当教員●渡辺信英 (左)
菅原好秀 (右)



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

福祉の現場では発生する多様な価値観の衝突に対して、迅速かつ確かな判断能力が必要です。その的確な判断能力を身につけるためには、社会福祉専門職としての法学的知識がどのような場面で、どの程度の活用ができるかという素養が必要となります。本科目では社会福祉の対象となる市民に対しての単なる法学的知識を習得するにとどまらず、社会福祉サービスの対象の属性別（児童、高齢者、障害者など）にそれぞれの領域で専門職としてふさわしい法的思考能力を修得し、ひとりひとりの幸せづくりに貢献できる社会福祉の人材の養成を目的とします。

教科書

渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年（4月刊行予定・2～3月履修登録者は後送）

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より教科書が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本的人権について論じてください。
2 単位め	権力分立について論じてください。
3 単位め	刑法の機能を概説した上で、高齢者の犯罪について論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	成年後見制度について論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より2単位めのレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、でき

るだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1単位め 解説

基本的人権の制度趣旨と各人権の分類を示しながら、社会権を中心に言及してください。また、社会権で問題となった裁判事例について、判例の内容を踏まえて自説を展開してください。

2単位め 解説

日本国憲法などで規定されている権力分立制の意義、三権相互間の抑制と均衡の視点から論じてください。

3単位め 解説

刑法の法益保護機能と人権保障機能を論じた上で、高齢者の犯罪について、具体的事例を挙げながら、あなたの考えを言及してください。また、高齢者の孤独死を防ぐための具体的方策についても言及してください。

4単位め 解説

成年後見制度の「後見」「保佐」「補助」の各制度趣旨、内容を示した上、成年後見制度の問題点についてあなたの考えを論じてください。

参考図書

- 1) 渡辺信英編『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 2) 渡辺信英編『福祉社会の家族法 親族編』南窓社、2008年
- 3) 渡辺信英編『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメント—高齢者施設編』南窓社、2006年
- 4) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年
- 5) 志田民吉編著『法学 [第3版]』建帛社、2007年

歴史を見る眼

科目コード●050009

担当教員●岡田清一



4 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

今、歴史学が変わりつつあります。とくに近年の考古学の発掘成果は従来の教科書的記述を再考させつつあり、地名や金石文・説話などの民俗学的成果を反映した歴史叙述がみられるようになっていきます。また、従来の中央（政権の所在地）から見た歴史叙述ではなく、地方・地域から見た歴史研究も深化しつつあります。この動向は、それぞれの地域が主張を持ち始めた結果であり、「日本」が統一された地域から成り立ち、大和民族という単一民族国家であるという既成概念を壊して新しい「日本」像を作り上げようとする方向に進んでいるといえます。

こうした状況を背景に、本学習では、「中央」と「地方」という設定に疑問を投げかけ、「中央」も「地方」も「地域」であるという観点から、それぞれの地域の特性・独自性を考え、政治・経済・文化等の面での地域の相対的自立を考えて欲しいと思っております。

教科書

- 1) 岡田清一・鈴木哲・関幸彦編『中世日本の地域的諸相』南窓社、1992年
- 2) 追加資料（1枚）

レポート課題

※2010年4月よりこの科目のレポートはワープロ・パソコン印字提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め

古代・中世とはどのような社会・国家であったのか、さらに、この社会・国家を形成している地域が、どのように成立していったのかについて考察・叙述するとともに、「津軽・東北地域」が他の地域といかに密接に関係していたかについて考察・叙述してください。

2 単位め

古代から中世への移行期に「関東地域」の果たした役割について考察・叙述するとともに、「琵琶湖・北陸地域」の地域的特性について、「交流」をキーワードにして考察・叙述してください。

3 単位め

「瀬戸内地域」の地域的特性を、交通事情を基点に考察・叙述するとともに、「北九州地域」が古代から中世にかけての政権とどのように関連していたかについて考察・叙述してください。

4 単位め

「薩摩」地域の特異性について考えるとともに、「琉球」の歴史的推移の特性について考察・叙述するとともに、受講者が居住する地域の歴史的特性について、地元の博物館・歴史民族資料館等を見学して考察・叙述しなさい。

アドバイス

解説／課題はすべて2項目からなっています。近年の日本史研究は、各地の特性を最大限に考えようとする傾向があります。確かに、旧石器～縄文～弥生～古墳～飛鳥～奈良～平安～鎌倉～室町というあたりまえのように考えられていた「日本」時代区分でさえ、北海道・北東北では、旧石器～縄文～続縄文～擦文～アイヌと経過しており、沖縄もまた旧石器～貝塚時代～古琉球（グスク時代～中山王による統一国家）～近世琉球という別の時代区分が設定されていることを考えると、「日本」全体の時代区分が幻想であることがわかります。

近年、地域史研究が盛んになっています。いわゆる中央（鎌倉や江戸といった権力の所在地）から日本の歴史をみるのではなく、地域（地方）の立場から、あるいは地域を軸にして歴史を見る眼を養ってほしいと思います。そのような視点を忘れずに、レポートを仕上げてください。

1単位め
解説

- ① テキストの「序」および配布プリントを読み、地域の成り立ちと変遷について考えるとともに、従来の「郷土史」ではなく、なぜ「地域史」であるのかについても考えてください。
- ② 次にテキストの「Ⅰ 津軽・東北地域」を読み、後進性・マイナス的地理的特性（遠い・寒い）といった現在の評価がいかにかに歴史的産物であったのかについて、具体的事例をもとに考えてください。

2単位め
解説

- ① テキストの「Ⅱ 関東地域」を読み、この地域が古代末から中世にかけてどのような歴史的意義をもっていた地域なのかを考え、なぜ、この地域に鎌倉幕府という武家政権が誕生したかについても考えてください。
- ② テキストの「Ⅲ 琵琶湖・北陸地域」を読み、この地域の特性、大陸との接点、国内他地域との接点がどのようなものであったのかについても考え、地域の特性を理解するようにしてください。

3単位め
解説

- ① テキストの「IV 瀬戸内地域」を読み、とくに古代～中世にかけて、いかにこの地域が交流の大動脈であったかを考え、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについても考えてください。
- ② テキストの「V 北九州地域」を読み、大陸との交流の具体像を描くとともに、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについて考えてください。

4単位め
解説

- ① テキストの「VI 薩摩・琉球地域」を読み、薩摩地域が古代国家・鎌倉幕府からどのように理解され、どのような地域として把握されていたかを考えるとともに、東アジア社会における琉球の立場について考えてください。その際、薩摩と琉球の立場、それが近代国家にどのように受け継がれ、アジア・太平洋戦争末期の地上戦が惹起されたことについても考えてください。
- ② 受講者の生活する地域にも、人びとの生活があり、豊かな歴史がありました。こうした痕跡は、いろいろな文化財として継承されています。これらを手っ取り早く理解するには地元（あるいはその周辺）の博物館・歴史民族資料館の見学、さらには自治体の刊行する自治体史が参考になります。見学・自治体史をもとに、地元の歴史像について考えてください。

参考図書

入間田宣夫・豊見山和行著『日本の中世5 北の平泉、南の琉球』中央公論新社、2002年
大石直正・高良倉吉・高橋公明『日本の歴史14 周縁から見た中世日本』講談社、2001年

コミュニケーション英語

科目コード●050011

担当教員●シュミットケネス



2 単位

SR

1 年以上

全学科
共通基礎科目

※20年度までに履修登録された方は『レポート課題集2008』記載の課題に解答してください。スクーリングの受講条件も『レポート課題集2008（1・2年次）』p.49記載の通りです（2011年度の受講条件達成締切は12月12日となります）。なお、スクーリング担当教員はシュミット・ケネス先生となります。

科目の内容

英語コミュニケーション能力を伸ばすことを目標とします。特にリスニングとスピーキングに重点を置きますが、語学力向上に不可欠であるリーディングと単語学習や、意見や経験などを表現する簡単なライティングも行います。

教材はオンライン版教材もしくは冊子版（CD付）教材を使用します。オンライン版教材は動画を用いたオンライン学習（「Longman English Interactive」）ですので、実践的で興味深い内容となっており、使用方法も平易です。各自が設定した目標に向けて、自らのペースで何度でも繰り返し学習ができます。メールを通じて担当教員と頻繁にコミュニケーションを行います。

冊子版教材ではだいたい同じ内容の学習をすることができます。

スクーリングでは、多彩な英語アクティビティ（コミュニケーション、リスニング、リーディング）をします。

教科書

履修登録後に送付されるコースガイドをもとに①使用する教材（オンライン版教材、冊子版教材のどちらを使用するか）および②教材のレベルを決定し、書面（メール・FAX・郵送）にて通信教育部にお知らせください。使用する教材・レベルを確認後20日程度で教材をお送りします。

【オンライン版教材】

- Longman English Interactive (LEI) Online version, Level 1, 2, or 3（個々のレベルに応じて選びます。詳しくはコースガイドを参照）
- LEI 学生用マニュアル

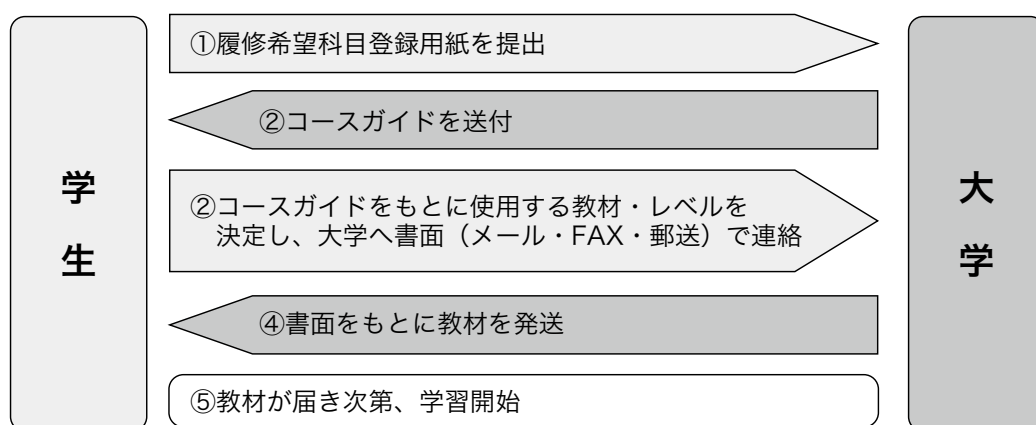
【冊子版（CD 付）教材】

- Longman English Interactive (LEI) Activity and Resource Book, Level 1, 2, or 3 (個々のレベルに応じて選びます。詳しくはコースガイドを参照)

なお、オンライン版教材・冊子版教材のどちらを使用する場合でもコースガイドは大切に保管しておいてください。

オンライン版教材の概要について Longman English Interactive のホームページ (<http://www.longmanenglishinteractive.com/tour.html>) から閲覧が可能です (時間は2分程度です)。教材選択の際の参考にしてください。

履修登録から学習開始までの流れは下図のとおりです。



■オンライン版教材について

※ Longman English Interactive (LEI) は一年間の使用許諾による教材です。2年目以降継続して学習を希望される場合は、1年ごとに別途3,500円が必要となります。

※下記の要件を満たしたパソコン利用環境がご自宅に必要です。また、通信教育部ではパソコンの使用方法に関するサポートはできませんので、上記の LEI 学生用マニュアルおよびコースガイドを参照し、ご自身で操作していただきます。

【Windows の場合】

メモリ	256MB 以上推奨
ディスプレイ	解像度1024×768ピクセル以上
OS	Windows 2000、XP、Vista
Web ブラウザ	Explorer 6.0、Firefox 2.0以降推奨（無料ダウンロード）
プラグイン	Adobe Reader 7 以降、Adobe Flash Player 8 以降、Java 1.4.2 以

降（無料ダウンロード）推奨

通信環境 ADSL、CATV等のブロードバンド回線を推奨

パソコンのメールアドレス グーグル、ヤフー、他

マイクロフォン（なくても可能ですが、スピーキング練習に推奨）

【Macintosh の場合】

メモリ 256MB 以上推奨

ディスプレイ 解像度1024x768ピクセル以上

OS MAC OSX 10. 3. 9以降

Web ブラウザ Safari 2. 0以降、Firefox 2. 0以降推奨（無料ダウンロード）

プラグイン Adobe Reader 7 以降、Adobe Flash Player 8 以降、Java 1. 4. 2以降（無料ダウンロード）推奨

通信環境 ADSL、CATV等のブロードバンド回線を推奨

パソコンのメールアドレス グーグル、ヤフー、他

マイクロフォン（なくても可能ですが、スピーキング練習に推奨）

*パソコンの環境が整う方はビデオなども見られるのでオンライン版教材をおすすめします。

レポート課題

1 単位め

9月1日までに LEI モジュールAを終了してください（9月1日までに終わらない場合は、12月1日までに終了してください）。

2 単位め

LEI モジュールBを終了してください。

※ 1 単位め課題を終えた後に、2 単位め課題に取り組んでください。

※ 1月のスクーリングを受講するためには、12月1日までに1 単位め課題に合格していることが必要です。冊子版教材を使用する方は11月19日までに1 単位めの課題を提出してください。

なお、2 単位め課題もスクーリング受講までにできるだけ終了するようにしてください。

アドバイス

【オンライン版教材を使用する方】

このコースでは、インタラクティブレッスン、小テスト、試験を全てインターネット上で行い、結果は担当教員に自動的に送信されますので、レポートの提出は原則として必要ありません。ライティング課題が出された場合は、メールにて提出してください。

【冊子版教材を使用する方】

モジュール終了ごとにレポートを提出してください。詳しくはコースガイドをご参照く

ださい。

Longman English Interactive (LEI) には4段階のレベルがあり、各レベルは3つのモジュール、各モジュールは5つのユニットで構成されています。単位取得には最低二つのモジュール（10ユニット）を終了することが必要ですが、その際、レッスン、アクティビティー、小テスト、試験では一定の基準を満たさなければなりません（詳しくはコースガイド参照）。なお、単位取得に必要な2つのモジュールを終了後、第3モジュール（部分的に終了も可）、または担当教員が出題する課題に取り組むことで、評価を上げることができます。

語学学習は出来るだけ頻繁に行うことが重要です。週に最低2回の学習を行えば大幅な語学力向上が望めるはずです。オンライン版教材では、ビデオ教材を用いての充分なリスニングやスピーキング練習とインタラクティブな学習が行えるので、英語学習がとても楽しいものとなるでしょう。冊子版教材ではリスニング（付属CD）やライティングを通じて会話や語い、文法を学習することができます。

留意点

定期的に学習することが大切です。ご自身が集中できる時間にあわせて取り組んでみましょう。

その他の説明と留意点についてはコースガイドを参照してください。

※オンライン版教材にて学習する方については、個人のパソコンの不具合を理由とするスクーリング受講条件の申込締切延長やライセンスの延長には応じられません。早めに学習を進めてください。

※オンライン学習中に、担当教員からの連絡が掲示された場合は必ず内容を確認して下さい。同様に、担当教員からメールが届いてないか1週間に一回以上定期的にチェックしてください。返答が求められている場合は速やかに行ってください。

補助教材

優良な英和辞典（ジーニアス、他）。オンライン版教材利用の方はインターネットの“Course Resources”にて The Longman Learner’s Dictionary が利用出来ます。

補助学習としてリーディング、リスニング、単語学習を行うことを奨励します。グレイテッドリーダーや東北福祉大図書館の多読コーナーについての説明は下記の担当教員のウェブサイトを参照してください。

< http://www.geocities.com/kjschjp/eng_learn_res/ >

その他の参考教材についてはコースガイドを参照してください。

スポーツ (バレーボール)

科目コード●050014

担当教員●佐藤伊知子



2 単位

SR

1 年以上

全学科
共通基礎科目

※スクーリング必修科目、平成23年度は開講予定なし。平成24年度開講予定。

科目の内容

スポーツは私たちの健康や体力作りはもとより、生きがいや仲間作りにも大きな役割を果たすものです。本科目では、スクーリングによる実技講習において基礎体力の養成やバレーボールの基本技術やルールの習得を目指します。また、2人一組での練習やチーム練習などを通して、協力する精神を学びます。

バレーボールの中でもっともポピュラーな「6人制バレーボール」以外にも、生涯スポーツとして人気の高い「ソフトバレーボール」も体験してみましょう。

教科書

スクーリング時に資料配布

(平成16年4月以前履修登録者) 2004年5月に教科書が「スクーリング時に資料配布」となりました。以前の教科書 佐藤伊知子著『バレーボール6人制』成美堂出版からの抜粋となります。よって、スクーリング受講後ならばこれまでの教科書所持者もそのままレポート課題に取り組むことができます。

レポート課題

課題はスクーリング受講後に提出してください。

1 単位め

バレーボールの基本的なルールを述べ、初心者同士が試合を行う場合に適用したほうがよいものと、適用しないほうがよいものについて考察しなさい。

2 単位め

6人制バレーボールとソフトバレーボールのルールの違いを述べ、ソフトバレーボールは生涯スポーツとしてどのような工夫がなされているか考察しなさい。

アドバイス

バレーボールの基本的な技術 (オーバーパス・アンダーパス・サーブ・アタックなど)

はスクーリングでの実技講習で学びます。6人制バレーボールやソフトバレーボールなどを体験してみると、そのルールの中からさまざまな「配慮」「工夫」が見て取れます。スポーツを通してその「配慮」や「工夫」について考えてみてください。

年齢や性別、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむためにはそのような視点が必要となってくるのです。

1単位め 解説

まず、テキストの9「勝つためのルールをおぼえよう」を参考に、6人制バレーボールのルールについて述べてください。

「ルール」は競技スポーツとしてはなくてはならないものではありません、初心者や技術や体が未熟なプレーヤーに対して完全に適用すると、ラリーが途切れ、試合そのものが楽しくないものになりかねません。

遊びやレクリエーションもそうですが、スポーツもルールをその人たちのレベルにあわせて適用させたり、アレンジすることによって、誰もが楽しめるものになります。

初心者が楽しめるものを目指す、というところがポイントとなります。バレーボールの場合、どの部分をどうアレンジすれば初心者の人でも楽しくゲームが進められるか、どのルールはそのまま適用するのかを考えてまとめてください。

2単位め 解説

バレーボールは、「ボールをはじく」という難しい動作を基本にしており、発達段階が未成熟な小学生には適していない、ということから長い間、小学校の体育の授業には取り入れられませんでした。そんな小学生にもできるようにと考えられたのがソフトバレーボールです。

道具やコートをはじめ、ルールを工夫したことによって、子供からお年寄りまで幅広くバレーボールを楽しめるようになり、ようやく小学校の授業にも取り入れられるようになりました。

実技の時間に学んだソフトバレーボールのルールを述べ、6人制バレーボールとの相違点をふまえ、生涯スポーツとして受け入れられる要素を考えてまとめてください。

参考図書

日本バレーボール協会編『最新ソフトバレー・ハンドブック改訂版』大修館書店、2006年

スポーツ (バーンゴルフ)

科目コード●050015

担当教員●小野寺浩三



2 単位

SR

1 年以上

全学科
共通基礎科目

※スクーリング必修科目、平成23年度のスクーリング開講は9月17～19日を予定。その次は平成25年度開講予定です。

科目の内容

バーンゴルフは、ゴルフのパターによる18ホールのストロークプレーです。見た目はやさしいが、高度なテクニックや頭脳プレー、集中力が求められます。

障害者や高齢者にはリハビリの効果があり、子どもから大人まで年齢、性別、身体的ハンディにかかわらず、誰もが参加できるバリアフリーのニュースポーツです。

本スクーリングにおいて、歴史、意義を論じ、ルールとマナー、コースの攻略法を身につけるとともに基礎体力、基礎技術の向上を図ります。また楽しみ、喜びを共有しながら、リハビリスポーツ、生涯スポーツとして取り入れ体験学習をします。

教科書

スクーリング時に資料配布

レポート課題 スクーリング終了後に2課題提出してください

1・2単位め

- ・ 3題のうち2題を選択してください。1題が1単位分になります。
- 課題①バーンゴルフの魅力・特徴・効果をあげ、リハビリスポーツや生涯スポーツとして、障害者や高齢者になぜ必要か考察せよ。
- 課題②バーンゴルフは生涯スポーツと競技スポーツの両面を持っているが、その違いについて考察せよ。
- 課題③バーンゴルフが老若男女を問わず楽しむことができるのは、どのような理由があげられるか。自らの体験を通して考察せよ。

健康科学

科目コード●050016

担当教員●小崎浩信



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

保健医療福祉の分野を専門的に習得するにあたっては、人の健康について洞察を深める必要があります。本講ではまず、健康への理解を深めるための日常生活における身体活動の営みを理解するために、前半で「健康文化」「運動文化」としての体育・スポーツの必要性和内容について学習します。その上で、後半では、健康科学としての社会における身体活動の意義や健康的営みに要される社会環境の概説を通して、身体－運動－文化に関する科学的知識を養うことにより、日常における健康への意識や健康活動の必要性の理論修得を目的とします。

教科書

財団法人私立大学通信教育協会編『体育理論』

レポート課題

1 単位め

「健康文化・運動文化」「体育・スポーツの必要性」

健康文化と運動文化における体育の主要目的をまとめた上で、それらの関係が日常生活の中でどのように取り入れられているかを考察しなさい。また、社会性や効果・弊害を踏まえた上での体育・スポーツの必要性を具体的に論述しなさい。

2 単位め

「健康の定義」「環境衛生」

健康の定義をまとめた上で、あなたの周囲で実践されている健康指導の例をあげ、具体的に考察し論述しなさい。また、人々の生活とそれを取り巻く生活環境との観点から、環境衛生について整理し、さらに産業によってもたらされた公害の社会的原因について、環境衛生と関連づけながら簡潔に論述しなさい。

アドバイス

全体の解説

本論では、健康文化や運動文化の概念、主要目的を習得し、健康の定義や社会における環境の衛生を考察することにより、保健医療福祉分野に必要な基礎的知識と理解を深めることを学習のねらいとしています。

そのねらいを達成するためのポイントは、テキストや資料を熟読した上で、実生活の現況や課題に置き換えて考察することが必要となります。この講座習得のねらいは、あくまで、理論としての健康科学を、実生活や医療福祉現場、教育現場等において、自らの意志により心身双方の健康指向を高めていくことにあります。したがって、レポート課題の内容は、①基礎理論を踏まえた上で主要事項をまとめ、②事例や症例を用いながら考察し、③社会における「健康」の意義を理解する、ことを段階的に進められるよう構成しました。

課題をまとめる作業を効果的に進めると同時に、それらの事象に対するものごとの捉え方と幅広い視点の方向性を養うため、参考図書や参考資料を有効に使いながら、学習を進めてください。

1単位め 解説

健康への志向や運動の習慣性は、それぞれの国や民族、地域や環境によって異なりますが、健康を目指した身体運動には、明確な目的が存在します。ここでは、体育における主要目的を把握することで、「健康文化」「運動文化」の必要性を理解していただきます。第1章3節の項を参考に、健康文化の開発と運動文化の開発について、その概要を簡潔にまとめて論述してください。次に、テキストの健康文化と運動文化の関係の項をよく読み、「健康文化」と「運動文化」の要点を整理しながら、相互の関係性の内容をまとめた上で、あなたの日常生活上でみられる「人格形成的な価値開発」や「生活形成的な価値開発」を例にあげ、わかりやすく論述してください。

また、身体活動の方法のひとつとしてのスポーツも視野に入れながら、その効果と弊害について端的にまとめ、日常生活における、健康を目的とした体育やスポーツの必要性について論述してください。ここでは、娯楽としてのスポーツ、遊戯として発展したスポーツ等、体育のみならず、「スポーツの概念」を十分に理解することが学習のポイントとなります。テキストの第3章3節以降を参考にすると良いでしょう。

評価は、テキストの内容を適切に要約して理解することができるか、また社会生活における健康の重要性や身体活動の必要性を適切に整理・理解できたか、という点にポイントがおかれます。その点を考慮して簡潔にレポートを作成してください。

2単位め 解説

ここでは、健康とはなにか、といった、いわゆる「健康観」について考えることが、中心的な課題となり、また、実生活の生活環境や衛生についての理解を図ることを学習のねらいとしています。

まず、健康の定義として代表される世界保健機構（WHO）の定義をよく理解してください。その上で第6章にある保健と増健、栄養と食事についての項を参考にしながら、身近にある健康指導の例について、あなたの考えを取り入れながら論述してください。例えば、あなたの住んでいる県や市の広報に掲げられる健康増進活動や日常生活習慣病予防の内容を参考としたり、また実際に、地域の健康増進センターや保健所に出向いてレポートしてくるのもよいでしょう。また、インターネットなどの情報通信機器を有効利用することも手段のひとつです。要するに、どのような形で「健康観」が地域で実践され、啓蒙されているかを知ることが大切なことです。

次に、第6章3節以降を参考としながら、環境の衛生について、生活環境と生活環境因子を整理しながら簡潔にまとめてください。その上で、社会における公害の原因について項目別（公害別）にまとめ、環境衛生の重要性とつながるよう論述してください。本論で学んだことをもとに、ダイオキシン問題や地球温暖化現象問題など、身近に起こった社会問題を参考にすることもよいでしょう。ここでは、健康そのものに関係する社会的因子、環境因子を把握・理解することで、バランスのとれた社会生活・社会環境について考察することが学習のねらいとなります。

評価は、「健康観」に対して事例や社会的展開を取り入れながら、論を展開することができるか、そして生態系という大きな範疇から「健康」を捉え、自然的環境と人工的環境の調和を十分に考察できるかという点にポイントがおかれます。あなたの実生活や日常のできごとを十分観察し、社会的事象と本論で学んだことを関連づけながら、レポートを作成することをおすすめします。

教科書訂正箇所

「健康科学」の教科書131～132ページの「優生保護法」に関する記述については、下記のように訂正のうえ読み進めてください。

・131ページ

「優生保護法」は「母体保護法」に名称が変更されています。また、「母体保護法」第14条の条文も下記のように改正されています。

— 母体保護法 第14条 —

（医師の認定による人工妊娠中絶）

第14条 都道府県の区域を単位として設立された社団法人たる医師会の指定する医師（以下「指定医師」という。）は、次の各号の一に該当する者に対して、本人及び配偶

者の同意を得て、人工妊娠中絶を行うことができる。

- 一 妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれのあるもの
 - 二 暴行若しくは脅迫によって又は抵抗若しくは拒絶することができない間に姦淫されて妊娠したもの
- 2 前項の同意は、配偶者が知れないとき若しくはその意思を表示することができないとき又は妊娠後に配偶者がなくなったときには本人の同意だけで足りる。

なお、132ページに掲載の別表も、現在の「母体保護法」からは削除されています。

参考図書

- 浅田隆夫著『教養のスポーツ・健康科学』学術図書出版社、1987年
有賀徹著『健康科学（改訂第2版）』篠原出版新社、1995年
西山逸成・坂本静男 編『大学生のための健康科学』医歯薬出版、1997年
畠山トミ編『これからの健康科学』学術図書出版社、1998年
後閑容子・蝦名美智子著『健康科学概論第2版』廣川書店、2001年

人間と教育

科目コード●050017

担当教員●寺下 明



4 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

今日の教育をめぐる課題は、どれ一つをとってみても、わたしたちひとりひとりの生き方を問い、未来の社会を決定づける問題です。学ぶ、知る、考える、成長するとはどういうことなのか。その営為に教育はどうかかわっているのか。暴力やいじめ、非行はなぜなくならないのか。不登校や学校崩壊はなぜ起こるのか。グローバル化、IT化、知識基盤社会の到来は、教育のあり方やわたしたちの生活や成長にどのような影響を及ぼしているのか。教育の改革は、どのように行われようとしているのか。

教育を問うということは、何をどのように問うことなのでしょう。まず、教育は、歴史・社会・文化のすべての全体的な関連のなかで営まれる活動です。それゆえに、わたしたちは、教育あるいは人間とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。なぜ、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは何か、に答えなければなりません。その問いに対する解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるでしょう。

教科書（「教育原理」と同じ）

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房、2003年

レポート課題

1 単位め	人間は「教育的存在」であることを踏まえて、「教育」について定義しなさい。
2 単位め	子どもの発達における「素質と環境」の問題について、考えを述べなさい。
3 単位め	日本の子ども観と、子育ての日本の特質について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは説明型)
4 単位め	日本の近代公教育の特徴について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは説明型)

アドバイス

1単位め 解説

教育とは何かについて、カントの「人間は教育されねばならない唯一の被造物である」という言葉の意味を考慮して、まとめてください。テキスト1章を参考にしてください。

2単位め 解説

子どもの発達をめぐる問題は、諸科学の研究成果をもとにした人間としての「事実」に立脚することが重要です。そして、さらに重要なことは、人間は歴史的・社会的環境をもち、「意味」のある世界に生きているということです。したがって、発達をめぐる問題は、事実としての人間と、価値に関わる社会や文化の領域（広い意味での環境）を包含せざるを得ないのです。こうした視点から、子どもの発達の特徴を教育との関連で考察してください。テキスト2章を参考にしてください。

3単位め 解説

子どもをどう見るか、子どもはいかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に大人や人間とは何かを問い直してみましょう。さらに、子育てのあり方を欧米と比較しながら、日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにします。テキスト3章を参考にしてください。

4単位め 解説

日本の近代化は、黒船ショックによって路線が選択されました。「富国強兵」「殖産興業」を近代化の目標に掲げ、国家による強制教育の制度を確立し、短期間のうちに合理的かつ機能的に近代化に必要な知識技能を国民に身につけさせることでした。こうして中央集権的教育行政、画一的教育が行われることになりました。そのような背景を理解し、近代日本の公教育の特徴についてまとめてください。テキスト4章、5章を参考にしてください。

参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

観光と文化

科目コード●050018

担当教員●安藤直子



4 単位

R or SR

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

私たちは、観光にかかわるとき「どの国に行くか」「そこで何を見たいか」「何をしたいか」といったように、サービスを受ける側の立場で物事をとらえがちです。しかし、私たちが出掛けた先には、私たち観光客を迎えてくれる人たちがいます。もし皆さんが、観光客を迎える側の立場から、観光の舞台裏を覗いてみることでできたとしたら、そこでは思いがけないドラマが繰り広げられているかもしれません。

この授業では、観光の舞台裏も含めて、観光を立体的に眺めることに挑戦します。その際、「文化」の問題として観光をとらえ、観光客と観光客を迎える人々それぞれにとって「観光する」とか「観光に行く」ということが、どのような意味をもつのかを考えます。

教科書

山下晋司編『観光文化学』新曜社、2007年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『観光人類学』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	観光文化学とは何を研究しようとする分野なのか、また「文化」をキーワードに観光を研究することが必要な理由を論じてください。
2 単位め	観光リゾート開発の具体例をあげて、観光開発がその土地の文化に与える影響について論じてください。
3 単位め	観光地のイメージがどのように形成されてきたか、そのイメージが観光地で暮らす人々の生活や文化にどのような影響を与えたか、具体例をあげて論じてください。
4 単位め	観光と文化について自由に論じてください。その際、「文化の演出」「文化の消滅」「文化の創造」「文化の生成」といった言葉のうちいくつかを使用してください。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題でも2010年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

レポートには、テキストの内容をそのまま記述するのではなく、他の文献を使って調べたことや、あなたの身のまわりで起きた出来事からあなた自身が考えたこと、感じたことを含めて論じてください。本や新聞に書かれていることがすべて正解とは限りません。それらは、あくまでも1つの見方に過ぎないということを心に留めて、自分自身の考えを論じてください。

1単位め 解説

観光を研究対象とする学問領域はたくさんあります。その中で、観光文化学にはどのような特徴があり、何を研究しようとする分野なのか、「文化」という切り口で観光を分析することがなぜ重要なのかを論じてください。テキストの1章、2章、3章などを読み、その上であなた自身の考えも含めてまとめてください。

2単位め 解説

国内あるいは海外のリゾート地を眺めてみると、リゾートを建設し運営するプロセスには、多くの人たちが携わっていることがわかります。観光客にとってリゾートは非日常的な空間ですが、地元の人々にとっては日常生活の場であり、(1) 観光客、(2) 地元住民、(3) 資本を投資し、リゾート開発をする人たちの間には、様々な「文化」の問題が生じています。

テキストの6章、7章、17章、みどころ9などを参考にしながら、前述の3つの立場の人々の間で、どのような問題が生じているのか、具体的な事例をあげながら論じてください。

3単位め 解説

私たちはパンフレットやガイドブックを参考に旅行先を選びます。そのため、観光をビジネスとして成立させる際には、観光地のイメージを生産する戦略が重要になってきます。

テキスト4章、みどころ1、5章、みどころ2、みどころ3、観光文化学演習ii、11章などを参考にしながら、観光地のイメージがどのように生産され、そのイメージが観光地で暮らす人々にどのような影響を与えたか、教科書で取り上げた地域以外の、具体例をあげながら論じてください。

4単位め
解説

私たちは、観光地には、パンフレットで見たままの生活があり、観光地ではありのままの景色を眺めているように思っています。しかし、実際はそうではありません。

テキスト7章、8章、9章、11章などを参考にしながら、あなたは、観光開発がその土地の「文化」や「伝統」を破壊するととらえるのか、あるいは、観光は「文化」を洗練させ新しい「文化」を生成させるととらえるのか、観光と文化をめぐるあなた自身の意見を論じてください。

参考図書

テキストの各章に提示されている文献を参考にしてください。

科学的な見方・考え方

科目コード●050020

担当教員●大内真弓



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

科目の内容

現代の生活において、メディアでは数多くの情報が瞬時に飛び交い、欲すれば余りあるほどの情報が容易に手にできるようになりました。しかし、自分では十分に理解していると感じている情報をいざ誰かに説明しようとしてみると、意外とうやむやな理解であったり、矛盾を指摘されて誤解に気付いたりすることもあるようです。さらに学習のために調査し多くの事例や資料をまとめていく作業においても、先に結論ありきなのか論理の飛躍や矛盾に気付かないままに進めてしまうケースが見受けられ、指摘されると気付く場合も多いようです。特に通信教育のように「書いたもの」のやりとりがメインである場合には、「そういうことが言いたかった（書きたかった）」、「そういう意味も含めて書いた」と思って書いていても、実際に文字になって表れていなければ読み手側には全く伝わりません。またどんなに素晴らしい意見やもっともらしい結論であっても、そこに至る道筋（説明）が納得のできる展開になっていなければ、単なるアイデアやひらめきと言われても仕方のないことです。

池内了は『科学の考え方・学び方』の中で、いわゆる理系分野である自然科学では科学の構造を「自然現象」—「物質の運動」—「法則」というつながりと考えることができる、と説明しています。さらに、深く考察すれば人間や社会の動きにも一定の法則性が認められ、どのような原理のもとに、どのような行動（運動）をとったか、それはどのような結果（現象）になったかというつながりの中で理解できる、と続けています。ここにも「現象」—「運動」—「原理」という構造があるというわけです。大学では後者を人文科学と呼んでいます。他にも、社会を人間と対比した形とみなしてひとつの研究対象とする社会科学や、人間研究のうち特に人間行動にかかわる分野を行動科学とする分類などがあります。つまり学問として考えるということは、科学的に考えることを意味します。その考える過程では、突如としてアイデアやひらめきが生まれ、時には飛躍があったり堂々巡りがあったりするかもしれません。しかし科学的に考えたことを示すということは、結論までの道筋（説明）で生じている隙間を丹念に補い、誰にでも納得できるように簡潔な表現で全体を再構成することで、論理的に説明できることが要求されます。論理的に説明

するひとつの方法として、資料（図または表、写真など）の利用があげられます。文章だけで進めるよりも、資料を提示しその分析結果を述べることで、わかりやすくより説得力が増す内容に上げることが出来ます。本科目では自身の考えを論理的に組み立て、資料を利用して表現する力を養う一助となることを目指します。

教科書

野矢茂樹著『新版 論理トレーニング』産業図書、2006年

レポート課題

1 単位め	<p>(1) テキスト68ページの練習問題4の問2について、解答例以外の解答をできるだけ多くあげなさい。</p> <p>(2) 同上の問題文を読み、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ自分自身の考察を述べなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)</p>
2 単位め	<p>(1) テキスト159ページの練習問題10の問5において、(例1)～(例4)からひとつの論題を選び、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ解答しなさい。</p> <p>(2) 自分で論題を設定し、上記(1)に準じて解答しなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)</p>
3 単位め	<p>テキスト167ページの課題1について、テキストを参考にして論じなさい。その際、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。</p>
4 単位め	<p>環境問題に関するテーマを設定し、自分自身の考察を十分に入れて論じなさい。その際、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。</p>

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

アドバイス

1～4単位めまでの課題は、その流れに沿って学習を進めることで徐々に理解が深まり、次第に力がついていくものと思われますので、数字の順に従って課題に挑戦することをお勧めします。

1単位め
解説

課題(1)については、第4章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずですが、丁寧に読み進めて理解を深め、できるだけ多くの解答をあげてください。

課題(2)は、課題(1)と同じ問題文を読んで、賛成でも反対でもどちらでもかまわないので、自分自身の考えを述べることを求めています。ただし科学的に考えることを要求している科目であるため、主観的な意見では納得できません。資料を用いることを要求していますので、インターネットや新聞、書籍などを検索して、論理を進めるために適した資料を見つけ出してください。適切な資料を見つけたら、コピーまたは印刷などをして保存しておきます。その資料を丹念に分析し、レポート中でその分析結果を述べているページに、上端部分のみ貼付し提示してください。レポート中では出典を明らかにして「図(表)に示すように～」「～の結果を図(表)に示す。」というように提示し、その資料が何を示しているのか、どのように解釈できるのか、この論理にどうかかわるのか、などを詳細に述べてください。その資料の信憑性が低ければ、論理を補強するものになり得ませんから、論理に説得性を持たせるためには、可能な限り公的な資料であることが望ましく、資料の選択は大変重要となります。このような論理展開からこの結論が導かれるのであるなら、読み手が賛成派であっても反対派であっても十分に納得できるというレポートを書いてください。

課題(1)と課題(2)の字数配分については、恐らく課題(2)の方が圧倒的に多くなると予想できますが、それぞれに特に制限は設けませんので、記述可能なスペースを存分に利用してください。

なお、数字の表記方法は、2桁以上の場合原稿用紙1マスに2つずつとします。この基本はすべての課題に共通です。

2単位め
解説

課題(1)については、第10章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずですが、4つの例から1つを選び解答してください。論理を展開する上で、1単位めと同様に資料を用いることを要求しています。1単位めの解説を参考にして同様に取り組んでください。

課題(2)は、課題(1)と同様に進めますが、自分で論題を設定してください。同じく資料を用いることを要求していますが、論題に合わせた資料を探すのが難しいと感じた場合は、利用しやすい資料を先に探してから論題を設定するという方法でもかまいません。

3単位め
解説

いよいよテキストも終盤です。第11章の流れに沿って考え、2,000字のレポートを仕上げてください。結論は賛成論でも反対論でもどちらでもかまいません。自身の考察と適切な資料を用いて自由に論じてください。ただし、長くなると

文章を組み立てる基本が曖昧になってしまうことがあるため、十分に推敲し矛盾のないように述べてください。

4単位め
解説

本科目の総括として、「環境問題」と言われるなかから自由にテーマを選び論題を設定し、資料を用いてかつ十分な考察を交えて論じてください。「環境問題」にかかわる内容であれば問題となっている地域や社会における注目度などは問いませんが、テーマの選択は大変重要です。最も関心のあるテーマであれば、好奇心が掻き立てられるため比較的スムーズに進められると思います。ただ、資料が少ないテーマを選択した場合は、論理を展開する上で十分な裏付けができなくなり、主観に偏った流れになる恐れがあります。そういう意味では、関心の度合いのみで選択するのではなく、まずは数多くの資料に当たってみて、そのなかから興味の得られるものを選択する方法が望ましいかもしれません。資料は納得できる論理を展開する上での重要な武器ですので、慎重に選択してください。以下に環境問題と関係する Web ページアドレスをいくつかあげますので、参考にしてみてください。

環境省 <http://www.env.go.jp/>

環境 goo <http://eco.goo.ne.jp/>

PET ボトルリサイクル推進協議会 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/top.html>

アルミ缶リサイクル協会 <http://www.alumi-can.or.jp/>

スチール缶リサイクル協会 <http://www.steelcan.jp/top.html>

財団法人古紙再生保健センター <http://www.prpc.or.jp/>

ガラスびんリサイクル関連リンク集

<http://www.glass-recycle-as.gr.jp/link/index.html>

チームマイナス6% <http://www.team-6.jp/>

全国地球温暖化防止活動推進センター <http://www.jccca.org/>

エコライフハンドブック2008 (内閣府)

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/sho-ene/handbook2008/index.html>

福祉と環境には接点が見出せないと思われるかもしれませんが、生活環境の実情を知り改善していくことは、より良い生き方をするために、そしてより健康に生活するために必須であると考えています。地球規模的な問題も取り上げられていますが、ぜひ他人ごとと片付けずにそれぞれの目線で考えた問題として捉え論じてください。

参考図書として以下に3冊をあげます。1冊目は、主に科学的な考え方をするということはどういうことかを、若い世代へのメッセージとしてまとめているため、大変平易に述べられており読みやすいものです。ただし、具体的な例として述べられているのは、自然科学の分野についてです。2冊目は科学雑誌に連載されたエッセーをまとめたもので、さ

まざまな視点から考えている姿勢が楽しさを増します。3冊目は2冊目の著者の専門分野である動物行動学を切り口として、生物の持つ不思議な特長について読み解くことを試んでいます。著者は「生物がつまらない暗記科目などではないことを知って欲しい」ために書いているので、論理的思考を学ぶためだけでなく、生き物についての読み物として大変面白いと思います。ただ、いずれの参考図書を手にしたとしても、自身が丹念に考え考察し、導き出した論理を組み立てるトレーニング抜きには目標は達成できません。そういう意味での参考図書であることをご理解ください。

参考図書

- 池内了著『科学の考え方・学び方』岩波ジュニア新書、1996年
長谷川眞理子著『科学の目 科学のこころ』岩波新書、1999年
長谷川眞理子著『生き物をめぐる4つの「なぜ」』集英社新書、2002年

福祉と生活

科目コード●050021

担当教員●八巻幹夫



2 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

人間の暮らし（生活）は「生きていくこと」の困難さを克服しながら生命を維持してきたと言えます。明治期以前の暮らしは共同体社会に支えられたものでしたが、明治期以降の近代では個人は身分制度や共同体社会から解放されました。それに伴い、個人は暮らしと一体の労働を切り離され、労働を前提とした生活に組み入れられるという辛い側面を負うようになりました。これは「個人の自由と自立」のひきかえに生活の「自己責任（自分を助けるのも自分）」を得たとも言えます。しかしながら、自己責任を誰にも当てはめることには無理があり、それに対応するものとして社会福祉を必要としました。

近年、社会福祉の諸課題を語る時、ノーマライゼーションと共に「福祉」や「Quality of Life（生活の質）」または「well-being（よりよく生きる）」という言葉が多く用いられています。これは、経済的貧困や障害を持つ人々という社会福祉の対象が、個人または家族の生活課題に変化していることを意味します。そして、私たちの生活は福祉サービスなしでは成立しないほどにもなっています。例えば、全国の各自治体の部局名称に生活福祉（部）や福祉生活（部）を採用することが多くなったのも、行政サービスに期待する市民の要請に応じた現象ともいえるでしょう。

生活とは生存のための消費と生産の絶え間ない活動を指しますが、この科目では、昭和20年以降のわが国の生活（暮らし）のありようとその変化から、現代生活のしくみと福祉が生活にどのように関与しているかを学んでほしいと思います。

教科書

松村祥子著『現代生活論 ― 新しい生活スタイルと生活支援』放送大学教育振興会、2000年

レポート課題

1 単位め

わが国の少子高齢化現象を説明し、あなたの住む市町村とわが国の高齢化の特色をあげなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

家事労働はなぜ減少しているのか。あなた自身の生活とのなかから、その原因と個人や家族の生活への影響について述べなさい。

アドバイス

レポートの基本的な書き方を『学習の手引き』6章などをよく読んで理解し守ったうえで提出してください。引用注釈の明記もなく、テキストや文献を書き写したレポートをししばしば見受けますが、レポートは「作成者の論旨と他の文献や情報の考察」を文章化する作業だと思えます。共通基礎科目のレポートですので、論旨と同等に文章作成の点についても添削を行うようにします。

1単位め
解説

平成17年12月、わが国の人口減少が、予測より2年早く報じられました。東北地方での高齢化率も深刻な事態になりつつあります。少子化率や高齢化率は各市町村や県のHPに公表されていますので、それらを参考にしてください。

2単位め
解説

すでに単身生活者に見られる現象であるが、コンビニや調理器具の発達は、まな板や包丁を一部の家庭から駆逐するかもしれません。衣食住に豊かで便利な生活環境は、反面、不便さや困難さも引き起こすという視点で課題を考えてみてください。

参考図書

- 1) 一番ヶ瀬康子・尾崎新編著『講座生活学7 生活福祉論』光生館、1994年
- 2) 生活科学研究会編『生活科学ハンドブック』ブレーン出版、2003年
- 3) 定藤丈弘・佐藤久夫・北野誠一編『現代の障害者福祉 [改訂版]』有斐閣、2003年
- 4) 飯田哲也著『現代日本生活論』学文社、1999年
- 5) 杉座秀親著『現代の生活と社会学』学文社、2000年

共通基礎科目 新規履修登録受付停止中の科目

科目コード	科目名	平成22年度の状況	参照レポート 課題集
050004	人間と宗教	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050006	現代社会を見る眼	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050008	文学入門	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050010	数の世界	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2004年度版
050012	基礎英作文	新規履修登録受付停止。レポート受付も締め切っています。	—
050013	情報英語	新規履修登録受付停止。レポート受付も締め切っています。	—
050019	子どもと社会	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版

● 社会福祉学科関連専門科目 ●

「050076 就労支援サービス論」(S科目)は『レポート課題集(3・4年次)』に掲載されていますが、旧カリキュラム受講者も履修可能です。

また、社会福祉士国家試験受験予定者は「福祉計画法」「福祉施設管理論」も受講することをおすすめします。

福祉社会学

科目コード●050101

担当教員●赤塚俊治(写真)
佐々木剛生



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
必修/選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~20年度
入学者

21年度以降
入学者

科目の内容

複雑化した社会構造のなかで暮らす国民の生活福祉問題を分析すると、戦後のわが国における社会構造は大きく変化し、それともなって数多くの社会生活のひずみ現象（社会的犯罪、麻薬、アルコール疾患、子供の自殺・老人の自殺、家庭崩壊、援助交際など）が産出され、国民を取り巻く生活環境は、決して満足な「人間の営み」の状態にはなっていません。とくに、超高齢・少子化、高度情報化、国際化が進捗して、家族関係や地域社会における生活環境が一層複雑な様相を呈するものと予想されるだけに、今後の社会保障政策や社会福祉政策にも大きく影響を与えるだろうと思われます。それゆえに現代社会が生み出す社会現象をより包括的にとらえながら、「発展社会から成熟社会への変換」を目指した福祉社会を構築していくことが重要かと思われます。

本講義では、こうした国民の生活周期に生起する新たな諸問題に対応すべき社会福祉の援助過程に関わる社会的行為や社会政策などを社会学的な視点から現状分析することによって、今日の生活問題を規定している諸要因やそれらの相互連関を体系的に究明しながら、今後の社会福祉の役割と機能について検証する内容にしたいと考えています。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム(第2版)』中央法規出版、2010年(第2版でなくても可)
(平成20年度以前履修登録者)2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『新版 社会福祉士養成講座11 社会学(第2版)』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	私たちは社会的存在として集団に所属しながら日常生活を営んでいる。その所属している基礎集団・機能集団について述べ、現代社会の集団に関する特徴を考察しなさい。
2 単位め	私たちは日常生活において、特別の注意を払わずに家族、家庭、世帯、イエといった言葉を使っている。これらの用語を厳密に規定することは難しいが、時代の変遷とともに変化してきた「家族形態」と「家族機能の変容」について考察しなさい。
3 単位め	現代社会は人々の生活の「望ましさ」、個々人の「満足感」、生活の「快適性」が重視される社会生活が求められている。そこで改めて「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	「社会福祉とは何か」を簡潔に論述した上で、国民の生活周期に生起する新たな社会病理現象（社会的ひずみ現象）に対して、今後の社会福祉の役割と機能について考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

福祉社会学は、社会現象としての「社会福祉」を全体社会との関連のなかで、社会学的研究方法（社会学的接近）によって体系的に分析しながら、「人間の営み」に関わる社会的行為や生活福祉問題を派生させる諸要因の相互連関を理論的に明らかにすることにあります。とくに、その国の社会と文化によって規定されている社会福祉の構成要素である(1)社会福祉の目的（価値）、(2)社会福祉の対象（要援護者）、(3)社会福祉の主体（援助者）、(4)社会福祉の方法（専門的技術）をふまえながら、学習することが重要です。また、福祉社会学は、人間の社会生活全体に関わることだけに「社会」「文化」「集団」「個人」といったそれぞれのレベルがつねに関連性をもちながら相互作用していることを考えて学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- ・福祉社会学は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、何を取り上げるかというより、どのように取り上げるかが重要です。その際、「事実・現実はいかにあるか」「いかにあるべきか・いかになすべきか」「それらはどこから」「どこにいこうとしているのか」を考察しながらレポー

トを作成してください。

- ・現代社会において社会福祉がどのような役割と機能をもっているかを家族、地域、職場などの現状を考察しながらレポート課題に取り組んでください。その際、公害、人間疎外など社会生活のひずみ現象を生み出した社会構造を考えることも大切です。
- ・レポートの作成は、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、レポート課題に関連した生活上でのさまざまな問題点を取り上げながらレポートを作成することが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったとしても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われているものならば、評価もそれだけ高くなります。

1単位め 解説

テキストをよく読み、社会福祉の領域のなかで社会学が深い関わりがあることを理解し、その上で「社会的存在」として集団に所属しながら日常生活を営んでいる人間社会について理解しながらレポート課題に取り組んでください。基礎集団の例として、血縁に基づいたものに家族、氏族、部族、民族などが考えられ、地縁を契機として成り立つものに村落、都市などが考えられます。基礎集団といわれるものは、人間生活の基礎的な母体になっているからに他なりません。それは結合の性格からみれば、心のよりどころともなるパーソナルな感情的融合性を有しながら、運命的または半運命的な共同生活をしています。基礎集団と対比して考えられる機能集団は、合理的な組織性を有しており、特定の目的のために利害をともなった、いわば人為的・目的的、計画的に作られた集団です。例えば、会社・組合・政党・国家などが機能集団といわれています。こうした集団が時代の変化とともに日常生活を送る現代社会においても変化してきています。歴史的にどのように変化してきたのかを代表的な社会学者であるクーリーやテンニースなどの人物の理論も取り入れながら考察して、簡潔に述べてください。

2単位め 解説

テキストをよく読んで「家族」について考えてください。とくに、自分自身の家族をふまえながら「家族とは何か」を考えてください。「家族」に関する厳密な用語の規定をすることはきわめて難しいですが、ここでは一応、次のように解しておきましょう。家族とは、夫婦関係を基礎として、親子、兄弟などの近親者とその主要な構成員で、相互に愛情やわれわれ感情によって強く結ばれ、共同の生活を営んでいる第一次的福祉追求の集団です。また、これらの家族としての集団的本質は等質であっても、その構成、形態、機能などは決して一様ではありません。さらに、親子関係も単なる血縁関係のみの関係ではなく、親子としての社会的承認に基づいた関係でもあります。

日本の家族はその時代、地域によって独自の性格をみせていますが、日本の家族を語る

とき、その基本的性格の典型としてとらえられるものが近代まで支配してきたイ工制度です。家長のもとに家系、家名、家産の継承、すなわち、家業や家督を受け継ぎ、祖先を祭り、家族が世代をこえて存続繁栄することを重視する制度です。しかし、最近の日本の家族に対する意識も変化し、時代の変遷とともに「家族の形態」や「家族の機能」の変容、さらには家族意識の変化がみられます。

本課題は、こうした視点をふまえながら、「家族とは何か」、「制度としての家族」、「集団としての家族」、「家族の機能」といった特徴を自分で理解しながら、自分で考察し現代日本の家族について簡潔に述べてください。

3単位め 解説

テキストをよく読んで現代社会がどのように変化してきたかを、人口、産業・職業、階級・階層などの諸要素を考えながら、本課題である「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察してください。とくに、この課題では、次の視点をふまえながらレポートを作成してください。

- (1) 1960年代からの高度経済成長にともなって、産業・職業構造の高度化、ホワイトカラーの増加、所得水準の上昇、生活水準の平準化がみられ、国民生活意識のなかには自己の所属している階級を中流階級とみなし、それが「一億総中流意識」として確立されたこと。
- (2) その一方では、「働き蜂」「エコノミックアニマル」「カローシ」という造語が生まれ、生活意識にも陰りがみえてきました。また、社会も産業社会から「脱」産業社会への転換という社会変化がみられたこと。
- (3) その根本的な社会変化が市場的、経済的豊かさだけでなく、生活次元の豊かさが重要な要素として、「モノ」から「こころ」へ、経済から文化へ、成長から成熟へ、産業主導から生活主導へと傾向が強まったこと。
- (4) その社会的背景には、国民総生産の増大は、必ずしも人々の暮らしや福祉および真の「豊かさ」に貢献したとは限らないことを国民は意識し始め、あらためて、人間性の疎外と対比するかたちで「生活の質」が問われていること。

要するにこの課題は、社会福祉を学ぶにあって、最も根本的な課題でもあり、社会福祉の援助過程を考えるにあたってとても大切な課題といえるでしょう。いずれにしても自分自身の身近な生活や暮らしを見詰めなおすことによって、レポートを作成してください。

4単位め 解説

テキストをよく読んで、本課題に取り組んでください。この課題は、これまで学んできた福祉社会学をまとめる意味合いも込められている課題です。とくに、わが国における社会福祉の現状をよく考えながら、社会福祉の諸問題

に対する社会学的アプローチについて整理するとともに、今後の社会福祉の役割と機能について論述してください。

社会福祉の意味には、狭義的な視点からの社会福祉と広義的な視点からの社会福祉のとらえ方によって、さまざまな意味があります。戦後の社会福祉の歴史は、国民の生活の変化にともなって、「福祉模索期」、「福祉発展期」、「福祉見直し期」、「福祉転換期」を経て、新たな社会福祉を構築しようとしています。特に、近年では社会福祉基礎構造改革によって、従来の社会福祉制度が見直され、新しい福祉社会のパラダイムが構築されようとしています。これらの社会福祉の動向は、国民の日常生活や社会生活に生起する社会問題に対応するために展開されてきた社会福祉の歴史ともいえます。しかし、本課題では、単に社会福祉の歴史の変遷を論じるだけではなく、社会を構成する個人や集団といったさまざまな構成要素をふまえながら、レポートを作成することが大切です。

テキストにも記述されているように、「社会福祉は、さまざまな生活場面における諸問題に直面する人々を対象としてその解決のために、人権の尊重と生活の質を高めるように制度的・社会的資源を動員する。社会学の社会福祉に対する関係は、社会福祉の諸問題を制度や組織の次元だけではなく社会を成立させる個人の行動や規範を分析することで、福祉問題の総合的な解決視点を提供する。」と述べられています。まさに本課題は、社会学的な視点から社会現象として社会福祉をいかに理解し、生活問題を規定している諸要因やそれらを相互連関について考えながら、今後の社会福祉の役割と機能について論じることが重要となります。

受講生の皆さんは、テキストを読んで十分に理解を深めるとともに、自分なりの社会福祉観について考えて、レポートを作成してください。

参考図書

- 笹谷春美・吉崎用祥司・藤井史朗・小内透編著『変動期の社会学』中央法規出版、1992年
武川正吾著『福祉社会』有斐閣、2001年
佐藤慶幸著『現代社会学講義』有斐閣、1999年
京極高宣著『現代福祉学の構図』中央法規出版、1990年
山中速人編著『ビデオで社会学しませんか』有斐閣、1993年

福祉法学 ~20◆

科目コード ● 0 5 0 1 0 2

担当教員 ● 志田民吉 (左)
菅原好秀 (右)



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上



※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「福祉法学（2単位）」は p.162をご覧ください。

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（権利擁護制度、成年後見制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。

教科書

志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年（（第3版）でなくても可）

社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より教科書が一部変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリング受講も可能です。

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本原理について述べなさい。
2 単位め	地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。
3 単位め	不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	行政救済について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。テキスト『法学』の第1章、第2章を熟読し、まとめてください。

2単位め 解説

憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

3単位め 解説

不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

4単位め 解説

主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 権利擁護と成年後見制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年

この科目のスクーリングは新カリキュラム「福祉法学」(6コマ)「更生保護制度論」(8コマ)との合併授業のため、21年度より14コマとなります。スクーリング試験は6コマめと14コマめに2回行われる予定です。

福祉心理学

科目コード●050103

担当教員●渡部純夫



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
必修/選択

社会教育
選択B

福祉心理
必修

~20年度以前
入学者

21年度以降
入学者

科目の内容

現代の日本社会は、まさに「ストレス社会」であるといえます。そのストレス社会を生き延びるのはそう簡単なことではありません。現に複雑・多様化する日本社会にあって、「心」の悩みを抱えている人が急速に増加してきていることがよい例でしょう。

福祉心理学は、社会的に弱い立場にいる人々の心の問題を受容し、理解しながらどのような関わりができるかを探る、「福祉」と「心理」の融合を目指した新しい学問です。実際的には、福祉の世界に「心理学」の知見を活用し、人々の「生活の質」(QOL) を向上させ、幸せの追求を援助するための方法について学んでいきます。

教科書

小松紘・木村進編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版、2009年(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書 今城周造編著『福祉の時代の心理学』(ぎょうせい) などにもとづいて、下記の課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	福祉心理学の枠組みのひとつである人間理解が、「心理学的視点」からはどのように行われるかについてまとめ、考察しなさい。
2 単位め	人間が生きていく過程において直面すると思われる問題を、「教育領域」「福祉領域」「医療領域」「司法領域」「障がい領域」「思春期領域」「老年期領域」から、自分の関心にそってひとつ選択し、どのように福祉心理学を実践にいかし、支援等に役立てることができるかについて考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より、2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できます。

アドバイス

「福祉心理学」では、深い人間理解が必要になります。人間は発達を通していろいろなものを身に付け、自己形成の課題に取り組んでいきます。課題に直面し不適応を起こすこともあります。そのような人々に対して援助を行うにあたっては、一般的な発達においての特徴と課題をしっかりと押さえておくことが必要になります。しかし、人間には個性や個人差があります。個としての見方やとらえ方も同時に必要になります。

この「福祉心理学」では、まず心理学の視点から人間理解を深めていくことを行います。その上で、何らかの援助を必要としている人に対して、どのような援助方法があるのか、ひとりひとりのニーズにどのように応えていけばよいかについて、理念と実践から考えていくことにしたいと思います。

「福祉心理学」を考えると、「社会福祉」と「心理学」の二面性の問題と向き合うことになりますが、ここでは「心理学」を「福祉」にどう活用するかという観点から考えていただきたいと思います。

1 単位め 解説

- (1) テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第1部「心理学の歴史から未来を考える」から第3部「心の成り立ちと個性の形成を考える」までをよく読み、人間の心理的活動がどうなっているかを理解するための努力をしてください。
- (2) 次に、参考図書にあたり人間理解のための方法や視点の共通点と違いについてまとめ、考えを膨らませてください。あなた自身が今まで行ってきた理解の仕方についてもふりかえりを行ってください。
- (3) それらを、分析・考察しながら自分なりにまとめていくことにより、深い人間理解にもとづいたレポートができあがると思います。
- (4) 人間のすべての行動面に「心理学」は関わりをもちますから、日々の生活の中で気になる人間の行動をとりあげ、「心理学」とつないで学んでみるとよいと思います。

2 単位め 解説

- (1) テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第4部「ともに生きるための心理学の役割」と第5部「『人生』を生きていくということ」をよく読んで、自分が問題意識を感じたり、興味・関心を引く領域がどれかを見つけてください。
- (2) 次に、その領域に関する情報を文献等で集めてください。施設見学やボランティア活動などで、現場に触れてみる機会があれば体験や経験を通して考えることができよいと思います。どうしてもそれが無理であれば、テレビや映画、小説など参考になるもの

を見つけるようにしてみてください。その時感じた気持ちを大事にしながら、その事例をもとに分析するとよいと思います。

- (3) 1単位めで考えた人間理解を基に、実践の場で何ができるか・どのようなアプローチが考えられるかを検討しまとめてください。福祉心理学の可能性と限界を実践に照らしながら理解できるレポートに仕上げてください。
- (4) 実践の場でどんな関わりをしていけばよいかという視点でまとめるとよいと思います。

参考図書

- 今城周造編著 『福祉の時代の心理学』 ぎょうせい、2004年
- 岡田明著 『福祉心理学入門』 学芸図書、1995年
- 水島恵一編著 『人間科学入門』 有斐閣双書、1976年
- 村上陽一郎著 『生と死への眼差し』 青土社、1993年
- 藤森和美編 『子どものトラウマと心のケア』 誠信書房、1999年
- 岩城宏之著 『いじめの風景』 朝日新聞社、1996年
- 村瀬嘉代子著 『子どもと大人の心の掛け橋』 金剛出版、1995年
- 佐藤泰正・山根律子編著 『福祉心理学』 学芸図書、1998年（改訂版、2005年）
- 宮原和子・宮原英種著 『福祉心理学を愉しむ』 ナカニシヤ出版、2001年（第2版、2006年）
- 白樫三四郎編著 『現代心理学への招待』 ミネルヴァ書房、1995年
- 小林重雄監修 『福祉臨床心理学』 コレール社、2002年
- 安藤治著 『福祉心理学のこころみ』 ミネルヴァ書房、2003年

社会福祉原論 (職業指導を含む)

科目コード●050104

担当教員●田中治和(左)
齋藤征人(右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の学修と、社会福祉観の変遷についての理解を目的とします。“社会福祉”という言葉は広く使われるため、その実態の学問的把握は曖昧になりやすく、ともすると主観的な幸福論や通俗的な人生論に終始しやすいとされます。しかし、多種多様な社会福祉事象および具体的な社会福祉実践の本質は、まぎれもなく他者の人生へのかかわりであり、理念的には人類史上の文化的創造の営為の一つとも解せず。したがって、「社会福祉原論」では社会福祉に関する専門用語・知識の確認に留まらず、常に「社会福祉とは何か」「社会福祉をいかに捉えていくのか」等を思考しながら学修することを望みます。大切なことは、自らの社会福祉観の涵養かんようにあるといえます。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座4 現代社会と福祉』中央法規出版、2009年（または同書第2版、2010年）
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『新版 社会福祉士養成講座1 社会福祉原論(第4版)』にもとづいて課題を提出することは可能ですが、アドバイスは旧教科書には当てはまりません。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき1,800字以上でまとめるようにしてください。

1 単位め

日本の近代国家形成期から高度経済成長期までの社会福祉の歴史を概説してください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

日本の第一次石油危機から現在までの社会福祉の歴史を概説してください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

3 単位め	社会福祉の概念（定義）を他の生活保障方策（社会保障・“社会政策”）の関連から説明してください。
4 単位め	自らの“社会福祉”観をまとめてください。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1～3単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できます。

アドバイス

「社会福祉原論」は、長年にわたり社会福祉学の教育研究における不可欠な基礎科目です。しかし、「社会福祉および介護福祉士法」の施行に伴い、大学教育の観点からの「社会福祉原論」の講義は困難になっていると思われます。むしろ社会福祉士等の資格取得を目指し、国家試験受験科目の一つとして履修されている方も多いと推察しております。

担当教員としては、「社会福祉原論」が、大学教育として、また国家試験受験科目〈現代社会と福祉＝本学対応科目：社会福祉原論〉としても、双方に配慮したレポート学習およびスクーリングの授業内容としたいと考えております（そのため「社会福祉原論」を履修する方は、できましたらスクーリングも、是非受講していただききたいと存じます）。

以上の点を勘案し、以下のレポート課題を設定しました。

1 単位めと2 単位めは、社会福祉の歴史についての課題です。社会福祉にかかわる歴史的事象の《全般的な把握と肝要な細部》を目的としております。3 単位めは、社会福祉の概念の整理を目的としております。1～3 単位めのレポート学習を通して、学習者に社会福祉に対する一定の心象（イメージ）が形成されればと思います。教科書を十分活用してまとめてください。

4 単位めは、各自の社会福祉観の吟味を目的とします。「自分は、社会福祉をどう捉えているのか…？」です。

では、より具体的に教科書の参考頁を記載しながら、作成の要点をまとめておきます。レポート作成においては、1～3 単位めまでは教科書のみで対応できます。

1 単位め 解説

教科書「第4章 福祉政策の発展過程」の pp.70～90（22年度以降履修登録者の第2版では第5章 pp.98～117）を要約してください。明治期から高度経済成長期までの社会福祉史の理解を目的とします。

2単位め 解説

教科書「第5章 少子高齢化時代の福祉政策」の pp.92～117 (22年度以降履修登録者の第2版では第6章 pp.120～145) を要約してください。いわゆる福祉元年から現在までの社会福祉の変貌の理解を目的とします。

3単位め 解説

「第1章 現代の福祉と福祉政策」の pp.2～7と「第9章 福祉政策と社会福祉制度」の pp.190～195を要約してください (22年度以降履修登録者の第2版では「第2章 福祉と福祉政策」の pp.30～48)。社会福祉の概念を社会保障 (教科書では、“社会政策”) との関連からの理解と、社会福祉の固有性の理解を目的とします。

4単位め 解説

自らの社会福祉観、つまり社会福祉をどう捉えるのか、考えるのかを、まとめてください。今後の社会福祉実践および社会福祉学の学修のための基盤づくりを目的とします。

教科書を用いるよりも、これまでのご自分の人生を通して学んだあらゆる (体験・読書等の) 見識を吟味しながら、ご自分の言葉でまとめてください (なお、事例等を記述する場合はできるだけ短く、また個人情報保護を十二分に留意してください)。

なお、お手数ですが必ずレポートの文末に参考文献として教科書の初版あるいは第2版を明記してください (20年度以前の履修登録者で、以前の教科書を使用の方は“旧教科書”と明記してください。なお、評価において履修年度ならびに教科書の違いによる区別は一切ありません)。

参考図書

- 1) 『社会福祉学双書』編集委員会編『社会福祉学双書第1巻 社会福祉概論Ⅰ ― 現代社会と福祉』全国社会福祉協議会、2009年
- 2) 厚生統計協会編『厚生の指標・臨時増刊 国民の福祉の動向』各年度版

その他、より詳細な参考図書は、スクーリング時に適宜紹介します。

地域福祉論

科目コード●050105

担当教員●都築光一(左)
柴田邦昭(右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

わが国の社会福祉は、大きな転換期にあります。特に、社会福祉基礎構造改革をはじめ、地方分権の推進や規制緩和による福祉サービス供給体制多元化などの状況の中で、地域福祉の推進のあり方が問われてきています。

21世紀の社会福祉は「地域福祉」にあるといわれており、これからの社会福祉の目標や方法は、新たな視点を十分意識し、地域社会を基盤に考えていかなければなりません。理論および社会的な背景や歴史的考察、また海外比較などを通してできるだけ多角的に地域福祉を理解するとともに、あわせて各地で展開されている地域福祉実践からも学びを深めていく必要があります。その上で、いま地域福祉の何が問題になっているのかを考察しながら、地域住民や最前線で活躍しているソーシャルワーカーをはじめとする実践者の取り組みなどを通じて具体的に学んでいきます。

この科目では『地域福祉の理論と方法』というテキストを使用します。テキストでは、地域福祉の基本的な考え方、理論、地域福祉の推進を図る実践方法についての理解などの内容となっております。地域社会とそこで生活する地域住民の理解には、幅広い知識も必要です。社会福祉士受験科目の他の指定科目と併せ学習してください。資格取得を目指す人はもとより、そうでない人も社会福祉に関する基本的な知識に関する科目として貪欲に学んでいただきたいと思います。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座9 地域福祉の理論と方法 (第2版)』中央法規出版、2010年(第2版でなくても可)
(平成20年度以前履修登録者)2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	地域福祉推進の法的根拠と福祉コミュニティについて述べよ。
2 単位め	地域福祉の発展過程と現代における地域福祉実践の圏域の考え方について述べよ。
3 単位め	地域福祉実践における福祉ニーズに基づいた社会資源活用法・調整・開発について述べよ。
4 単位め	【説明型レポート】 下記について各500字程度で説明しなさい。 ① 「福祉教育」の目標と方法について ② 「NPO」と「ボランティア」の関係について ③ 「コミュニティソーシャルワーク」について ④ 地域トータルケアシステムの考え方と展開手法について

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

アドバイス

本科目を学ぶにあたり、あらかじめ留意しておく事項を挙げます。

(1) 学習時間についてです。

ほとんどの方が職業を持っているということから、学習時間を確保することが難しいかと思いますが、学習目標を設定し、短時間でも良いので必ず毎日学習時間を作ることです。

(2) 社会の動き（経済活動、市民意識の動向等）を知る努力をすることです。

社会福祉の制度・政策の策定は常に市民生活や社会生活の変化に基づいて行われてきているというところから、社会の動向に高い関心を持って学習に臨んでください。

(3) レポートの作成には教科書をよく読んでください。

また、教科書などが「章」「節」などで構成されるようにレポートも論述する事柄を項目ごとに区切って作成してください。

例えば、 1 ○○○ や (1) □□□ です。

(4) 従前テキストの『地域福祉論』を使用している学生は、近年の関係法令や制度改正に関する情報を収集してください。

※スクーリングを受講する際には、必ずテキストを読み受講してください。

1単位め
解説

第1章において説明されている現代の地域福祉の法的根拠や理念と福祉コミュニティについて理解してください。

2単位め
解説

第1章、第2章において説明されている地域福祉理論や新しい社会福祉のシステムを捉え、地域福祉の理念を整理するとともにその圏域について理解してください。

3単位め
解説

第7章、第8章、第9章を読み、福祉ニーズの内容がどこにどのように存在するのか、またその把握する方法を理解するとともに、地域福祉を実践し推進する上で活用される社会資源を理解し、それらの活用方法、調整・開発などのコミュニティソーシャルワークの実践内容を理解してください。

4単位め
解説

第3章と第4章、第5章、第10章、第11章を読み、地域福祉の推進に必要な要素として福祉教育、地域福祉計画、推進機関として期待されるNPOやボランティア、コミュニティソーシャルワークの役割について理解してください。

参考図書

- 1) 岡村重夫著『地域福祉論（社会福祉選書）』光生館、1978年
- 2) 真田是著『地域福祉と社会福祉協議会』かもがわ出版、1997年
- 3) R. ハドレイほか 小田兼三・清水隆則監訳『コミュニティ・ソーシャルワーク』川島書店、1997年
- 4) 野口定久著『地域福祉論』ミネルヴァ書房、2008年
- 5) 右田紀久恵著『自治型地域福祉の理論』ミネルヴァ書房、2005年
- 6) 大橋謙策・宮城孝編『社会福祉構造改革と地域福祉の実践』東洋堂企画出版、1998年
- 7) 岡崎祐司・河合克義・藤松素子編『講座・21世紀の社会福祉5 現代地域福祉の課題と展望』かもがわ出版、2002年
- 8) 栃本一三郎編著『地域福祉を拓く第1巻 地域福祉の広がり』ぎょうせい、2002年
- 9) 小林雅彦・村田幸子編著『地域福祉を拓く第2巻 住民参加型の福祉活動』ぎょうせい、2002年
- 10) 和田敏明編著『地域福祉を拓く第3巻 地域福祉の担い手』ぎょうせい、2002年
- 11) 大森彌編著『地域福祉を拓く第4巻 地域福祉と自治体行政』ぎょうせい、2002年
- 12) 小笠原浩一・島津望著『地域医療・介護のネットワーク構想』千倉書房、2007年
- 13) 都築光一編著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規出版、2007年
- 14) 金子郁容著『ボランティア もうひとつの情報社会』岩波書店、1992年
- 15) 朴容寛著『ネットワーク組織論』有斐閣、2003年
- 16) 斉藤孝著『コミュニケーション力』岩波書店、2004年

医学一般 ~20◆

科目コード●050106

担当教員●柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

~20年度以前
入学者

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「医学一般（2単位）」は p.186をご覧ください。

科目の内容

日本人の三大死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、老化に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。さらに、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を、「医学一般」として学びます。

単位修得、国家試験や仕事のためだけでなく、学んだ知識を日々の生活に生かす、生きた勉強を心がけてください。

教科書

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病（第2版）』中央法規出版、2011年（第2版でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス（第2版）』中央法規出版、2010年
(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題 すべて【説明型レポート】(各200字以上400字以内)

※ p.81~82記載の注意(1)~(5)をよく読んでください。

<p>1 単位め</p>	<p>① 老化について説明せよ。生理機能の低下と関連させて記述しておくこと。 ② 老年症候群について説明せよ。 ③ 高齢者が脱水症状になりやすい理由を述べよ。 ④ 免疫について説明せよ。白血球の働きと関連させて記述すること。 ⑤ 腎臓の働きについて説明せよ。</p>
<p>2 単位め</p>	<p>① 高次脳機能とは何か。また、高次脳機能障害について説明せよ。高次脳機能障害の原因についても考えておくこと。 ② 生活習慣病の定義を述べよ。 ③ 主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて、説明せよ。とくに、三大生活習慣病(三大死因とほぼ同じ)については、重要な疾患名を含めて、詳しく説明せよ。 ④ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について説明せよ。代謝異常との関連を記述しておくこと。また、特定検診の必要性についても考察しておくこと。 ⑤ 慢性腎臓病(CKD)について説明せよ。また、CKDと、高血圧や糖尿病との関連について考察せよ。</p>
<p>3 単位め</p>	<p>① 認知症の定義と症状、および、認知症の原因疾患について説明せよ。 ② 高齢者がかかりやすい精神疾患および、神経疾患について述べよ。とくに、介護保険の特定疾病に指定されている疾患については、説明を加えておくこと。(認知症の説明は、省いて良い。) ③ 高齢者に多い疾患を挙げ、簡単に説明せよ。(生活習慣病や、精神・神経疾患と重複する疾患については、疾患名だけでよい。) ④ 廃用症候群の定義を述べよ。また、廃用症候群を起こしやすい身体諸器官を挙げよ。 ⑤ 高齢者が寝たきりになる原因について考えよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
<p>4 単位め</p>	<p>① 内部障害について説明せよ。難病における特定疾患と関連させて説明しておくこと。 ② リハビリテーション医療について述べよ。 ③ 日常生活動作(ADL)の語句を、簡単に説明せよ。 ④ 介護保険の第2号被保険者および、特定疾病について説明せよ。(すでに他の課題で説明している疾患については、疾患名を挙げるだけで良い。) ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

- 注意 (1) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,500字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。
- (2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。
- (3) 解答として何が求められているのかを考えて、求められた解答を記述することが大切です。理由を問われたら、「～だから」など、理由がわかる答え方をしてください。「語句の説明」とは、その「語句を含む文」を書くのではなく、語句の意味を説明をしてください。

(4) 年度により問題が異なり、また問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2011年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入してください。「解答欄」には、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

(5) 解答欄に、不必要に大きな余白はとらないでください。

(平成22年度以前履修登録者) 2010年、および2011年4月にレポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで、『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

「医学一般」では、疾病や障害についての基本的な理解をします。

慢性期や終末期の医療は、医療関係職種と、福祉関係職種とのチームアプローチによって、在宅で展開されることが多くなってきています。特に、福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがありますが、総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

社会福祉士の国家試験では、2007年版の教科書に説明されていない疾病や治療法なども出題されています。参考文献など、他の文献も参考にして学んでください。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意して、ふだんから学ぶ姿勢を心がけてください。新型インフルエンザやロコモティブシンドロームなど、最近話題になることの多い疾患にも、関心を持って生活してください。

2007年版以前の教科書には、内部障害についての説明や、慢性腎臓病（CKD）の記載がありませんので、他の文献や、インターネットで調べておいてください。

1 単位め 解説

人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。教科書で不十分と感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。

2単位め
解説

日本人の三大死因は、生活習慣と密接にかかわっています。悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。

3単位め
解説

高齢者に多い疾患や、特定疾患（難病）、特定疾病（介護保険）について理解してください。疾病名だけでなく、病理・病態や、治療法を調べて、理解を深めておいてください。若い人でも、疾病や運動機能障害などにより体を使わないでいると、筋肉が細くなったり、骨がもろくなったりします。高齢者では、簡単なきっかけで、廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解し、予防について考えてください。

4単位め
解説

リハビリテーションは、QOLの向上をめざし、積極的な人生を歩めるようにする医学的なプロセスです。ここでは、リハビリテーションについて理解し、障害を招かないための予防の意味も考えます。課題にはありませんが、身体障害者福祉法に関連する疾病についても調べておいてください。なお、2010年4月から、内部障害に肝臓機能障害が加わりました。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年
福祉臨床シリーズ編集委員会編『人体の構造と機能及び疾病』弘文堂、2008年
別冊NHK今日の健康シリーズ（『メタボリックシンドローム』など）

スクーリング受講者へのご注意

この科目のスクーリング（12コマ）は、平成22年度より、新カリキュラム「医学一般」（6コマ）「保健医療サービス論」（6コマ）との合併授業を行います。「保健医療サービス論」部分は山本邦男先生が担当します。また、スクーリング受講者は「保健医療サービス論」の教科書を各自購入しておいてください。

福祉思想論

科目コード●050109

担当教員●君島昌志



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

今日の社会福祉はテクニックが優先し、社会福祉への取り組み姿勢などがおろそかになってはいないでしょうか。新しい世紀を迎え混迷の度を深めている時代状況にあって、人と人の係わりあい、人としての考え方をしっかりともつことが望まれるでしょう。そうしたとき、福祉思想が大きな役割を担うことができるものと確信しています。

人としての生き方を考えたとき、少しむずかしく思われるかもしれないが、一歩踏み込んでその考え方に触れてみる必要があるのではないのでしょうか。

教科書

吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000年

レポート課題

1 単位め

「第Ⅰ部 欧米の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から終章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

2 単位め

「第Ⅱ部 日本の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から第6章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

アドバイス

日本の福祉思想に比べて、ヨーロッパの福祉思想は長い歴史があります。福祉思想にとって重要なことは、教科書の序章の最初に書かれているように、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着して考えていくことです。レポートはひとつの章を選択して提出するだけですが、思想、考え方の流れということもあり、全体をひとつの流れとして

捉えていってほしいと考えています。

教科書の題名は『社会福祉思想史入門』となっていますが、「史」がついているからといって、古い考え方というものではありません。福祉の考え方にはいろいろとあってよいと思います。そうしたなかであって、自分の考え方をもって社会福祉に取り組む姿勢とでもいうものをもっていってほしいと考えています。

1単位め 解説

テキストの第Ⅰ部をよく読み、欧米の社会福祉思想がその時代と社会のあり方を反映しながら、どのように展開されてきたかを簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。自分の考えをもつことを意識し、テキストを読んでください。

2単位め 解説

テキストの第Ⅱ部をよく読み、日本の社会福祉思想の流れを読みとってください。宗教や社会体制についても理解を深め、簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。日本の福祉社会を考えたとき、どのような考え方、意識をもち、今日までの思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

参考図書

- 吉田久一著作集1『日本社会福祉思想史』川島書店、1989年
丸山真男著『日本の思想』岩波新書、1961年

公衆衛生学

科目コード●050110

担当教員●柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

公衆衛生学は健康の問題を疫学的に把握することにより、病気の予防や健康を維持しようとする学問であり、社会医学の分野に属しています。また、衛生学は社会的環境要因と健康との関わりを分析することによって病気の予防と健康維持を探究する学問です。

本科目は公衆衛生学と衛生学とを合わせた衛生公衆衛生学と呼ばれる領域を担当するのであり、予防医学と健康の維持についての科学と技術を学びます。わが国の公衆衛生の現状と衛生行政についても習得します。

身近な学問です。感想、意見を入れて論述してください。

教科書

鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学 2009』南江堂、2009年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より版が変更されていますが、以前の版にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題 すべて【説明型レポート】各200字以上400字以内

※ p.87記載の注意(1)~(3)をよく読んでください。

1 単位め

- ① 公衆衛生活動について説明せよ。
- ② 人口静態統計と人口動態統計を、静態と動態の違いがわかるように説明せよ。(教科書のまる写しでは答えにならないので、注意すること)
- ③ 日本の少子化の原因として考えられることは何か。
- ④ 日本の少子化によって生じる問題点について自分の考えを述べよ。
- ⑤ 人間の平均寿命に及ぼす要因について考えよ。

2 単位め

- ① 疾病の一次予防と二次予防、三次予防について、簡単に説明せよ。
- ② 生活習慣病について説明せよ。
- ③ 予防接種の意義と問題点について考えよ。
- ④ 感染症について説明せよ。
- ⑤ 新興感染症と再興感染症について述べよ。

3 単位め	① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について説明せよ。 ② 最近の日本における三大死因とはなにか。生活習慣病との関連について考えよ。 ③ 飲酒が人体に与える影響について述べよ。 ④ 喫煙が人体に与える影響について述べよ。 ⑤ 健康寿命について説明せよ。
4 単位め	① 院内感染や高齢者施設内感染について考えよ。 ② 最近の新聞ニュースなどで話題になった、公衆衛生学に関連する記事の要点をまとめよ。事例はいくつでも良いが、ニュース源（新聞名、テレビ番組名など）と、年月日を記載すること。自分の考えを加えればなお良い。

- ※注意 (1) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,500字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。
- (2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。
- (3) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2011年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入してください。「解答欄」には、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

(平成22年度以前履修登録者) 2010年、および2011年4月に、レポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで、『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できます。ただし、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1単位め 解説

公衆衛生行政の中心課題は、国民の健康に関するものですが、生活環境とも密接な関連を持っています。ここでは、まず教科書を最後まで読んで、概略をとらえてください。2000年度からスタートした、国の10カ年計画「健康日本21」も理解しておいてください。

2単位め 解説

感染症対策は、公衆衛生上きわめて重要です。予防接種は、個人の感染症罹患^りや重症化を防ぐとともに、集団の罹患をも防止するものです。現在日本で使用されているワクチンの種類や、免疫についても理解しておいてください。

3単位め
解説

日本人の三大死因は、生活習慣病と密接にかかわっています。死亡リスクが高くなるメタボリックシンドロームについて考え、私たちの生活習慣を見つめ直すことが大切です。この機会に、飲酒や喫煙が人体に及ぼす影響も考えてください。たとえば、酒（アルコール、エタノール）には、麻酔作用があります。イッキ飲みで命をおとすこともあります。医学的に考えてください。

4単位め
解説

- ①院内や高齢者施設内には、免疫力や体力の低下した人が集まっています。日和見感染症や、多剤耐性菌とも関連させて考えてください。
- ②公衆衛生学は、私たちの身近な学問です。普段から、新聞やテレビのニュースに関心を持っていることが重要です。新型インフルエンザ、多剤耐性菌、ノロウイルスなど、気づいたニュースについて、簡単にまとめてください。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年
別冊 NHK 今日の健康シリーズ（『メタボリックシンドローム』など）
岡部信彦・多屋馨子編集指導『予防接種に関する Q&A 集』（社団）細菌製剤協会、
2009年 <http://www.wakutin.or.jp/qanda/mokuji.html> より閲覧（2008年度版のみ）・購入可能

NPO 論

科目コード●050113

担当教員●江尻行男



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
選択 B

科目の内容

民間非営利組織である NPO (Non-Profit Organization) と呼ばれる事業体が阪神淡路大震災 (1995年) を契機として急速に発展し、拡大の一途を辿っています。その動きの速さと拡大現象は一種の革命 (NPO 革命) だとも言われ、行政 (第一セクター)、企業 (第二セクター) とならび称される程の一つのセクター (第三セクター) を形成するまでに至っています。ところで NPO とは一体いかなる構造と組織で、いかなるミッションをもつ組織体なのか、そしてそこではいかなる経営が行われているのでしょうか。

本科目では主として NPO のマネジメントについて総合的に学習してみましよう。内容としては、① NPO の基本問題として、NPO とは何か、また組織としてのあり方やミッションとガバナンスの関係について学習してみましよう (テキストの第 1 ~ 3 章)。そして、② マネジメントについて、より深く人的資源管理や経営戦略、パートナーシップおよび資金調達と評価について検討してみましよう (テキストの第 4 章以下)。

教科書

田尾雅夫・吉田憲彦『非営利組織論』有斐閣アルマ、2009年
(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『NPO 入門』『実践 NPO マネジメント』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

NPO とは何か、いかなるミッションのもと事業展開しているのか。そして非営利組織体としての NPO のマネジメントの基本はいかなるものか、について検討してください。

2 単位め

NPO マネジメントにおいて人材を活かすために何をしているのか、またリーダーシップの特徴は何か。次に NPO の経営戦略の実際はいかなるものか。そして NPO の資金調達と評価について検討してください。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月、2010年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月まで、『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

アドバイス

1・2単位め
解説

基本的にはNPOという組織の特性を営利組織(企業)と比較しながら、きちんと理解することが重要です。また、その場合、現実面に即した理解、把握が肝要です。

参考図書

- 電通総研編『NPOとは何か』日本経済新聞社、1996年
山内直人著『ノンプロフィット・エコノミー』日本評論社、1997年
堀田力・雨宮孝子編著『NPO法コンメンタール』日本評論社、1998年
谷本賢治・田尾雅夫編著『NPOと事業』ミネルヴァ書房、2002年
田中尚輝著『NPOマネジメント』学陽書房、2003年
河合明宜・齋藤正章著『NPOマネジメント』放送大学教育振興会、2007年
田尾雅夫著『実践NPOマネジメント』ミネルヴァ書房、2004年

児童福祉論 ~20◆

科目コード●050116

担当教員●千葉喜久也



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~20年度以前
入学者

~20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は同じ内容を「児童・家庭福祉論」という科目名で学習します。

科目の内容

子どもは、社会の一員として人権が保障されていると同時に、すべての子どもが児童家庭福祉の対象です。本科目は、子ども家庭を取り巻く社会現象や生活環境の背景について理解するとともに、児童家庭福祉に関する法とサービス、子ども・家庭に対する援助活動について学習します。児童家庭福祉は子どものみを対象とするのではなく、子どもを取り巻く家庭・家族のテキストでも取り上げているようにウェルビーイングという視点から考えることが大切です。したがって、児童家庭福祉は子育てをする家族や地域社会のあり方が重要な要素といえます。子どもがのびのびと成長でき、家族が安心して子育てできる地域社会は、地域住民にとっても暮らしやすい社会ということができます。

こうした背景から、本科目では児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要、一人親家庭、児童虐待およびDV、地域における子育て支援および子どもの青少年育成の実態について理解します。

教科書

千葉喜久也著『児童・家庭福祉論』みらい、2009年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より、上記教科書に変更になりました。2005年4月以前の教科書『児童福祉論』や2008年3月以前の『児童福祉論—子ども家庭福祉論への招待』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題 手書きレポート用紙のp. 1、p. 9の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可。

1 単位め

課題名「子ども虐待の現状と対策」

日本における子ども虐待の現状とその対策について述べよ。

2 単位め	課題名「児童・家庭福祉制度の発展過程」 児童扶養手当制度、児童手当制度の発展過程を検証し、最近の動向について述べよ。
3 単位め	課題名「児童相談所の機能と市町村の役割」 児童・家庭福祉の相談援助活動と児童・家庭福祉制度について、とりわけ児童福祉の専門機関として位置付けられている児童相談所の機能と役割について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	課題名「子どもの権利について」 子どもの権利について、これまでの流れを押さえ、ウェルビーイングへの理念の転換について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で受付を締め切りました。

学習にあたって

基本的姿勢

子どもは社会の一員であり人権が保障されるとともに、必要に応じて社会保護の対象ともなります。子どもの福祉は、子育てする家庭・子育てをする地域の上にあるということを念頭に置きウェルビーイングの実現が必要です。子ども家庭福祉の実現は、子どもや子どもを持つ家庭だけの福祉ではなく、高齢者や障害を持つ方々にとっても暮らしやすい地域社会の実現ということができます。

学習の目標

実際の児童福祉は、具体的な諸政策をもって実施されています。このため、学習にあたっては児童福祉法を中心とした諸法律、制度の仕組みと現在の状況を把握することが学習の目標となります。その上で、これらの法制度・諸施策を利用者に結び付けていく実践についての理解、施策・実践の課題の理解ができ、自分なりに整理できることが目標となります。

また利用者が人間であることから子ども・親の多様性の理解と受容、他の分野との連携、実際に関わるときの方法・技術なども学ばれることを望みます。

学習の仕方

第一に教科書を読み、その内容を理解することが必要です。文章を読むだけではなく、具体的な事例などを思い浮かべながら読んでいただきたい。例えば、地域にある児童福祉施設や、子どもを思い浮かべながら読まれると理解しやすいのではないかと思います。第二にスクーリングに積極的に参加してみてください。教科書では理解できなかったことでも理解が深められます。

第三に一と二を踏まえたうえで、教科書では理解することができなかったことについて、児童家庭福祉分野の本を読むことや資料を調べることで、児童福祉施設見学などを行うことが有効であると思います。

解答作成にあたって

教科書を熟読し、スクーリングに積極的に参加していれば十分に解答できる問題が準備されています。問題を解くために教科書を読むのではなく、教科書を読んで理解すること、確認することが重要です。記述問題については、教科書に加えた学習も必要かと思います。論述の体裁を整えることはもちろんのこと、現状の把握やそれに対する考察、自分の考え、感想が加えられるとよいでしょう。

アドバイス

1単位め 解説

「子どもの虐待の現状と対策」

テキスト9章を読み、子ども虐待の概念・発生要因を学び、理解を深めてください。次に関係機関の役割と現状について理解し、法的な対応を学び理解してください。そのうえで、図表なども参考にしながら子ども虐待の現状、それに対する施策等について述べてください。

2単位め 解説

「児童家庭福祉制度の発展過程について述べよ」

テキスト「児童扶養手当制度、児童手当制度」を読み、制度の発展過程について検証し、両制度の最近の動向について述べてください。p.158の補足資料も参考にしてください。

3単位め 解説

「児童相談所の機能と市町村の役割」

児童福祉の第一義的な市町村の役割と専門的の機関としての児童相談所の機能について述べてください。

4単位め 解説

「子どもの権利について」

テキストで、子どもの権利について学習し、これまでの経過やウェルビーイングへの理念の転換について述べてください。

参考図書

- 千葉喜久也著『思春期 — 子ども相談の心』 中央法規出版、2002年
 千葉喜久也著『子ども虐待から親子再統合』 福祉工房、2006年
 千葉喜久也著『保育士の家族援助の実際』 シーライズ、2008年

高齢者福祉論 ~20◆

科目コード●050117

担当教員●中里 仁(左)
後藤美恵子(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~20年度以前
入学者

~20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「高齢者福祉論（2単位）」は p.165をご覧ください。

※21年度以降に開講される高齢者福祉論スクーリングでは、7～12コマめの講義内容が20年度以前の介護概論のスクーリングと重複する可能性がありますので、ご了承ください。

科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者の特性について理解する。
- (2) 少子高齢化と高齢者を取り巻く諸問題について学習する。
- (3) 高齢者保険福祉の発展と体系について学習する。
- (4) 高齢者支援の関係法規について学習する。
- (5) 介護保険制度の基本的枠組みを理解する。
- (6) 介護保険制度の仕組みとサービスの体系を理解する。
- (7) 高齢者を支援する組織と役割について学習する。
- (8) 高齢者支援の方法と実際、専門職の役割を理解する。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、上記教科書に変更になりました。レポート課題の変更はありません。

レポート課題

1 単位め	“高齢社会とは何か” “高齢者（老人）とは何か” について自らの体験等に基づいて、見解を述べなさい。
2 単位め	高齢者福祉の成立要因について、具体的事例等をあげながら論述しなさい。
3 単位め	戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体例をあげながら論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“古い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1単位め 解説 そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め 解説 高齢者福祉の成立は、単なる高齢者（老人）の増加ではありません。単純に高齢者問題と呼ぶこと自体が問題でもあります。むしろ高齢者を取り囲む状況・環境の方に問題があるのではないかという視点から考えてみてはどうでしょうか……。女性の生き方の変化に注目して、多角的に考えてみてください。

3単位め
解説

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点からで結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

4単位め
解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更したといえます。これからの高齢者福祉分野で具体的な活動を行う方は、介護保険制度を熟知する必要があります。そこで、教科書、および各自の在住する自治体の介護保険制度に関するパンフレット等を参照しながら、概要をまとめてみてください。また、各自の体験、身近な方（できれば高齢者）の意見を聞きながら、課題（問題）について述べてみてください。

参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年

千葉喜久也・中里仁著『高齢者福祉論——利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

障害者福祉論

科目コード●050118

担当教員●阿部正孝(左)
横山英史(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、障害者福祉の基礎知識や、その背景にある理念や概念を理解することにより、障害者への福祉的援助を行う際の基本的な考え方や基盤を築くことを学習のねらいとしています。障害者福祉とはどのようなものなのかということを理解するために、まず、障害者理解のための基本的知識や考え方を学習します。そして、障害者福祉施策の展開とその特徴について概観し、実際に福祉援助を行う上で必要な知識と方法について習得します。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『新版 社会福祉士養成講座3 障害者福祉論（第5版）』にもとづいて課題を提出することは可能です。ただし、「支援費制度」への移行、障害者自立支援法の施行・改訂の動きなどにより、教科書が毎年改訂されてきています。以前の教科書をお持ちの方は、変更された制度をご自身でお調べください。

レポート課題

※3単位めのB課題を除いて、各課題1,800字以上記入してください。

1 単位め

ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの理念についてまとめ、基本的な考え方について述べなさい。また、その実現のためにはどうしたらよいか、テキストにとりあげられている取り組みなどを参考に、あなたの考えを述べなさい。

2 単位め

WHOの国際障害分類（ICIDH）および国際生活機能分類（ICF）の概要についてまとめなさい。また、障害の構造的理解についての解釈や3つのレベルへのアプローチ、あるいは「障害をどのように理解するか」について述べなさい。

<p>3 単位め</p>	<p>次の課題のうち、いずれか一方を選んで答えなさい。</p> <p>A. 障害者福祉施策の発展についてまとめ、現代社会における障害者福祉サービスの特徴や問題点について考察し、あなたの見解や考えを述べなさい。</p> <p>B. 【説明型レポート】</p> <p>下記について各300字以上500字程度で簡潔に説明しなさい。</p> <p>① 障害者に関わる法体系、サービスの概要について</p> <p>② バリアフリーとユニバーサルデザインについて</p> <p>③ 自立生活 (Independent Living: IL) 運動について</p> <p>④ 地域自立支援協議会について</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
<p>4 単位め</p>	<p>援助者に求められる価値観や倫理についてまとめなさい。また、それらを踏まえ、「障害者が自分らしく生活すること」や自立支援のあり方について、身近な体験やあなたの考えなどをもとに考察しなさい。</p>

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月に、レポート課題が一部修正されています。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

レポート作成の方法について一つの提案を示しますが、みなさんそれぞれに適した方法を自らみつけることができればそれがいちばん良いのですから、あくまでも参考としておいてください。また誰にでも、この角度やこの話題からなら書きやすいというポイントがあるのではないかと思います。そういうところを上手にみつけるのも良い方法でしょう。

- (1) まず、落ちついてレポート課題をよく読み、何について問うているのかについて明確に把握してください。そして、そのときすぐに自分の考えが浮かんできた方は、それをメモするなどして覚えておきましょう。何も浮かんでこないのであれば、そのまま次へ進みましょう。
- (2) 1種類のテキストだけでは、どうしても理解に偏りが生じてしまいがちですから、なるべく指定のテキストだけでなく、それ以外の資料も参考にしてください。決して難しい専門書でなくともかまいません。新聞、雑誌、テレビ番組、映画、小説、インターネット、その他興味を感じたものなら何でも接してみてください。そこで何か興味を感じるものがあれば、レポートの半分は書けたようなものです。高い動機づけによって、自分なりの見解や意見が出てきやすくなるでしょう。
- (3) 「まとめなさい」とされている部分に関しては、さまざまな資料を読み、あなたが重要だと思ったところや要点を中心に整理してみましょう。要点というのはつまり、障害者福祉を学び、実際に障害者援助に関わるとした場合、これだけは覚えておきたいとい

う最低限必要な知識のことです。また、現代社会における福祉のあり方を自分なりに考えるときにも、それらの知識や考え方は大いに役立ってくれることでしょう。

- (4) 「考えを述べなさい」「考察しなさい」とされている部分に関しては、これまでの経験やそれについて考えたこと、またはさまざまな興味深い資料などをもとにして、あなたの考えがきちんと伝わるように論述してください。

障害者福祉における基本理念や、障害者をめぐって生じる問題は、普遍的なものであることが少なくありません。人は、自分自身にもある程度関係があることなら自然に興味をもちますが、いわゆる「^{ひとごと}他人事」に関しては、なかなか興味をもつことは難しいのではないのでしょうか。ですから、無理なく興味をもち、学習を進めやすくするためにも、些細な経験や自分の問題についての自分の考え、社会で起こる事件・事故などについて、少し感度を上げてみてください。そのような身近な視点から、ふと気がつくことがあったり、考えさせられたりすることがあるのではないかと思います。

自分自身の興味関心のありかや、自分自身の経験、ものの考え方や価値観などについて普段から自己理解を深めておくことは、専門技術と知識を持って援助を行う際だけでなく、何かを学ぼうとするときにも有用であることが多いものです。

1単位め 解説

ノーマライゼーションとは、障害者観を考える背景となる基本理念です。まず、テキストまたはそれ以外の資料を参考に、理念の歴史的発展についてまとめてください。著名な識者の理論を中心にまとめても、理念の概要や捉え方を中心にまとめても、どちらでもかまいません。また、ノーマライゼーション理念の影響を大きく受けているリハビリテーションの概要に関しても、代表的な定義やアプローチの変遷などについてまとめてください。

その上で、あなた自身はノーマライゼーション理念をどう捉えるか、またその実現のためには何が必要と思われるかなどの点について述べてください。

評価ポイントは、第一に、ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの展開と概要についてある程度体系的にまとめられているかという点、第二に、ノーマライゼーション理念についての自分なりの解釈や見解、捉え方が述べられているかという点を中心となります。

2単位め 解説

2単位めでは、まず、テキストやその他の資料を参考に、ICIDHの概要と3つのレベルの捉え方、およびICIDHの改正の要点とICFの概要について要点をまとめてください。その上で、「障害とは何か」「障害者とは何か」についてのあなたの考えを、障害の構造的理解による具体例、または身近な具体例をあげて述べて

ください。また、余力のある方は、現代社会の問題点などとの関連や、主観的次元の障害（体験としての障害）の問題についても考えてみてください。

評価ポイントは、第一に、ICIDH および ICF の概要とそれらが示している障害の捉え方・考え方を的確に理解しているかという点、第二に、具体例や現代社会との関わりで、「障害とは何か」「障害者とは何か」について自分なりの解釈や見解、考え方、3つのレベルへのアプローチのあり方が述べられているかという点が中心となります。

3単位め 解説

障害者福祉施策に関しては、国外・国内それぞれにおいてさまざまな展開がみられます。社会の風潮や時代背景によって、障害や障害者の捉え方も違ってきます。まず、テキストやその他の資料を読み、障害者福祉施策の発展について、自分なりの視点からまとめてみてください。その上で、近年の国内の施策や、現在の障害者福祉サービスにおける特徴と問題点について考察してください。テレビや新聞、雑誌等身近なメディアなどに注意を向けたり、身近なできごとや実践での関わりなどを通して問題点が見えてくるのではないかと思います。

評価ポイントは、第一に、障害者福祉施策の発展および近年の施策についての要点が的確にまとめられているかという点、第二に、障害者福祉サービスの特徴や問題点に関しての自分なりの見解や考え方がきちんと述べられているかという点が中心となります。

【説明型レポート】に関しては、教科書やその他の資料を参考にしてまとめてください。ただし、使用した資料は参考文献としてすべて記載してください。評価ポイントは、各項目の要点を踏まえた説明がなされているか、あるいは、内容がきちんと理解されているかという点になります。

4単位め 解説

援助者に求められる価値観や倫理に関しては、テキストやその他の資料を読み、これまでの単位で学んだ知識等を踏まえ、障害者援助の方法や関連事項についてもまとめてください。

近年の施策においては、障害者の自立が強調され、福祉サービス利用に際しては「自己選択・自己決定」という考え方がとり入れられています。それに関連して「障害者が自分らしく生活すること」の意義が問われていますが、それはどのようなことを意味しているのでしょうか。この問題は、障害者福祉分野だけにとどまらない、特に普遍性が高い問題ですから、あなた自身の考えや、身近な例などをあげて説明してみてください。または、本当の意味での自立支援とはどうあるべきかについての見解を述べてくださってもかまいません。本科目の総まとめとして、あなた自身の障害者福祉の捉え方を示してみてください。

参考図書

- 佐藤久夫・小沢温著『障害者福祉の世界』有斐閣、2000年
内閣府『障害者白書（平成22年版）』、2010年
一番ヶ瀬康子・河東田博編『障害者と福祉文化』明石書店、2001年
田中農夫男・池田勝昭・木村進・後藤守編著『障害者の心理と支援——教育・福祉・生活』福村出版、2001年
永淵正昭著『障害者のリハビリと福祉』東北大学出版会、2000年
小山内美智子著『あなたは私の手になれますか 心地よいケアを受けるために』中央法規出版、1997年
小山内美智子著『私の手になってくれたあなたへ』中央法規出版、2007年
小山内美智子著『わたし、生きるからね』岩波書店、2009年
定藤丈弘・岡本栄一・北野誠一編『自立生活の思想と展望——福祉のまちづくりと新しい地域福祉の創造を目指して』ミネルヴァ書房、1993年
小澤温編『よくわかる障害者福祉 [第4版]』ミネルヴァ書房、2008年
日比野清・大熊信成・建部久美子編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度——障害者福祉制度・障害者福祉サービス』弘文堂、2009年
小澤温・北野誠一編著『新・社会福祉士養成テキストブック7 障害者福祉論』ミネルヴァ書房、2007年

知的障害者福祉論

科目コード●050119

担当教員●赤塚俊治



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

知的障害者福祉支援策は、「知的障害者福祉法」(1960年)が制定されて以来、社会情勢の変化と知的障害者自身の必要によってその支援策は多様化しました。また、知的障害者福祉施策の根底に流れる福祉観も「脱施設化」といった新たな動向が見られます。しかし、この「脱施設化」の論考はあまりにも実態を顧みない安易すぎる論説であって、一つの逆差別化につながると考えます。さらに社会福祉法(2000年)の改正、障害者自立支援法(2006年)の施行に伴って知的障害者福祉法も同時に改正され、従来の知的障害者福祉の支援システムから大きく変革しました。これらの改正および新しい法律によって知的障害者自身の利用者本位が一層強化されるようになりました。こうした知的障害者福祉の進捗に対して、社会福祉施設や地域社会における知的障害者の生活実態を分析すると、数多くの課題や問題点が山積しています。

そこで本科目では、こうした社会的動向を踏まえながら、いかにして知的障害者が社会的自立とその支援策を確立することが可能かをさまざまな視点から論考することにします。そのためには知的障害者が抱えている今日的課題と問題点を、現行制度の限界性と社会生活の実態との乖離^{かいり}からその要因を明らかにしたいと考えています。

教科書

赤塚俊治著『新・知的障害者福祉論序説』中央法規出版、2008年
(平成20年9月以前履修登録者)2008年10月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『知的障害者福祉論序説—21世紀の知的障害者福祉の展望と課題』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

知的障害者福祉支援の歴史的変遷を述べながら、今後の施設福祉の役割と機能について考察しなさい。

2 単位め

地域社会における知的障害者の在宅福祉の現状と課題について、具体的なケースを取り上げながら考察しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

知的障害者福祉論を学習する際、過去に知的障害者が社会的にどのような社会福祉支援を受けてきたかを歴史的に学ぶことが大切です。とくに、「施設福祉」と「在宅福祉」との相互関係について理論的に明らかにすることが重要です。現在、知的障害者への社会的理解が深まるとともに、知的障害者も可能な限り地域社会において人々と生活すべきであるとするノーマライゼーションが謳われるようになり、これまでの施設中心主義的施策から、知的障害者福祉を一人ひとりの個人としてとらえ地域社会で独立的に生きることを基本にすえて、普通に暮らせる社会の実現に向けた社会的資源の整備の確立を目指した施策が展開されています。しかしながら、こうした知的障害者に対する制度や福祉サービスメニューおよび施策が体系的に整備されているなかで、現実に施設や地域社会で生活している知的障害者の日常生活の実態からすると「普通の生活」を送るための諸条件が十分に整備されていないことを考慮しながら学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- (1) 知的障害者福祉論は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、知的障害者の人生にとって「普通の生活」の確立は単なるスローガンで終わるのではなく、希望に満ちた輝かしい福祉社会のなかで達成することが可能かをさまざまな視点から考察してレポートを作成してください。
- (2) 知的障害者の施設は、働く職員にとっては職場であっても、知的障害者にとっては暮らしの場であり、生きる生活の拠点であることを考えながらレポートを作成することが大切です。
- (3) レポートの作成にあたっては、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、知的障害者の日常生活で起きているさまざまな問題点を取り上げながらまとめることが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったとしても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われていれば、評価もそれだけ高くなります。

1 単位め 解説

テキストの第1章から第5章（旧テキストの第1章から第4章）までをよく読み、知的障害者福祉の基本的な理解に努め、さらには、知的障害者が過去において社会的不利益および劣等処遇に対する苦難と闘いの時代であった歴史的背景と事実を整理しながらレポート課題に取り組んでください。

とくに、「社会福祉基礎構造改革」の一環として新たに施行された社会福祉法は、(1)利用者の立場にたった社会福祉制度の構築、(2)サービスの質の向上、(3)社会福祉事業の充実・活性化、(4)地域福祉の推進の4点を主要な方向性として法改正したものです。

この改正は、知的障害者福祉法の事項にも大きく反映される結果となりました。知的障害者の福祉サービスの充実を図る目的として改正された主な要点は、①福祉サービスの利用制度化、②市町村における知的障害者に対する福祉に関する必要な情報提供と相談・指導、③サービスの質の確保と利用者の権利擁護、④サービスに関する第三者評価・苦情解決体制の整備、⑤知的障害者福祉に関する事務の市町村への委譲などがあげられます。こうした内容によって、これまでの制度や福祉サービスメニューの内容が一層強化・拡充されましたが、難問も山積しているのも事実です。とくに、利用者である知的障害者と対等な関係にある施設関係者にとって、はたして法改正で示した内容を知的障害者に普遍的にサービスを提供できるかが大きな課題となります。

こうした社会的状況を的確に把握しながら、施設福祉の役割と機能について考察して、簡潔に述べてください。

2 単位め 解説

テキスト第6章から第8章（旧テキストの第5章から第7章）をよく読んで地域福祉の意味を理解すると同時に知的障害者の生活状況が時代の変遷とともにどのように変化してきたかを、過去の在宅福祉政策なども踏まえながら考察してください。

今後の知的障害者福祉は、法改正によって具体的な中身と進捗状況が問われることになります。そして、単に施設を中心とした生活環境整備だけではなく、地域社会も取り入れた施策を具現化していく地域社会体制づくりが確立しなければなりません。とくに、知的障害者に対する人権・権利侵害の事件などは全国各地で起きており、また、地域環境の相違によって、福祉サービスを受容できるものと受容できないものが存在しているこの事実をどのように理解するかが大切です。その社会的背景には、改革の理念として謳われた「個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域の中でその人らしい自立した生活が送れるように支える」という考え方から乖離した知的障害者に対する誤解、偏見、差別が根強く残っていることもこの課題を考察する根本的な課題の一つといえるでしょう。

いずれにしても、本課題においては具体的な知的障害者の生活や暮らしのケースなどを取りあげながらレポートを作成してください。

参考図書

- 竹原健二編 赤塚俊治ほか著『現代障害者福祉学』学文社、2004年
知的障害等法規研究会監『知的障害者福祉六法』中央法規出版、2007年
日本知的障害福祉連盟編『発達障害白書』日本文化科学社、2004年
江草安彦著『ノーマリゼーションへの道』全国社会福祉協議会、1993年
北沢清司著『知的発達 Q & A』中央法規出版、1996年

介護概論 ~20◆

科目コード●050120

担当教員●後藤美恵子



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~20年度以前
入学者

~20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「介護概論（2単位）」は p.167をご覧ください。

※21年度以降に開講されている高齢者福祉論スクーリングの7～12コマめの講義内容は、20年度以前の介護概論のスクーリングと一部重複しますので、ご了承ください。

※この科目は平成22年度より履修方法が「R」となりました。

科目の内容

要介護者の生活支援においては、その援助に医療、保健、福祉などの分野が包括的に関わってきます。本講では、まず、要介護者に対する介護とはどのようなものなのかを理解するために、前半では、要介護者理解のための福祉的援助の考え方や基本的知識を学習します。これを踏まえて、後半では、生活援助を展開する上で必要となってくる専門的知識や方法論の概説、ならびにその実際を取り上げることにより、生活支援技術の基礎理論を習得することを目的とします。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座14 介護概論（第4版）』中央法規出版、2008年

レポート課題

1 単位め

介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理についてを介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。

2 単位め

要介護者の自立や自己実現を達成し、QOLを向上させるために必要な関連職種との連携のあり方についてまとめた上で、さらに連携がもたらす効果について論述しなさい。

3 単位め	要介護者の生活援助を展開する上での基本的な介護技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。
4 単位め	<p>① 認知症高齢者の状態像についてまとめ、周辺症状（行動障害）への対応方法も含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。</p> <p>② 生活の質としてのターミナルケアを実践していく上での考え方と、具体的な援助方法について論述しなさい。（①②の両方について解答すること）</p>

アドバイス

本科目では、要介護者の生活援助をする上での知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、要介護者への福祉的援助を行う者としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、テキストや資料を熟読し、その内容をまとめるとい作業が求められます。さらに、学習を展開させる過程においては、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の考えを論述する（総括・考察）力も求められてきます。本科目では、そのような体系的な学習法を習得するために、レポート課題は以下のように段階的に展開する形に構成しています。

まず、①各単位において必修すべき内容（理念や概念的な内容）を、テキストを参考にし、要約することを行います。その上で、②その内容を福祉実践に生かすための具体的な知識や技能、考え方、また、現状などをテキストや他の資料などを基に調べたり、考えたりし、最後に、③各単位で示す課題に対して考察を行い論述していただきます。

本課題を考察するに当たっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けて下さい。そのような過程を基に、広い視野で学習展開をされることを期待します。

1単位め 解説

介護の本質をどのように捉えるか、といった「介護観」について考えることが核となります。序章から第1章をよく読み、介護の概念を専門的視点から簡潔にまとめ、さらには専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてを具体的な社会の動向と関連づけながら論述してください。

2単位め 解説

要介護者のニーズに応じた質の高い介護（生活支援）を提供するための「関連職種との連携」について、テキスト第3章をよく読み、「保健・医療・福祉の連携」「利用者主体の連携」を中心に簡潔にまとめ、連携が要介護者の自立や自

己実現、更には QOL に、どのように影響や効果をもたらすのか、その重要性について、自身の考えを論述してください。

3単位め 解説

専門職として、介護（生活支援）を展開する上での基本的な専門技術を第4章を中心に、理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。ここでは「介護」とは、直接援助のみならず、間接援助であるコミュニケーションや生活環境等も含まれることを理解しておいてください。専門職としての介護のあり方も介護保険制度の導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を適切に具現化する上での「その人らしい生活」の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方について論述してください。

4単位め 解説

① 高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれています。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「行動障害」と呼ばれるようになり、さらに「BPSD」という新たな概念が出てきました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、第5章2節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活援助を展開する上での介護のあり方について、周辺症状（行動障害）への対応を含めて論述してください。

※ 「痴呆」という用語は、侮辱的な表現である上に、「痴呆」の実態を正確に表しておらず、早期発見・早期診断等の取り組みの支障となっていることから、平成16年12月24日「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書が厚生労働省より出され、「認知症」という用語に呼び替えることになりました。

「認知症」への変更にあたっては、単に用語を変更することが目的ではなく、「認知症」に対する誤解や偏見の解消等という点からも正しい理解を深めてください。

② 生活援助におけるターミナルケアのあり方を、生活（命）の質を重視した「ホスピスケア」の視点から捉え第5章3節を中心に要約し、生活支援の視点においてターミナルケアを実践していく上での自身の考え方を述べ、具体的な援助方法について論述してください。

参考図書

大島侑監 杉本敏夫・島津淳編著『介護福祉論』ミネルヴァ書房、2002年

太田和雄編著『ターミナル・ケアの実践』先端医学社、1996年

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規出版、2009年

- 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ』中央法規出版、2009年
- 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ』中央法規出版、2009年
- 本間 昭編『介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解』ミネルヴァ書房、2009年
- 柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック 6 生活支援技術Ⅰ』ミネルヴァ書房、2009年
- 柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック 7 生活支援技術Ⅱ』ミネルヴァ書房、2009年

福祉機器論

科目コード●050121

担当教員●関川伸哉



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

福祉機器・福祉用具と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。知られているようで、知られていないのが福祉機器（以下、福祉用具）であります。福祉用具とは、日常の便利な「道具」です。我々が生活の中で用いるハサミや包丁などと同様で決して特殊なものではありません。しかし、わが国では、福祉用具導入および使用には見えないバリアが存在するようです。

ここでは、福祉用具について理解するのではなく、ヒトと福祉用具の関係について考えていただきたいと思います。主役は、福祉用具ではなくヒトであることを十分に理解してください。利用者を理解することができなければ、福祉用具を理解することはできません。また、福祉サービスおよび各種公的制度の理解も欠かすことのできない項目です。本科目では、主に以下の内容について理解していただきたいと思います。

- (1) わが国の高齢化の背景と今後の動向を理解しながら、高齢者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (2) わが国の障害発生原因と今後の動向を理解しながら、障害者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (3) 福祉用具の歴史、定義、各種支給制度について総合的に理解し、わが国の今後の動向を考察する。
- (4) バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解する。
- (5) ヒトと機械の結び付きについて考える。
- (6) 高齢者と福祉用具①——介護保険制度から考える——
- (7) 高齢者と福祉用具②——介護負担の軽減を目指して——
- (8) 高齢者と福祉用具③——自立を目指して——
- (9) 福祉用具の選び方・使い方

教科書

澤村誠志監『介護福祉士のための福祉用具活用論』中央法規出版、2000年

レポート課題

1 単位め	<p>わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに、福祉用具導入の意義とその可能性について解説せよ。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
2 単位め	<p>福祉用具を支給制度の観点から分類し、それぞれの利用者、特徴、導入方法などについて解説せよ。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
3 単位め	<p>高齢者およびその家族のQOL向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説せよ。また、具体的事例を示し論述せよ。</p>
4 単位め	<p>以下の項目の中から、2つを選択し、課題にそくした内容で全体を整理し考察せよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者のための車いすの選び方・使い方 ② 視聴覚機器の選び方・使い方 ③ ヒトの立ちあがり・座りこみと機器との関係 ④ 楽に安全に歩こう——歩行補助車の選び方・使い方—— ⑤ 肢体不自由者のためのコミュニケーション機器 ⑥ 自分の足にあった靴をさがそう——足の障害に応じた靴選び—— ⑦ ホイストと吊具の選び方・使い方 ⑧ 日常生活支援——自助具の種類と使い方——

アドバイス

- (1) なによりも教科書を「よく読む」ことから始まります。第一段階では、福祉用具と利用者の関係を概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、その他の参考書を読み、より一層の理解を促してください。
- (3) 各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行ってください。**必ず目次をレポートの冒頭に記入してください。**事前準備を行うことなく、本文作成を行うと「まとまりのない」レポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。
- (6) 参考・引用文献は必ず5つ以上記載してください。

1単位め 解説

わが国の平均寿命は、2007年現在において男性79.19歳、女性85.99歳となり人生50年の時代から、今や80年時代へと変わってきています。また、現在の障害は複雑かつ多様化し重度障害者数も増加傾向にあります。ここでは、現状の高齢者と障害者の関係を、わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに明確にしてください。その後、上記の方々への「福祉用具導入の意義」「導入することにより期待できる効果」「今後の課題」などについて解説し、考察を行ってください。

2単位め 解説

身体障害者が、自己の障害を補うことを目的とし身体に器具を付けた歴史は古く、紀元前の昔にさかのぼります。福祉用具とは、生活の中での人々の知恵により生み出された身体機能代償機具ともいえます。身体機能代償機具としての福祉用具を人と機械の結び付きの観点から捉えた場合、義肢・装具（補装具）が最も関連性の高い機具といえるでしょう。ここでは、補装具、日常生活用具、福祉用具などの違いを歴史的背景、給付制度、特徴、導入方法、利用者の点から適切にまとめ、さらに全体を考察してください。

3単位め 解説

介護を必要とする高齢者およびその家族の支援には、さまざまな方法が考えられます。現在の主な支援策は、ホームヘルパーサービス、訪問看護、デイサービス、ショートステイなど人的支援が中心となっています。しかし、人的中心の支援には限界と問題があります。ここでは、上記現状の支援策の問題点を明確にした後、福祉用具導入の意義を説明してください。そして、利用者のQOL向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説してください。また、居宅生活内への福祉用具導入の具体的な事例について示し、論述してください。

(注) 事例の記載方法について事前にしっかり調べてください。

4単位め 解説

福祉用具にはさまざまな種類、導入場所、使用者が考えられます。ここでは、レポート課題のまとめとして、各自の興味のある内容を2つ選択してみてください。次の事項を十分に考慮しまとめてください。

1つは、テーマを十分に理解することです。テーマとレポートの内容が合致していなければ、この時点で採択されません。

2つめは、利用者（ヒト）が主役であることを充分考慮してください。利用者が見えてこない解説は望ましくありません。「どのようなヒトが何に困っているのか!？」を明確にしてから福祉用具の内容に入ってください。

3つめは、テーマが抽象的であるため、解説内容の絞込みを行う必要性が生じる場合も考えられます。その際には、必ず「何故、その内容に着目したのか」を明確にしてください。

い。記載がない際には、採択されませんのでご了承ください。

参考図書

- 関川伸哉ほか『義肢装具総論』医歯薬出版株式会社、2008年
社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団編『これで安心！買う前に読む福祉用具の選び方 福祉用具ハンドブック』大井企画、2002年
東島弘子編著『福祉用具の安全活用法「ひやりはっと」から学ぶ』中央法規出版、2002年

リハビリテーション論

科目コード●050122

担当教員●関川伸哉



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

現在、我々の生活のさまざまな場面で「リハビリテーション」が行われています。一般的に「リハビリテーション」とは、病院内で行われている機能回復訓練のことだと思われる方が多いようです。しかし、病気やケガで手脚が不自由になってしまった方々への訓練（医学的なアプローチ）＝リハビリテーションではありません。リハビリテーションとは、広義の領域であり社会福祉（福祉）分野でも日々展開される重要な理念であり、目標であり、方法でもあります。

わが国の福祉専門職、および専門職をめざす方々には、リハビリテーションについての正しい理解と、「広義の福祉」と「リハビリテーション」との関連性について学んでいただきたいと思います。福祉専門職の方々が、リハビリテーションを正しく理解することは、福祉領域の発展に寄与するものと考えます。リハビリテーションは、複数の専門職により行われており、福祉専門職従事者の方々もチームの一員であります。今後の福祉専門職種の方々は、リハビリテーションとはどのようなもので、どのようなシステムで行われているのかを的確に把握する必要があります。

本科目では、「リハビリテーションとは」、「各種専門職（異分野理解）」、「チームアプローチ手法」、「各種利用者」などについて適切な理解を促し、利用者へのより良いサービス提供について考えていただきたいと思います。リハビリテーションを単体で理解するのではなく、「福祉」と「リハビリテーション」の双方の観点から考察してみてください。

教科書

関川伸哉著『リハビリテーション論——社会福祉専門職のための』東北福祉大学、2003年
(2009年、改訂版でも可)

レポート課題

1 単位め	<p>① リハビリテーションと障害者の関連性について、歴史的背景および国際動向を踏まえ多角的に記述せよ。</p> <p>② 障害者を障害者基本法に基づき分類し、各種障害者とリハビリテーションの関連性について社会保障制度を踏まえ考察せよ。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
2 単位め	<p>① 各種リハビリテーションについて論じよ。</p> <p>② リハビリテーションと福祉の関連性を総合的観点から記述せよ。</p>

アドバイス

- (1) 教科書をよく読み、リハビリテーションを概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、教科書記載の参考書を読み一層の理解を促してください。
- (3) いずれも①、②の両方について解答してください。各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行ってください。**目次をレポートの冒頭に必ず記入してください。**事前準備を行うことなく、本文作成を行うとまとまりのないレポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出すること。
- (6) 参考・引用文献は必ず5つ以上記載してください。

1単位め 解説

- ① ここでは、「リハビリテーションとは何か」を理解していただきます。はじめに、リハビリテーションの基礎となる語源、理念、目的などについて歴史的背景を踏まえながら考察してください。また、リハビリテーションの歴史は、障害者の歴史ともいわれます。そこで、障害者とリハビリテーションの関係を把握するうえで重要となる国際動向、およびその基本にあるものについて学んでください。
- ② 1993年の「障害者基本法」の改正（2004年一部改正）により、法の目的および障害者の定義が明確化されました。ここでは、障害者基本法の十分な理解から始まります。その後、各種障害者の歴史的変動と、それを支える社会保障制度を理解し、障害者、リハビリテーション、社会保障制度の相互関係を多角的に考察してみてください。

追記：2004年の「障害者基本法の一部を改正する法律」をふまえて記載してください。

2単位め
解説

- ① リハビリテーションとは、複数の関係職種が多角的側面から共通目的に向かい努力する過程です。そして、さまざまなリハビリテーションが存在します。また、リハビリテーション実践現場は、特定の施設や病院のみではありません。人々が住みなれた地域の中で、生活者としての存在を維持する上で、地域社会との結び付きは欠かすことのできない課題であります。ここでは、総合リハビリテーションを十分に理解した後、リハビリテーションを複数に分類し、それぞれの役割、各種専門職、社会資源などを踏まえながら考察してください。
- ② 現在の障害は複雑かつ多様化し重度の障害を有する障害者数も増加傾向にあります。現在、各種障害者に対するリハビリテーションは、病院、在宅、地域などさまざまな場面で展開されています。また、わが国の平均寿命は、人生50年の時代から、今や80年時代へと変革してきています。単なる延命という量的な問題に加え、高齢期をいかに意義あるものとして生きるかといった質的問題が問われる時代です。ここでは、障害者および高齢者を主な対象として、リハビリテーションと福祉の関連性を、福祉施設、地域、生活などを総合的に考察してみてください。そして上記結果をもとに、各利用者の生活のあり方を多角的にデザインしてみてください。

参考図書

教科書巻末の「読者への参考文献」を参照してください。

福祉計画法 ~20◆

科目コード ● 0 5 0 1 2 3

担当教員 ● 中里 仁 (左)
都築 光一 (右)



2 単位 | **R or SR** | 2 年以上



※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入学した方は履修することはできません

科目の内容

社会福祉の計画は、国、都道府県、市町村などのほかに社会福祉協議会という民間の福祉団体が計画の主体として取り組んでいます。そして、平成15年4月からは市町村が計画の主体となり地域福祉計画が施行されることになっています。

こうした計画のもつ意義を理解するとともに、ただ教科書を学ぶだけではなく、自ら住むまちの総合計画や福祉計画を具体的に知り、検討を加えることが大切です。今、自分の住んでいるまちでどのような計画のもとに施策が進められているか知っていますか。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画 (第2版)』中央法規出版、2010年 (第2版でなくても可)
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

次の課題のなかから **1 題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画の概要について述べよ。
- ② 福祉計画の目的・意義について述べよ。
- ③ 地域福祉計画のねらいと特性について述べよ。

2 単位め

次の課題のなかから**1題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画におけるニーズ把握について、その概念・類型・技法について述べよ。
- ② 福祉計画における評価技法と実際、その課題について述べよ。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

アドバイス

レポート課題は教科書の演習問題であり、しっかりと読めばレポートはそんなにむずかしいものではありません。ここで大切なことは、教科書を一般論として理解するとともに、いちばん身近な自分が住んでいるまちの総合計画や福祉計画に触れてみることです。

今日、計画を入手するためには役所を訪ね、購入するのが一般的ですが、計画書を手元に教科書を読めば、より具体的に計画法が理解できると思います。それよりも何よりも自分が毎日生活している場への理解と問題点を見つけることができれば批判もできることになり、自分の住んでいるまちを良くしていくための方策を考えながらレポートに取り組む姿勢も大切です。

参考図書

都築光一著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規出版、2007年

この科目は平成22年度から「RorSR」科目に変更され、新カリキュラム「福祉行財政と福祉計画」との合併授業でスクーリングを開講いたします。

社会福祉援助技術論Ⅰ（ケースワーク）

～20◆

科目コード●050126

担当教員●山川敏久（左）
山本邦男（右）



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

～20年度以前
入学者

～20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

人間一人一人の性格が異なるように、福祉の援助を必要とし、サービスを利用しようとする人々の暮らしも当然のことながら個別的であり、多様な生活課題を抱えています。

「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」では、そのような多様な生活課題をかかえている人に対して、相談支援活動を中心に、課題を解決し、自立を促進するための社会福祉援助（ソーシャルワーク）の技術を学びます。

「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、まず社会福祉援助活動の基本的枠組み（教科書Ⅰ p.24～29の「4つの総体」や p.29～32の「10のP＝基本的構成要素」）を理解しておく必要があります。また、専門職として援助活動を遂行する際の倫理、原則（人権尊重・権利擁護・自立支援など）を教科書Ⅰ p.36～41にあげられた事例などを通して理解していただくことが必要です。さらに、社会福祉援助技術は、大別すると「直接援助技術」と「間接援助技術」、その他の関連援助技術に分けられます（教科書Ⅰ p.140～157）が、そのような体系を学んだ上で、社会福祉援助技術の共通課題である契約・介入・面接・記録・評価、スーパービジョンなどの意義と方法についても知っておく必要があります。これらの内容については、「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」の学習を通じて、深く身につけていただくことが必要です。

それらの理解を前提に「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、直接援助技術のなかの「個別援助技術（ケースワーク）」を学んでいただきます。

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉援助（ソーシャルワーク）技術各論のなかでも、特に援助を必要としている人を価値ある固有の存在としてとらえ、定義し体系化されてきました（教科書『社会福祉援助技術論Ⅰ』 p.149、『社会福祉援助技術論Ⅱ』 p.40）。

本科目では、ケースワーク発展の歴史を通して、個別援助技術が生活上のニーズや全体性にどのように関わっているのか考察し、援助の具体的な展開過程（『社会福祉援助技

術論Ⅱ』p.40～66)を学習します。同時にかけがえのない個人としての人間にかかわる上で必要なケースワークの基本原理や価値、自覚しなければならない基本的態度(『社会福祉援助技術論Ⅰ』p.192)など方法と技術について学びます。

本科目では、ケースワークが実践的に展開されている医療機関や類似の援助技術体系として導入が試みられているケアマネジメントの具体的事例を通し、各種社会資源、関連機関との連携の実際を考察しながら「個別的援助技術」のもつ特性と意義について学びます。

教科書 (社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通)

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ (第3版)』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ (第4版)』中央法規出版、2007年

レポート課題

1 単位め	個別援助技術(ケースワーク)における医学モデル(診断主義)から生活モデルへの発展過程について述べよ。
2 単位め	<p>【説明型レポート】 下記について各々400字以上(合計2,192以内)で簡潔に説明して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エンパワメントの定義と意義について ② 問題解決モデルについて ③ パイステックの7原則について ④ 個別援助技術の展開過程について <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

アドバイス

1単位め解説 ケースワーク(個別援助技術)は、社会福祉の目的を達成する手段として体系化され、ソーシャルワーカーがもっとも頻繁に用いる技術です。それは産業革命後のイギリス社会からアメリカへと移り発展してきました。(社会福祉援助技術論Ⅰ p.80) 特に「ケースワークの母」と呼ばれるリッチモンドの伝統的なケースワーク論から今日の社会経済の発展と人間生活の拡大に伴う生活問題へのアプローチには、医学モデル(診断派)から生活モデルへの歴史的な変遷がみられます。(社会福祉援助技術論Ⅰ p.84～91、p.238～241・Ⅱ p.40～43) テキストを熟読してケースワークの診断主義と機能主義、折衷主義を通して、医学モデルから生活モデルへの発展過程をまとめてください。(社会福祉援助技術論Ⅰ p.88～p.91、p.96～130) また、その時々理論的支

柱となった人物にも触れてください。



教科書や他の文献を読み、整理して書いてください。

参考図書

荒川義子編著『医療ソーシャルワーカーの仕事——現場からの提言』川島書店、2000年

社会福祉援助技術論Ⅱ (社会福祉調査法)

科目コード●050127

~20◆

担当教員●都築光一



2 単位 | R or SR | 2 年以上



※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は履修することはできません。平成21年度以降に入学した方は同じ内容を「社会調査の基礎」という科目名で学習します。

科目の内容

福祉の分野においても調査は近年ますます重要な役割を担ってきております。たとえば要介護度認定、住民ニーズ把握、人材確保に関する調査、事業効果調査、サービス評価調査等々をみても明らかです。

ここでは主に福祉調査の方法について学び、実践的技術に関する知識の習得をめざします。そのために①まず社会福祉調査の史的展開について触れ、現代における福祉調査の意義を考えてみましょう。ついで②調査テーマの設定から調査の実施、整理分析までの調査手順について学びます。さらに、③調査の方法、④現地調査の方法、⑤調査対象者の選定方法、⑥調査票の作成、⑦調査の実施と管理、⑧調査結果の整理・分析および誤差・偏り、⑨調査結果の活用方法、⑩レポートの作成について学習します。

調査の理論と技法について学ぶことは、福祉に携わる人の現代的教養といえるでしょう。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座 5 社会調査の基礎 (第2版)』中央法規出版、2010年 (第2版でなくても可)
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より、上記教科書に変更されました。スクーリング受講時は、2009年度までの教科書持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め

社会福祉調査の展開手法について、社会福祉援助技術としての意義を述べなさい。

2 単位め

社会福祉調査における統計調査および事例調査について、その意義と短所について考察しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

アドバイス

1 単位め
解説

様々な分野における自らの実務経験、あるいは学習などから得られた知見等の蓄積に基づき、社会福祉調査の基本的な認識を踏まえ、実践に向けた理解を述べるものです。これまでの経験を振り返り、テキストの記述との照合を行うことをお勧めします。また、各種福祉計画のための調査が広く実施されておりますので、実際の調査報告書などを資料として入手し、それらを通じて学習することも有益です。

2 単位め
解説

社会福祉調査は、現在多くのフィールドで実施されていますが、その実施方法や結果のとりまとめに、四苦八苦していることも事実です。ここではそうした様々な調査の実施例から考察していくものです。社会福祉調査は、その社会福祉の対象群の特性によって、調査方法が多岐にわたります。またその分析方法や結果、さらにはそこから導き出される実践の方向性も幾重にも見いだされるものです。それだけに、調査対象者に応じて適切な調査方法を慎重に選択することが求められます。また目的に応じて、望ましい分析を進める必要があります。これらの点について理解を深め、実践力を身につけるために、具体的な実例をしかも複数参考にしながら学習することをお勧めします。またスクーリングに参加しながら、他の参加者と情報交換することも、有益な方法です。

参考図書

●初心者向け

平山尚・武田丈・呉裁喜・藤井美和・李政元『ソーシャルワーカーのための社会調査法』ミネルヴァ書房、2007年

大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋・永野武『社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2000年

●ちょっと専門的に学びたい人にお勧めの文献

宝月誠・中道實・田中滋・中野正大『社会調査』有斐閣Sシリーズ、1998年

井上文夫・井上和子・小野能文・西垣悦代『よりよい社会調査をめざして』創元社、2001年

●調査した結果をコンピュータで分析してみたい人にお勧めの文献

※統計解析ソフト（SPSS）を購入済みであることが前提

加藤千恵子・廬志和・石村貞夫『SPSS でやさしく学ぶ アンケート処理』東京図書、
2005年

社会福祉援助技術演習Ⅰ

~20◆

科目コード●050130

担当教員●阿部一彦・千葉喜久也・山川敏久・君島昌志
佐々木達雄・大橋雅啓・芳賀恭司・竹田征子 ほか

2 単位

SR

2 年以上

社会福祉
選択~20年度以前
入学者

- 1) この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。
- 2) 社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。
- 3) 「演習A」と合併授業になります。

科目の内容

社会福祉学は「実践の科学」といわれるように、単なる理論学習だけでは実際の援助活動を行うことは困難といえるでしょう。理論を活用し役立てるためには、援助実践の場に具体化していくための援助技術の学習と体得が不可欠となります。社会福祉援助技術とは、さまざまな技術論を実際の援助活動の中で展開するための方法だといえるでしょう。

本演習では、社会福祉援助技術論における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

教科書 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」でも使用予定

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より教科書が変更になりました。今後は必ず新しい教科書にもとづいてレポート課題やスクーリングに取り組んでください。

なお、平成21年度以前（一部平成20年度）の「演習Ⅰ」履修登録者で、「演習Ⅰ」の単位未修得で、同年度学費納入済みの方には上記教科書を平成22年3月中旬にお送りしております。また、上記以外の「演習Ⅰ」履修登録者でまだ新しい教科書がお手元にならない方は、4月30日までに任意の用紙にてお申込みください。締切日以降の申込みは、すべて有料となりますのでご注意ください。

レポート課題

※ p.127~131記載の「レポート提出方法」などをよく読んでください。

1 単位め

(スクーリング事前課題=スクーリング受講申込締切日までに送付)

社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じなさい。

2 単位め

(スクーリング事後課題=スクーリング受講後に提出)

「演習1」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。

アドバイス

1単位め
解説

はじめに、教科書『社会福祉士相談援助演習』を熟読し、社会福祉援助技術の課題について問題意識をもってください。次に1章から2章までを読んで、社会福祉援助技術の概要について学ぶとともに、社会福祉援助技術の過去、現在における考え方などを整理して、その違いなどについてもまとめてください。そして、自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおしてください。

以上の過程を経た上で、社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じてください。もちろん、他の文献、新聞記事などを活用すること、および社会生活上の問題をとりあげ、考察、分析することも大切なことです。

すでに社会福祉にかかわっている方々は、その経験を生かして論じてくださっても結構です。

以上、課題としてはたいへん幅広いのですが、レポートを作成する際には、自分が意図することを明確に、あるいは視点をはっきりさせて整理することが大切です。

たとえば下記の①～④のなかの1つ、またはいくつかに焦点をあててまとめながら「社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方」を考えていただければよいのではないのでしょうか（①～④すべてに解答する必要はありません。また①～④以外の論点から論じていただいて結構です）。

- ① 社会福祉援助技術とは何か、および諸方法を自分なりに整理し、わかりやすくまとめてください。社会福祉援助は、援助を必要とする人々(サービスの利用者)に対して、問題の解決や軽減を図ることを目的としています。この過程は社会福祉の援助技術を駆使して行われるものです。
- ② 社会福祉援助技術者は、援助を必要とする人々(利用者)にどう向き合い、どのような役割をもってかかわるべきでしょうか。援助を必要とする人々(利用者)主体の援助活動を行うために、あなたはどんなセンス、感性を大事にしようとしていますか。自分

自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおすことも必要になってくるかもしれません。

- ③ 社会福祉援助技術者は専門職として「援助を必要とする人々(利用者)の基本的人権の尊重」「自立・自己決定を重視する援助のあり方」などの基本的な倫理・原理をもつことが必要です。

社会福祉の専門職として、これまでもその専門職倫理が厳しく問われ続けられてきましたが、その倫理観を逸脱する悲しい事件が後を断たない現実があります。福祉の現場のなかのごく一部の人はとはいえ、なぜ援助者が加害者となり、援助を必要とする人々(利用者)の人権を侵害する行為がなくなるのでしょうか。

「人権感覚」という言葉があるように、「この人にはそういうことをしてはいけない」と判断する能力は、人権に関する知識をどれだけ学んだかというだけでは得られるとは限りません。常に新しい知識を身につけながら、自分の人権感覚をいつも研ぎ澄ませておく努力が必要です。あなたの、人権に関するセンス・感性について、福祉専門職を目指す者として大事にしてほしいと思います。

- ④ 適切な援助を行うには、援助を必要とする人々(利用者)の理解が重要です。援助を必要とする人々(利用者)自身が社会福祉援助過程で、私たち援助者に対して、どんなことを期待し援助を求めているのかを、援助を必要とする人々(利用者)の視点で考察してください。また、アセスメント(事前評価)とは、何のために、何について、どのようなことをすることでしょうか。そして、アセスメント(事前評価)は社会福祉援助とどのように関連していて、どのような影響を与えているのでしょうか。また、社会福祉援助活動におけるより客観的なアセスメントの普及・発展がもたらす効果についても考察してみてください。

2単位め 解説

現在、社会福祉を取り巻く環境は、これまでの「措置」から「契約」へと変わり、社会福祉の援助技術も「自立支援」「利用者主体」へと変化してきています。従来の社会福祉援助者のイメージを脱却して、利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。

一般論としてだけでなく、演習Ⅰのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

レポートの提出方法

この科目は、**1単位につき1冊のレポート用紙**を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、16ページめまで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

1 単位めは、スクーリング受講申込締切日（5/31・7/15・10/31・11/30）必着で提出してください。レポート用紙表紙の「科目名」の右側、**担当教員名は未記入**で提出してください。

なお、提出したレポートは、スクーリング申込締切日後に担当教員に採点依頼を行いますので、本レポートの返却はスクーリング申込締切日後1カ月となります。

2 単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙表紙の「科目名」の右側には担当教員名を**記入**してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。提出しても、スクーリング担当教員が決まるまで受付を保留いたします。

〈注意〉レポートを提出する際、万が一郵便事故等でレポートが未着の場合は再提出をお願いしますので、必ず控え（コピー）をとっておくようにしてください。

単位の認定方法

スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、本スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には、本科目は再履修となる場合もあります。スクーリング結果は、受講後1カ月以内に送付します。

1 単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（積極的討議参加・確認内容結果等）＋2 単位めレポート（事後課題）により単位の評価を行います。

この科目単位を修得できなかった方で再受講をする場合、ハガキでのスクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

また、昨年度までは、再受講する場合はレポートもあらためて提出していただいておりますが、今年度より評価後のレポート（再提出の場合を除く）については、スクーリングの再申込みは必要ですが、あらためてのレポート提出は行わなくてもよいことにいたします。

スクーリング受講手続き

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。平成23年度は p.129に記載の日程で開講します（いずれかの連続する2日間の演習を受講すれば結構です）。

演習は1クラス20人以下の少人数で開講するため、下記の条件を満たすスクーリング受講希望者は、巻末のハガキに希望の日程を記入し、5月31日必着でお申込みください。必

ず第2希望まで記入してください。

また、12月分は10月31日必着、1～2月分は11月30日必着でお申込みください。

スクーリング受講申込条件

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」スクーリングの受講申込みをするための条件は、**申込締切日**（5/31・7/15・10/31・11/30）までに①**社会福祉援助技術論Ⅰの2単位分のレポートを提出していること**、②**社会福祉援助技術演習Ⅰの1単位めのレポートを提出していること**、③（平成22年以降・入学から1年以上経過して申込み場合）一括認定単位を除き20単位以上修得していること、となります。

※提出していれば合格していなくても可です。

申込締切日までに、1単位めのレポート提出のない場合は、スクーリングを受講することができません。なお、スクーリング受講前に「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから、受講してください。

スクーリング開講日程

いずれかの連続する2日間の演習を受講してください。

日程	開講地	開講時間	事前レポート提出期限	事後レポート提出期限
7/2（土）・3（日）	盛岡	C	5/31（火） ただし7/15（金） までに条件を満たせば、定員に余裕のある会場で受講可。	12/24（土） 今秋「演習Ⅱ」を受講する方は9/15（木）まで。
7/9（土）・10（日）	仙台	B		
7/16（土）・17（日）	郡山	C		
7/30（土）・31（日）	札幌	D		
7/30（土）・31（日）	仙台	D		
8/13（土）・14（日）	川口	C		
8/24（水）・25（木）	仙台	B		
12/3（土）・4（日）	新潟	A	10/31（月）	平成24年1/20（金）
平成24年 1/28（土）・29（日）	盛岡	C	11/30（水）	平成24年2/24（金）
1/28（土）・29（日）	東京	C		
2/4（土）・5（日）	仙台	B		

開講時間	A：1日目	10：00～16：40	2日目	10：00～16：40
	B：1日目	10：50～17：30	2日目	9：20～16：00
	C：1日目	10：00～16：40	2日目	9：30～16：10
	D：1日目	13：10～19：00	2日目	9：20～16：00

申込みハガキ記入要領

- ・ 7～8月分は巻末の申込みハガキに受講希望日・会場を記入して、5/31必着で送付してください（必ず第2希望まで記入）。なお、5/31に受講条件を満たせなかった方は7/15までの間に早めに条件を満たしてお申込みください。7/15申込受理の場合、7/17以前に実施するスクーリングや5/31申込者で定員が一杯になった会場では受講できません。
- ・ 12月の新潟会場希望者は10/31必着でお申込みください（必ず第2希望まで記入）。
- ・ 1月分は11/30必着でお申込みください（必ず第2希望まで記入）。
- ・ 第1希望と第2希望を記入する際、同日程・同会場にはしないでください。
- ・ 申込後の希望日程の変更は一切受付ません。

社会福祉援助技術演習Ⅰ・演習A スクーリング申込書

学 籍 番 号		09TZ999	
氏 名		福祉歩美	
社会福祉援助技術演習Ⅰ・演習Aのスクーリング受講を申込みます。			
科 目 名	コード	受講料	コマ数 S 単位
◆社会福祉援助技術演習Ⅰ	050130	10,000円	8 1
★社会福祉援助技術演習 A	050082		

日 程	開講場所	第1希望	第2希望
7/2(土)・3(日)	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/9(土)・10(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/16(土)・17(日)	郡山	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/30(土)・31(日)	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/30(土)・31(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8/13(土)・14(日)	川口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8/24(水)・25(木)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12/3(土)・4(日)	新潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H24 1/28(土)・29(日)	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H24 1/28(土)・29(日)	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H24 2/4(土)・5(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

事務局記入欄

申込締切 ① 5月31日 ② 7月15日 ③ 10月31日 ④ 11月30日 必着

必ず第2希望まで記入
(第1希望と同じは不可)

受講クラスの決定方法

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として第2希望までのいずれかの日程で受講が可能です（7月15日締切の申込者は定員に余裕ある会場での受講となります）。

なお、希望の日程で受講が可能ないように調整しますが、各時期・会場の定員を超えた場合は下記のように決定します。クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません（開講日・開講場所は必ず第2希望まで記入してください）。

- (1) 今回開講されない都道府県の方の希望を優先します。また、地方開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先します。
- (2) スクーリング受講料納入期限の遅れがあったり、これまでのスクーリングに届出なしで欠席されたことのある方、申込みハガキに第2希望まで記入されていない方など、ルールをお守りいただけない方の優先順位は下がります。
- (3) それでも定員を超えた場合は、無作為抽選で決定させていただきます。ご了承ください。

クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。受講を取り消された方は次回締切以降に再申込みとなります。

受講許可通知発送

受講日・受講地を決定し、クラス分け後受講許可通知とスクーリング受講料納入依頼書を7・8月分は6月15日、12月分は11月11日、1月分は12月11日までに発送します。7月15日締切分は7月末までに通知いたします。

スクーリング受講料納入期限は7・8月分は6月30日、12月分は11月25日、1・2月分は1月5日です。この科目の受講料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

＊平成23年度「社会福祉援助技術演習Ⅱ」を受講希望する方へ

23年度10～11月の「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の受講を希望する方は、7～8月のいずれかのスクーリングを受講し、事後レポートを9月15日までに提出し、10月15日までに合格する必要があります。「演習Ⅰ」の結果は成績が入り次第順次発送します。「演習Ⅱ」受講希望の方は、「演習Ⅰ」の結果が出ていなくても、申込みはしておいてください。

スクーリング講義概要

「社会福祉援助技術演習A」のスクーリング講義概要参照。

演習受講の際には、自己紹介や話し合い、ロールプレイングなどを求められますので、ご了承ください。

「演習Ⅰ」の最終コマは「体験学習・次年度実習ガイダンス」です。

体験学習

本演習の最終コマ（8コマめ）の「体験学習・次年度ガイダンス」において説明します。

精神保健福祉論Ⅰ

科目コード●050133

担当教員●阿部 正孝



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

精神保健福祉とは一般には、国民全体の心の健康の維持・向上および精神障害者の社会的自立と社会的・経済的・文化的活動への参加の促進・支援を目指す諸活動全体をさすものと考えられます。ここでは精神保健福祉士国家資格受験資格取得科目の一つであることを意識して、精神障害者の精神保健福祉を中心に学ぶことにします。精神保健福祉論はⅠとⅡとⅢに分かれています。この順に学ぶことを希望します。精神障害は疾病と併存している障害であり、医療・保健・福祉にまたがる援助が必要です。日本では障害者として平成5年障害者基本法において初めて法的に位置づけられました。障害者福祉領域では新しい仲間であり、社会的入院の解消が大きな課題です。

精神保健福祉論Ⅰでは精神障害者の現状、障害者福祉と精神保健福祉の歴史、障害者福祉の理念、精神障害の概念、精神保健福祉士資格の成立の意義・専門性・倫理・役割・課題について学びます。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉論』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき本文が1,900字以上になるようにまとめてください。

1 単位め

精神障害の概念を世界の動向も含めて述べてください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

精神保健福祉士が精神障害者の社会的入院の解消・地域生活支援に果たす役割と課題を考察してください。

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

アドバイス

精神保健福祉論 I ・ II 共通するレポート作成の留意点

- (1) テキストを熟読してください。
- (2) 引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (3) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。
- (4) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しが少なくなり、論理的になるでしょう。限られた枚数を有効に使いましょう。

1 単位め
解説

なぜ日本では障害を固定的に考えていたのでしょうか、障害の概念の歴史の変遷を探ると偏見と差別の根が深かったことがわかります。そのために精神障害が疾病と併存する障害であるという考えが認知されてからまだ日が浅く、福祉サービスの整備状況も身体障害や知的障害と比べてまだまだ不十分です。人々の差別・偏見の意識も十分に解消されていません。それらを考察して福祉の理念の変化が障害者の援助に大きな変化、望ましい変化をもたらしていることをよく理解してください。障害者に対する一人ひとりのスティグマの存在も見逃せないことを知ってもらいたいと思います。また、ICF、蜂矢氏の理論は、今日の精神保健福祉施策に大きな影響を与えています。これらについても論述することを希望します。

2 単位め
解説

国はこれからの10年間で約7万人の社会的入院者を地域に帰す計画を立てています。社会的入院の解消は単なる退院ではありません。地域で自立して生活できるようにするには意識する、しないは別として我々が支援ネットワークの中で生活しているように、常にその時々に必要な支援が確保されることが大切です。その際に、精神障害者の立場にたって、支援をする人材として制定された精神保健福祉士の役割を十分に理解することが必要です。これまでの精神障害者の処遇、精神保健福祉士の業務は何か、専門性は何か、その業務の充実に果たされる役割と課題を把握することが専門

職に求められ、精神障害を持つ人々にとって役に立つ人材として成熟することが欠かせません。

精神医療の現場では、閉鎖的な環境のもと、患者の権利侵害が起きたり、不利益が生じたりします。しかしながら、当事者の援助のみならず本人を取り巻く環境への配慮も精神保健福祉士の役割です。倫理も含めながら専門性を考えていただければと思います。

参考図書

以下の参考図書もよく読んでください。

佐藤久夫著『障害構造論入門』青木書店、1992年

精神保健福祉論Ⅱ

科目コード●050134

担当教員●阿部 正孝



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

基本的には精神保健福祉論Ⅰの理念・概念・歴史・現状の理解を前提として、精神保健福祉論Ⅱの講義をすすめます。ここでは精神障害者の医療・保健・福祉にまたがる援助の中で福祉サービスを中心にした援助活動全体を概観します。

教科書（「精神保健福祉論Ⅰ」と共通）

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉論』
中央法規出版、2009年

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

※「精神保健福祉論Ⅰ」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。ただし、個別単位認定により「精神保健福祉論Ⅰ」が認定された方は、通信教育部・履修登録係宛に書面（郵送・FAX）で教科書の配本希望を申し出てください。書式は自由としますが、①氏名 ②学籍番号 ③「精神保健福祉論Ⅰの個別単位認定により精神保健福祉論Ⅱの教科書配本を希望する」の文言、以上の3点は必ずご記入ください。

履修登録条件

この科目は、「精神保健福祉論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき本文が1,900字以上になるようにまとめてください。

1 単位め

精神障害者の援助において社会福祉の視点・障害者福祉の視点による援助は、精神障害者本人の主体性の尊重、主体性の回復が中核であるが、主体性についてのご自分の考えと主体性の回復について考察しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

自分の住む市町村における精神障害者の地域生活支援の展開の状況と課題について考察する。

アドバイス

アドバイスをよく読んでから、書きましょう。

1単位め 解説

障害を持つ人々が何もできない人と見られてしまうのは、周囲との関係性の中で生じてきた結果です。**自己決定・エンパワメントの視点・自己尊厳**を絡めて、主体性の尊重を考えてください。

「精神保健福祉法」の制定以来、社会資源が整備され始め、精神障害者の地域生活の維持、社会参加など、相談援助活動は多様に展開されています。この単位では、主体性を尊重する援助活動とはどのようなものかなどを求めています。

2単位め 解説

平成15年度から市町村が障害者福祉の第一線となった。精神障害者福祉がより身近なものとなるが、実際の整備状況はどうでしょうか。市町村のパンフレット、障害者福祉計画などを参考にし、ご自身の住宅街の医療資源、地域資源を具体的に紹介し自分の意見も表現してください。この課題は、テキスト以上に自分のフットワークを生かして論述してください。

精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ共通するレポート作成の留意点

- (1) テキストを熟読してください。
- (2) 引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (3) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しがすくなくなり、論理的になるでしょう。限られた紙数を有効に使いましょう。
- (4) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。

参考図書

佐藤久夫著『障害構造論入門』青木書店、1992年

精神保健

科目コード●050136

担当教員●松江克彦



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

精神的健康を保持・増進することは、心豊かな生活と生きる喜びを享受することの基礎であります。しかしながら、精神障害の発生をはじめ、現在のような複雑な社会では、精神的健康を阻害する多くの要因が存在します。そこで本科目では、各ライフサイクル段階での発達や成熟の在り方と、それにたいする現代の社会・文化的影響、今日特に問題となる精神障害や精神的問題についての知識とそれらに対する精神保健対策、さまざまな集団における精神保健活動の実際、精神保健にかかわる施策や制度の問題などを中心に学んでいきます。そのような学習を通して、自己や周囲の人の精神的健康について考え、ひいては、人間全体の精神的健康について考えていくことを目的とします。

教科書

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー第2巻 改訂第3版増補 精神保健学』へるす出版、2008年（第3版であれば増補版でなくても可）

レポート課題

1 単位め	人間のライフサイクルを各段階（時期）に分けてその特徴を説明し、それぞれの段階で起こりやすい精神的な問題についても述べなさい。
2 単位め	<p>【説明型レポート】</p> <p>下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。</p> <p>① アルコール依存症の自助グループについて</p> <p>② 依存性薬物の特性について</p> <p>③ WHO による ICDH と ICF について</p> <p>④ トータルヘルス・プロモーション（THP）について</p>
3 単位め	高齢社会とは、具体的にどのような社会でどのような問題を含んでいるのかを説明し、次に老人性痴呆（認知症）疾患について述べ、それにたいして行われている対策について説明しなさい。

4 単位め

日本の精神障害者の処遇に関する法律の変遷について説明し、その上で第二次世界大戦以後、精神障害者への施策がどのように変わってきたか論じなさい。

アドバイス

レポート課題に取り組むにあたって考えておいてほしいのは、レポート課題を単にテキストで調べ、それを要求する字数で書けば良いという態度ではいけないということです。私たちの身のまわりで起きているさまざまな精神的な問題に関心を持ち、それらを自分自身の問題として受け止め、それにたいしてどのような対策が行われ、行おうとしているかを全体的に理解することが大切です。そして、自分自身でもその対策を考える積極的な態度が必要です。そのためには、まず教科書を通読して精神保健の概略を理解することです。そうすれば、レポート課題についても、どのような箇所が参考になるのか自ずとわかってきます。また、新聞やテレビで、精神保健にかかわるニュースを読んだり、見たりすることも大切です。新聞の記事のスクラップブックを作るのも理解を深めるのに良いでしょう。その上でレポート課題に取り組んで下さい。参考図書も最後に挙げておきますが、必読というわけではありません。特に詳しく調べたい人には有用です。レポート課題の評価は、単に教科書に書かれていることを羅列するようなことはせず、教科書をよく理解し、メディアで見たり聞いたりしたことなども参考にし、自ら考えたことを自分の言葉でまとめているかどうか、という点も加えて評価します。また、レポートの最後に参考文献（教科書も含む）を必ず記すようにしてください。

さらに、レポート課題にないから重要ではないということではなく、たとえば、アルコールや薬物依存の問題（第3章Ⅲ、Ⅳ）など、きわめて重要な今日の問題も含まれています。そのような問題についても理解を深め、自分や周囲の人の健康のために役立てるようしてください。

1 単位め 解説

ここでは、人間が生まれてから死ぬまでのライフサイクルの全体を理解し、その各段階の特徴や特殊性を良く理解してもらうことを目的にしています。教科書の第2章の全体、できれば参考文献なども参考にしながらまとめてください。精神的問題は、単に精神障害だけでなく、各年代で起こりやすいさまざまな自己の問題や社会的な問題も含みます。

2単位め
解説

この課題では、他のレポート課題のほかに、今日の精神保健活動においては是非知っておきたい項目についての理解を目指しています。指定のテキストにおいて、①は第3章Ⅲ、②は第3章Ⅳ、③は第3章ⅥのBに、④は第4章Ⅲに適切な解説を見いだすことが出来ます。これらの理解から、様々な精神保健対策への理解へとつなげていきましょう。

3単位め
解説

高齢社会の到来は今日の大きな問題であり、それにどのように対処していくかは精神保健の重要な課題です。ここでは、高齢社会についての理解を深め、どのようなことが課題になっているかをよく理解することを目的としています。そして、高齢社会の問題の1つに、老人性痴呆（認知症）疾患の増加があります。痴呆（認知症）疾患の理解とそれに対する対策は急を要する問題です。レポート作成においては、教科書の第2章Ⅵ、第3章Ⅱ、第5章Ⅱ、その他できれば参考書なども参考にして、数値を挙げたり、具体的症状や個々の対策について、特にわかりやすく整理して作成するようにしてください。

4単位め
解説

精神障害者の処遇の問題は、狭義の精神保健と言われるように、古くから精神保健の最大の課題です。昔から精神障害者はどのように扱われてきたのか、そして現在、精神障害者をどのような方向に持って行こうとしているのかをよく理解することを目的としています。レポート作成にあたっては、第3章Ⅰ、第5章Ⅰ、そしてできれば参考図書なども参考にして、時代と共に精神障害者への対策が法律や制度の変化としてよくわかるように作成してください（法律名や制度名だけでなく、その内容理解と変化の理由をよく理解して作成すること）。このような課題の作成を通して精神障害をよく理解し、精神障害者への偏見などについても理解を深めなければいけません。

参考図書

- E.H. エリクソン 村瀬孝雄・近藤邦夫訳『ライフサイクル、その完結（増補版）』みすず書房、2001年
- 厚生統計協会編『国民の福祉の動向』厚生統計協会、最新版
- 精神保健福祉研究会監『我が国の精神保健福祉 平成16年度版』太陽美術、2005年
- 大熊輝雄著『現代臨床精神医学（改訂第10版）』金原出版、2005年
- その他、精神保健・精神医学関係の図書

精神保健福祉援助技術総論

科目コード●050137

担当教員●志村 祐子



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

精神障害者の施策はさまざまな法改正を経て、現在は病院から地域へというのが一般的です。2002年末に出された「障害者基本計画」、それに伴う「新障害者プラン」においても長期入院患者（いわゆる社会的入院者）の退院、社会復帰を目指すことが数値目標としてあげられています。そうした中で、地域に暮らす障害者がいかに「自分らしく」生活することができるか、より生活の質を上げていくことが可能かということが大切となります。地域に暮らす障害者の生活の支え手としての精神保健福祉士の役割はますます重要となってくると考えられます。本科目では専門的にかかわるとはどういうことか、専門家としてかかわるには何が求められているのか等、社会福祉の専門援助活動を展開する上で必要な援助技術の理論的理解を身につけていただくとともに、対人援助を行う自分自身についても十分に振り返りながら、学習を進めてください。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉援助技術総論』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能ですが、レポート課題およびアドバイスの参照ページは新教科書に対応しています。

レポート課題 ※4課題とも1,900字以上記述してください。

1 単位め	精神保健福祉士の成立過程を歴史的に振り返りながら、これから求められる役割について考察せよ。
2 単位め	精神保健福祉士の倫理綱領をよく読み、精神保健福祉士の倫理についての考えを述べてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
3 単位め	援助活動におけるパートナーシップについてまとめ、「生活のしづらさ」を抱える精神障害者にとってのパートナーシップについて自分がどのように考えるかも述べてください。
4 単位め	病院におけるチームアプローチの中で精神保健福祉士が果たす役割について考察せよ。

アドバイス

テキストは初めて学ぶ人にはやや困難な内容かもしれませんが、参考文献にも目を通し、調べ学習をしてください。また、「ソーシャルワーカーは足で稼ぐ」といわれているほど自分が一つの社会資源となって動くことが大切ですので、実際の現場に足を運ぶなど、目で見て確かめることもできれば行ってみてください。人とかかわる仕事をしていく上で、いかにコミュニケーションをとっていけるかはとても大切な能力です。自分がしたいことを相手に伝えること、わからないことを人に聞くことも大事なコミュニケーション能力です。

1単位め 解説

テキスト第1・2章を読みさらに関連図書なども調べながら、精神保健福祉士国家資格制度の成立までの歴史的な流れを把握してください。その中で、専門家としての役割をしっかりと考えてみてください。

2単位め 解説

テキスト99ページからの倫理綱領を読み、専門家として求められる「倫理」とは何かをまとめ自分の考えも述べてください。

3単位め 解説

テキスト第4章第5節をよく読み、地域で暮らす精神障害者にとって精神保健福祉士としてどのように支援していくことが望まれているかをまとめてください。

「医学モデル」「生活モデル」「統合生活モデル」についてまとめ、病院の他職種との立場の違いについて言及し、チームの中で果たす役割をまとめてください。

参考図書

- 1) 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課監修 『精神保健福祉士法詳解』 ぎょうせい、1998年
- 2) 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 『精神保健福祉士養成セミナー第5巻 改訂第3版 精神保健福祉援助技術総論』 へるす出版、2004年
- 3) 『改訂 精神保健福祉士養成講座1 精神医学』 中央法規出版、2007年
- 4) 高橋俊彦・近藤三男著 『大学生のための精神医学』 岩崎学術出版社、1998年
- 5) 日本精神医学ソーシャルワーカー協会編 『これからの精神保健福祉』 へるす出版、1998年
- 6) 江畑敬介編 『こころの科学67 精神障害者の社会参加』 日本評論社、1996年
- 7) 安西信雄・高橋一編 『こころの科学88 精神保健福祉士』 日本評論社、1999年

精神保健福祉援助技術各論

科目コード●050138

担当教員●大和田誠子



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

各論では、精神保健福祉の考え方とその考え方を構成している要件、それらに関する思想、理念や仕組み、内容を基盤にし、具体的にそれらを実際にどう活用しどのように実践を展開していくのか、その方法・技術について学んでいきます。

たとえば、精神障害を抱えている人にとって「生活」とは何か、その捉え方・考え方が問われ、支援の視点や方法に反映していくでしょう。生活支援を考えると精神障害を抱える人や家族を支える社会関係を豊かにするためのネットワークづくり、コミュニティの形成と言う考え方や方法についても学ぶことは現実的な課題です。地域にはそれぞれ文化や伝統を背景にした住民感情があり、それらを配慮しつつ対応していくことを考えていくことになります。精神保健福祉士も地域住民同様、伝統や文化的なものに影響を受け支援方法等に反映される傾向があるといわれ、その意味で自己覚知は専門家として当然のことになります。

前述したように各論では、すでに学んだ理論を具体的な実践とあわせ精神保健福祉士が活用する方法・技術について学んでいきます。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 6 精神保健福祉援助技術各論』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能ですが、レポート課題およびアドバイスの参照ページは新教科書に対応しています。

レポート課題

1 単位め	21年度の教科書「第1章第2節3 家族支援の事例」を参考にし、家族と本人との関係について整理し家族支援について考察しなさい。コラムにある危機対応技能や二重拘束説も参考にしてください。
2 単位め	21年度の教科書「第2章第2節3 アルコール・薬物依存症」を読み、セルフヘルプグループについて説明し、課題実現のためにそのグループで活用されている具体的スキルとその理論的背景を述べなさい。
3 単位め	コミュニティワークの実践事例を参考にし、精神保健福祉士がどのように問題意識を持ち、何を大切にし何から始めるのか、誰がどこに働きかけるのかその手順等について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)
4 単位め	ケアマネージメントとストレングスの活用について、その見出し方、活用方法、利用者との協働、地域への介入方法等について説明しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)

アドバイス

各論では、総論で学んだソーシャルワーク史、概念、目的、原理などを基にソーシャルワーク「スキル」の習得をめざしています。多くの実践事例を読み込み総論で得た知識とあわせ深く掘り下げて検討してみることに。さらに自分自身が精神保健福祉士だったらどのような方法、スキルを持って対処するのか、その根拠は何か等も考えて見ましょう。

1単位め 解説

本人の抱える問題が家族メンバーに与える影響、家族メンバーが受けた影響が本人に与える影響等相互に関係し家族全体が病んでいくプロセスがあります。感情表出や二重拘束説について学習し考えてみてください。

2単位め 解説

この単位ではセルフヘルプグループについて取り上げました。アルコール関連に限らず多くの分野で発展しています。精神保健に関わるものとしては研究が必要です。AAグループのステップや伝統を調べグループワークを理解する参考資料にしてください。

3単位め 解説

コミュニティワークの方法は実際に行政、病院、社会復帰施設、NPO等幅広く活用され実践を積みさらに理論構築していく必要を一番求められている領域です。テキストに取り上げられている事例を読み込み、記載されている参考

文献を選択して学習してください。

4単位め
解説

ケアマネジメントは利用者のニーズと希望に基づき、適切なサービスが受けられるよう支援する方法です。生活ニーズの捉え方とケアプランや第5章チームアプローチと連携、についてテキストを中心に学習し課題に取り組んでください。

参考図書

- 1) 柏木昭編著『新精神医学ソーシャルワーク』岩崎学術出版、2002年
- 2) 岡本民夫・平塚良子『ソーシャルワークの技能 ― その概念と実践』ミネルヴァ書房、2004年
- 3) 黒木保博・横山穰・水野良也・岩間伸之『グループワークの専門技術』中央法規出版、2001年
- 4) 遊佐安一郎『家族療法入門 ― システムズ・アプローチの理論と実際』星和書店、2004年
- 5) 田中英樹『精神障害者の地域生活支援 ― 統合的生活モデルとコミュニティソーシャルワーカー』中央法規出版、2001年
- 6) 寺谷隆子「自立生活支援と実践課題 ― 参加奨励の支援システムの形成」『社会福祉研究』84号 財団法人鉄道弘済会 社会福祉部、2002年
- 7) 『あみ』増刊号「障害者自立支援法資料集」、NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会、2006年
- 8) 三品桂子『利用者主導を貫く精神障害者のケアマネジメント』へるす出版、2003年

福祉ボランティア活動



科目コード●050142

担当教員●小野芳秀

1 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

ボランティア活動は実践することに意義があります。本科目は、学生の普段からの自発的な活動に対し、これを推進し、また学生自身がレポートの形で第三者に伝えることで、学生自身が活動を客観的に振り返り、点検を行った結果を次に活かすことを目的としています。したがって評価対象は、活動者の実体験に基づく「活動の振り返り」や「内省」「客観的な考察」が主となります。

レポート課題

1 単位め
(1・2 選択)

課題1：あなたが行ったボランティア活動について、以下の項目に従い具体的に記述しなさい。

- ①「活動対象」②「活動期間」③「活動動機・目的」④「活動内容」
- ⑤「研修・準備期間」⑥「問題点・反省点」⑦「改善案（⑥について）」
- ⑧「自己評価（③を含めて）」⑨「質問」

課題2：あなたの身近なボランティア個人・ボランティア団体について、上記の③～⑦・⑨について、具体的に調査し記述しなさい。

アドバイス

課題1および2は選択となっています。

あなたが1年間を振り返り、実際に行ったボランティア活動について記述することが可能であれば課題1を、ボランティア活動が行えなかった場合は課題2を選択してください。

課題1 解説

- ①「活動対象」には、対人ボランティアの場合は、「高齢者」「障害者」「児童」等を、それ以外は活動の対象を表記してください（例：河川清掃等の環境ボランティアの場合は「近所の河川」と表記）。
- ②「活動期間」には、活動を行った日時・延べ活動時間を記述してください（例：平成22年5月2日（3時間）・5月14日（2時間）・7月12日（3時間）延べ8時間）。

- ③ 「活動動機・目的」には、「なぜそのボランティア活動をしようと思ったのか」、また「どのような目的で活動を行ったのか」について記述してください。
- ④ 「活動内容」には、ボランティア活動の内容について具体的に記述してください。
- ⑤ 「研修・準備期間」には、その活動を行うにあたり準備したことや、事前に参加した研修等について記述してください。特にない場合は省略して構いません。
- ⑥ 「問題点・反省点」には、活動の際に生じた問題、反省点等を記述してください。
- ⑦ 「改善案（⑥について）」には、⑥で直面した問題について、「どのように対処したか」、また、後から活動を振り返って「こうすれば良かった」について記述してください。
- ⑧ 「自己評価（③を含めて）」には、③の活動動機・目的について、「実際活動してそれが達成できたかどうか」について記述してください。
- ⑨ 「質問」には、活動を通して感じた疑問等、また活動に直接関係がなくともボランティアに関する質問があれば自由に記述してください。

注 意

- ・ レポートを記述する際は、具体的個人名は記載せず、プライバシーに十分配慮してください。
- ・ 本科目は、受講者の普段からの自発的なボランティア活動について評価を行うものであり、レポート評価が直接的な目的ではありません。これから活動する方で、特に対人のボランティア活動を行う場合は、この点について十分自覚し、形だけの活動になって相手に不快感を与えることのないよう、真摯な態度で臨んでください。
- ・ 活動中の事故については、全国の県・市・区の社会福祉協議会が窓口となっている「ボランティア保険」があり、活動によって生じた事故による通院費や対人・対物賠償が補償されます。それぞれの窓口にお問い合わせ、事前に参加しておくことをお勧めします（掛け金年間数百円程度）。
- ・ ①「活動期間」は、定期的に長期間にわたるもの、イベント等の単発活動を問いません。ただし、1、2時間程度の活動が1回のみの場合は、「レポートの題材および水準に見合わない体験的活動」として評価対象外とします。長期・単発共に最低2回以上の活動を希望します。
- ・ 「活動記録ノート」を用意し、その日に活動した内容について項目毎に記録しておく、レポートとしてまとめる際に役立ちます。
- ・ レポートとして記述する活動は複数でも構いません。複数の場合はそれぞれ分けてレポートを作成してください。
- ・ 肉親を直接的な対象とする活動は評価対象外とします。



課題1を参考に、③～⑦・⑨について取材形式で調査した内容からレポートを完成させてください。

注 意

取材調査を行う場合は、相手に調査の目的およびプライバシーを配慮する旨を説明しましょう。

福祉リスクマネジメント

科目コード●050143

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

措置制度から契約制度の移行により、利用者と施設側が対等な関係となり、利用者側の権利意識が高揚したため、これまで顕在化しにくかった福祉サービスにおける事故が多発し、福祉サービス提供者側に多様なリスクが表面化し始めました。福祉サービスにおけるリスクには、介護におけるリスク、障害者におけるリスク、保育におけるリスク、施設におけるリスク、在宅におけるリスクなどさまざまなリスクが存在します。

このような現状の下で、福祉サービスにおける事故等に対して、適切な対応の確立と具体的な介護事故における問題解決への方策が急務といえます。本科目においては、施設におけるリスクの分析、つまり社会福祉施設における介護事故の裁判例の分析を通じて、事故を未然に防ぐという予防的側面と、事故が生じた場合の事後的な対応を個別具体的に検討し、介護施設側に介護事故に対する自覚を促し介護事故防止のための体制を構築することを目的とします。

教科書

渡辺信英編『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメント — 高齢者施設編』南窓社、2006年

レポート課題

1 単位め	ケース1の「介護サービスの清掃義務違反に伴う利用者の転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
2 単位め	ケース2の「デイサービス利用中の行方不明にかかる死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
3 単位め	ケース5の「老人保健施設における誤嚥による死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

4 単位め

ケース8の「ボランティアの見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース3の「介護サービス中の見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護記録の重要性、連携・協働のあり方、利用者・家族との信頼関係の構築、チームアプローチ、チームケアの構築を中心に、契約制度の視点から具体的に言及してください。

2単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース4の「老人保健施設における転落死亡事件」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。また、認知症による徘徊によって、介護事故が生じないように、施設側がとりうる具体的な方法について、判例の見解を踏まえながら自説を展開してください。

3単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース6の「特別養護老人ホームにおける誤嚥による死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護サービスに求められるサービスの基準の確立、苦情解決制度によるリスクの防止策、リスクマネジメントと利用者の人権尊重の調和を中心に具体的に言及してください。

4単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース7の「送迎中の転倒・骨折死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、判旨が論じたボランティアの意義を言及した上で、ボランティアの注意義務について、具体的に考察してください。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 3) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年（改訂版、2007年）
- 4) 志田民吉編著『法学 [第3版]』建帛社、2007年
- 5) 平田厚著『社会福祉法人・福祉施設のための実践リスクマネジメント』全国社会福祉協議会出版部、2002年
- 6) 増田雅暢・菊池馨実編『介護リスクマネジメント』旬報社、2003年

家族法

科目コード●050144

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

少子・高齢化社会を迎えるわが国において、子どもの人権といった問題から、家族・親族間の高齢者における介護・扶養といった問題は、身近な問題といえます。福祉の実務においては、たとえば認知症である利用者の財産管理はどのように対処したらいいのでしょうか。虐待を繰り返している両親に対して、子どもの救済を図るためにはどのようにしたらいいのでしょうか。遺産を相続するにあたって、親族間でトラブルが生じた場合にはどのようにしたらいいのでしょうか。経験や勘で対応するのではなく、福祉の現場において、最低限の法律の知識に基づいてアドバイスができる人材が現在求められています。

このような家族関係をめぐって紛争が生じた場合の解決方法、また相続の問題などを対処するための法律が、親族法・相続法であり、家族法であります。特に家族に関する問題は、社会が複雑化・多様化する中で、従来の家族の概念を越えた現代的問題として、夫婦別姓制度、夫婦財産制度、人工生殖問題などもあります。

本科目においては家族の新しいあり方と法の関係について現状を認識し、現代の問題点を把握し、よりよく快適な生活を享受し、安心して老後を送るためにはどのようにすべきなのかについて、具体的に学んでいきます。

教科書

渡辺信英編『福祉社会の家族法 親族編』南窓社、2008年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『福祉のための家族法 親族編』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	第1章の「家族法序論」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)家族法の特徴について、(2)氏と戸籍について
2 単位め	第3章の「日本の婚姻制度」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)再婚禁止期間について、(2)夫婦同氏の原則について

3 単位め	第4章の「親子」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親子制度の変遷について、(2)人工生殖による親子関係について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	第5章の「親権・後見等」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親権の内容について、(2)成年後見制度について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

(1)家族法の特質に関しては、家族法が「予定する人間像」「非合理性・非計算性」を中心にまとめてください。また、家族法の意義を論じた上で、福祉的視点としての家族法を論じてください。(2)氏と戸籍に関しては「悪魔くん事件」「戸籍偽造事件」など、具体的に問題となった事例を示して、あなたの考えを論じてください。

2単位め 解説

(1)再婚禁止期間の意義と問題点を論じた上で、あなたの考えを論じてください。また、再婚禁止期間の制度が父性確定の困難を避けるためのものであれば、どのようにすべきか具体的に言及してください。(2)夫婦同氏の原則の意義と問題点について論じた上で、諸外国の夫婦の氏についても、言及してください。また、夫婦別姓制についても法改正の動向を踏まえて、自説を展開してください。

3単位め 解説

(1)「子のための親子法」を中心に、今日の親子法の課題について言及してください。また、親子関係の意義についても具体的に言及ください。(2)人工生殖の問題点を示した上で、あなたの考えを論じてください。また、人工生殖の立法論について自説を展開してください。

4単位め 解説

(1)「子の虐待と親権の抑制」を中心に、あなたの考えを論じてください。虐待を防ぐための具体的な対策についても、自説を展開してください。(2)今後の成年後見制度の利用上の課題について、あなたの考えを論じてください。また「後見」「保佐」「補助」についても説明してください。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 3) 渡辺信英編『福祉社会の家族法 相続編』南窓社、2008年

基礎演習

科目コード●050145

担当教員●寺下 明・森 明人
小野 芳秀・福地佳代子 ほか

1 単位

S

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、人間や社会に関する様々な諸問題から自由にテーマを設定し、グループ毎に話し合い、議論された内容について資料を作成し、最後にグループ発表を行っていただきます。

本科目は、一方的な講義形式ではなく、学生が主体的に参加する演習形式です。受講生の自由な視点からの、活発な議論を期待します。

設定した任意のテーマについて、情報収集、レジュメ（資料）の作成、プレゼンテーション（発表）技術についても学んでいただきます。グループ学習を通じ、普段の学習方法についての情報交換や学習の仲間を作る機会にもしてください。

教科書

特に指定していません。

自身が興味を持つテーマの資料等があればスクーリング受講時に持参してください。

平成23年度スクーリング開講予定

- ① 6/18・19 仙台
- ② 12/3・4 仙台

※ ①、②のうちどちらか連続2日間になります。

統計情報を見る眼

科目コード●050146

担当教員●平川昌宏



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

私たちは普段テレビや新聞、広告などを通してたくさんの統計情報に接しています。統計情報は物事を客観的に理解し、人に伝える上で非常に有効で便利なものです。さらに、統計情報を適切に「読みこなし」「使いこなす」ことによって、そこから有益な結論を論理的に導き出すことが可能になると考えられます。しかし、その反面、このように統計情報を適切に「読みこなし」「使いこなす」ことは必ずしも簡単なことではありません。さらに言えば、それができなければ、統計情報に「騙され」、知らず知らずのうちに真実とは異なる解釈に至ってしまったり、真実とは異なる印象を抱いてしまう危険性すらあると考えられます。

本科目では、まず、統計情報の種類やそれらの特徴について理解することを目的とします。さらに、それを解釈する際の統計的な思考法について学んでいくことを目的とします。以上を通して、統計情報に騙されることなく、それを「読みこなし」「使いこなす」ことができるよう「統計情報を見る眼」をより豊かなものにすることを目指します。

なお、統計情報は事象を数値的に処理したものであり、統計情報についての理解を深める上である程度の数学的な知識が必要になります。その点で、特に数学に苦手意識を持つ方には、履修することがはばかれる科目かもしれません。スクーリングでは、この点を考慮し、数学的な内容は必要最小限にとどめ、統計的な考え方の習得に焦点を当てていくこととします。

教科書

飯田泰之 『考える技術としての統計学』日本放送出版協会、2007年

レポート課題

1 単位め	テキストの第1章を読み、「統計詐欺の3つのパターン」を具体例を挙げながらまとめてください。
2 単位め	<p>次の2つの課題のうち、いずれか1つに回答してください。</p> <p>課題1 1つの変数の特徴を記述する際に用いられる値として算術平均があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 算術平均の特徴について述べてください。 ii) 1つの変数の特徴を記述する上で算術平均を用いる際の留意点について述べてください。さらに、算術平均がデータを代表する値として不適切な場合、そのデータの特徴を理解し、記述する方法について述べてください。 <p>課題2 2つの変数の関係を述べる際に相関という言葉が用いられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 相関の種類についてまとめてください。また、相関係数の特徴について述べてください。 ii) 相関関係を解釈する際の留意点について具体例を挙げて説明してください。その際、「因果関係」、「疑似相関」という用語を必ず用いること。

アドバイス

1単位め
解説

テキストの第1章『統計的思考とは何か』では、真実とは異なる印象を抱かせる統計情報のパターンとして、3つのパターン（①見せ方の嘘、②選択の嘘、③収集の嘘）が述べられています。この3つのパターンそれぞれについて、テキストの内容を参考にしながら述べてください。その際、各パターンの具体例をそれぞれ挙げるようにしてください。

具体例については、まず、皆さんのまわりにある統計情報、あるいは、テキスト以外の文献等で紹介されている統計情報を見直し、その中で各パターンに該当するものがないかどうかを検討してください。このような検討を行った上で、それでも各パターンに該当する適切な具体例が見当たらない場合は、テキストで述べられているものについて述べても構いません。

2単位め
課題1
解説

たとえば、「○○のテストの平均は△△点だった」など、平均（とりわけ算術平均）は私たちにとって非常になじみ深い統計情報です。それゆえに、その特徴や留意点を理解した上でつきあっていく必要があると考えられます。今回の課題については、テキストの第2章『「平均」による情報縮約』を学習した上で取り組むようにしてください。詳細なアドバイスは以下の通りです。

i) について

- ・テキストでは、4種類の平均について述べられています。レポート課題では、その中で算術平均について述べるようにしてください。
- ・テキストでは算術平均の特徴として「やじるべえの支点」という表現が用いられています。この点について詳しく述べるようにしてください。

ii) について

- ・主にテキスト第2章の第2節『平均の誤解を解く』に書かれている内容を参考に、レポートを作成するようにしてください。
- ・他のデータに比べて極端に大きな値や小さな値を示すデータのことを「外れ値」と言います。算術平均を用いる際の留意点について述べる際、この用語を用いるようにしてください。

2単位め
課題2
解説

ある事柄について予測を行う、あるいは原因をさぐる上で、2つの変数の関係を理解することは非常に有益だと考えられます。今回の課題については、テキストの第5章『「回帰分析」による関係把握』を学習した上で取り組むようにしてください。詳細なアドバイスは以下の通りです。

i) について

- ・主にテキスト第2章の第1節『関係性を発見する』の中の、『まずは視覚化する』(p.148～)、『次に数量化する』(p.150～)に書かれている内容を参考に、レポートを作成するようにしてください。
- ・相関係数の特徴については、この値から2つの変数の関係についてどのような情報を読み取ることが可能なのかについて述べてください。

ii) について

- ・主にテキスト第2章の第3節『回帰分析の有効利用へ』の中の『因果と相関』(p.171～)の中で、回帰分析の根本的な問題点として述べられている事柄を参考に、レポートを作成するようにしてください。
- ・「疑似相関」とは、実際には直接関係のない変数同士（たとえば、「地震」と「ナマズがさわぐ」）が、両者に共通する別の要因（「地殻変動」）の影響を受けて、見かけ上相関関係が生じる現象のことを言います。
- ・具体例としては、皆さんのまわりにある統計情報や一般的に言われている通説の中で、「疑似相関」であることが考えられるものを1つ挙げるようにしてください。

参考図書

- 青木繁信 『統計数字を読み解くセンス』 化学同人、2009年
上田尚一 『統計グラフの賢い見方・作り方』 講談社ブルーバックス、1988年
大村 平 『統計のはなし（改訂版）』 日科技連、2002年
ジョエル ベスト 『統計はこうしてウソをつく——だまされないための統計学入門』
林大訳 白揚社、2002年
谷岡一郎 『データはウソをつく』 筑摩書房、2007年
ダレル ハフ 高木秀玄訳 『統計でウソをつく法』 講談社ブルーバックス、1968年
吉田寿夫 『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』
北大路書房、1999年

レクリエーション概論

科目コード●050280

担当教員●未 定

2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

この科目は23年度10月より開講する予定で準備を進めています。科目の内容は『With』で7月ごろご案内予定、履修登録は8月から開始する予定です。

子ども手当・児童扶養手当の最近の動向

1. 最近の子ども手当の動向について

平成21（2009）年の総選挙で民主党は、国民の大多数の支持を得て政権与党となった。この選挙で民主党が掲げたマニフェストの一つが「子ども手当」の新設であった。そして平成21年12月25日に平成22年度予算案が閣議で決定した。今回新設される子ども手当の内容は、これまでの「児童手当」の支給対象や支給額が不十分であるとして、親の所得制限を撤廃し、中学校卒業まで子ども一人当たり月額2万6千円（平成22年度は1万3千円）を支給するという内容である。支給費用も全額国庫負担とし、地方自治体に新たな負担を求めない制度であるとした。しかし、平成22年度については、国の財源不足から現行の児童手当を形式的に存続させ子ども手当の一部とし、児童手当に入っている地方負担約6千100億円（22年度予算案）と企業負担約1千450億円（22年度予算案）を残すことを決めた。これにより、子ども手当法の施行に伴い廃止予定だった現行の児童手当法は存続となった。これにより小学校卒業までの子どもに支給される手当は概念上、一部が児童手当、残りが子ども手当ということになる。公務員については、児童手当と同様、居住地の自治体ではなく、所属する官庁から支給される。なお、この子ども手当は平成22年6月から実施されている。また、平成23年度以降については国会での議論が予想されるので、新聞などで最新情報を調べてまとめていただきたい。

こうした新たな子ども手当の新設に対して、財政規律を重視する立場の人たちからは、バラマキとの批判を受けている。また制度の充実を求める人たちからは、最もお金がかかる高校生が対象になっていないとの批判も出ている。しかし、今回の子ども手当の新設は「社会全体で子どもを育てる」とする姿勢の反映であって、「子どもは私的財産ではなく、公的財産として、社会が子育て支援を行う」とする「子育ての社会化」への理念の転換である。

今回の予算案の作成過程の中で、所得制限を設けることも検討されたが、欧州各国の子ども手当の制度を見ても所得制限は見当たらない。「手当はすべての子どもに支給し、所得の高い人からは税金を取る」というのが基本的な考え方である。今回、わが国の手当の支給に所得制限が設けられなかったことは、「社会全体で子どもを育てる」とする基本理念の現れであり、仮に所得制限が設けられれば、低所得者支援に変質してしまうことになる。

2. 最近の児童扶養手当の動向について

児童扶養手当は、これまで母子家庭を支えるための経済的支援として位置付けられてきた。夫婦が離婚しても「父親の経済的基盤は変わらない」とする認識がされてきたため、父子家庭に対する経済的支援は行われてこなかった。しかし実態は、離婚したことで退職や転職を繰り返すケースが多く存在している。仕事に就いているといっても子どもを抱えることで、これまで通りに働き続けることは至難なことである。仮に離婚し未就学の子どもを養育することになったら、子どもを保育所へ入所させない限り職場には出勤できなくなる。そして、勤務時間も子どもに合わせることになり、もちろん残業や出張などは無理となる。現在、職場の多くが変則勤務時間を実施し、土曜・日曜日勤務が一般化している中で、子どもを抱えながら働き続けていくことは、職場の理解と周りの支援がない限り非常に厳しい環境にある。このため母子家庭よりも深刻な問題を抱えている父子家庭が存在している。

こうした状況に対して、栃木県佐野市などでは母子家庭同様に経済的支援を独自に行ってきた。そして、こうした取り組みを国が実施するよう求める声が高まっていた。このため政府は、平成22年度予算案に平成22年8月から父子家庭に対しても母子家庭同様に手当の支給が盛り込まれた。新たに支給対象となる父子家庭は、約10万世帯（約50億円）と見込まれている。

社会福祉学科

・ 新カリキュラム関連科目 ・

社会福祉学科新カリキュラム関連専門科目掲載ページ

(特講科目・心理系科目・特別支援学校免許状関連科目は除く)

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目
050063	福祉法学〔2単位〕	2	p.162	●	◎
050064	高齢者福祉論〔2単位〕	2	p.165	●	
050065	介護概論〔2単位〕	2	p.167	●	
050066	児童・家庭福祉論	4	p.170	●	
050069	更生保護制度論	1	p.171	●	
050070	社会福祉援助技術総論	4	p.173	●	
050071	社会福祉援助技術論A	2	p.176	●	
050072	社会福祉援助技術論B	2	p.183	●	
050073	社会調査の基礎	2	3・4年次	●	
050074	福祉経営論	2	3・4年次	●	
050075	保健医療サービス論	2	3・4年次	●	◎
050076	就労支援サービス論	1	3・4年次	●	
050079	医学一般〔2単位〕	2	p.186	●	◎
050080	福祉行財政と福祉計画	2	3・4年次	●	◎
050082	社会福祉援助技術演習A	3	p.190	●	
050083	社会福祉援助技術演習B	3	3・4年次	●	
050084	社会福祉援助技術演習C	3	3・4年次	●	
050101	福祉社会学	4	p.64	●	◎
050103	福祉心理学	2	p.71	●	◎
050104	社会福祉原論(職業指導を含む)	4	p.74	●	◎
050105	地域福祉論	4	p.77	●	◎
050107	社会保障論	4	3・4年次	●	◎
050108	公的扶助論	2	3・4年次	●	◎
050118	障害者福祉論	4	p.97	●	
050190	社会福祉援助技術実習指導A	1	3・4年次	●	
050191	社会福祉援助技術実習指導B	2	3・4年次	●	
050907	社会福祉援助技術実習	4	3・4年次	●	
050133	精神保健福祉論Ⅰ	2	p.132		◎
050134	精神保健福祉論Ⅱ	2	p.135		◎
050135	精神保健福祉論Ⅲ	2	3・4年次		◎
050136	精神保健	4	p.137		◎
050137	精神保健福祉援助技術総論	4	p.140		◎
050138	精神保健福祉援助技術各論	4	p.143		◎
050139	精神科リハビリテーション学	4	3・4年次		◎
050140	精神医学	4	3・4年次		◎
050141	精神保健福祉援助演習	2	3・4年次		◎

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目
050902	精神保健福祉援助実習	6	3・4年次		◎
050109	福祉思想論	2	p.84		
050110	公衆衛生学	4	p.86		
050111	社会福祉法制	4	3・4年次		
050113	NPO論	2	p.89		
050114	社会病理学	4	3・4年次		
050115	国際福祉論	4	3・4年次		
050119	知的障害者福祉論	2	p.102		
050121	福祉機器論	4	p.110		
050122	リハビリテーション論	2	p.114		
050124	ケアマネジメント論	4	3・4年次		
050142	福祉ボランティア活動	1	p.146		
050143	福祉リスクマネジメント	4	p.149		
050144	家族法	4	p.151		
050145	基礎演習	1	p.153		
050146	統計情報を見る眼	2	p.154		
050193	介護技術	2	3・4年次		
050194	生活行動と人体	2	p.195		
050195	障害の理解	1	p.197		

平成21年度以降入学者が履修できない科目		新カリキュラムにおける対応科目
050102	福祉法学〔4単位〕	福祉法学〔2単位〕＋更生保護制度論
050106	医学一般〔4単位〕	医学一般〔2単位〕＋保健医療サービス論
050116	児童福祉論	児童・家庭福祉論
050117	高齢者福祉論〔4単位〕	高齢者福祉論〔2単位〕
050120	介護概論〔4単位〕	介護概論〔2単位〕
050123	福祉計画法	福祉行財政と福祉計画
050125	福祉施設管理論	福祉経営論
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ	—
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ	社会調査の基礎
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ	—
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ	—
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ	社会福祉援助技術演習A
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ	社会福祉援助技術演習B
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	社会福祉援助技術実習指導A・B
050901	社会福祉援助技術現場実習	社会福祉援助技術実習

福祉法学

科目コード●050063

担当教員●志田民吉(左)
菅原好秀(右)



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「福祉法学（4単位）」は p.69をご覧ください。

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（情報公開、権利擁護制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。2009年度からは成年後見制度及び更生保護制度の知識が新たに加わった講義内容になります。

教科書 (更生保護制度論と共通)

- 1) 志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年（〔第3版〕でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より教科書が一部変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリング受講も可能です。

レポート課題

1 単位め

次の課題のなかから1題を選び、論述しなさい

- ①日本国憲法の基本原理について述べなさい。
- ②地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。
- ③成年後見制度について、事例を挙げながら、説明しなさい。

2 単位め

次の課題のなかから1題を選び、論述しなさい

- ①不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。
- ②行政救済について述べなさい。
- ③更生保護制度について述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め
解説

①この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。テキスト『法学』の第1章、第2章を熟読し、まとめてください。

②憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

③テキストを精読し、相談援助職の視点からの制度の概要と制度の活用例を考え、まとめられるとよいと思います。社会福祉の現場で仕事をしていない方は、なかなか制度の活用場面のイメージが持てないでしょうから、地域の社会福祉士会や司法書士会、弁護士会などの団体や社会福祉協議会などを尋ねてみることも有益ではないかと思います。

2単位め
解説

①不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達を示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

②主として行政の仕事は、市民の生活に係った内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産

権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

③更生保護制度は2009年度から新たに社会福祉士などの資格関連で付加された履修内容です。社会福祉専門職（特に相談援助職）の業務内容と関連づけながらまとめることが大切です。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2011年

高齢者福祉論

科目コード●050064

担当教員●中里 仁



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「高齢者福祉論（4単位）」は p.94をご覧ください。

科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者問題の背景（高齢者人口の動向・家庭環境の変化）を中心としながら、高齢者福祉の成立要因を多角的に考えてみる。
- (2) 高齢者福祉施策の変遷を学習する。
- (3) 老人保健福祉計画・介護保険事業計画の概要を学習する。
- (4) 在宅高齢者福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
- (5) 高齢者施設福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。

教科書（「介護概論」と共通）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より教科書が一部変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリング受講も可能です。

レポート課題

1 単位め

「高齢社会とは何か」「高齢者とは何か」、そして病や死の時期の「尊厳のあり様」について自らの体験等に基づき、見解を述べよ。

2 単位め

戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“古い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1単位め 解説

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め 解説

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点から結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年

千葉喜久也・中里仁『高齢者福祉論——利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

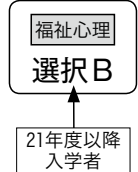
介護概論

科目コード●050065

担当教員●後藤美恵子



2 単位 | R or SR | 1 年以上



※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「介護概論（4単位）」は p.106をご覧ください。

科目の内容

わが国における高齢者の全体像を理解し、社会保障制度である介護保険制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しの背景、目的及び基本的視点について理解する。さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した生活支援のあり方について専門的観点を習得すると共に、専門職としての介護理念を構築することを目的としています。

教科書（「高齢者福祉論」と共通）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

レポート課題

1 単位め	<p>介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体的に論述しなさい。 （高齢者福祉制度の発展過程について論述しなさい。）</p>
2 単位め	<p>※次の課題のうち、<u>いずれか一方を選んで答えなさい</u>。ただし、平成21～22年度入学者で福祉科教員免許状を取得希望者は必ず②について解答すること。平成23年度入学者は①を解答すること。</p> <p>①介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理について介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。</p> <p>②要介護者の生活援助を展開する上での基本的な生活支援技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活をすることの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

アドバイス

介護概論は、平成21年度の社会福祉士養成課程におけるカリキュラム及び教科内容の見直しに伴い「高齢者に対する支援と介護保険制度」という枠組みに統合されました。本学では、「高齢者に対する支援と介護保険制度」は高齢者福祉論と介護概論の2科目で構成されています。したがって、レポート作成に当たっては、高齢者福祉論と関連づけて取り組むことでより理解が深まると思います。

高校福祉科教員を目指されている方にとって、本テキストは「介護概論」を理解するには十分とは言えないため、参考文献を活用し理解を深めて頂きたいと思います。

レポート作成に当たっては、テキスト、参考文献等の内容を踏まえ自身の考えを書いてください。

1単位め 解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更させたといえます。テキスト第3章「高齢者保健福祉の発展と法体系」を参考に高齢者福祉制度の発展過程を踏まえた上で、第5章「介護保険制度の基本的枠組み」の介護保険制度の概要を整理してください。さらに、現行の介護保険制度の課題を自身がどのように捉えたのか、今後の介護保険制度の展望を視野において具体的にまとめてください。

2単位め 解説

①介護の本質をどのように捉えるのか、といった「介護観」について考えることが核となります。介護の社会的背景をテキスト第2章「少子高齢社会と高齢者」を参考に整理してください。また、介護の定義に関しては現時点において定説がないなかで、さまざまな「介護」の捉え方・考え方を第11章「介護の概念や対象」を参考にして介護の概念を専門的観点から簡潔に整理した上で、専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてまとめてください。

②（福祉科教員免許状取得希望者は必ずこちらを解答してください）専門職として、生活支援（介護）を展開する上での基本的な専門技術について、テキスト第13・14章を参考に理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。テキストでは、間接技術の一つであるコミュニケーションが網羅されておられませんので、他の文献を参考にしてください。専門職としての生活支援のあり方も介護保険導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を具現化する上でその人らしい生活の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方についてまとめてください。

参考図書

- 1) 老人保健福祉法制研究会編『高齢者の尊厳を支える介護』法研、2003年
- 2) 介護支援専門員テキスト編集委員会編『改訂 介護支援専門員 基本テキスト』長寿社会開発センター、2004年
- 3) 西村洋子著『介護福祉論』誠信書房、2005年
- 4) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 6・7・8 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』中央法規出版、2009年

児童・家庭福祉論

科目コード●050066

担当教員●千葉喜久也



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉

選択

21年度以降
入学者

福祉心理

選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

※この科目は、「児童福祉論」と同じ内容です。科目内容・レポート課題等は p.91 「児童福祉論」、および p.158補足資料を参照してください。

更生保護制度論

科目コード●050069

担当教員●菅原好秀



1 単位 | S or R | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

※この科目の単位修得方法は、下記のとおりです。

スクーリング受講する場合 → 履修方法：S スクーリング試験合格で単位修得（レポートの提出は不要）

スクーリングを受講しない場合 → 履修方法：R レポート1課題合格+科目修了試験合格で単位修得

科目の内容

更生保護とは、犯罪や非行に陥った者の改善更生を図るため、必要な指導監督、補導援助の措置を行い、また、一般社会における犯罪予防活動を助長することによって、犯罪や非行から社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的としています。つまり、「再犯の防止」「改善更生」という2つの特別予防目的を掲げて、これを車の両輪のように活用することによって「社会の保護」という一般予防目的を達成し、それによって「個人及び公共の福祉を増進する」ことを目的としています。

本科目では、相談援助活動において必要となる更生保護の制度趣旨を踏まえ、刑事司法・少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職、刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について、具体的に学んでいきます。

履修登録条件

この科目は、「福祉法学」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書

志田民吉編『法学（第3版）』建帛社、2007年（第3版でなくても可）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年

※福祉法学と共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題 スクーリングを受講し合格した方は提出する必要はありません。

1 単位め

保護観察について論ぜよ。

アドバイス

1 単位め
解説

保護観察の意義と種類、保護観察における処遇、保護観察の問題点について言及し、自分の考えを論じて下さい。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社、2011年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 3) 犯罪白書（インターネットの検索サイトで各年度を参照して下さい。）
- 4) 藤本哲也 刑事政策概論（全訂第6版） 青林書院、2008年

社会福祉援助技術総論

科目コード●050070

担当教員●佐藤博彦



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

「相談援助」とは何でしょうか。また、「ソーシャルワーク」とは何でしょうか。今日、日々変化し続けている社会生活の中で、人々が抱えているニーズも多種多様化しています。ニーズに応えるための相談援助とはいかにあるべきものでしょうか。相談援助に携わる専門職とはどうあるべきものでしょうか。ここでは、それらを明らかにするために、①社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む）と意義について理解する。②精神保健福祉士の役割と意義について理解する。③相談援助の概念と範囲について理解する。④相談援助の理念について理解する。⑤相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。⑥相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。⑦総合的かつ包括的な援助と他職種連携の意義と内容について理解する。以上を主な学習のねらいといたします。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

レポート課題

1 単位め

社会福祉士の役割と専門性について具体的に論じてください。

2 単位め

ソーシャルワークの形成過程についてまとめてください。

3 単位め	<p>【説明型レポート】 下記について説明してください。(各300字以上)</p> <p>① パイステックの7原則について ② 自立支援について ③ エンパワメントの定義と意義について ④ 権利擁護の意義と範囲について</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
4 単位め	<p>相談援助に係る専門職倫理について概説してください。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

アドバイス

1単位め 解説

昭和62年「社会福祉士及び介護福祉士法」が施行されました。何故、社会福祉士という相談援助専門職が必要とされたのでしょうか。その必要とされるに至った時代背景を確認することが大切です。また、法令上の社会福祉士の定義を確認することも忘れないでください。現在、社会福祉士は福祉分野だけではなく多方面で活躍しています。社会福祉士が何を求められているのか。そして、社会福祉士が果たすべき専門性とは何かを整理してみましょう。参考文献は必ず明示してください。

2単位め 解説

ソーシャルワークの形成過程を基礎確立期・発展期・展開期と分けてみるとよいでしょう。また、イギリス、アメリカ、日本と国別に分けて整理してみることもよいでしょう。いかなる過程を経て現在のソーシャルワークが存在しているのかを確認してください。参考文献は必ず明示してください。

3単位め 解説

教科書や文献を読み、整理し作成してください。
 この3単位めについては、参考文献の明示は必要ありません。

4単位め 解説

専門職倫理とはなんのでしょうか。その中でも相談援助専門職の倫理とはなんのでしょうか。両者の違いを把握してみましょう。また、「憲法」「法律」「ソーシャルワーカーの倫理綱領」「社団法人 日本社会福祉士会の倫理綱領」等の確認は必須です。以上を踏まえた上で概説してください。参考文献は必ず明示してください。

参考図書

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版、2003年

- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房、2003年
- 3) M.E. リッチモンド著『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』中央法規出版、1991年
- 4) 濱野一郎ほか編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』みらい、2004年
- 5) R. ハドレイ・M. クーパー・P. デール・G. スティシー共著『コミュニティ・ソーシャルワークハンドブック：地域福祉を進める技術』川島書店、1993年
- 6) Z.T. ブトゥリム著『ソーシャルワークとは何か その機能と本質』川島書店、1986年
- 7) 北川清一・久保美紀編著『社会福祉の支援活動—ソーシャルワーク入門—』(シリーズ・ベーシック社会福祉②)、ミネルヴァ書房、2008年
- 8) 社団法人日本社会福祉士会編『改定社会福祉士の倫理—倫理綱領実践ガイドブック—』中央法規出版、2009年
- 9) 中村優一・一番ヶ瀬康子・右田紀久恵監修、岡本民夫・田端輝美・濱野一郎・古川降順・宮田和明編『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版、2007年
- 10) 北島英治著『ソーシャルワーク論』(MINERVA 福祉専門職セミナー19)、ミネルヴァ書房、2008年
- 11) パメラ・トレビシック著 杉本敏夫監訳『ソーシャルワークスキル～社会福祉実践の知識と技術』みらい、2008年
- 12) 久保紘章・副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル 心理社会的アプローチからナラティブまで』川島書店、2005年
- 13) 太田義弘・秋山薊二編著、中村佐織・齊藤順子・谷口泰史・佐野真紀共著『ジェネラル・ソーシャルワーク』光生館、2002年
- 14) ソーシャルワークケアサービス従事者研究協議会編、大橋謙策編集代表『日本のソーシャルワーク研究・教育・実践の60年』相川書房、2007年
- 15) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版、2009年
- 16) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規出版、2009年

社会福祉援助技術論A

科目コード●050071

担当教員●川口正義



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

ソーシャルワーク実践は現在、これまでにない厳しい局面に立たされています。時代社会の変化と連動して、支援の対象となる「人」「問題」「状況」のいずれもが、いっそう複雑化し、既存の社会福祉制度では容易に対応しきれない社会問題、生活問題の深刻化・多様化・拡大化が進んでいます。また、援助専門職による利用者・当事者に対する「不適切なかかわり」や事故、不祥事は後を絶ちません。

さらに、援助専門職が「権利擁護」「命の尊厳」「排除しない福祉」あるいは「自立支援」等々の必要性を熱く語ろうとも、現実的に「必要とされる支援」が提供されていないと感じている利用者・当事者が、福祉サービスや援助専門職のあり方に対して疑問、憤りあるいは不信の眼差しをより強く注ぎ始めているように感じられます。

まさに「当事者の時代」が標榜されている今日状況の中で、ソーシャルワークの理論と実践が利用者・当事者の「生活」や「生」にどれだけ接近してきたのか、あるいは接近することができるのかが問われているといえるでしょう。

また、20年の歳月を経て「社会福祉士及び介護福祉士法」が初めて改正され、「実践力の高い社会福祉士」及び「総合的かつ包括的な相談援助」ができる社会福祉士が求められています。

このような時代社会状況であるからこそ、ソーシャルワークでしかできないこと、またソーシャルワークがやらなければならないことがあるはずです。本科目の学修を通して、相談援助を行う上で必要な知識・方法の修得に留まらず、自らの「ソーシャルワーカー・アイデンティティ」と「援助観」の構築に励んで頂きたいと思っています。

本科目では、以下の内容について学びます。

1. 「相談援助」とは何か？—概念・構造・機能—
2. 「人と環境の交互作用」とは？

3. 相談援助における対象の理解
4. 相談援助における「援助関係」—概念・意義—
5. 相談援助の展開過程
6. 相談援助に必要な技術—意義・目的・方法・留意点—
 アウトリーチ、契約、アセスメント、介入、モニタリング・再アセスメント・効果測定・評価、面接、記録、交渉

教科書 (「社会福祉援助技術論 B」 と共通)

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I (第 2 版)』中央法規出版、2010年 (第 2 版でなくても可)
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 II (第 2 版)』中央法規出版、2010年 (第 2 版でなくても可)

レポート課題 手書きレポート用紙の p. 1, p. 9の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可

1 単位め	<p>課題名：「相談援助の概念及び技術の必要性と活用のあり方」 相談援助の概念を整理した上で、相談援助において「技術」を必要とする理由、及びその活用のあり方について論述してください。</p>
2 単位め	<p>課題名：「ソーシャルワーク実践における対象理解の意味」 ソーシャルワーク実践において「対象を理解する」とはどういうことであるのか、あなたの意見を述べてください。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

アドバイス

ソーシャルワーカーに必要とされる相談援助の価値・原則、相談援助の過程及び相談援助の技術について「座学で学ぶ」ことの意義とは、何でしょうか？

以下の 2 点に留意して考えてみてください。

(「社会福祉援助技術論 A・B」に共通)

1. ソーシャルワーカーとして仕事をしようとする際には、いかなる実践の場においても「問題となる状況」を全体的にとらえ、可能となる活動の選択肢を広く検討し、思考し、さらに利用者・当事者や関係機関と連携して活動していく実践が必要とされます。

そして、その際には既存の相談援助の枠組みを駆使した支援のみならず、利用者・当事者の視点に立ち、場合によっては既存の枠組みを超えて制度やサービスの変革を視野に入れた支援に着手せざるを得ません。

換言するならば、ソーシャルワーカーは自己認識や内省性を高めつつ、利用者・当事

者の存在そのものに関心を示し、既存の知識や理論に基づく枠組み（理解や思い込み）に囚われることなく、利用者・当事者の呈する「事実」や取り巻く「事象」について分析し、思考する方法と姿勢を修得できていることが求められているといえるでしょう。

教科書に記述されている内容（先行研究）に対しても、ただ単にそれを覚えるのみでなく、疑問や批判的な視点をもちながら学び、自らの見解を育ててほしい。

2. わが国においては、いわゆる「理論と実践の乖離問題」の一端として、「ソーシャルワークの理論を学ぶことによって培われるソーシャルワークに対するイメージ」と「現場実践を通じて培われるソーシャルワークに対するイメージ」の間に大きな“ギャップ”があることが指摘されています。

理論と実践をつないでいくことは難しい営みであるのかも知れませんが、しかしその2つは相対立するものではありません。「理論に支えられた実践の重要性」及び「実践を支える理論の必要性」の双方を受け入れられるソーシャルワーカーでありたいものです。

本科目を通し、相談援助における理論、知識、技術等について「座学」で学んでいくわけですが、その「学びの眼差し」の先に利用者・当事者と呼ばれる人びとの暮らしと生のあり方を位置づけ、実践とのつながりの可能性を意識しながら学んでください。

どこに「顔」(学問的関心)を向けながら取り組むことが、ソーシャルワークについての意味ある「座学」学修となり得るのか？—そのような意識も頭の隅において頂けましたら幸いです。

1単位め 解説

「技術」は援助専門職としての実践をしていく上で“必要”です。しかし、それだけで“必要十分”であるとはいえません。では、その他に何が必要となるのでしょうか？

また、換言するならば、ソーシャルワーク実践をしていく上で「技術」の有する意味とは何であり、その活用に際して留意すべきこととは何なのでしょう？ それはまた「知識」「価値・倫理」との関連においては、いかなる役割と意義をもち得るのでしょうか？

「相談援助」とは何であるのか？ 及び相談援助に必要とされる数々の「技術」には、どのようなものがあるのか？—について学び、理解した上で、「技術」が必要とされる理由及びその活用のあり方について、あなたの意見を述べてください。(テキスト『相談援助の理論と方法Ⅰ』第1～3章、第7～14章、および『相談援助の理論と方法Ⅱ』第9～10章、参照)

2単位め
解説

ソーシャルワークはその時々²の社会情勢下で生起する社会問題や社会生活上のニーズに的確に応えていかなければなりません。近年、社会の不平等化や格差社会の問題が指摘されるようになり、「貧困」があらゆる福祉問題の根底にみられるようになり、生活問題はより複雑化、深刻化、多様化してきています。

しかし、この貧困問題にしろ、あるいは孤立、排除、差別の問題にしてもたえず存在してきたものであり、歴史的社会的に変化しながら再生産され、新たな形態を伴って進化してきていると解釈することもできるでしょう。

社会福祉及びソーシャルワークが今まで対象としてきた問題としては、具体的にどのようなものがあったのでしょうか？ また、それらは時代社会状況の中でどのように取り扱われ変遷してきたのでしょうか？ また、近年において生起してきている、既存の社会福祉制度・サービスでは容易に対応しきれない生活問題、社会問題としてはどのような問題があるのでしょうか？

また、ソーシャルワークが対象とする問題を「個人や家族の抱える生活問題が政治・経済・社会・文化等の要因によって規定されながら時代の変化の中で社会的課題となってきたもの」であるとしてとらえたとき、ソーシャルワーカーとしての私たちの対象は、私たちのすぐそばにいる具体的存在としての利用者・当事者であるともいえます。

利用者・当事者を「自らの生活課題の解決のために他者からのかかわり・介入を必要とする人」であるとしてとらえたとき、ソーシャルワーカーとしての「かかわり」「介入」のあり方が問われてきます。

その際に、人は見ようとするものしか見えないし、また問題は人びとによって意識され、認識され、名づけられなければ「生活・社会問題」とはならないということ。並びに、私たちソーシャルワーカーが知っていること、あるいは知っていると思いこんでいることが、必ずしもすべて真実であり正しいとは限らない場合が多いということに心を留めておく必要があるでしょう。

また、社会福祉サービスの合理化、システム化が進む一方である状況において、利用者・当事者という「生きた人間」そのものを全体としてとらえるような対象把握が弱まってきている現実を注視する必要もあるでしょう。

以上の点を踏まえた上で、ソーシャルワークが対象とする利用者・当事者とは、そもそもどういう人たちのことをいうのか？ あるいはソーシャルワークが対象とする「問題」とはどのようなものであるのか？ また、そのような対象を理解するために援助専門職に必要な姿勢・専門性とは何なのか？ さらにソーシャルワーク実践における「対象を理解すること」の意義について、あなたの意見を述べてください。（テキスト『相談援助の理論と方法Ⅰ』第1～4章、『相談援助の理論と方法Ⅱ』第1章、および参考図書『相談援助の基盤と専門職』第1～2章、第5～7章、第10～11章、参照）

レポート作成に際しての留意点（「社会福祉援助技術論 A・B」に共通）

1. 以下のような問題意識と姿勢をもって頂くことを望みます。

- ① 「レポートだから調べたことをそのまま書けばいいや」ということにはなりません。レポートは「小論文」の一種です。よってレポート課題として与えられたテーマに対して、“自分ではどのような視点で、どのように考えられるのか”を明確に伝えることが求められます。

「良いレポート」とは、ただ単に調べてまとめたものではなく、自分の考えていること（主張）が読む人に伝わるレポートのことをいいます。

- ② そのためには、教科書以外にも自分の見解を深める上で役に立ちそうな「文献」を手に取り、読むことが必要となります。

なお、その際に文献の示されている先行研究を無批判に受け入れ、体裁を整えたレポートを書くのではなく、疑問をもって先行研究を批判的に検討した上で、自分の考えを述べることを心がけてください。「自分自身の言葉」で「自分自身の考え」を述べることで「自分らしいレポート」が仕上がります。

- ③ また、“自分は何を言いたかったのか？ 今はっきりとわかっていることは何であり、またわかっていないことは何なのか？ いったい自分は何を考えているのか？”と、自分自身に対して問い直す作業を心がけてください。「推敲を重ねる」ことでその作業も進みます。

- ④ レポートは科目履修に伴う単位修得のためには必須のものです。レポートはそのためだけに仕方なく書くものではありません。「自分自身の考え方・思想を創りあげる」ために書くものです。大学での学修の本来の目的は、そこにあります。

2. 以下の点に留意してレポートを作成してください。

- ① 手書きにしるワープロ・パソコン印字にしる、論述表記（原稿用紙の使い方）の基本ルールを遵守してください。

- ② どこまでが文献を引用・参照したものであり、どこからが執筆者の独自の見解であるのかがはっきりとしない場合、そのレポートは全体として「盗作」と疑われるおそれがあります。ましてや教科書の文章をそのまま書き写して列記しただけのものは論外です。

- ③ 引用・参考文献の出典表記と注釈の表記方法には、一般的に「従来型」と「近年型」の2つがあります。どちらがいいかは一概にはいえませんが、決して統一されてもいませんが、『学習の手引き』や「文章作成法」関係の本などを参考にして基本的な表記法についてご修得ください。また、文献の引用・参考に際しては直接引用、言い換え、要約などについて正規のルールがありますので、ご修得ください。正規の表記法

を用いることで、そのレポートの説得性と信頼性も高まります。

従来型：注釈も参考・引用文献も一緒に、本文中に通し番号の小さな肩数字をつけて表記し、章末や巻末（論文末）にその通し番号順に一括して表記する。

近年型：注釈は（注1）のように本文中に括弧つきで大きく表記し、参考文献も本文中に著者名・発表年のみを括弧つきで（川口、2008）のように表記する。

引用文献は引用分末尾に著者名・発表年・引用箇所を括弧つきで（川口、2008、p.123）のように表記し、章末や巻末（論文末）に注釈と引用・参考文献一覧とを別々に記載する。

④ 「文献」には、主として単行本としての「図書」と、逐次刊行物としての「雑誌論文」があります。ソーシャルワークの領域でどのような文献があるのか、知っていますか？ 必要に応じて把握し、活用していきましょう。

⑤ 文献検索の方法としては、大別して「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」があります。それぞれに長短がありますので、併用することが望ましいです。なお、インターネット検索を利用する際の執筆には特別の注意が必要です。ご留意ください。

イモヅル式検索法：一つの文献（本や論文）の巻末などに記載されている「引用・参考文献」の中から重要と思われるものをピックアップし、そこから次々と文献をたどっていく方法。

二次資料検索法：分野ごとに集めた文献データベース（文献目録、インターネット、CD-ROM）を用いて文献・資料を集める方法。

⑥ 引用・参考文献の出典表記と注釈の表記方法、及び文献探索の方法をはじめ、レポートや論文を書くときの基本的ルールや心構えについては、以下の本にわかりやすく記述されていますので、ご参照ください。

小笠原善康『大学生のためのレポート・論文術』講談社、2002年

なお、インターネットを使ってレポート・論文を書く際の方法、留意点については、以下の本をご参照ください。

小笠原善康『大学生のためのレポート・論文術—インターネット完全活用編—』講談社、2003年

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職』中央法規出版、2009年

浦河べてるの家『べてるの家の「非」援助論—そのままがいいと思えるための25章—』医学書院、2002年

加茂陽編『ソーシャルワーク理論を学ぶ人のために—ソーシャルワークの最新諸理論・

事例・議論一』世界思想社、2000年

北川清一・久保美紀編著『社会福祉の支援活動ーソーシャルワーク入門ー』(シリーズ・ベーシック社会福祉②)、ミネルヴァ書房、2008年

社団法人日本社会福祉士会編『改訂社会福祉士の倫理ー倫理綱領実践ガイドブックー』中央法規出版、2009年

仲村優一・一番ヶ瀬康子・右田紀久恵監修、岡本民夫・田端光美・濱野一郎・古川孝順・宮田和明編『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版、2007年

※鳥瞰図的な視野から社会福祉学研究の現状と将来展望を示した書。高価な本なので大学図書館などで閲覧してみてください。

以下の雑誌論文、学会誌などをレビューしますと、レポート課題、本科目の学修に際して参考となる先行研究を知ることができますので、調べてみてください。

『ソーシャルワーク研究』(相川書房) 『社会福祉学』(日本社会福祉学会)

『社会福祉研究』(財団法人鉄道弘済会) 『月刊福祉』(全国社会福祉協議会)

その他、スクーリング時にも講義内容に合わせ、適時、紹介します。

社会福祉援助技術論 B

科目コード●050072

担当教員●川口正義



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

「社会福祉援助技術論 A」の p.176 をご参照ください。

本科目では、「社会福祉援助技術論 A」の学修内容を踏まえた上で、以下の内容について学びます。

1. 様々な実践モデルとアプローチ
2. ケースマネジメントとケアマネジメント
3. グループを活用した相談援助
4. コーディネーションとネットワーキング
5. 社会資源の活用・調整・開発
6. スーパービジョンとコンサルテーションの技術
7. ケースカンファレンスの技術
8. 事例研究・事例分析—意義・目的・方法・留意点—
9. その他

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論 A」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書

（「社会福祉援助技術論 A」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。）

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I（第 2 版）』中央法規出版、2010年（第 2 版でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 II（第 2 版）』中央法規出版、2010年（第 2 版でなくても可）

※「社会福祉援助技術論A」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題 手書きレポート用紙の p. 1、p. 9の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可。

1 単位め

課題名：「実践モデル・アプローチの発展史と現状・課題」

実践モデル・アプローチの発展史を概説した上で、近年、EBSW（エビデンス・ソーシャルワーク）と構成主義アプローチが注目されるに至った社会的背景、意義について論述してください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

課題名：「私の考える『援助』観」

自らの「援助」観について論述してください。

レポート作成に際しての留意点（「社会福祉援助技術論 A・B」に共通）

「社会福祉援助技術論 A」の p.180～181をご参照ください。

アドバイス

「社会福祉援助技術論 A」の p.177～178もご参照ください。

1 単位め
解説

実践モデル・アプローチは特定の問題のとらえ方と、それに基づく対応方法・技法のまとめりであり、実践をガイドする役割を担うものです。また、ソーシャルワーカーがその活動の妥当性を利用者・当事者や所属組織、関係機関等に説明する際に活用する知識体系でもあります。

ソーシャルワークが時代社会状況による影響を受け、その時々 of 社会の動向や要請に応じていかなければならないという宿命を有する営みであるように、そのガイド役となる実践モデル・アプローチも時代とともに多様化してきました。そして、ソーシャルワークのための実践モデル・アプローチはその時代社会で有力な隣接諸科学の知見を広く取り入れつつ多種多様に発展してきました。

ソーシャルワーカーは現実の場面で出会う複雑な状況に対応するためには、単一の実践モデル・アプローチのみでなく、どのような状況で、どのような実践モデル・アプローチが有効に機能するのかを理解した上で、それらを自らの実践に適切に応用していくことが求められます。

まず、各実践モデル・アプローチの定義、固有の視点、意義及びその史的展開を理解し、簡潔にまとめてください。その上で、1990年代に入り「社会構成主義」と「証拠に基づく実践」(Evidence Based Practice) の考え方がソーシャルワークの領域においても注目

を集めるに至った社会的背景とその意義について論述してください。(テキスト『相談援助の理論と方法Ⅱ』第6～8章、及び参考図書『相談援助の基盤と専門職』第3～4章、参照)

2単位め 解説

ソーシャルワーカーには「時代の風」を感じ、読みとる能力が求められます。また、ソーシャルワークの過程においては、自分とは異なる存在である利用者・当事者に対し誠実に向き合い、その人生に関心を寄せ、言葉にできないその人の痛み、哀しみ、苦悩等を感じとることができる関係が求められます。

しかし、残念なことに「時代の風」は冷たく、混沌としており、利用者・当事者のみならずソーシャルワーカーをも翻弄させています。また、そのソーシャルワーク実践が援助を提供する側の意図や立場が優先される中で行われてしまっている、まさに「当事者主権」のスローガンとは程遠い現実も散見されます。

このような状況を踏まえたとき、「人を援助する」とはいかなる意味をもつのでしょうか？あるいは「ソーシャルワーカー」とはいかなる営みを行う人のことをいうのでしょうか？さらに、利用者・当事者を“主人公”にした援助とは、いかなるものであるべきなのでしょうか？—これらについて自問し、再考する必要に迫られています。

これらの問いに答えるためには、自らの準拠している価値・倫理観のあり様を見つめ直す作業が不可欠となります。また、なぜ自分が援助専門職（ソーシャルワーカー）を目指そうとしているのか？その思いの「原点」及びその形成過程における「こだわり」(パッションとミッション)の中身を振り返る作業も必要となってくるでしょう。

ソーシャルワーカーの実践力は時代の動向を利用者・当事者の生活実態と照合しながら的確に把握できることにより蓄えられます。あなたはどのように「時代の風」を感じ、読みとっていますか？そして、その中であなたが希求し、実践していきたいと考えているソーシャルワークとはどのようなものですか？

本科目の学修のまとめとして、また自らの「ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティ」を構築していくために、あなたが望ましいと考える「援助」観について“自分の言葉”で述べてください。

参考図書

「社会福祉援助技術論 A」の【参考図書】p.181～182を参照してください。

医学一般

科目コード●050079

担当教員●柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「医学一般（4単位）」p.80をご覧ください。

科目の内容

日本人の三大死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、老化に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。学んだ知識を、日々の生活に生かせるような、応用がきく生きた勉強を心がけてください。

医学一般は、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を含みますが、単位が4単位から2単位に減少したため、リハビリテーションなど、他の科目と重複する分野については、レポート課題には入れませんでした。しかし、非常に重要な分野ですので、教科書をしっかり読んでおいてください。予防対策や、生活習慣病など、「公衆衛生学」と重複しますので、「公衆衛生学」のレポート課題や、「医学一般」の4単位用のレポート課題を参照して、より深く学ぶことをお勧めします。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病（第2版）』中央法規出版、2011年（第2版でなくても可）

レポート課題 すべて【説明型レポート】

1 単位め	<ul style="list-style-type: none"> ① 免疫について説明せよ。白血球の働きと関連させて記述すること。 ② 廃用症候群（生活不活発病）について説明せよ。 ③ 高齢者が脱水症状になりやすい理由を述べよ。 ④ 腎臓の働きについて説明せよ。加齢に伴い腎機能が低下すると、どのような疾患が生じやすくなるか考察せよ。 ⑤ 認知症の定義と症状、および、認知症の原因疾患について説明せよ。 ⑥ 高次脳機能とは何か。また、高次脳機能障害について説明せよ。高次脳機能障害の原因についても考えておくこと。
2 単位め	<ul style="list-style-type: none"> ① 生活習慣病について説明せよ。まず定義を述べた後、主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて説明せよ。 ② メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について説明せよ。代謝異常との関連を記述しておくこと。また、特定検診の必要性についても考察しておくこと。 ③ 高齢者がかかりやすい精神疾患について説明せよ。 ④ 介護保険の特定疾病に指定されている神経疾患について説明せよ。（認知症の説明は、省いて良い。） ⑤ 嚥下障害および誤嚥性肺炎について説明せよ。 ⑥ 内部障害について説明せよ。 <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

- 注意**
- (1) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,600字以上2,000字以内（問題文を含めないこと）になるように、簡潔明瞭にまとめてください。
 - (2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。
 - (3) 解答として何が求められているのかを考えて、求められた解答を記述することが大切です。
 - (4) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2011年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入し、問題文は記入しないでください。「解答欄」にも、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。
 - (5) 解答欄に、不必要に大きな余白はとらないでください。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されています。平成21・22年度入学者は『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できませんが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

(高等学校福祉科免許状取得希望者)「人体構造及び日常生活行動に関する理解」欄の科目として使用できるのは、平成23年度以降の入学者のみとなります。平成21・22年度入

学者は「社会福祉援助技術論」欄の科目としてのみ使用できます。万一、平成21・22年度入学者が「人体構造及び日常生活行動に関する理解」欄の科目として使用を希望する場合は、必ず書面（メール uk@tsukyo.tfu.ac.jp ・FAX ・郵送）で通信教育部・教職免許係までご相談ください（平成23年度以降の単位修得・履修登録者は認定できる可能性があります）。

アドバイス

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがあります。総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

教科書が簡単にまとめてあるため、社会福祉士の国家試験では、教科書に説明されていない疾病や治療法なども出題されています。理解しにくく感じる人も多いと思います。参考文献などを参考にして、学んでください。NHK出版の「きょうの健康」は、新しい知識を得るのに良い雑誌です。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意して、ふだんから学ぶ姿勢を心がけていてください。COPD やロコモティブシンドロームなど、最近話題になることの多い疾患にも、関心を持って生活してください。

1単位め 解説

人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。教科書で不十分と感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。

若い人でも、疾病や運動機能障害などにより体を使わないでいると、筋肉が細くなったり、骨がもろくなったりします。高齢者では、簡単なきっかけで、廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解し、予防について考えてください。

2単位め 解説

日本人の三大死因は、生活習慣と密接にかかわっています。悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。脳卒中などの重要な疾患は、症状の違いだけでなく、発症原因の違いについても理解しておいてください。また、高齢者に多い疾患や、特定疾患（難病）、特定疾病（介護保険）について理解してください。疾病名だけでなく、病理・病態や、治療法を調べて、理解を深めておいてください。なお、2010年4月から、内部障害に肝臓機能障害が加わりました。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編 『医学一般』 中央法規出版、2007年
福祉臨床シリーズ編集委員会編 『人体の構造と機能及び疾病』 弘文堂、2009年
別冊 NHK 今日の健康シリーズ (『メタボリックシンドローム』 など)

社会福祉援助技術演習A

科目コード●050082

担当教員●阿部一彦・千葉喜久也・山川敏久・君島昌志
佐々木達雄・大橋雅啓・芳賀恭司・竹田征子 ほか

3単位

SR

2年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

- 1) この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。
- 2) 社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。
- 3) 「演習Ⅰ」と合併授業になります。

科目の内容

この科目では、社会福祉士に求められる相談援助に係る基本的知識と技術について、実践的に習得することを目的としています。単なる理論的な学習だけでは、今日の支援を必要としている人たちが抱える課題の解決やニーズの充足を満たすことは困難といえるでしょう。理論を実践に役立てるためには、専門的援助技術の学習とその体得が不可欠となります。

本演習では、社会福祉援助技術における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

スクーリング講義内容

スクーリングにおいては、以下の統一内容を中心に、担当教員がより個別的な内容の演習を行ないます。

1. 社会福祉援助技術における相談援助について
2. 自己覚知を促す上での基本演習
3. 相談援助技術に求められるコミュニケーション
4. 基本的なコミュニケーション技術の習得 言語的コミュニケーション
非言語的コミュニケーション
5. 相談援助の基盤と専門性
6. 相談援助の実際（危機的状態にある相談援助事例の紹介）

「演習A」の最終コマは「体験学習・次年度実習ガイダンス」です（実習免除者は受講不要）。

教科書 「社会福祉援助技術演習 B」「演習 C」でも使用予定

白澤政和・福山和女・石川久展編『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より教科書が変更になりました。履修登録者には新しい教科書をお送りしています。新しい教科書にもとづいて、レポート課題やスクーリングに取り組んでください。

レポート課題

1 単位め	社会福祉実践においては、援助者自身の「気づき」が大切です。なぜ、援助者には「気づき」が大切なのでしょうか、あなた自身の体験を踏まえながら述べてください。
2 単位め	「バイスティックの原則」のうち、3つの原則を選び、実践やスクーリングでの体験を通して、援助のあり方を論じてください。
3 単位め	<p>(スクーリング受講者) 「演習 A」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。</p> <p>(スクーリング免除者) 社会福祉士に必要とされる価値観にはどのようなものがあるか、まとめなさい。</p>

アドバイス

1 単位め 解説

社会福祉実践において他者を援助するに当たっては、適切な他者理解が必要です。他者理解を得るためには、適切な自己理解が援助者としてはとても大切になります。利用者と向き合った時に自分自身の考え方や、性格、価値観などについての「気づき」が出てきます。過去の出来事が自分の性格や、癖、行動傾向などによって現在の自分が作り上げられています。ここでの「気づき」についてまとめてみることによって、自己理解に役立てることが出来ます。このような視点からの「気づき」について論じてくださっても結構です。

また、社会福祉実践において援助者は、コミュニケーションを通して効果的な援助を展開していきます。コミュニケーションについては、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションの理解が必要です。ここでは、言語コミュニケーションにおける自分自身についての「気づき」や非言語コミュニケーション（視線、姿勢、表情、音声、距離、位置）などについての「気づき」なども大切です。これらを通しての自分自身のコミュニケーションの特性についての「気づき」について感じたことをまとめてみることも大切です。

このような視点からの「気づき」について論じてくださっても結構です。

あるいはこのレポート課題について、あらためて自分自身の日常生活における行動や考え方、癖などについての新たな「気づき」や、これまでの生活を振り返って感じた「気づき」、社会福祉専門職を目指すものとしての「気づき」について論じてくださっても結構です。

2単位め 解説

利用者理解を深めるためには、理論的な面をしっかりと理解するとともに、仕事やボランティアなどの実践活動、また、スクーリングでのロールプレイや日常生活における人間関係のなかで、対人援助の基本を考察しながら自らの資質を高めていく努力が求められます。

利用者主体とはなにか、最善の利益とはなにか。援助のあり方について実践的な面（職務・体験）と理論的な面（原理・原則）を結びつけながら論じてみてください。

また、バイステックの原則は7つありますが、選択した3つを必ず明記してください。

3単位め 解説

（スクーリング受講者）

現在、社会福祉を取り巻く環境は、これまでの「措置」から「契約」へと変わり、社会福祉の援助技術も「自立支援」「利用者主体」へと変化してきています。従来の社会福祉援助者のイメージを脱却して、利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。一般論としてだけでなく、演習Aのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

（スクーリング免除者）

現在、社会福祉の制度やまた、それらをとりまく環境は大きく変わり、社会福祉援助技術にも新たな視点が求められています。それらの技術の基盤となる価値観や倫理観にはどのようなものがあるか、一般論ではなく演習や実践の体験とを関連づけながらまとめてください。

レポートの提出方法

2・3単位めは、p.129の表に記載されている「事後レポート提出期限」までに提出してください。ただし、演習内容をより理解するために、スクーリング受講前までに2単位めまでのレポート提出をすることをお勧めいたします。スクーリング受講前に提出の場合は、**レポート用紙表紙の「科目名」の右側、担当教員名は未記入で提出してください。**

その他は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.127～128を参照してください。

単位の認定方法

スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、本スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には、本科目は再履修となる場合もあります。スクーリング結果は、受講後1カ月以内に送付します。

1 単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（積極的討議参加・確認内容結果等）＋2 単位めレポート（事前・事後課題）＋3 単位めレポート（事後課題）により単位の評価を行います。

この科目単位を修得できなかった方で再受講をする場合、ハガキでのスクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

また、昨年度までは、再受講する場合はレポートもあらためて提出していただいておりますが、今年度より評価後のレポート（再提出の場合を除く）については、スクーリングの再申込みは必要ですが、あらためてのレポート提出は行わなくてもよいことにいたします。

その他は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.128を参照してください。

スクーリング受講手続き

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.128を参照してください。

スクーリング受講申込条件

「社会福祉援助技術演習A」を受講申込みするための条件は、**申込締切日（5/31、7/15、10/31、11/30）までに①「社会福祉援助技術総論」4単位分のレポートを提出していること、②「演習A」の1単位めのレポートを提出していること、③（入学から1年以上経過して申込みの場合）一括認定単位を除き20単位以上を修得していること、**となります。

※提出していれば合格していなくても可です。

申込締切日までに、1単位めのレポート提出のない場合は、スクーリングを受講することができません。なお、「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童・家庭福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから、受講してください。

スクーリング開講日程・事後レポート提出期限

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.129を参照してください。なお、事後レポートとは「演習A」の場合、2・3単位めレポートをさします。また「演習Ⅱ」は「演習B」と読み替え

てください。

申込みハガキ記入要領

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.130を参照してください。

受講クラスの決定方法

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.130を参照してください。

受講許可通知発送

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」p.131を参照してください。

***平成23年度「社会福祉援助技術演習B」を受講希望する方へ**

今年度10～12月の「社会福祉援助技術演習B」の受講を希望する方は、7～8月のいずれかのスクーリングを受講し、事後レポートを9月15日までに提出し、10月15日までに合格する必要があります。演習Aの結果がまだ出ていない場合でも、演習Bを受講希望する方は、申込みをしておいてください。

体験学習

本演習の最終コマ（8コマめ）の「体験学習・次年度実習ガイダンス」において説明をします。

養成課程履修費について

「演習A」を受講した方（スクーリング免除者を含む）は養成課程履修費をお支払いいただく必要があります。スクーリング受講後に届く納入依頼書にて期限までに納入してください。

期限までに納入されない場合、「演習A」の成績が無効となりますので、ご注意ください。なお、「演習Ⅰ」の受講者は、納入の必要はありません。

生活行動と人体

科目コード●050194

担当教員●後藤美恵子



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

こころとからだは相互に影響し、意欲や行動などに影響をおよぼします。生活支援技術の根拠となる人体の構造や機能を加齢や疾患とこころとの関連性から総合的に理解し、個々の残存能力・潜在能力を引き出し、人間の尊厳の尊重と自立を支援するための方法論を体系的に学習します。

教科書

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座14 こころとからだのしくみ（第2版）』中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め

移動のしくみの概要をからだの動きと関連づけながら概要を整理し、心身の機能低下が移動に及ぼす阻害要因と対応方法について自立支援の観点から具体的に論述しなさい。

2 単位め

- ① 食事の摂食過程を整理し、精神機能の低下が食事におよぼす影響と対応方法について論述しなさい。
- ② 排泄のメカニズムと排泄障害を整理し、人間の尊厳を尊重した排泄への関わりについて論述しなさい。

アドバイス

1単位め
解説

移動はすべての生活行為の基本です。第4章の移動のしくみについて、第2章第2節のからだのしくみと関連づけながら概要を整理し、心身の機能低下が移動におよぼす要因と対応方法について自立支援の観点から自身の考えを具体

的に述べてください。

2単位め
解説

①人は生まれた時から死ぬまで、毎日の生活に必要なエネルギーを食事によって補っています。食事は日常生活の中で、人の命に関わることで一日も欠かすことのできない大切なものであり、精神的満足感や個人の生活歴や生きてきた文化を象徴するものでもあります。一方、食欲は健康状態や生活意欲を反映するとも言えます。第5章を読み、食事の摂食過程としくみについて整理し、精神機能の低下が食事におよぼす影響と対応方法について、テキストの内容を踏まえ自身の考えを述べてください。

②排泄は生命を維持していくための大切な行為であり、健康状態を知るバロメーターともなります。一方で、個人の尊厳に関わる行為でもあります。テキスト第7章の排泄に関連したしくみの概略を整理し、個人の尊厳を尊重した関わりについて自身の考えを述べてください。

参考図書

- 1) 住居広士編『こころとからだのしくみ』ミネルヴァ書房、2009年
- 2) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座11 発達と老化の理解(第2版)』中央法規出版、2011年

障害の理解

科目コード●050195

担当教員●千葉伸彦(左)
三浦剛(右)



1 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

本科目では、障害のある人の身体機能および心理に関する基礎的知識、他職種との連携の必要性について理解することにより、障害のある人の生活を支援する際の基本的な考え方を習得することを学習のねらいとしています。障害のある人の生活状態とその家族を含めた周囲の環境を理解するために、「障害」とはなにか、現在の社会環境を把握した上で、障害の基礎的知識や障害のある人のニーズについて学習します。

教科書

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座13 障害の理解 第2版』
中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め

国際生活機能分類（ICF）を概観し、障害の構造を理解したうえで、障害のある人と環境との相互作用による日常生活への影響および抱えている問題について具体的に述べなさい。

テキストに記載されている障害のある人の生活を理解したうえで、どのようなニーズがあるか、どのような取り組みが地域社会に必要なか、あなたの考えを述べなさい。

アドバイス

まずはテキストを熟読しましょう。そして、課題レポートに関連する内容が理解することができたかどうか確認してみましょう。ご自分の読みやすい文献から読んでいく、基本書等の手に取りやすい書籍から読んでいくことも工夫の一つです。また新聞やニュースな

ど身近で取り上げられている内容は障害のある人の生活を知る参考資料になります。ノーマライゼーションやリハビリテーション等の障害者福祉の基本理念が障害者の地域生活にどのように反映されているのか、また地域生活を送っている人々の声を新聞等の記事からひろいあげていくことが障害のある人の生活状況を理解する第一歩となります。この機会に、自分自身がどの程度障害のある人の生活の実状について知っているか確認してください。意外と理解していると思っても、自分自身の知らない点があることに気がつくはずです。

何かに気がついたときには、その現状はなぜ起こっているのか、解決するべく策はないかと考える習慣を身につけていただきたいと思います。ご自身の周囲にいる障害のある方々の生活の現状や心情を聴いてみることも学びになるでしょう。普段気に留めていないことに視点を置き、じっくり観察してみてください。

あなた自身と障害のある方の生活を見比べてみると、何か気づきがあるかもしれません。自分自身の障害のある人へのイメージについても再考する機会としてみてはいかがでしょうか。これまで述べたことを参考にしながら、レポート課題について答えることができているか随時確認しながら書き進めることが大切です。

テキストに記載されている障害のある人の生活を理解し、障害のある人の地域生活において、どのようなニーズがあるか、そのニーズを満たすためにどのような取り組みが地域社会に必要なかといった基本的な事項をおさえましょう。

テキストの内容を理解していることが読み手に伝わるレポートを書くことを目標にしてください。

参考図書

- 1) 定藤丈弘・岡本栄一・北野誠一『自立生活の思想と展望』ミネルヴァ書房、1993年
- 2) 寺本晃久・岡部耕典・末永弘・岩橋誠治『良い支援？知的障害/自閉の人たちの自立生活と支援』生活書院、2008年
- 3) 内閣府『障害者白書（平成22年版）』
- 4) 杉本章『障害者はどう生きてきたか：戦前・戦後障害者運動史』現代書館、2008年
- 5) 10万人のグループホームを！実行委員会編『もう施設には帰らない』中央法規出版、2002年



• **福祉心理学科関連専門科目** •

福祉心理学

科目コード●050103

担当教員●渡部純夫



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
必修/選択

社会教育
選択B

福祉心理
必修

~20年度以前
入学者

21年度以降
入学者

内容は p.71「福祉心理学」を参照してください。

心理学概論

科目コード●050501

担当教員●佐藤俊人



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
必修

科目の内容

生命体が目指すのは「生きる」ことです。ところが「うまく」生きるために、進化の過程で「心」という働きができ、心の働きはしだいに精巧になり、ものの世界とは別に心の世界をつくりました。その心の働きと、心の内容についてのまとまった知識が心理学です。

心理学の概要を、まず心理学の問題史と研究方法の特徴を通して学び、そのあと、心は発達のどのようなように形成されるのか、人が環境についての情報を入手するための心の働き、欲求や願望の充足を求めるときの心の動き方、経験を蓄積し利用する心の仕組み、困難な場面に直面したときの心の動き方と心の使い方、一人ひとりの心の働きの個性的特徴とその捉え方などについて学んでほしいと思います。

心の「働き」とは、たとえば「見る」「考える」などで、心の「内容」とは、その結果できあがったイメージや知識などのことです。

教科書

金城辰夫監修、藤岡新治・山上精次編『図説 現代心理学入門（三訂版）』培風館、2006年

レポート課題

1 単位め	心の世界は、意識される世界のほかに意識されない世界を含むことを具体的にわかりやすく説明しなさい。
2 単位め	動物の心と人間の心の違いについて考えてみなさい。
3 単位め	知覚とは、刺激を受動的に感受することではなくて、人が情報を能動的に「つかみとる」働きであることを、具体的な事実をあげて、わかりやすく説明しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

4 単位め

家族の要因が子どもの人格形成に及ぼす影響について、1～2のトピックに焦点を絞って研究してみなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

心理学は「心」の学ですが、初期の頃は、「心」イコール「意識」であると考えられました。意識されている世界が「心の世界」だという考えです。ヴントの考え方がその典型でしたが、やがて、心の世界は意識される世界だけではないという認識に到達しました。そのきっかけとなったのが、フロイトの精神分析です。精神分析は、もともとヒステリーなどの神経症の治療法ですが、それをもとにフロイトは壮大な心の理論を生み出しました。その基本となる考え方は、心の動きは意識下の動機や無意識の記憶に左右されるということです。これは、人間の心の見方についての大転換でした。自分の心は自分が誰よりもよく知っているという思い込みが、真っ向から否定されることになりました。思えば、我々が自分のことを意識するのは、物事が思い通りに進まなかったりしたときで、順調に進んでいるときは意識する必要がありません。心が意識されない世界を含むことは間違いのないでしょう。

特に、心を「働き」と「内容」に分けると、「働き」は意識されないのが普通です。たとえば、目の前に張ってあるロープの高さをまたいでとび越せるか、下をくぐるかの判断をどのようにして決めているかは意識できません。要は、「よりよく」生きようとして、人は時に意識し、時には意識することを拒否し、時には、現実存在しないことを想像します。そのときの心の働きは意識されません。しかし、想像したことは意識されやすいのです。このようにして人は現実をはるかに越えた広大な心の世界をつくったのです。

2単位め 解説

心の働きと心の世界をもっているのは人間だけでしょうか。この点をよく考えて欲しいと思います。まず、知覚とか、記憶などの心の働きが人間以外の動物にあることには異論はないでしょう。意見が分かれるのは、第一に、感情、意思、思考、想像、言語などの働きがあるかという点です。第二は、心の世界があるか、という点です。心の働きがどの程度まで精巧にできあがっているかは、動物の種により大幅に違います。原生動物のように、環境からの刺激に反射的に反応するだけで生きている動物の場合は、心の働きを使う必要はないので、心の働きは、ほとんどないとみてよいでしょう。ところが、環境の刺激に対してどう行動するかを「選択」しなければならない動物は、「うまく」選択するために、知覚も記憶も思考も意思決定の働きも使わなければなりません。その意味では、動物にも心の働きはさまざまな程度に存在します。特に欲求と

感情は「生きる」過程を支える基盤です。日常的には、人の心の働きの7割は感情です。

心の働きの進化にとって最も重要な分岐点となるのは、ことばの獲得です。ことばを獲得すると、いま目の前に存在しないことをも心の中に取り込むことができます。そればかりか、現実には存在しないものをも心の中に取り込むことができます。想像上の動物も科学フィクションもつくり出すことができます。反面、事実と合わない信念を抱いたり、ありもしない危険を事実と思い込んだりして混乱することもあります。これが人間の心の世界です。このように、ことばを持ってしまったがゆえに、人間は科学や芸術をつくりだした。それが人間の生活を豊かにした反面、動物は決してしないような、危険な戦いをすることにもなりました。人間の悩みもことばの産物です。ことば的なものが人間以外の動物に存在するかどうかは議論が分かれますが、ことばのもとになるような働き、すなわち、いま目の前に存在しないものを何かのシンボルで表す働きは、他の動物にも見られます。

しかし、心の中でそれをいじりまわして（操作して）、工夫したり、悩んだりする力は極めて弱いのです。

3単位め 解説

メロディーは音の中には存在するのではありません。音と音との時間的關係から人が読み取るのです。映画のフィルムのひとつコマひとつコマの映像は静止画像であって、どこを探しても映像の中には「動き」はありません。しかし、静止画像の連続のなか、人は「動き」をみます。このように、物理的刺激の中には存在しない現象を人はキャッチします。これは心の働きの重要な側面です。知覚は、物理的刺激を受動的に感受するだけの働きではありません。むしろ、外部刺激の意味を読みとるのです。その物理的刺激が、人の生存にとってどのような意味があるのかを読み取る働きです。カメラで人物を低いアングルから撮影した写真でみると、その人物の脚がとても長い。ところが、ファインダーからみたときは、格別長いとは見えなかったはずで、知覚は刺激に忠実ではなくて、その刺激の現実的意味に忠実なのです。

知覚という心の働きによって、人は生きる上に必要な環境の情報を読み取り、それを手がかりとして、自分の行動を決定するのです。行動するための手がかりを入手する働きです。手がかりとは、例えば、交差点で赤と青の交通信号によって、いま横断してよいか否かを決めるように、人がどう行動するかを決めるための情報です。大地の裂け目を飛び越せるかどうか、狭い場所を自分のからだを通り抜けることができるか否かを読み取る働きが知覚です。

このような観点から知覚の意味を考えてみましょう。

4単位め 解説

まず、人格とは何かを理解してもらいたいと思います。人の心の働きには個人差があります。知的働きの個人差を知能といいます。感情意思の働きの個人差は気質と性格です。その人全体としての個人差は個性です。いずれも他者との違いを示すことばです。個性的だ、というのは、他者と違うという点を強調しています。それにたいして、人格ということばは、それぞれの違いを持ち合わせながら、人の心の働きは全体としてまとまった働きをする、という意味を含んでいます。心がばらばらに勝手な方向に動き出すことは、まれです。

この「まとまり」を強調するのが人格という概念です。

食えるときでも話をするときでも、その人のすべての心の働きがまとまった形で関与し、その人らしい話し方、食べ方をします。その人らしさがあります。このような、その人らしい「まとまり」を強調するのが人格という概念です。心理学でいう人格には、道徳的、倫理的意味合いはありません。しかし、どんな道徳観を持ち合わせているかは、人格の大事な構成要素です。

家族関係が子どもの人格形成にどう関係するかは、とても複雑な仕組みになっています。しかし、心理学を学ぶとき、避けて通れない課題です。そこで、家族関係の1つか2つの要因を選び、それが子どもの人格にどう関連するかを考えてみてほしいと思います。たとえば、出生順位はどう影響するか、一人っ子はどうか、母子関係の質は、などと、1つか2つの要因をとりあげて考えてみてほしいと思います。その際大切なことは、家族の要因は1つの要因だけが単独に働くのではなく、他の要因と複雑にからみ合うことを念頭においてほしいと思います。

参考図書

浜田寿美男著『「私」とはなにか』講談社、1999年

心がどんなふうにしてできあがるのかを、根本的に深く考えてみたい人にお勧めします。心理学の根本問題を平易に解説しています。

川上吉昭・佐藤俊昭編『わかりあう心とからだ ― 共感の覚醒』中央法規出版、1995年

他人の心がわかるのはどのような仕組みによるのかを、第1章に佐藤が書いています。このような問題に関心がある人にお勧めします。

アトキンソン、R. Lほか編 内田一成監訳『ヒルガードの心理学』ブレーン出版、2002年
1,540ページの概論書です。価格もとびきり高いのですが、レベルが高く、読んで面白い本です。

生涯発達心理学

科目コード●050502

担当教員●木村 進(左)
中村 修(右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
必修

科目の内容

発達を、人の一生における変化として捉える考え方は比較的新しいものですが、この科目においては、「生涯発達」という視点から発達について基本的に理解することを目指しています。発達ということを現象的に捉えるのは、さほど難しくないかもしれませんが、ここでは、その基本にある発達理論の理解を土台として、「成達は積み重ねである」ということの意味を具体的に理解することが目標です。

たとえば、一人の老人を理解しようとする時に、その人の現在を理解するだけでなく、その人がこれまでどう生きてきたかということを理解しなければ十分とはいえません。逆に言えば、子どもから老人まで生涯を見通すことなのです。

教科書

平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎 I ライフサイクル』ミネルヴァ書房、1993年

レポート課題

1 単位め	発達とはどういうことか。発達についての考え方の変遷を踏まえて、発達とはどういうことかについて考えなさい。最終的には「生涯発達心理学」という考え方が出てきた経緯について説明しなさい。
2 単位め	成人期の発達課題を「役割の変化」という視点から述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
3 単位め	発達段階についてのいろいろな説を述べ、それに合わせて、発達課題(エリクソン/ハヴィガースト)について論じなさい。
4 単位め	老年期をどのように捉えるかということについて論じなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で受付を終了しました。

アドバイス

レポートを書き始める前に、教科書や参考書の該当する個所をよく読んで理解しておくということが第一に重要です。該当する個所は1か所とは限りませんから、課題に取り組む前に、少なくとも教科書については精読し、内容をつかんでおいてください。

『学習の手引き』序章に「レポートの書き方」を載せてありますので、もう一度読んで、作業手順を確認してから、レポート作成にとりかかってください。

たとえば3単位めの課題は、教科書をよく読めば書けるはずですが、4単位めの課題は、いわば応用問題です。教科書や参考書の中から必要な部分を抜き出し、課題にそってそれを組み立てるという作業が必要です。そのためには、全体として何を書くかというストーリーを最初に描いておくことが大切です。

1単位め 解説

この課題は、教科書の「序章」と「1章」の内容を踏まえて考えてください。レポートの内容は、①発達とはどういうことか（発達についての定義と解説）②発達についての考え方がどう変わってきたか③生涯発達心理学とはどういう分野かの3つの要素を明確にするようにしてください。

- ①については、教科書にも定義がありますが、他の文献も参照して、発達とはどういうことなのかについて、いろいろな説を紹介し、解説してください。
- ②については、主に教科書の内容をまとめて、考え方の**変化**を明確にしてください。
- ③については、教科書には明確に説明されていませんので、他の文献を参考にするか、あるいは、教科書の内容から類推してください。なお、①から③はあくまでレポートの要素であって、レポート内の「項目立て・小見出し」とする必要はありません。この1単位めの課題では、発達についての考え方の変遷をふまえて、発達とはどのようなことを説明することを求めています。過去に言われていた定義とその問題点を指摘しながら、現在の生涯発達心理学で用いられている発達の捉え方へと展開していくことが望ましい形式となるでしょう。

2単位め 解説

人は青年期から成人期にかけて子どもから大人への移行を経験し、その主たる役割は学生から社会人へ変わっていくことになります。それでは、成人期ではどのような役割の変化に直面することになるのでしょうか？

この変化には、「獲得する」と「喪失する」との両面があります。また、これに加えて、いったん得た役割であっても果たすべき内容が変わるものもあるはずですが、ここで、テキストに従えば、成人期という時期もさらに前期・後期に分けて考えられています。そこで、課題に答える際にも前期・後期に分けて考えてみてください。もちろん単に別々

のものとして考えるのではなく、「前期での役割が後期には…」というような連続性も考えてみてください。

この役割の変化と発達課題の関連を考えると、まず、ある発達課題の達成によって得られる役割がある、と考えられるわけです。そして、以前の発達課題の達成によって得た役割も、次の発達課題を達成するために「役割の見直し」を行わなければならないことが考えられるのです。

ある役割が獲得されその後役割内容が変わっていく、という「流れ」でみることによって発達課題間の関連も理解しやすくなると思います。なので、レポートをまとめるにあたっては、まず①成人期前期と後期の発達課題を整理してから、②ある特定の役割に絞ってそれが成人期の中でどのように変化していくのか、についてまとめてください。さらに展開させるのなら、③役割の変化に適応する際に生じる発達の・心理的問題について述べてください。

なお、課題が難しい・考えづらいという方は、特に「親役割」「職業人役割」を中心に考えてみてください。

3単位め 解説

この課題のレポートを完成させるためには、まず、次のことについて教科書や参考書で調べてみてください。

(1) 発達段階とは何か、また、発達段階を区切ることについてのいろいろな研究者の考え。

(2) 発達課題とは何か、エリクソンおよびハヴィガーストの発達課題についての考え方とその具体的内容（エリクソンの心理社会的危機〔発達課題〕については、教科書のいろいろなところに部分的にふれられています。それらを総合して、**発達課題の表**を完成させてください。

この準備が終わったら、**代表的な発達段階説を選んで**、その段階に合わせて、エリクソンとハヴィガーストの発達課題を記入します（**一覧表**にしてください）。

以上が、第一段階です。この表をもとにしながら、以下の内容のレポートに仕上げてください。

(1) 1ページ目：上記の表。一覧表はレポート用紙の1ページめに入りきらない場合、別紙に記入し開いたときに見やすいように折り曲げ、レポート用紙1ページめに貼り付けて提出してください。かなり細かい表になることも予想されますが、表の字数は176文字（レポート用紙1ページめの字数）と換算してください。

※この表は手書きでもワープロ・パソコン印字でも可です。

※ワープロ・パソコン印字提出の場合、この表はA4判用紙に作成（表のみ手書きも可）してください（字数・書式自由）。

(2) 2～8ページ目（ワープロ・パソコン印字の場合は2～3ページ目）：下記(a)～(c)

のような内容を含めてまとめてください（見出しをつけるとういです）。

- (a) 発達段階とは何かということ、いろいろな発達段階説（教科書の内容をただ写すだけでは不十分です。参考文献等の内容を検討して、より充実したものにしてください）
- (b) エリクソンとハヴィガーストの発達課題（心理社会的危機）についての考え方を踏まえて、発達課題とは何か。
- (c) エリクソンの心理社会的危機を踏まえて、人間の生涯のあるべき姿についてまとめる。

4単位め 解説

高齢化社会とか高齢社会とかの表現をよく目にしますが、老人に対する社会的関心が高まっているということです。この課題は、老年期というものについての捉え方を総合的に考えてみようということを目指しています。一番単純な捉え方としては、いったいつからを老年期というのだろうかということがあります。たとえば、老人福祉法では、65歳以上を老人としています。しかし、個人としてみる時には、どんな条件が揃った（あるいはなくなった）時に「老人だ」と感じるのでしょうか？ つまり、こんな単純なことでさえも、いろいろな角度から検討する余地があるということになります。このようなことを含めて、老年期というものをいろいろな角度から考えてみてください。内容は、各自の自由としますが、参考までにモデル的な内容を示しておきます。

- (1) 老年期はいつから始まるか、老年期をどのように分けるか
- (2) 老年期の発達課題と老年期への適応
- (3) 老年期にはどのような変化があるか
- (4) 老人の生きがいとは何か
- (5) successful aging（幸福な老い）のための条件は何か
- (6) 現代は、老人にとって生きやすい時代か

もちろん、上記の内容すべてを網羅する必要はありません。考える材料として示したものです。

参考図書

- 1) 平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎Ⅱ 機能の発達』ミネルヴァ書房、1994年
- 2) 下仲順子編『老年心理学』（現代心理学シリーズ14）培風館、1997年
- 3) 『生涯発達心理学とは何か——理論と方法』（講座生涯発達心理学1）金子書房、1995年
- 4) 岡本祐子編著『アイデンティティ生涯発達論の射程』ミネルヴァ書房、2002年
- 5) 二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次編『ガイドライン 生涯発達心理学』ナカニシヤ出版、2006年

- 6) 無藤隆・久保ゆかり・遠藤利彦編『発達心理学』(現代心理学入門2) 岩波書店、1995年
- 7) 会沢勲・石川悦子・小嶋明子編『移行期の心理学 ― こころと社会のライフイベント』ブレーン出版、1998年

臨床心理学

科目コード●050503

担当教員●清水めぐみ



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
必修

科目の内容

臨床心理学 (clinical psychology) の「臨床」は、ギリシャ語の「寝台」(クリネー) から生じた語といわれています。僧侶らが、死を目前にして苦しむ者に手をさしのべ、魂の世話をしたことに臨床の起源があるのです。現代では、魂の世話 (卑近なことばでいえば心のケア) が必要なのは、死を目前にしている人たちだけではありません。だれもが、苦しみを抱え、ときに抱えきれずに立ちつくすことがあるものです。そのようなときにその人が自分らしい道を歩き出すために心理学的な援助を提供するという実践的な目的を持っているのが臨床心理学です。

心理学的な援助を提供するためには、まず相手について理解しようとするのが不可欠です。人をわかろうとするということは、自分の心を通じて行われるので、まず、自分をわかろうとすることが大前提になります。

また、援助は、援助を提供する側からの一方通行では成り立ちません。援助を提供する側と援助を受ける側がお互いに参加する関係があって援助は成り立ちます。臨床心理学では、相互性や関係性についても学んでいきます。

教科書

神田久男編著『心理臨床の基礎と実践——現代社会の人間理解』樹村房、1998年 (平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より教科書、レポート課題が変更されました。

以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは『レポート課題集2010 (1・2年次)』p.197~を参照すれば2012年9月まで可能です。

教科書への訂正事項

この教科書は1998年に出版されているため、2002年に変更され現在は「統合失調症」とされる疾患が「精神分裂病」「分裂病」と記載されています。訂正して読んでください。

レポート課題

1 単位め	臨床心理学の目的について述べよ。加えて、心理面接における面接の構造と面接を構成する要素について、実践を想定しながら述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
2 単位め	マラーのいう再接近期危機について説明せよ。また、青年期の課題と危機について、エリクソンの考え方に沿って述べたうえで、青年期が「第二の個体化」と位置づけられる点について検討せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
3 単位め	心理アセスメントの目的と方法および留意点について概要を述べよ。さらに、面接によるアセスメントに加え、心理テストによるアセスメントを実施する必要があるのはどのような場合か、またその時の手順および留意点について述べよ。
4 単位め	無意識について、フロイトの考え方とユングの考え方とを比較して論じたうえで、無意識の動きについて身近な例を挙げて説明せよ。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より課題が変更となりました。『レポート課題集2010』の課題は2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

まず、テキストを通読してください。その上で、テキスト以外に臨床心理学を概観している文献や課題に関連する文献の複数にあたりながら、課題に取り組むようにしましょう。テキストだけでは、いずれの課題にも取り組むことができません。

また、レポート作成にあたっては、形式が重視されます。日本語の文章を書く上で必要な、原稿用紙の使い方や段落の作成などが不適切である場合には、内容が適切であっても評価されません。特に、文献やウェブサイトからの引用については、出典を明示してください。『学習の手引き』などで示されている引用の方法、文献の挙げ方の形式が整っていない場合には、内容は優れていても再提出となります。十分に注意を払ってレポートを作成してください。

1単位め 解説

臨床心理学という学問について概観して、おおよそのイメージをつかみましょう。教科書全体を見通して見る必要があります。そこで「目的」についてまとめておきましょう。次に、臨床心理学という「面接」とはどのようなものか、その構造と構成要素という観点から詳細を見てみましょう。臨床心理学を構成してい

る要素のうち、相手と会う（面接をする）のは大きな要素です。そのような場面で自らが心理臨床家としての役割を負う際にどのような感覚を抱くかを想像し、その感覚も含めて課題をまとめましょう。

2単位め 解説

人を理解し援助を提供しようとする際、その人がどのようにして成長してきたのか、成長の過程でどのような積み残しがあるだろうか、という視点はとても大切です。臨床心理学では、さまざまな発達・人格理論がありますが、マーラーは乳幼児が成長していく過程でどのような体験がなされているのかを観察しながら理論化しました。マーラーが分離一個体化について述べてから半世紀以上を経過した現在でも、この視点は臨床心理学の現場で多いに援用されています。マーラーの発達理論全般を概観し、再接近期危機についてまとめましょう。

ところで、思春期・青年期は「疾風怒涛の時代」で、その時期を乗り越えるのは、だれにとっても実は大仕事です。そのため、乳幼児期に経験した再接近危機が再燃し、葛藤が激しくなります。青年期の「第二の個体化」について調べ、その時期の課題と困難について把握することを通じて、人間の成長のプロセスと成長の過程にともなう課題と困難があるという視点を身につけていきましょう。

3単位め 解説

臨床心理学というと、ともすると「カウンセリング」とダブってとらえられるかもしれませんが。臨床心理学を構成する大きな柱として「心理アセスメント」があります。援助を必要としている（かもしれない）人が、どのような人で、何ができて、何が難しいのか、抱えている困難は何なのか、どのような社会資源が活用できるのか、どのような援助が可能なのかを見通していくのが心理アセスメントです。その作業の全体像を把握し、課題の項目に沿ってまとめてください。教科書だけでは、レポートを作成できません。ほかの文献にもあたって、その人を理解していこうとする作業、どのような援助が可能なのか見極めていく作業について概観しましょう。

4単位め 解説

私たちは、自分の思っているような自分ではないということにままたまを感じます。自分は自分の知っている自分だけではない、という視点が導入されたことで、人を多面的かつ複層的にとらえ、より複雑な人間のありようが想定されるようになりました。無意識という考え方はフロイトによって広く提唱され、私たちも日常生活でよく使っています。臨床心理学という無意識とはどのようなものなのか、フロイトとユングの考え方を比較することによって、理解の糸口をつかみましょう。また、自分の無意識の動きが現れている行動（行為、感情、考え方など）について例を挙げながらまとめてみましょう。

参考文献

- 伊藤良子編著『臨床心理学——全体的存在として人間を理解する』ミネルヴァ書房、2009年
- 鈴木 晶『図解雑学 フロイトの精神分析』ナツメ社、2009年
- 山中康裕編著『心理学対決！フロイト vs ユング』ナツメ社、2010年
- 沼 初枝『臨床心理アセスメントの基礎』ナカニシヤ出版、2010年
- 野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年
- 森谷寛之『臨床心理学 心の理解と援助のために』サイエンス社、2005年

環境心理学

科目コード●050504

担当教員●小松 紘(左)
高田奈緒美(右)



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会教育
選択B

福祉心理
必修/選択A

14~17年度
入学者

18年度以降
入学者

科目の内容

「環境心理学」は「心理学」の研究分野の一つです。「心理学」の大きな目的の一つは人間理解にあるのですが、「環境心理学」はとくに、ヒトと環境とのさまざまなかかわりのあり方を通して人間を理解するといってもよいでしょう。よく“人は人によって人となる”などといわれますが、これは人と人的環境、もっと大きくとらえれば人と社会的環境とのかかわりについて述べたものです。また私たちは、毎日の生活を快適にするために、部屋のインテリア、採光、温度などに配慮します。これは物理的環境に手を加えていることになります。街の景観や都市計画、産業地帯の整備などは、はるかに規模の大きいものになるわけです。それによって私たちは快適感や満足感を味わうことができる一方で、目的や方法が身勝手に、環境への配慮の足りないものであれば、環境を汚染し取り返しのつかない破壊を地球に残してしまうことにもなります。

この科目では、人間の成長発達に及ぼす環境の影響や、快適環境作りなど、基礎と応用の両面にわたって勉強しながら、一方では破壊、他方では保全といった、相反する行動を行う人間の心の世界をも考えてみたいと思います。

教科書

岩田紀編著『快適環境の社会心理学』ナカニシヤ出版、2001年

レポート課題

1 単位め

職場環境あるいは居住環境のどちらかを選び、その機能性、快適性、安全性について、具体的例をあげながら、望ましい環境条件について論じなさい。

2 単位め

地球温暖化はなぜ起こるのか、その原因と考えられる人間の心理と行動について説明し、地球環境を守るために私たちが今行わなければならないことは何かを論じなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)

アドバイス

私たちの日々の生活で最も身近な「家」あるいは「職場」環境の機能性、快適性、安全性と、私たち人間の環境破壊によるさまざまな環境問題について考えてもらいます。どちらもきわめて日常かつ重要な問題ですので、日ごろの自分の考えを生かしながら、具体的に現実味のあるアイデアを述べてください。解決策は意外と身近なところにあるものです。

■ 2つの課題に共通する留意点

1. レポート全体の構成

レポート全体の構成について注意深く考えてみましょう。大きくは、導入・議論・結論の3部構成にし、それぞれ順に15%、70%、15%くらいの割合にするとバランスが良くなるでしょう。

2. 「段落」、「一文」についての意識を高める

その段落で読み手に伝えたいことは何でしょうか？ 読み手に何を伝えたいのか、段落ごとに意識しながら書きましょう。また、次の段落につなげるときには、段落間のつながりがスムーズで無理のないものかを考えてみましょう。そのようにして一つひとつの段落を積み上げていくつもりで全体を書いてみましょう。同様に、一つひとつの文章間のつながりも、なめらかで強引なところはないか見直し、文章単位でも推敲を重ねてください。主語と述語が一致しない文章がないか、長すぎる文章がないかをチェックしてみてください。(レポートでの「です・ます」調、体言止めなどはふさわしくありませんので使用しないように。)

3. 参考文献・引用文献について

引用文献とは、その中の文言を引用した文献です。その文献の著者・出版年・タイトル・出版社をレポートの最後に明記しなくてはなりません。本文中に、例えば、「高田(2009)は…」や「…である(高田, 2009)」などと表記した場合には引用文献となりますので、その原典を引用文献として記載してください。テキスト中で紹介されている研究をレポートに引用する場合、テキストを参考文献として挙げるだけでは不十分です。レポート本文で上述のような表記((高田, 2009)など)をするなら引用文献として扱ってください。原典は参考にした図書(章)の最後にまとめられていますので、そのままの形式で記載してください。一方、参考文献とは、レポートを書く上で漠然と参考になったという文献です。これも最後に参考文献として著者、出版年、タイトル、出版社の情報を挙げてください。

1 単位め 解説

テキスト第4章「住宅環境と居住性」、第5章「超高層集合住宅」、あるいは第6章「オフィス環境の快適性」をよく読んでください。それらの知識を参考にしながら、今お勤めの職場環境、あるいは今お住まいの居住環境（建物そのものと立地条件など）を、どのように改善したら機能性、快適性、安全性の点から見てよりよい環境になるかを論じてください。

なお論述に当たっては、プライバシーの観点から判断して、許される範囲で結構です。よりくわしいアドバイスは下記のとおりです。

1. 概念の定義

職場環境か住居環境のどちらかを選び、その環境における機能性、快適性、安全性とは何か、3概念それぞれについて、自分はどのような意味でこの言葉を用いるかを述べてください。その際、「〇〇性とは…のことである」などの文章を使うとよいでしょう。

論じようとする概念を定義することは、自分が何について述べようとしているのか、自分が論じるのはどの範囲なのかを読者に伝えることです。何について述べようとしているのかを最初に読者に示すことによって、レポートの書き手と読み手が同じことについて考えられるようになります。例えば、「快適性」とは何のことでしょう？身体的な心地よさを指しているのか、精神的なそれを指しているのか、両方なのか、あるいはもっと別なものを指しているのか、さまざまな解釈があり得ます。書き手と読み手が同じ事象について考えることができるよう、概念を定義する必要があるのです。

2. 定義した範囲内におさまる具体例

定義ができたなら、自分が定義した範囲内に収まる具体例を示すようにしましょう。その際、定義と具体例の一貫性を保つよう心がけましょう。そうすることによって、脱線することなく議論することができ、読者に説得力をもって働きかけることができます。

3. 最後にまとめの段落をつくりましょう

住居環境（職場環境）の機能性、快適性、安全性についてそれぞれ論じ終えたら、最後にまとめの段落を作ってレポート全体を締めくくるようにしましょう。今まで論じてきたことをまとめ、どのような住居環境（職場環境）が理想とされるのかについて、自分の考えをまとめるようにしてください。

2 単位め 解説

テキストのパートIII「地球環境の保全」を参考にしてください。環境を汚染し、破壊するような結果をもたらした人間行動の多くは、おもに経済的価値を第一とする考え方に根ざしており、それに政治的価値重視の考えが重なるとその規模も極端に大きくなる傾向にあります。改善のためには、いろいろな機会を利用して

の啓蒙と、一人ひとりが、面倒がらずに保全のための努力を地道に継続するしかありません。自分の日々の生活を振り返り、地球市民の一員としての責任を果たすためにも、ぜひ改めて考え、実行してみてください。よりくわしいアドバイスは下記のとおりです。

1. 地球温暖化による異変

地球温暖化による異変について、砂漠化や温暖化など、ご自身の関心のあるものでよいので、1～2つ位のトピックスに絞って具体的に紹介してください。実際のデータや数値などを示しながら、客観的に書きましょう。

2. 地球温暖化

温暖化がなぜ生じたのか、その原因を考えて書いてみましょう。その際、温暖化を導いた人々の心理的原因とそれによって引き出される行動的原因に注目してみましょう。

3. 原因を取り除く具体的行動と、それを促進する具体的アプローチは？

原因まで記述できたら、その原因を取り除くために我々ができることを具体的に書くといよいでしょう。その際、どのような心理学の知見や考え方がそれを促進することができるのかを調べて紹介してください。環境問題の難しさは、環境破壊を抑制する日常的な行動（例えばエコバックや公共交通機関の利用など）が大切であるという人々の認識は十分にあるのに、実際にはそれをあまり行わないところにあります。どのような心理学的知見を活用すれば、こうした問題を少しでも解決できると思いますか？その際、テキストにある専門用語を単に並べて述べるのではなく、その専門用語が何のことを意味していて、それがどのように課題の解決に役立つのかを自分の言葉で述べましょう。この分野を初めて学ぶ人にも分かるように心がけて書くと良いレポートになると思います。大いに自分の考えを述べてください。

レポートの一番の目的は、課題についてさまざまな資料や文献を調べ、調べたことをもとに自分が「何を」「どう考えたのか」を読み手に分かりやすく伝えることです。自分の考えや主張を段取りよく相手に説明することは日常生活でも重要なスキルだと思います。レポート作成を通して、ぜひこのスキルを身につけていただけたらと思います。がんばってください。

参考文献

- 広瀬幸雄編 『シリーズ21世紀の社会心理学(11) 環境行動の社会心理学—環境に向き合う人間のこころと行動』 北大路書房、2008年
- 佐古順彦・小西啓史編 『朝倉心理学講座12 環境心理学』朝倉書店、2007年
- ジ・アース・ワークスグループ著 土屋京子訳 『地球を救うかんたん50の方法』講談社、1990年

鈴木浩明著『快適さを測る』日本出版サービス、1999年

遠山益著『人間環境学』裳華房、2001年

日本生理人類学会 居住環境評価研究部会編著『生理人類学から見た環境の科学』彰国社、2000年

槇究著『環境心理学 — 環境デザインへのパースペクティブ』春風社、2004年

渡辺光雄・高阪謙次編著『新・住居学（改訂版）』ミネルヴァ書房、2005年

心理学実験Ⅰ

科目コード●050505

担当教員●小松 紘・皆川州正・佐藤俊人
大関 信隆・高田 奈緒美

2 単位

SR

2 年以上

福祉心理

必修

科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり、どのような条件の下でどのような行動が生じるか、あるいは、ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが、実験法もそのひとつです。

科学的知識とは、客観的事実として実証されたものをいいますが、心理学では、特定の要因（独立変数とよぶ）を系統的に変化させ、意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり、これを実験法と呼んでいます。不測の要因が介入しないように条件を統制するところに実験法の特徴がありますが、心理学実験Ⅰ・Ⅱでは、さまざまな角度から、この実験法について、その基礎を学ぶことを目標とします。

教科書

テキスト（プリント）は、スクーリング時に配布します。

授業の進め方

心理学実験Ⅰでは、下記の4つの実験を体験します。受講生を4グループに分け、1グループ1種目ずつ、①実験についてのオリエンテーション ②実験を行う ③データの整理・分析 ④レポート作成 という一連の作業を行います。翌日は、別の種目を経験し、4回のローテーションで全種目を終わることになります。

仙台以外のスクーリングでは、実験種目、担当者、実験スケジュールが変更になります。また、レポート課題についても、若干の変更があります。

▶実験1「長期記憶の検索」 （佐藤俊人 担当）

長期記憶の中からいくつかの記憶を探し出す時、我々はどのような探し方をするのでしょうか。さまざまな探し方が考えられますが、長期記憶を探す時に、人は一般にどのような心の使い方をするのか（ストラテジーという）を実験的に調べます。

▶実験2「印象形成におよぼす背景効果」 (小松 紘 担当)

人間の表情は、非言語的コミュニケーションの代表的手段ですが、ここでは、表情や容姿などによる人物の印象形成に対する環境条件の影響を、実験的に捉えることを目的とします。背景の景観や色などの効果を、SD法などの評定法によって検討します。

▶実験3「ミュラー・リヤーの錯視」 (皆川州正 担当)

私たちの知覚は、物理的世界のそのままの写しではなく、心理的世界の特性と物理的世界の特性にはずれがありますが、これを錯覚といいます。視覚における錯覚(錯視)を取り上げ、調整法によって、錯視の生じる条件について検討します。

▶実験4「刺激の弁別閾(時間間隔の弁別)」(大関信隆 担当)

刺激の弁別閾^{いき}とは、2つの刺激の強さの違いを区別する感覚の分解能に関する閾(感覚の相違を引き起こす境界)のことです。本実験では人間の触覚について、恒常法や極限法といった精神物理学的測定法を用いて、その弁別閾を推定する実習を行います。

評価の方法

評価は、①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと、②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポートの2つに基づいて行います。①に関しては、1種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなるので気をつけてください。②に関しては、以下に示す4つのテーマの中から1つを選び、指定期間内にレポートを作成して提出すること(字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内)。もちろん、未提出の場合、単位は与えられません。

単位認定レポート課題 スクーリング終了後1課題選択

課題1 (担当) 佐藤俊人	「マジックナンバー・セブン」の実験的検証 短期記憶の貯蔵能力には限界があり、健康な成人で、おおむね7個であるとされているが、その通りであるかどうかを確かめる実験を工夫し、実際に確かめてみなさい。
課題2 (担当) 小松 紘	心理学的測定や評定における恒常誤差と偶然誤差をあげ、説明し、対策を述べなさい。

課題3
(担当)
皆川州正

幾何学的錯視以外の錯覚現象を調べ、その説明と体験した感想を述べなさい。そして、もし私たちの知覚が錯覚現象を生じないとすれば、私たちの知覚作用や知覚された世界はどのようなものであると思うか、考察しなさい。

課題4
(担当)
大関信隆

心理学の方法論の一つとしての実験（法）の意味について考察しなさい。

アドバイス

上記の課題から1つ選び p.223記載の期限内に提出してください。レポート用紙の表紙の「科目名」右側に担当教員名を、「課題欄」に課題を必ず記入してください。なお、レポートの字数は2,000字程度を標準としますが、16ページめまでを使用し、最長4,000字程度まで記入していただいて結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。

課題1 解説

スクーリングで詳しいアドバイスをしますが、まず、短期記憶とはどういうものかを確認してみてください。その中から、自分が何を提示刺激にした実験をするかを決めることから始まります。具体的には数字の列、意味のない文字列などが例に出されることが多いですが、いろいろと工夫をしても面白いと思います。

次にそれをどのように被験者に提示するのかも決めなければなりません。紙に書かれたものを見せるのか、読んで聞かせるのか、あるいはパソコンをつかってスライドショーのように提示することも可能でしょう。

さて、課題の中心は、短期記憶がいくつくらいまでなら覚えていられるか、ということです。ですから、確実に覚えていられる数（刺激の種類によっても変わりますが3～5くらい？）からマジックナンバーである7をはさんで、覚えているのが無理な数（15以上？）まで、いろいろな刺激数で実験してみてください。ある刺激数を超えると急激に覚えられなくなってくるのではないのでしょうか。そこが一人ひとりの実験でのマジックナンバーになります。この刺激の数が 7 ± 2 になればマジックナンバー7が検証されたこととなります。もし実験の結果がマジックナンバーが 7 ± 2 から大きくずれたら、それがなぜかも考察しなければなりません。

以上の点を押さえた上で、覚えていられる数を増やすという実験を重ねても面白いと思います。例えばチャンクという考え方も有効なのではないでしょうか。

課題2 解説

参考書やスクーリング時に配布する資料を参考にまとめてください。まずはどのような誤差があるか調べてみてください。誤差が私たちの判断につきものだとすれば、それをできる限り小さくするには、どのようなことに注意しなければならぬか、考えてみましょう。

課題3 解説

錯覚現象については、幾何学的錯視以外の錯視、視覚以外の錯覚などがあります。それらについて、単に知識として知るだけでなく、自ら観察あるいは体験してその感想やコメントを述べてください。そして、スクーリングでの説明などを参考に錯覚現象の背後にある知覚の働き（作用）について考え、もしそれらがなかったらと考えてみてください。

課題4 解説

心理学における実験（法）の意義を考える際には、次のような視点を持つことが必要と思われる。すなわち、①：「こころ」という対象に接近していくために、心理学の中にはどのような方法があるのか、②：実験（法）とは、具体的にどのようなやり方を有する方法論なのか、③：実験（法）の特徴や長所は何か、などです。これらのことは、言い換えれば心理学における他の方法論との比較、と考えることができるかもしれません。そうすることで、一層、実験（法）の意義や長所・短所が見えてきて、さらには心理学独自の多様な方法論を俯瞰的に眺められるかと思えます。また、実験（法）は心理学成立の歴史とも深い関係がありますので、これらについて $+\alpha$ の考察をしてみることもよいかもしれません。

参考図書

課題1：金城辰夫編『図説現代心理学入門』培風館、1996年（「心理学概論」の教科書改訂版 p.94～97・三訂版 p.142～145）

課題2：市川伸一 編著『心理測定法への招待』（新心理学ライブラリ 13）サイエンス社、1991年

ほか、心理学研究法・心理測定などに関する本、または心理学の教科書で「測定や研究法」に関する箇所など。

課題3：丸山欣哉編『基礎心理学通論』福村出版、1996年

椎名健著『錯覚の心理学』講談社現代新書、1995年

梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田新監修『新版 心理学事典』平凡社、1981年

<http://www.brl.ntt.co.jp/IllusionForum/basics/index.html>（ホームページ「錯覚とは何か」）

<http://www.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/> (ホームページ「北岡明佳の錯視のページ」)

<http://psywww.human.metro-u.ac.jp/sakusi/> (ホームページ「錯視の広場」)

課題4：南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編 『心理学研究法入門』 東京大学出版会、2001年

小牧純爾著 『心理学実験の理論と計画』 ナカニシヤ出版、2000年

利島保・生和秀敏編著 『心理学のための実験マニュアル』 北大路書房、1993年

宮原英種・宮原和子監修 加知ひろ子・武藤幸穂著 『心理学実験を愉しむ ― 心理学の「日常性」と「科学性」』 ナカニシヤ出版、2003年

大山正・中島義明編 『実験心理学への招待』(新心理学ライブラリ 8) サイエンス社、1993年

中島義明著 『実験心理学の基礎』 誠信書房、1992年

B. フィンドレイ著 細江達郎・細越久美子訳 『心理学実験・研究レポートの書き方』 北大路書房、1996年

スクーリング受講上の注意

筆記用具、定規（グラフを書くのに使用）、4色ボールペン（色鉛筆）、電卓を持参してください。

なお、『福祉心理学科 スタディ・ガイド』（東北福祉大学）で「心理学実験」の概要を予習しておいてください。

平成21年度から「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」の受講の順序の指定はなくなりました。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」のスクーリングは、どちらを先に受講していただいても結構です。

平成23年度レポート提出期限

実験レポート（4課題とも） 8月11日必着（東京受講者：10月5日必着）

単位認定レポート 12月24日必着、9月卒業希望者は8月末必着

（東京受講者も同じ；再提出レポートは上記以降も提出可）

10月生科目等履修生が今年度中の単位修得を希望する場合は、単位認定レポートを8月末までに、10月以降の休学予定者は、単位認定レポートを9月末までに提出し合格する必要があります。

心理学実験Ⅱ

科目コード●050506

担当教員●西野美佐子・中村修
吉田綾乃・平川昌宏

2単位

SR

2年以上

福祉心理

必修

科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり、どのような条件の下でどのような行動が生じるか、あるいは、ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが、実験法もその一つです。

科学的知識とは、客観的事実として実証されたものをいいます。心理学では、特定の要因（独立変数とよびます）を系統的に変化させ、意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり、これを実験法とよんでいます。条件を厳密に統制するということに実験法の特徴がありますが、心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、さまざまな角度から、この実験法について、その基礎を学ぶことを目標とします。

教科書

テキスト（プリント）は、スクーリング時に配布します。

授業の進め方

心理学実験Ⅱでは、下記の4つの実験を体験します。受講生を4グループに分け、1グループ1種目ずつ、①実験についてのオリエンテーション、②実験の実施、③データの整理・分析、④レポート作成という一連の作業を行います。翌日は、別の種目を経験し、4回ローテーションして全種目を終わることになります。

▶実験1「系列学習法」（平川昌宏）

記憶研究の先駆者といわれるエビングハウスが用いた伝統的な実験材料である無意味綴りを用いて、言語学習実験の代表的な3タイプのうち系列学習法（ある順序で呈示された無意味綴りをその順序どおり覚えさせる実験法）を実習し、系列位置効果（呈示された刺激がはじめの方にあるか、終わりの方にあるか等で学習しやすさに差があること）について調べます。

▶実験2「鏡映描写」（西野美佐子 担当）

一般に先行した学習が後続の学習に何らかの影響を与えることを学習の転移といいます。転移の一例として鏡映描写における利き手による練習の非利き手のパフォーマンスへの転移などにもなる運動技能の上達過程を検討し、^{りようそくせい}両側性転移現象の有無、さらにはその理由について考察します。

▶実験3「概念学習」（中村 修 担当）

われわれは、いくつかのモノやコトが持つさまざまな特性のうち、ある特性群に注目（抽象）し、また他の特性群を無視（捨象）することによって、任意のカテゴリー（概念）を「心」の中につくりあげていると仮定できます。だからこそ、“アリ”と“ゾウ”を同じ“動物”とみなすことができます（ところで何が同じ?）。こうした概念作用に影響を与える諸要因について、実験的に検討します。

▶実験4「社会的影響」（吉田綾乃 担当）

他者へ影響を与えることおよび他者から影響を受けることを社会的影響といいます。その影響過程について実験的に検討します。

評価の方法

評価は、①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと、②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポートの2つに基づいて行います。①に関しては、1種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなりますので気をつけてください。②に関しては、以下に示す4つの課題の中から1つを選び、指定期間内にレポートを作成して提出してください（字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内）。もちろん、未提出の場合、単位は与えられません。

単位認定レポート課題 スクーリング終了後1課題選択

課題① (担当未定)	系列学習において「なぜ系列位置効果が現れるのか」について文献やスクーリングでの体験などを参考にしながら考察しなさい。
課題② (担当西野美佐子)	一般に以前の学習が後の学習に影響を及ぼすことを学習の転移という。以前の学習が後の学習を促進する場合を正の転移、逆に以前の学習が後の学習を妨害する場合を負の転移と呼んでいる。日常生活でみられる上記のような学習の転移の例を示し、説明しなさい。

課題3
(担当)
中村 修

次の4つの尺度について、日常生活の中から2つずつ例を挙げて、違いを説明しなさい。また、なぜ尺度をこのような4つに分ける必要があるのか、考察しなさい。①名義尺度 (nominal scale)、②順序尺度 (ordinal scale)、③間隔尺度 (interval scale)、④比率尺度 (ratio scale)。

課題4
(担当)
吉田綾乃

社会的影響に対するわれわれの反応は追従、同一視、内面化の3種類に区別される。それぞれの特徴とそれらが生じる条件について文献を参考に調べ、具体的事例を挙げながら考察しなさい。

アドバイス

上記の課題から1つ選び p.227記載の期限内に提出してください。レポート用紙の「課題欄」に課題を、また表紙の科目名の右側に担当教員名を必ず記入してください。なお、レポートの字数は2,000字程度を標準としますが、16ページめまでを使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です (パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで)。

課題1 解説

スクーリング時の解説、配布する資料を参考にまとめてみてください。

課題2 解説

学習の転移は、さまざまな領域・場面でみられます。スキーを習う前にスケートをマスターしておく、一般的にスキーの初歩の上達は早いでしょう。また、軟式テニスをしていた人が、硬式テニスに切りかえた場合、ストロークやラケットの持ち方など、軟式独特のくせがなかなか抜けなくて困る場合もあるでしょう。しかし、軟式・硬式を問わないテニスに共通の点も多く学びやすいこともあるはずですよ。

このように、生活の中でさまざまな転移がみられますが、「両側性転移に関連する事例を探して、その事例を詳しく分析し報告してください」というのが課題です。まず両側性転移について一般的な心理学書、心理学辞典などで概念理解とその生起要因について理解したうえで、自分の生活を振り返り、正の事例、もしくは負の事例を探して、分析し報告してください。ちなみに、日常動作で見られる転移の例として報告されたものとしては、

・非利き手での箸の持ち方や卓球練習の上達具合・パソコンのキーボード操作の学習・耳掃除の手の使い方・マニキュアを左右の手で塗る時の動作学習・水泳練習時の手の動きの学習・弓道の動作の「肘いれ」動作学習 (この動きは非利き手の左手の動作で、利き手が右手の人から見れば困難学習課題です。そこで、利き手で練習してできるようになってから、非利き手で挑戦したところ、非利き手で、簡単にできた事例)・流れ作業で袋付めする動作を、立ち位置を逆にした場合の混乱、などなど、いっぱい見つけられることと思います。

課題3
解説

この課題では、4つの尺度の概念弁別がきちんとなされているかが評価ポイントとなります。心理学の本というよりも、統計学、心理統計学、心理学研究法などの入門書などを参考になさった方がいいかもしれません。例を挙げて説明してもらうのは、調べたことを使って自分で考えたんだ！自分で見つけたんだ！というヨロコビを味わっていただきたいからです。ぜひお書きください。参考図書欄には、手元にあった文献のなかから少しあげておきます。

課題4
解説

スクーリング時の解説、配布資料ならびに参考図書を参考にまとめてください。

参考図書

課題1・2・4：スクーリング時に紹介します。

課題3：山内光哉著『心理教育のための統計法〈第2版〉』サイエンス社、2003年
遠藤健治著『例題からわかる心理統計学』培風館、2002年

吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房、2003年

スクーリング受講上の注意

- ・筆記用具、定規、電卓を持参してください。
- ・『福祉心理学科 スタディ・ガイド』東北福祉大学で「心理学実験」の概要の予習をしてきてください。
- ・授業の冒頭で受講者全員参加のガイダンス（30分程度）を行います。
- ・平成21年度から「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」の受講の順序の指定はなくなりました。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」のスクーリングは、どちらを先に受講していただいても結構です。

平成23年度レポート提出期限

実験レポート（4課題とも） 8月30日必着

単位認定レポート 12月24日必着（再提出レポートは左記以降も可）

- ・10月以降の休学予定者＝単位認定レポートを9月末までに提出
- ・9月卒業希望者・10月生科目等履修生＝8月末必着

心理学研究法 I

科目コード●050508

担当教員●木村 進・西野美佐子・白井秀明
吉田綾乃・大関 信隆・平川昌宏

2 単位 | R or SR | 2 年以上

福祉心理

必修

科目の内容

この科目は、心理学において使われる代表的な方法について、基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については、別に「心理学実験 I」、「心理学実験 II」として科目が設定されているので、ここでは、**実験法以外の方法**について取り上げることにします。また、「検査法」については、「研究法 II」のスクーリングにおいて実習を行う予定になっています。

心理学は、実証的の学問です。実証的というのは、データを収集し、それを分析して、その結果に基づいて論を展開するということです。したがって、どのようなデータをどのような方法で収集するかということが、心理学の研究においてはきわめて重要な意味を持つこととなります。つまり、心理学の研究において使われる方法は、正確にデータをキャッチできるものであるだけでなく、客観的に評価される科学的なものでなければなりません。同時に、心理学の研究の対象は、多くの場合、人間ですから、どのような方法を使う場合でも、そこには一定の倫理性が保たれていなければなりません。この科目では、単に研究法の習得を目指すだけでなく、倫理性・科学性の問題を含めて、心理学における方法論の理解を目標にします。

なお、この科目では平成19年度よりスクーリングを開講しました。このスクーリングは必須ではありませんが、できうる限り参加することをお勧めします。

教科書

大村彰道編著『教育心理学研究の技法』(シリーズ・心理学の技法) 福村出版、2000年
『福祉心理学科 スタディ・ガイド』東北福祉大学(福祉心理学科以外の方は通信教育部ホームページで閲覧可)

レポート課題

この科目は2単位です。したがって、提出しなければならないレポートは2つですが、課題は5つ設定してあります。1単位めは、**課題1～3の中からいずれか1つを選んで**

ポートを作成し提出してください。2単位めは、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講するかどうかによって、取り組む課題が異なります。つまり、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講しない人は課題 4 に、受講する人は受講後に課題 5 に取り組みレポートを提出することになります。

なお、1単位めの課題と2単位めの課題のうち、どちらの課題を先に行っても構いません。ただし、2単位めの課題が「観察法」「面接法」「質問紙法」の理解を問う課題であるのに対して、1単位めの課題が各研究法に関する理解を応用して自身で研究計画を立てる課題になっていますので、**2単位めの課題を先に行った方が、1単位めの課題もより容易に取り組むことができます**と思います。

1 単位め (1 課題選択)	<p>課題 1 気の長い人と短気な人を観察法によって見分けるための研究をするとしたら、どのような観察を行うかを中心に、研究計画を立てなさい。</p> <p>課題 2 小学生における教科の好き嫌いに影響する要因について面接法で研究するとします。半構造化面接によって調査を行うとしたら、どのような研究計画になるか考えなさい。</p> <p>課題 3 子どもの攻撃性の高さに対するテレビの影響というテーマで、質問紙法を使って研究するとしたら、どのような研究をするか、研究計画を立てなさい。</p>
2 単位め	<p>課題 4 (「研究法 I」スクーリングを受講しない人はこの課題を行ってください) 「観察法」「面接法」「質問紙法」のそれぞれについて、その方法の効用と限界(留意点)を述べなさい。</p> <p>課題 5 (「研究法 I」スクーリングを受講する人はこの課題を行ってください) 「心理学研究法 I」スクーリング終了時に配布される研究論文の中から1つを選び、</p> <ol style="list-style-type: none"> I. 選択した研究の①目的、②仮説、③方法をまとめなさい。 II. 選択した研究と同じ目的や仮説で研究を行うとすれば、あなたは「観察法」「面接法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか、そして、なぜその方法を選択するかについて述べなさい。

レポート提出上の注意

- (1) この科目のレポートは、**1単位ずつ提出**してください。1単位の課題の字数は2,000字程度ですが、レポート用紙の p.16まで使用し4,000字程度まで記入することも可です(パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで)。
- (2) 1単位めの課題が取り組みにくく感じる方、再提出が続く方は、この科目のスクーリングを受講してから提出してください。
- (3) 2007年度から2単位めの課題が変更になりました。『レポート課題集2006』の課題の提出も2008年9月で締め切りました。再提出者も含めて必ず今年度の課題で提出してください。

2 単位めの課題変更にともない、2006年度まであったレポートの提出順序の指定（1 単位め合格後 2 単位め提出）はなくなりました。2 単位め（課題 4）を先に提出することも可です。とくにスクーリングを受講しない方にとっては、2 単位めの方が取り組みやすい課題です。

- (4) 2 単位め課題 4 や旧 2 単位めレポート課題に合格した方もスクーリングを受講することができます。その際、2 単位め課題 5 の提出は不要です。
- (5) スクーリングを受講しない方は、通常の科目と同様に科目修了試験受験の必要があります。この科目のスクーリング試験、科目修了試験ともに、心理学研究法の基礎的な理解がないと合格が難しい傾向にありますので、充分学習をしてから臨んでください。

スクーリング受講条件

スクーリング申込締切日までに、福祉心理学科専門必修科目・専門選択科目 A 群のなかから 7 科目分のレポート（4 単位科目は 4 課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めること可・特講科目・S 科目は含められない）。

アドバイス

1 単位め 解説

課題 1～3 は、同じ種類の課題ですので、まとめて解説します。それぞれの課題には、テーマと使用方法が指示されています。この科目の目標は、研究法を学習することにあるので、それぞれの方法についての学習を進めたいうえで、つまり、それぞれの方法について十分理解したうえで、指示に従って研究の計画を立てるとというのが課題です。次のような学習の進め方をし、そのうえで、以下に示すような内容のレポートにまとめてください。

- (1) 教科書の 1 章を読んで、研究の進め方についての全体的な理解を図ってください。
ここでは、研究の進め方についての一般的な考え方と、実際の研究に基づいた研究の進め方の例とが書かれています。1 節の 1 と 2 をまず読み、次に 3 節を読んで理解してから、2 節の事例を読んだ方がわかりやすいかもしれません。また、2 章以降のそれぞれの方法についての理解を確立した後で、もう一度 2 節を読むと、より一層理解が深まると思われます。
- (2) 次に、それぞれの方法（2 章から 5 章）について理解します。それぞれの方法について 1 節に「～法への招待」、2 節に**研究紹介**、3 節に「～法の手順と留意点」という構成で書かれていますので、まず 1 節を読んで、その方法についての基本的な理解を確立し、次に 3 節を読み、一般的な理解が進んでから、2 節の研究例を通してその方法についての具体的な理解を図るという学習の仕方が望ましいでしょう。

- (3) この段階で、**観察法、面接法、質的分析、質問紙法**の4つの方法についての理解ができたこととなります。次に、**課題1～3**のどれかを選んで、そこで使うことになっている方法について改めて読みなおして、理解を確実なものにしてください。特に、各章2節を参考にすることとなりますので、そこはしっかり読みましょう。なお、課題2に取り組む際「半構造化面接」の意味を辞典、参考図書で調べて理解する必要があります。
- (4) いよいよ課題に取り組めます。それぞれに示されているテーマは漠然としていますので、まず**研究の目的**をはっきりさせることから始めます。つまり、そのテーマにそって、最終的に何を明らかにしたいか、ということをもまず考えなければなりません。課題1は「気が長いか短気か」ですからはっきりしていますが、次のように取り組むとよいでしょう。「気の長い・短い」は、心理学ではこれまでどのような分野で扱われてきたのでしょうか。これから研究計画を立てようとするテーマに関連した行動をある程度特定することが必要です。例えば、「気の長い・短い」は、これまでもよく「のろま・ぐず」とか「せっかち・早とちり」などと称されてきたものに近いかもしれないことに気づくでしょう。そこで、その行動は日常生活のどんな場面でよく見かけるか考えてみてください。このように研究しようとする行動とその「気の長い・短い」の（自分なりの）定義をし、仮説を立てて研究内容を絞り込むことです。その後、研究対象、観察場所、時間、観察行動などを考えてください。観察の手法は、自然的観察だけでなく、その行動が良く見かけるように仕掛けた実験的観察でもよいでしょう。組織的な観察法を用いる場合は、観察チェックに必要な行動カテゴリーをどんなものにするか考えることが必要です。その後の結果処理、すなわちデータがどう示されれば仮説が検証されると言えるのかを考えるとよいでしょう。課題2は「教科の好き嫌い」としか指定していないので、「教科の好き嫌い」ということをどのように捉えるかを具体的に考えなければなりませんし、同時に、「影響する要因」といっても、さまざまに考えられるわけですから、どんな要因を取り上げるかということも考える必要があります。課題3も、「テレビの影響」といってもいろいろ考えられるので、そこをどう捉えるか、ということがポイントになります。
- (5) 研究についての具体的なイメージができたなら、次は「**仮説**」を立てるという段階です。「仮説」というと難しく聞こえるでしょうが、単純に言えば「どのような結果を予想するか」ということです。課題1でいえば、「気の長い人と短気な人の行動の違いは、こういうところに現れるだろう」と予想することであり、課題2では「教科の好き嫌いは、こういう要因が影響しているのではないか」と考えることであり、課題3では「子どもの攻撃性に影響するのは、テレビのこういう面ではないか」と考えることです。

この仮説がないと、研究計画が立てられないので、頑張ってください。

(6) 実際に研究を行うとなるといろいろの制約が出てきますが、ここでは机上で計画を立てるという課題なので、実行可能かどうかは考えないで、自由な発想で計画を考えてください。上記の仮説が明らかになったとして、いよいよ具体的な研究計画を考えます。**研究計画**の具体的な内容については、課題ごとに説明します。仮説を明らかにした上で、

①課題1：1) 観察の対象をどのような人にするか また、その人数

2) 観察の場所と時間

3) **どのような行動を観察対象とするか**◎

4) **観察の仕方と記録の仕方**◎

5) 観察が終わった後で、どのように分析するか

②課題2：1) 面接の対象をどのような人にするか また、その人数

2) **面接の内容（具体的な質問）と記録の仕方**◎

3) 面接調査が終わった後で、どのように分析するか

③課題3：1) どのような子ども（年齢・性別など）を質問紙調査の対象とするか

（子どもたちが低年齢で質問紙に答えることが難しい場合は、どのような人たちを質問紙調査の対象とするか）

2) **どのような質問紙（具体的質問項目）を使うか**◎

（質問紙には、①テレビの見方や内容などについて調べるための質問項目と②「攻撃性」を調べるための質問項目が含まれることになります。

①については、「仮説」にしたがってどのような内容をどのような項目で尋ねたらよいか考えてください。また、②については全部で6項目とします。そのうち、3項目は「すぐに暴力をふるう」「言葉遣いが荒い」「つまらない、ささいなことでイライラする」とし、残り3項目は攻撃性を調べる上で適切な項目を各自で考えてください。その際、上で挙げた3項目の単純な言い換え（たとえば、「簡単に手を挙げる」「乱暴な言葉を使う」「ちょっとしたことで腹を立てる」など）にならないよう注意してください。

3) 調査の仕方

4) 調査が終わった後で、どのように分析するか

どの課題も、教科書のそれぞれの方法の「研究紹介」に示されている研究例を参考に計画を立ててください。紹介されている研究ほど綿密な計画でなくて構いませんが、基本的には同じような内容になります。また、レポートのポイントは、◎がついた項目です。

(7) レポートの内容

レポートは、次のような内容にしてください。

- 1) その課題を選んだ理由
- 2) 研究の目的と仮説
- 3) 研究計画
- 4) その課題に取り組んで考えたこと、難しかった点、工夫したところ、疑問、感想など

2単位め
解説

(1) 課題 4

この課題は、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講しない人が、2単位めの課題として取り組むものです。レポート作成にあたっては、1単位めの課題のアドバイスで述べた(1)と(2)の内容が非常に重要となります。教科書（とりわけ第2章、3章、5章の3節）をよく読み内容を理解してから課題に取り組んでください。

心理学の研究を進める上では、「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」によって用いられる方法が異なります。また、それぞれの方法を通して得られるデータの性質（データの数や内容）や検査実施上の利点・留意点（一度に得られるデータの数、調査者や調査協力者の負担など）も異なります。したがって、実際に研究を行う際には、研究の目的や対象、仮説に合わせて、どの方法を用いるかを選択しなければなりません。では、「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれによって、明らかにできる事柄、できない事柄はどのようなことなのでしょう。また、それぞれの方法によって得られたデータの特徴や実施上の利点・留意点はどのようなことなのでしょう。以上の内容について、それぞれ「効用」と「限界（留意点）」に分けて整理し、レポートを作成してください。

(2) 課題 5

この課題は、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講する人が、2単位めの課題として取り組むものです。「研究法 I」のスクーリングでは、「研究法の成り立ち」「観察法」「面接法」「質問紙法」に関して、その内容や効用・限界について解説していきます。また、この4つのテーマについて、より具体的に理解してもらうために、適宜実習を行います。そして、スクーリング終了後、「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を実際に用いた研究論文を配布します。課題 5 は、これらの配布された研究論文の中から1つを選び、まず、その研究の①目的、②仮説、③仮説を確かめるために用いられている方法とその詳細についてまとめます。さらに、④あなたなら仮説を確かめるためにどの方法を用いるかについて考えを述べるのが課題となります。

レポートは、次のような内容で作成してください。

①研究の目的

心理学研究においては、研究者が関心を向けた要因（従属変数）に対して影響を及ぼす

別の要因（独立変数）が考えられ、この独立変数と従属変数の関係について検討が行われます。たとえば、『福祉心理学科スタディ・ガイド』Ⅲ章の「心理学研究法Ⅰレポート作成のためのヒント」について見てみると、清兵衛は「桶の売り上げ」に関心を向け（従属変数）、それに影響を及ぼす要因（独立変数）として、「風が吹くかどうか」や「店の雰囲気」を取り上げています。では、選択した研究論文において、研究者は**独立変数、従属変数としてどのような要因を取り上げているのでしょうか**。言い換えれば、**どのような要因とどのような要因との関係を見る**ことが目的となっているのでしょうか。この点についてまとめてください。

なお、「①研究の目的」と次に述べる「②研究の仮説」は、研究論文では多くの場合、「問題と目的」の中に書かれています。また、研究によっては論文の題目を見るだけで、独立変数や従属変数が何であるかわかる場合があります。たとえば、「○○が××に及ぼす影響」といった題目であれば、○○が独立変数であり××が従属変数であることがわかります。

②研究の仮説

「①研究の目的」で述べた独立変数と従属変数について、独立変数は従属変数に対してどのような影響を及ぼすのでしょうか？ この点について研究者が調査前に考える「仮の答え」が仮説となります。たとえば、先ほどの例を再び用いると、清兵衛は「風が吹くかどうか」という独立変数が「桶の売り上げ」という従属変数に対して、「風が吹くと桶の売り上げが下がってしまう」という方向ではなく、「風が吹くと桶の売り上げが上がってくれる」という方向で影響を及ぼすことを仮説として考えています。そして、実際の研究では、データを集め分析した結果に基づいて、その仮説が正しいかどうかについての検討が行われます。ここでは、選択した研究論文の中でどのような仮説が考えられているかについてまとめてください。

なお、研究論文においてはこの仮説が必ずしも明確に書かれているわけではありません。その場合、研究者がどのような仮説を考えていたかについて論文の中から読み取ることが重要となります。このレポート課題でも、「①研究の目的」で明らかにした独立変数と従属変数との関係について、つまり、**独立変数が従属変数に及ぼす影響の方向**について読み取り明記してください。

③研究の方法

ここでは、大きく [A. 調査の手続き] と [B. 独立変数と従属変数とを測定するために用いられた尺度] についてまとめてください。以下、「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれについて詳しく説明していきます。

「観察法」について

【A. 調査の手続きについて】

- 1) どのような人たちが観察の対象となっているか。また、その人数
- 2) 観察の場所や状況、所要時間
- 3) 観察方法（自然観察法か実験的観察法か）
- 4) 観察の流れと記録の仕方

【B. 測定尺度について】

独立変数や従属変数を調べるために用いている行動カテゴリーや基準。そして、その行動カテゴリーや基準の具体的な内容。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的な内容、そして、従属変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的な内容を分けてまとめてください。

「面接法」について

【A. 調査の手続きについて】

- 1) どのような人たちが面接の対象となっているか。また、その人数
- 2) 面接が行われた時期、所要時間
- 3) 面接方法（構造化面接か非構造化面接か半構造化面接か）
- 4) 面接の流れと記録の仕方

【B. 測定尺度について】

独立変数や従属変数を調べるために用いている質問の具体的な内容。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた質問内容と、従属変数を調べるために用いた質問内容を分けてまとめてください。

「質問紙法」について

【A. 調査の手続きについて】

- 1) どのような人たちが質問紙調査の対象となっているか。また、その人数
- 2) 調査の仕方（質問紙の配布方法や回収方法）
- 3) 用いた質問紙や尺度。そして、その具体的な項目

【B. 測定尺度について】

独立変数や従属変数を調べるために用いている尺度とその具体的な項目。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた尺度や質問項目と、従属変数を調べるために用いた尺度や質問項目とを分けてまとめてください。

④あなたなら「面接法」「観察法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか

選択した研究論文では、「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を用いて研究が行われています。「観察法」「面接法」「質問紙法」にはそれぞれそれぞれを用いる効用と限界があります。つまり、「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」さらには「どのような仮説を確かめたいのか」などについて、得意な部分と不得意な部分がそれぞれあるのです。そして、研究計画を立てる際にはこのような各研究法の効用と限界についての理解に基づき、研究の方法を選択することが必要になります。

では、選択した研究論文と同じ目的や仮説のもとで研究計画を立てる場合、あなたなら「面接法」と「観察法」と「質問紙法」のうちどの方法を選択するでしょうか。ここではその方法と選択理由について述べてください。もちろん、研究論文と同じ方法を選択しても構いません。ただし、その選択理由として「選択した論文で用いられていた方法だったから」というのはやめてください。たとえば、「この研究においては、〇〇（焦点が当てられている現象や対象、仮説の内容など）だから、××という特徴を持つ“面接法”（“観察法”“質問紙法”）を用いるのが適切だと考えたため」といった形でまとめるようにしてください。さらに、「この研究においては、〇〇（焦点が当てられている現象や対象、仮説の内容など）だから、△△という特徴を持つ“面接法”（“観察法”“質問紙法”）はあまり適切ではないのではないか」ということを付け加えても構いません。

参考図書

- 南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編著『心理学研究法入門』東京大学出版会、2001年
南風原朝和・市川伸一・下山晴彦著『心理学研究法』放送大学教育振興会（NHK出版）、2003年
高野陽太郎・岡隆編『心理学研究法』有斐閣、2004年
『心理学マニュアル 研究法レッスン』『心理学マニュアル 面接法』『心理学マニュアル 観察法』『心理学マニュアル 質問紙法』『心理学マニュアル 要因計画法』北大路書房、1997～2000年
高橋順一ほか編著『人間科学研究法ハンドブック』ナカニシヤ出版、1998年
日本発達心理学会監修『心理学・倫理ガイドブック』有斐閣、2000年
『発達研究の技法』『臨床心理学研究の技法』『社会心理学研究の技法』『性格研究の技法』『認知研究の技法』（シリーズ・心理学の技法）福村出版、1999～2000年
『心理学研究法』（1～17）東京大学出版会
W. J. レイ著・岡田圭二訳『エンサイクロペディア 心理学研究方法論』北大路書房、2003年

- 森正義彦・篠原弘章『心理学研究法』培風館、2007年
伊藤正人『心理学研究法入門』昭和堂、2006年
吉田寿夫編著『心理学研究法の新しいかたち』誠信書房、2006年
大山正ほか著『心理学研究法』サイエンス社、2005年
丹野義彦編『臨床心理学研究法』誠信書房、2004年
山本力・鶴田和美編著『心理臨床家のための「事例研究」の進め方』北大路書房、2001年
鈴木淳子著『調査的面接の技法』ナカニシヤ出版、2002年
松浦均・西口利文編『観察法・調査的面接法の進め方』ナカニシヤ出版、2008年
安藤清志・村田光二・沼崎誠編『新版 社会心理学研究入門』東京大学出版会、2009年
やまだようこ編『現場（フィールド）心理学の発想』新曜社、1997年
田尾雅夫・若林直樹編『組織調査ガイドブック』有斐閣、2002年

※この科目の1単位めに取り組むにあたってのアドバイスが本学ホームページ上で視聴可能です。『学習の手引き』記載の要領をご覧ください。

心理学研究法Ⅱ

科目コード●050509

担当教員●木村 進・白井秀明
中村 修・佐藤俊人・平川昌宏 ほか

2 単位

SR

2 年以上

福祉心理

必修

科目の内容

この科目は、心理学において使われる代表的な研究の方法について、基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については、別に「心理学実験Ⅰ」、「同Ⅱ」、として科目が設定されており、さらに「心理学研究法Ⅰ」において、観察法、面接法、質的分析、質問紙法の4つについて学習します。

「心理学研究法Ⅱ」のスクーリング（2単位6コマ）では、検査法に関する理解と調査法のデータ分析（心理統計）に関する理解を図ることを目的とします。具体的には、1日目の最初の2コマで検査法全般に関する講義を行い、3コマめに心理統計の基礎に関する講義を行います。さらに、2日目には、 χ^2 検定やt検定、相関分析といった基本的な検定法・データ分析法についての講義を行います。その中で、統計的仮説検定の一連の流れや各検定法・分析法について、さらには、結果のまとめ方などについてより実践的な理解を目指すために、パソコンの統計処理ソフトをデータ例にもとづいて操作することも行っていただきます。

講義内容の概要は以下のとおりです。

- (1) 検査法について（担当 木村 進ほか）
 - ①心理検査法とは 検査法実施上の留意点
 - ②知能検査（ウエクスラー系・ビネー系）の概要と留意点
 - ③発達検査の概要と留意点
 - ④性格検査（Y-G性格検査など質問紙法、ロールシャッハテスト・TATなど投影（映）法、作業検査法）の概要と留意点
- (2) 心理統計とデータ分析について（担当 白井秀明ほか）
 - ①心理統計学の基礎についての講義（仮説演繹法、実験的研究と相関的研究、心理統計がなぜ必要か、サンプリングと剰余変数の統制、統計的仮説検定の流れなど）
 - ②統計処理（有意差検定、相関分析等）についての講義（解説）と演習

教科書

スクーリング受講申込者に資料送付

心理学研究法一般については『福祉心理学科スタディ・ガイド』も参考にしてください。

スクーリング受講条件

- (1) スクーリング申込締切日（8月分は7月21日／3月分は2月9日）までに、福祉心理学科専門必修科目・選択科目A群のなかから7科目分のレポート（4単位科目は4課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めて可、特講科目などS科目は含められない）。
- (2) スクーリング事前学習をすませてくること。スクーリング受講申込者には、あらかじめ「心理統計学についての基礎知識」のプリントを送る予定にしています。プリントに書かれている内容は、スクーリング内で説明しますが、そのプリントの内容が頭に入っていると、理解が的確にでき、スムーズに講義や演習に取り組めると期待されます。できるだけきちんと読んで理解してくるよう努力してください。
- (3) レポート課題1単位目の課題1を行い、スクーリング初日開始時間に提出すること。
※ 課題の内容については、「レポート課題」「アドバイス」を参照してください。

レポート課題

1 単位め	<p>課題1は、スクーリング初日開始時間に提出して下さい。課題2は、スクーリング受講中、または受講後8月31日まで（3月受講者は3月14日まで）提出してください。</p> <p>課題1 『福祉心理学科スタディガイド』Ⅲ章を読み原則的な研究の流れについて要約レポートを作成しなさい。その際、「独立変数」「従属変数」「仮説」「構成概念」という4つの用語を必ず用いること。</p> <p>課題2 当日わたされたデータを講義内容をふまえ統計的手法を用いて分析し、その結果をわかりやすく整理した後、仮説が支持されたか否か検討しなさい。</p>
2 単位め	<p>スクーリング受講後に提出すること</p> <p>パーソナリティ検査における質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べ、それぞれ代表的な検査の2～3について解説しなさい。</p>

（平成22年度以前履修登録者）2011年3月スクーリング受講者よりレポート課題が一部変更されました。必ず今回記載の課題で提出してください。

アドバイス

1単位め 課題1 解説

この課題は、スクーリング初日開始時間に提出してください（事前郵送は不可。必ず当日持参）。

要約レポートの作成要領は下記のとおりです。

- 1) A4判用紙（または原稿用紙）使用1,000字以上 ワープロ・パソコン可（手書きも可）。
- 2) 要約は、文中太字の語句を中心にまとめてください。また、「独立変数」「従属変数」「仮説」「構成概念」という4つの用語を必ず用いてください。書式は自由（箇条書きや図解の使用も自由）です。
- 3) この要約レポートはスクーリングの講義内容の理解を深めるための予習にあたるものですので、自分なりの理解でまとめてください。

1単位め 課題2 解説

この課題は、スクーリング受講中、または受講後8月31日まで（3月受講者は3月14日までに）提出してください。提出用紙はスクーリング実施中に配布します。

レポート課題では、具体的な研究例のデータに対して、

- ・その研究の仮説を確認する
- ・仮説の検討に用いる分析手法を選択する
- ・SPSSを用いて実際に分析する
- ・SPSSの分析結果を読み取り、どういう結果が得られたかを文章と表でわかりやすくまとめる
- ・仮説が支持されたか否か結論をください

という作業を一人で行い、レポートにまとめていただきます。

多くの受講生にとっては、何のために統計処理をするのか、また、その結果は何を意味しているかということについては、ほとんど知識がなく戸惑うことが多いのではないかと予想されます。その点についても、スクーリング中に説明しますので、講義をきちんと聴くということと、ある程度予習をして「統計学」ということについても基礎的な学習をしてくることを期待しています（前述の「事前学習」参照）。

2単位め 解説

スクーリングを受講した人が、「2単位めのレポート課題」に取り組むことになります。

2単位めのレポートは、通常のレポート用紙に記入して、提出してください。

パーソナリティ検査（性格検査）は、検査の仕方によって「質問紙法」「投影法」「作業検査法」などに分類されます。この課題は、まず、それぞれの方法について、その考え方、

長所と短所などを解説することが求められています。そして、それぞれの方法を使った代表的な検査を2～3選んで、その検査の作成の経過、特徴、内容、実施方法、分析方法などについて説明するというのが、課題の後半部分です。

なお、この課題は、

- (1) 質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分
- (2) それぞれの代表的な検査の2～3について、検査の作成の経過、特徴、内容、実施方法、分析方法などを解説する部分

で構成する必要があります。

2単位めの課題では、レポート用紙のp.9～16まで使用し、4,000字程度まででまとめていただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。もちろん2,000字程度でも結構です。

ただし、(2)で3種類×2～3の合計6～9個の検査についてくわしく述べていくと2,000字はおろか4,000字でもまとめきれない場合があります。

つきましては、4,000字でもまとめきれないとお感じの方は、(2)の部分では、質問紙法・投影法・作業検査法のそれぞれ代表的な検査の1つについてまとめていただくか、または、全体で1つの検査についてまとめていただいても結構です。

(1)の「質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分」がこの課題の中心となりますので、(2)については簡略にまとめてください。

このレポート課題は、スクーリングの講義内容および適当な参考書を見つければ書ける内容になっています。参考書入手が困難な受講生は、スクーリングの際に図書館を利用して、レポートの材料を集めておいた方がいいでしょう。なお、参考文献を明記することを忘れないでください。

参考図書

●心理検査に関するもの

松原達哉編著『心理テスト法入門 [第4版]』日本文化科学社、2002年

大村政男・花沢成一・佐藤誠著『心理検査の理論と実際 (第4版)』駿河台出版社、1998年

塩見邦雄編著『心理検査ハンドブック』ナカニシヤ出版、1998年

岡堂哲雄編『心理検査学 (増補新版)』垣内出版、1993年

渡部洋編著『心理検査法入門』福村出版、1993年

村上宣寛著『心理テストはウソでした』講談社+α文庫、2008年

●心理統計に関するもの

吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大

路書房、1998年

岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版、1997年

大村平著『改訂版 統計のはなし』日科技連、2002年

松田文子ほか著『わかって楽しい心理統計法入門』北大路書房、2007年

丸山欣哉ほか著『学生のための心理統計法要点』おうふう、2009年

村井潤一郎・柏木恵子著『ウォームアップ心理統計』東京大学出版会、2008年

山内光哉著『心理・教育のための統計法<第2版>』サイエンス社、1998年

山田剛史・村井潤一郎著『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房、2004年

南風原朝和著『心理統計学の基礎』有斐閣、2002年

南風原朝和ほか著『心理統計学ワークブック』有斐閣、2009年

神宮英夫著『はじめての心理統計』川島書店、1998年

田中敏著『実践心理データ解析』新曜社、1996年

森 敏昭・吉田寿夫編著『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』北大路書房、
1990年

スクーリング受講上の注意

3月のスクーリングを受講して3月末に卒業することは原則としてできません。万一、希望する場合は1月10日ごろまでに書面で希望届の提出が必要で、1・2単位めレポートも3月7日必着での提出が必要です。

人格心理学

科目コード●050511

担当教員●皆川州正



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 A

科目の内容

ある状況で人はその人なりの思考や行動をとります。しかも、別なときの同じような状況でもその人はその思考や行動をとりがちです。このように一貫性と持続性をもったその人特有の思考や行動の特徴的傾向の体系を「人格」といっています。「人格」と「性格」はほぼ同じ意味で用いられますが、区別するときには、「人格」は態度、興味、価値観などを含む心の全体的特徴を指し、「性格」は主として感情や意志の側面的特徴を指します。

人格心理学では、①個人の全体性と独自性の記述と理解、②個人差の理解と予測、③自我・自己の理解、④人格の発達・形成過程の理解、⑤自己成長・人格変化の過程の解明と援助、⑥人格の障害・病理（葛藤と欲求不満、防衛機制を含む）、⑦人格と健康の関連、⑧人格と文化・性差の関連、⑨人格の理解の方法などについて学びます。このうち、⑥⑧については、補足資料を参照ください。

なお、産業カウンセラーの受験資格取得をめざす人は、『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト）も参照ください。

教科書

岡田斉編 『心理学理論と心理的支援』（社会福祉士シリーズ2）（第3章）弘文堂、2008年
さらに、以下の補足資料（A3判・1枚）を配付します。

- ・皆川州正 2004 問題行動の一般的経過：どのように見通しを持つのか 今城周造（編）福祉の時代の心理学 ぎょうせい pp.198～199
- ・今城周造 2004 情動・欲求の否定的側面：悩んだり、迷ったり 今城周造（編）福祉の時代の心理学 ぎょうせい pp.63～64（皆川により補足）
- ・皆川州正 人格と文化・性差の関連

※産業カウンセラー受験資格取得をめざす人は、『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト）も教科書に準じて活用ください。

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より教科書のタイトルが変わりました。内容は、以前の教科書『臨床に必要な心理学』と同じです。

レポート課題

1 単位め	<p>【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。</p> <ol style="list-style-type: none">① ミッシェルの状況論の意義について② 学習性無力感とその克服のための援助について③ 自己概念の意義について④ 認知スタイルおよび認知の歪みが感情や行動に及ぼす影響について <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
2 単位め	<p>【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。</p> <ol style="list-style-type: none">①ユングの類型論からみた次の人物（A～C から一つの人物群を選択）について A 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康 B 『サザエさん』のサザエ、マスオ、カツオ C 『赤毛のアン』のアン、ダイアナ、ギルバート②ビッグ・ファイブからみた①で選んだ人物について③マズローの自己実現の研究の意義について④タイプA・タイプCとそれぞれへの援助 <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
3 単位め	<p>力動的構造論の一つをとりあげ、その力動的構造論の観点から、心理的不適応の具体例について考察しなさい。</p>
4 単位め	<p>人格諸理論の視点から自己分析を試みて、その感想とコメントを述べなさい。</p>

(平成21年度以前履修登録者) 2009年4月および2010年4月に、レポート課題が変更となりました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で締め切りました。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。なお、2007年度の課題の1単位目が2008年度の2単位め、2007年度の2単位めが2008年度の3単位めに変更されていますが、合格していない課題については今後は上記の課題で提出してください。

アドバイス

人格の研究方法として、伝記・日誌法、フィールドワーク、実験法、自然観察法、面接法、観察法（客観的評価法）、尺度・質問紙法、投影法などがあります。人格について理解を深める際も、単に知識として学ぶだけでなく、人格の研究法を参考に実際の日常生活場面での人格にアプローチして考えていくことが望まれます。その際、他人の性格に対する私たちのとらえ方の癖や歪み（寛大化傾向、中心化傾向、近接誤差、対比誤差、年功誤

差、ハロー効果、論理的誤謬、傾性帰属傾向など)についてよく知っておくことが大切です。第5章の1のBの[1]の(1)帰属と(2)印象形成も参照してください。また、あいまいな状況では、評価者の善悪の価値・期待・願い・恐れ・不安なども無意識に投影されて理解されがちです。

第3章の2では、人格のさまざまなとらえ方について述べてありますので、よく読んで、その背後にある人間観の違いについても考えてみてください。

レポートの作成にあたっては、テキストをよく読んで、その内容をよく理解してください。その際、①知識の理解、②具体的な場面での理解、③テキストの執筆者の見方や意図の理解、④家庭・仕事・教育・臨床などの場面での応用を心がけるとよいでしょう。また、知識の理解に際しても、心理学的な見方や考え方に目を向け、理論や学説が生まれた経緯や背景も考えながら読み進めるとよいでしょう。さらに、テキストだけでなく、各自でいろいろ調べて深めてください(1単位め～3単位めの課題については、テキスト以外に少なくとも2冊以上の専門書を参考にし、引用・参考文献として明示してください)。

1単位め
解説

- ①テキストの第3章の2のC(4)(状況論と相互作用論)を参考に組み込んでください。ミッセルが特性論に疑問を抱くようになった経緯や状況論がその後のパーソナリティ研究に与えた影響も調べるとよいでしょう(特に、戸田・サトウ・伊藤(2005)に詳しく紹介されています)。
- ②テキストの第3章の2のE(2)(不適応行動の学習)を参考に組み込んでください。学習性無力感とはセリグマン、Mによって発見された心理学的知見です。発見の経緯やその後の研究の知見、展開(ポジティブ心理学など)も調べるとよいでしょう。克服のための援助については、動機づけの側面、認知的側面、情動的側面、選択的側面について考えてみてください。その際、第3章の2のE(3)(社会的学習理論と自己効力感)や第3章の2のD(5)(1)(個人心理学)、第9章の3のC(動機づけの理論)も参考になります。なお、セリグマンの著書は日本でも翻訳されていますので、一読をお勧めします。
- ③テキストの第3章の2のF(3)(ロジャーズの自己理論)を参考に行動への影響、適応への影響について具体例をあげて組み込んでください。また、第4章の1のB(2)(青年期の発達課題)および第11章の1のD(5)(ナラティブセラピー)、小松・木村(2009)の第3部第2章第3節(自我と自己)も参考になります。
- ④テキストの第3章の2のG(2)(認知の個人差)を参考に具体例をあげて組み込んでください。代表的な認知スタイルとして、場独立/場依存などがあります。代表的な認知の歪みについては、第11章の1のC(2)認知療法に詳しくのっていますので、参考にしてください。

2単位め
解説

- ①テキストの第3章の2のB [3](ユングの類型論) を参考に取り組んでください。3人の特徴をあげ、それをもとに類型を考えるとよいでしょう。また、お互いの関係や達成・挫折についてもユングの類型の観点から考察してみてください。なお、類型論から人物をとらえる作業を通して、類型論の利点・欠点についても確認してください。
- ②テキストの第3章の2のC [3](ビッグ・ファイブ) を参考に取り組んでください。特性は誰でも持っており、その程度の違いによってとらえます。そこで、それぞれの特性が高い、中くらい、低いというような記述になります。3人の5因子の特性の程度を考え、それを裏付ける行動的な特徴をあげるとよいでしょう。また、特性論から人物をとらえる作業を通して、特性論の利点・欠点についても確認してください。
- ③テキストの第3章の2のF [2](マズローの欲求階層説と自己実現論) およびジェネリックポイントの自己実現・自己超越を参考に取り組んでください。マズローは、最初は自己実現を果たしている人(自己実現的な人)について調べましたが、その後、自己実現的な人でなくても、至高経験をしていることに着目しました。また、晩年は、自己実現の上位にある自己超越を強調しました。マズローの研究の歩みについても調べてみるとよいでしょう。なお、小松・木村(2009)の第3部第2章第4節(自己実現)も参考になります。
- ④テキストの第12章のコラムを参考に取り組んでください。タイプAとタイプCは健康と関連する人格として有名です。具体例をあげながら考えてみてください。なお、課題およびテキストにはありませんが、健康と関連する人格として、アイゼンクによる6つのタイプ(タイプ1はタイプCに、タイプ2はタイプAに相当)、うつ病になりやすい性格として、下田光三による執着気質やテレンバッハによるメランコリー親和型があります。

3単位め
解説

テキストの第3章の2のD(力動的構造からみる)と第11章の1のA(精神分析と分析心理学)あるいは第11章の1のE(交流分析)をよく読んで取り組んでください。力動的な人格理論は、障害や心理的不適応を説明するために臨床的知見から得られた理論でもあります。心理的不適応の具体例については、身近な人や社会的な事件、臨床的な事例などをとりあげて理解を試みてください。そして、テキストを参考に、力動的構造論の立場から、その具体例の人に対してどのように援助していったら心理的適応を促すことになるかについても考えてみてください。

4単位め
解説

人間の目は前についていて外を向いています。ある人は、このことから、自分を振り返り、自分の内に目を向ける人は少ないといえます。また、ソクラテスは「汝自身を知れ」といい、己の無知さをまず知ることを説きました。他方、

インドには、ソクラテスを訪ねた修行者が「あなたの哲学は何か」と問うたところ、ソクラテスは「自分自身を知ること」と答えたので、その修行者は「人間の本質を知らずして自分自身を知るなんて不可能」と思い、早々に帰ってきたという話が伝わっているそうです。それほど自分自身を知ることが難しいものです。

自分自身を知ることが難しい理由を心理学的にみた場合に、防衛機制と自我関与の働きがあります（加藤、2001）。自己分析に際して、防衛機制が働くと、知的に理解することで無意識に自分の感情に直面することを避けたり、〇〇だから仕方がないとあきらめたりするようになります。また、自我関与が働くと、自分のことだけを考えて、相手がどんな気持ちでいるかをなかなか考えられなくなったり、考えても自分の都合のいいように考えてしまったりします。そうすると、自分の感情（葛藤する感情や隠れた動機など）を見つめること、相手の気持ちに目を向け、相手の気持ちにそって考えることで自己分析の幅も広がるでしょう。

自己分析を行う際には、まずテーマをしぼります。最近イヤなこと、恥ずかしかったこと、癪に障ったこと、ガックリきたこと、あわてたことなどを思い出して、焦点をしぼって、そのときの自分の気持ちや動機について分析を行います（加藤、2001）。また、相手や周囲がどんな気持ちでいたか、自分の言動によってどんな気持ちになったかを考えます。

次に人格諸理論の視点から自己分析を行います。テキストの第3章だけでなく、第11章も読むと役立つと思います。以下に要点を述べますので、参考にしてください。

- (1) 類型論：自分の類型について知るとともに、相手の類型の良さを生かせる状況作りを図ったかどうか、相手の類型の短所を補うように助けたかどうかを振り返ります。
- (2) 特性論：自分の特性や相手の特性の病理的特徴を一般的特徴に言いかえてみます（たとえば、「臆病な人」は「とても控えめな人」というと印象が変わる）。そして、その特性を認め、その特性を十分に出せる状況や新たな行動の付加を考えてみます（たとえば、立食パーティでは大いに控えめにしているの、周囲をよく観察してコップや料理の皿が空になっている人にはそっとビールをついだり料理を届けたりするなど）。
- (3) 力動的構造論：精神分析理論によれば、現実生活での外傷的体験やストレスを振り返るとともにそれ以前（主に子どもの頃）に性愛的（愛情・依存）欲求や攻撃欲求などで葛藤し、抑圧してこなかったかどうかを振り返り、抑圧してきた欲求を社会的に認められる形で満たす方法を考えます。ユング心理学によれば、症状や問題行動を無意識の補償作用や個性化の過程としてとらえ直し、生き方を変えていきます。個人心理学によれば、問題行動を通して自分は本当には何を望んでいるのか（行動の目的）を振り返り、問題行動以外で目的を達するやり方を考えます。交流分析理論（p.41、p.187～190）によれば、自我状態をとらえ、高い自我状態での行動に偏っていないかどうかを振り返り、低い自我状態を高めるようにします。また、自分が繰り返しやすいゲームのパターンや

人生脚本に気づき、ゲームからの脱却や再決断を行います。

- (4) 学習理論：自分の問題行動について先行する手がかり刺激や強化について振り返ります。そして、段階的に目標行動に向かうことや目標行動の誘導の工夫（マークをつける、自己会話（「落ち着け」など）をするなど）、社会的スキルの訓練、役割遂行や自己選択による自己効力感の向上、セルフ・モニタリング（自ら毎日測定記録をつける）などを図ります。
- (5) 人間性心理学：自己概念を振り返り、経験していること（自分の感情や欲求など）に目を向けるようにします。
- (6) 認知論：認知スタイルや認知の歪みについて振り返り、別の考え方や取り組みを図ります。

なお、第3章のジェネリックポイントの人生の意味の探究や自分についての物語、第11章の1のDの[2]のソリューション・トークも、新たな視点や問題行動と偽解決の悪循環パターンから抜け出すヒントを与えてくれるので、参照してください。

参考図書

- 遠藤辰雄編『セルフ・エスティームの心理学——自己価値の探究』ナカニシヤ出版、1992年
- 加藤孝義著『パーソナリティ心理学——自分を知る・他者を知る』新曜社、2001年
- 河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館、1967年（※ユングの類型論について詳しい）
- 小林正幸・相川充編『ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 小学校——楽しく身につく学級生活の基礎・基本』図書文化社、1999年
- 小松紘・木村進編『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版、2009年（※人格・性格・気質、人格諸理論、自我・自己、自己実現について詳しい）
- 前田重治著『図説 臨床精神分析学』誠信書房、1985年
- 本明寛他編『性格心理学新講座』全6巻、金子書房、1989～1990年（「性格の理論」「性格形成」「適応と不適応」「性格の理解」「カウンセリングと心理治療」「ケース研究」）
- 大淵憲一・堀毛一也著『パーソナリティと対人行動』誠信書房、1996年
- 小川捷之・詫摩武俊・三好暁光編『パーソナリティ』（臨床心理学大系第2巻）金子書房、1990年（※自我・自己、人格の障害について詳しい）
- 小野直広編『生徒指導』（新教育心理学体系3）中央法規出版、1993年（※人格の理解の方法について詳しい）
- M. セリグマン著 山村宜子訳『オプティミストはなぜ成功するか』講談社、1994年
- 島井哲志編『健康心理学』（現代心理学シリーズ15）培風館、1997年
- 清水弘司著『はじめてふれる性格心理学』（ライブラリ心の世界を学ぶ3）サイエンス

- 社、1998年
- 杉山憲司・堀毛一也編『性格研究の技法』福村出版、1999年
- 瀧本孝雄著『性格のタイプ——自己と他者を知るための11のタイプ論』サイエンス社、2000年
- 詫摩武俊監修『性格心理学ハンドブック』福村出版、1988年
- 詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊編『性格心理学への招待（改訂版）—自分を知り他者を理解するために』サイエンス社、2003年
- 詫摩武俊・鈴木乙史・清水弘司・松井豊編『人間と性格』シリーズ全8巻、ブレーン出版、1999～2001年（「性格の理論」「性格の発達」「性格と対人関係」「性格の変容と文化」「性格研究の拡がり」「性格の測定と評価」「性格の不適合」「性格の病理」）
- 丹野義彦著『性格の心理——ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ』サイエンス社、2003年
- 戸田まり・サトウタツヤ・伊藤美奈子著『グラフィック性格心理学』サイエンス社、2005年
- 山崎勝之・島井哲志編『攻撃性の行動科学 発達・教育編』ナカニシヤ出版、2002年

教育心理学

科目コード●050513

担当教員●白井秀明



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
選択 A

科目の内容

「心理学」の中で最も有名な研究のひとつに、エビングハウスが行った記憶の研究があります。「ひとはなぜ忘れるのか？」という記憶や忘却のメカニズムをはじめ科学的に研究したからです。一方、その「心理学」の一分野である「教育心理学」では、同じ記憶や忘却を研究するのに、「どうしたら忘れなくなるか？」という発想をします。この発想の違いが、教育心理学とはどういう考え方をする学問か、ということを考える際の手がかりになると思います。えっ、まだよくわからないって……。

では、ズバリ言いましょう。教育心理学的に考えると、“学ぶ人の味方になって考える”ことなのです。子どもであれ大人であれ何かを学ぶ人は、まちがったりつまずいたりすることもある、それはきっと彼ら彼女らなりの理由があるにちがいない、その“言い分”にじっくり耳を傾けて、その対策を考えてみようじゃないか、というわけです。ですから、子どもに何かをわかりやすく教えたいと思っている先生、いやなにも学校教育に限らず、人と楽しく教育的なかかわりを持ちたいと思っている人にとって、少しでも役に立つ知識や技術や考え方、そういうものを提供するのが教育心理学だと考えています（かなり私の希望が入っていますが）。

本科目で使用する教科書には、算数や国語などの具体的な教え方はほとんど書かれてありません。でも、“学ぶ人の味方になりたい！”と考えている人にとっては、大切な考え方や研究が数多く紹介されています。「ほほう、こういう考えや研究は学ぶ人に味方になっているな」などと読み進めていただければ、と思います。もちろん、ご自分の「教育」「学習」「発達」などに対する考え方とつきあわせて読むということも大切なことです。教科書に書いてある心理学者の名前や考え方をただ記憶するだけでは、教育心理学って面白いな！とは感じてもらえないと思うからです。

教科書

永野重史編著『教育心理学——思想と研究』放送大学教育振興会、1997年

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め	<p>「知識観」「学習観」「動機づけ観」「学習環境観」「教育評価観」「教師観」からひとつ選んで、「行動主義」と「認知主義」の考え方の違いを、具体例を挙げながら説明しなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)</p>
2 単位め (課題1、2選択)	<p>課題1 (認定心理士、精神保健福祉士受験資格取得希望として届出をしている者、その他教職免許状取得希望者以外はこちらを解答すること) ヴィゴツキーの「発達の最近接領域説」は、どんなところが“学ぶ人の味方”になっている考え方か。ピアジェの「発達段階説」と対比させて説明しなさい。</p> <p>課題2 (教職免許状取得希望として届出をしている者はこちらを解答すること) 「学習障害 (LD)」「注意欠陥多動性障害 (ADHD)」のどちらかひとつを選び、そうした障害を持つ児童・生徒の行動特徴を整理し、もし自分が彼ら彼女らの担任になったとしたら、どんなことを大切にしておきたいと考えるかについて述べなさい。</p>

アドバイス

レポートを書くにあたって、教科書だけに頼るのではなく、教科書や文末に紹介されている参考文献などからの“輸入”は大歓迎です(“輸入元”はレポートに明記してください)。“わかること”と“わからなくなること”が交互に繰り返される、それが何かを学ぶ筋道だと考えるからです。

1単位め 解説

「～観」というのは、ものごとに対する見方、考え方のことです。「行動主義」と「認知主義」では、学習についてだけでなく、さまざまなことに関する考え方が異なります。教科書の3章、4章だけでなく、9章や10章にも、両者の違いが書かれてあります。まず、これらを読んで両者の違いについて整理してください。

それから、課題に書いてある「知識観」～「教師観」の中からひとつ選んで、ご自分が読んだり、見たり、聞いたりしたこと、特に、今までのご自分の教育体験の中で、「行動主義」と「認知主義」の考え方のそれぞれに当てはまる具体例をさがしてください。なにもかたく考える必要はありません。「こんな先生がいたけど、これは行動主義的な考え方をもった先生だったのではないか」とか、「生徒のやる気を出すためにこんなことをした先生がいたけど、これは認知主義が主張する内発的動機づけになっていたのではないか」とか「今まで自分は勉強するってこう考えてやっていたけど、そういう考えって行動主義

的な学習観になっていたのではないか」とか「こういう問題を解いているときに、こういう“ああーわかった！体験”をしたけど、認知主義の先駆であるゲシュタルト心理学が主張した洞察のことだったのか」などなど、自由にそして大胆(!?)に、具体例探しをしていただきたいのです。面白いエピソード、お待ちしております。

2単位め
課題1
解説

ポイントは、「発達」に対する「教育」の役割を、両者がどう考えているかです。もちろん、ここでいう教育とは、学校教育だけでなく、社会的・文化的経験などを含めたもっと広い意味での教育活動のことです。間違いやつまずきを示す、いいかえると、発達が滞っている人に対して教育活動を受動的・消極的にとらえているのはどちらでしょうか。能動的・積極的にとらえているのはどちらでしょうか。まず、「教育」と「発達」の関係に対する両者の考え方の違いを対比的に示して欲しいのです。そして、両者の「教育」と「発達」の関係に対する考え方とご自分の考えとつきあわせた結果、自分は「教育」「発達」についてどう考えるか（考えられるようになったか）も、ぜひ書きいただきたいと思います。

2単位め
課題2
解説

教員免許を取得なさりたい受講者への課題です。まず、発達や学習、さらにコミュニケーション等の面で、こうした障害を持つ子どもたちがどういう行動をしがちなのか、その特徴を調べて整理してください。その上で、自分がそうした子どもの担任になったとしたら、その子どもにとってよりよい成長を少しでもうながすために、どういうことに注意してかわる必要があるのか、いろいろ調べたり考えたりしていただきたいのです。その際、学級の中だけでなく、学校という組織の中、さらには学校外の専門機関との連携など、視野を広げて考えてください。

なお、この課題に取り組むにあたって、教科書ではなく、ご自分で参考となる本を見つけていただきたいのです。いわゆる専門書でなくてもかまいません。もちろん、やさしく書かれてあると思う何冊かは、参考図書として次頁に挙げておきました（こうした障害を持つ子どもやその親を支援する団体が開設しているホームページなどにも、やさしい解説や参考図書などが紹介されています）。これら以外にも参考になる本はたくさん見つけれられると思いますが、いきなり専門的な本に手をつけるのではなく、入門書的な、そして、なるべく具体的にやさしく書かれてある本を何冊かみつけて、まず全体を一読することをお勧めします。そうすることで、障害の種類による違いだけでなく、いわゆる障害を持つ子どもたちとかかわる際に共通して大切な見方、考え方がおわかりいただけるのではないかと、思うからです。

参考図書

園田富雄監修・著 山崎史郎編著『新版教育心理学ルック・アラウンド——わかりたいあなたのための教育心理学』ブレーン出版、1992年

教育心理学の主な領域の内容が網羅されています。初学者が、教育心理学の全体的な骨格を知るには適書だと思います。

宇野忍編『授業に学び授業を創る教育心理学 第2版』中央法規出版、2002年

題名からわかるように、授業実践の実例を豊富に取り上げながら教育心理学の諸問題について書かれてあります。と同時に、学習者の味方になって授業を創っていかうという姿勢が貫かれている、とも言えるでしょう。教員志望の方にはぜひともお読みいただきたい一冊です。

永野重史著『教育心理学通論——人間の本性と教育』放送大学教育振興会、2001年

教育心理学の再入門のために書かれた本です。「教育」「学習」「発達」などに関するご自分の考えをさらに整理する目的でお読みいただけたら、と思います。

参考図書（2単位め 課題2）

茂木俊彦監修、上野一彦編、稲沢潤子文、オノビン+田村孝絵『子どものためのバリアフリーブック 障害を知る本⑧ LD（学習障害）の子どもたち』大月書店、1998年

上野一彦・中根 晃責任編集『わかるLDシリーズ① LDとは何か 基本的な理解のために』日本LD学会編 日本文化科学社、1996年

リンダ・J・フィフナー著 上林靖子・中田洋二郎・山崎透・水野薫監訳『こうすればうまくいく ADHDをもつ子の学校生活』中央法規出版、2000年

アリソン・マンデン&ジョン・アーセラス著 市川宏伸・佐藤泰三 監訳 紅葉誠一訳『ADHD 注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック』東京書籍、2000年

田中康雄『ADHDの明日に向かって——認めあい、支えあい、赦しあうネットワークをめざして』星和書店、2001年

参考になるホームページ

NPO 法人 えじそんくらぶ <http://www.e-club.jp/>

NPO 法人 アスペ・エルデの会 <http://www.as-japan.jp/>

社会心理学

科目コード●050514

担当教員●吉田綾乃



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A/必修

14~17年度
入学者

18年度以降
入学者

科目の内容

社会心理学は「人間がその場の状況や他の人々(社会)とのかかわりの中で、どのように影響を受けて行動するのか」という視点から人間を研究している学問です。研究テーマは、「人の第一印象はどうやって決まるのだろうか?」「意見の合わない友人を説得するにはどうしたらいいだろうか?」「彼はなぜあんなに攻撃的にふるまっているのだろうか?」といった、身近な疑問や発想から生まれています。その意味では、「答えは自分の中にもある」と考える人も多いかと思えます。しかしながら、社会心理学を学び、興味深い数々の実験結果を知ると、「自分の考え」が必ずしも「科学的に証明された事実」と一致しないことに驚くことでしょう。社会心理学は、非常に親しみやすい分野でありながらも、自分たちの身のまわりに起こる出来事や自分たちの考え方や行動について、「常識」とは違った観点から見直すきっかけを与えてくれます。

教科書

池上知子・遠藤由美著『グラフィック 社会心理学 第2版』サイエンス社、2008年(平成20年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が変更になりました。以前の教科書にもとづいて下記のレポート課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め

対人認知における歪みがなぜ生じるのか、自分自身が経験した事柄をあげながら説明しなさい。また、その克服方法について自分の考えを述べなさい。

2 単位め

態度変容における説得の影響について、自分自身が経験した事例をあげながら説明しなさい。また、説得を防ぐための方法について自分の考えを述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

テキストを読む際には、その内容が日常生活のどのような場面について述べているのか、具体的に思い浮かべながら読んでください。レポート課題は、誰もが日常的に経験している、他者を判断する、他者から判断されるという「対人認知」と、態度を決める、態度を変えるとといった「態度形成・態度変容」に関するものです。自分の日々の経験を、社会心理学の理論や研究知見から捉えなおしてみてください。

レポート作成にあたっては、教科書だけに頼るのではなく、他の文献も参考にするようにしてください。また、自分自身の言葉で述べるのが最も大切ですが、テキストの内容を理解した上でまとめていることがわかるように、テキストに紹介されている社会心理学的な用語を用いて、その現象が「なぜ」生じたと考えられるのか、ご自身の考えをまとめてください。

1単位め 解説

私たちは、「あの人は冷たい人だ」と他者を判断することもあります。逆に「あなたは冷たい人だ」と他者から判断されてしまうこともあります。このような他者の判断（対人認知）は、人が自分の中で「判断」した結果であり、「事実」とは異なっている可能性があります。皆さんも、周囲から誤解されていると感じたり、あるいは自分が他者を誤解していたことに気がついたことがあるのではないのでしょうか。このレポートでは、皆さんがこれまでに経験した対人認知の歪みについて、社会心理学的な側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には、テキストの第1章：対人認知を参考にしてください。テキストに紹介されているように、対人認知の歪みは、**期待効果**、**ステレオタイプ**、**暗黙の人格理論**、**ネガティビティ・バイアス**などによって引き起こされることが明らかになっています。また、この課題はテキストの第2章：社会的推論も参考になります。たとえば、対人認知の歪みをもたらす要因として、**スキーマ**、**錯誤相関**、**仮説確証型判断**、**仮説確証バイアス**などの影響を考えることができます。これまでに自分が経験した対人認知（判断する側・される側のどちらの経験でもよい）の歪みが、なぜ生じたと考えられるのか、テキストに紹介されているキーワードを用いながら、客観的かつ論理的に考えてみてください。そして、そのような対人認知の歪みを克服するためには、どうすればよいのか、**認知的複雑性**や、**印象形成の2過程モデル**などの研究も参考にして、ご自身の考えを述べてください。

2単位め 解説

私たちは、「この映画が好きだ」、「この意見に賛成である」など、さまざまな対象に対して何らかの態度をもっています。しかしながら、このような態度は、常に変わらないわけではありません。これまでに周囲の人から説得され、自分の態度を変化させたことがある人は多いでしょう。このレポートでは、皆さんがこれまでに経験した「態度変容」について「説得」という側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には、テキストの第3章：態度を参考にしてください。説得が成功するか否かは、**メッセージの要因、送り手の要因、状況要因、受け手の要因**によって左右されます。これまでに自分が経験した説得（説得する側・される側のどちらの経験でもよい）による態度変容が、どのような要因によってなぜ生じたのか、テキストに紹介されている、**メッセージの反復効果、恐怖喚起、リアクタンス、信憑性、スリーパー効果、自我関与、気分状態**などのキーワードを用いながら、客観的かつ論理的に考えてみてください。その他にも、**認知的不協和理論、精緻化可能性モデル**などの理論に基づいた考察もよいでしょう。また、今日でも報道が続いている振り込め詐欺など、悪質な説得を避けるためにはどうすればよいのか、**直接経験、予告、被説得性、接種理論**に関する記述などを参考に、ご自身の考えを述べてください。

参考図書

基礎編：初めて学ぶ人へ

吉田寿夫著『人についての思い込み Ⅰ・Ⅱ』北大路書房、2002年

心理学ジュニアライブラリのシリーズの一冊であり、読みやすいでしょう。

1単位めの対人認知に関する課題の参考になります。

岡本浩一著『社会心理学ショート・ショート』新曜社、1986年

トピック中心のわかりやすい内容になっています。

認知的不協和理論や態度変容に関する実験内容が詳細にまとめられています。

2単位めの態度変容に関する課題の参考になります。

藤本忠明・東正訓著『ワークショップ 人間関係の心理学』ナカニシヤ出版、2004年

社会心理学の研究が人間関係の問題と関連づけて分かりやすく紹介されています。

Q&Aがあり、自分の理解度を評価することができます。

応用編①：テキストだけでは物足りない人へ

山岸俊男編『社会心理学キーワード』有斐閣双書、2001年

概念の正確な把握や知識の整理に有効です。辞書としても利用できます。

末永俊郎・安藤清志著『現代社会心理学』東京大学出版会、1998年

社会心理学の領域が網羅され、また個々の研究内容についても詳細な説明がありま

す。参考図書も充実しています。

応用編②：社会心理学およびレポート課題に関連する知識を深めたい人へ

E. アロンソン著『ザ・ソーシャル・アニマルー人間行動の社会心理学的研究』サイエンス社、1994年

著名な社会心理学者による読み応えのある一冊です。

T. ギロピッチ著『人間この信じやすきもの』新曜社、1993年

人間の認知の偏りがなぜ生じるのか、いかに克服するかを論理的に解説しています。

R. チャルディーニ著『影響力の武器 なぜ人は動かされるのか』誠信書房、1991年
態度形成や態度変容について幅広い視点から理解することができます。

家族心理学

科目コード●050515

担当教員●西野美佐子



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 A

科目の内容

家族は、社会を構成する基礎的集団です。近代社会の中で、家族は徐々に縮小化し、孤立化してきており、これまで家族が果たしてきた役割は試練に立たされています。家族の形態や営みは、その国の歴史的・社会的・経済的影響を受けさまざまな様相を示しますが、人は家族の中で生まれ、家族メンバーが織りなす心理構造の中で成長し、やがて死を迎えます。

家族心理学では、家族のライフコースと発達段階、そのあと、夫婦、親子、きょうだい、そして多世代関係などの家族内心理構造について、そして、次世代を生み育てる営みであるペアレンティング（親らしい行動）の形成について学びます。さらに、システムアプローチに基づいた家族臨床の問題として、児童虐待・家庭内暴力・非行や自殺、子どもの神経症などを引き起こす家族病理、さらに家族への援助や指導が的確になされるために、家族関係のアセスメントと家族関係への心理的介入などについて学ぶことをねらいとします。

教科書

岡堂哲雄編『家族心理学入門〔補訂版〕』培風館、1999年

レポート課題

1 単位め

家族の発達段階について、それぞれの時期に家族メンバーが直面する危機（発達課題）について、具体例を示して考察し、その解決には何が求められるのか家族のもつ心理構造から説明しなさい。

2 単位め

家族病理について述べなさい。
※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1 単位め
解説

心理学的にみると、家族発達の各段階にはその段階固有の生活の姿があり、家族メンバーは適応と変化を求める課題に直面します。これは家族に緊張と動揺をもたらしますが、この課題に取り組み、新しい段階に適応した再組織化を

することで危機を脱し安定した状態に達することができます。もし、家族が特定の段階のありようにしがみつき、変容を受け入れずその課題の解決が十分なされないで次の段階に進むと、次の発達段階の課題解決も一層難しくなるでしょう。ここでは、これまで提示されてきた主な家族発達段階論を学び、そのうえで家族ライフコースの諸段階の特徴をまとめてください。

テキストでは家族の誕生から崩壊までを6段階の家族発達段階モデルで説明しています。第1段階は新婚期、第2段階は出産・育児期、第3段階は子どもが学童期の時期、第4段階は子どもが10代の時期、第5段階は子どもが巣立つ時期、第6段階が加齢と配偶者の死の時期です。その発達段階で生じやすい問題行動や心理的症状を理解し、家族の健全な発達を促進する心理教育的方法を探求してください。そのために、家族の心理構造を理解するための鍵概念は、境界、連合、パワー、そして家族内コミュニケーションのあり方や家族の地位に見合った期待される役割などです。これらの鍵概念をひも解きながら各発達段階の家族の心理構造についてまとめてください。

2単位め 解説

人は誰でも、家族という複雑な有機体の中に産み落とされ、そこで成長発達していきます。また人は誰も自分の周囲を見渡すと、自分の父親・母親の家族、さらに世代の違う祖父母の家族など多くの家族に出会います。

個人の成長発達の理解は、家族という心理的な構造を持った集団との関連や、家族を取り巻くコミュニティや社会、さらに大きな生態系との関連で理解することが不可欠です。

この考え方から家族病理を考えると、家族というシステムは、家族メンバー間の関係と、それを取り巻く環境との間で作られている人間関係等によって理解することができます。たとえば、夫婦は家族の中で父親と母親という役割も担うが、社会や家族とどのようなつながり方をし、どのような形でそれぞれの役割を果たしているのか、親たちにとって子どもとの関係はどんな関係を作り出しているのか、多世代家族では原家族の親たちと娘・息子家族メンバーとの関係を規定しているのは何か、その家族特有な、あるいはどの家族にも見られるルールやコミュニケーションのやり方が見分けられれば、家族関係、家族病理を理解する手立てとなるでしょう。家族病理の事例に基づきその家族の心理構造を論じてください。

参考図書

教科書に参考提示してある文献をみてください。

心理アセスメント

科目コード●050519

担当教員●渡部純夫



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

悩みを抱えているクライアントに心理的援助を行おうとするとき、クライアントを多面的、総合的、全人的な角度からとらえることが必要になります。そのためには、クライアントの生育歴やパーソナリティ、環境などの情報を科学的にとらえ、客観的に評価・査定することが重要です。この評価・査定の方法がアセスメントです。心理アセスメントでは、特に「面接法」「観察法」「検査法」よりクライアントへの接近を試みることになります。そのとき大事なことは、クライアントの気持ちに寄り添いながら癒しの心を忘れないことです。心理アセスメントでは、これらのことを押さえた評価・査定の学習を行うことになります。

教科書

日本健康心理学会編『健康心理アセスメント概論』実務教育出版、2002年

レポート課題

1 単位め

クライアントを多面的・総合的・全人的にとらえようとしたとき、心理アセスメントにおける「面接法」「観察法」「検査法」をどのように活用していけばよいのか考察しなさい。

2 単位め

パーソナリティの定義を文献と自分の考えから考察し、さらにアセスメントを行うための心理テストを一つ取り上げて、調べたことをまとめなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

クライアントの心理を理解するためには、どのようなアセスメントの方法を身につけておかなければならないかをまず学習していきます。心理アセスメントというと、どうしても心理テストに偏りがちなのですが、ここでは「面接法」「観察法」「検査法」の3つの方法

について学習を深めていき、総合的なクライアント理解を考えていきます。心理テストによるアセスメント（＝検査法）も重要なのですが、「面接法」「観察法」「検査法」はそれぞれ独自の特徴を持っています。その特徴をよくつかみながら、上手に組み合わせて使いこなすことにより、より効果的なアセスメントが可能になります。

また、アセスメントで特に注意を払わなければならないことの一つに、クライアントのパーソナリティの問題をあげることができます。パーソナリティを読み解き理解していくためには、パーソナリティとは何かをまず知らなくてはなりません。その上で、自分なりの考え方をしっかりと身につけていくことが重要になります。パーソナリティの理解は、「面接法」「観察法」でも行われるわけですが、より客観性を求めていくと「検査法」である心理テストに行き当たります。そこで、興味を持った心理テストを取り上げ、自分なりに調べてみることにより、心理テストのいろいろな特徴について理解を深めてもらいたいと思います。

1単位め 解説

- (1) テキスト『健康心理アセスメント概論』の第1章・第2章・第3章をよく読み、アセスメントとは何なのか。その必要性と意義について幅広い観点から学習してください。自分の中のイメージをふくらますことができれば、アセスメントの方法に進んでください。
- (2) アセスメントの方法にはいくつかのがありますが、特に「面接法」「観察法」「検査法」の理解を深めてください。「検査法」と関係の深いものに「質問紙法」「心理生理学的測定」があります、あわせて学ばれると「検査法」に関しての理解が広がると思われます。
- (3) それらを、実際の場面を想定しながら自分なりにまとめていくことにより心理アセスメントの方法が自分なりに理解できてくると思います。それを、整理しレポートにまとめてください。

2単位め 解説

- (1) テキスト『健康心理アセスメント概論』の第5章から第10章までをよく読んで、パーソナリティのアセスメントに関する事柄について広く学んでください。倫理の問題についても考えを深めてください。
- (2) 次に、第6章を中心にパーソナリティとは何なのかを自分なりに考えてみてください。いろいろな文献にあたり、いくつかの理論・考え方を比較しながらまとめてください。そのとき自分の考えを必ず入れてください。
- (3) 最後に、パーソナリティをみるための心理テストを一つ選んで、それについて文献にあたり調べたことを自分なりに整理しまとめてください。まとめていて湧いてきた感想や疑問についても書いてみてください。

参考図書

- 鈴木睦夫著『TATの世界』誠信書房、1997年
鈴木睦夫著『TAT パーソナリティ』誠信書房、2000年
成瀬悟策著『動作療法』誠信書房、2000年
村瀬嘉代子著『心理療法のかんどころ』金剛出版、1998年
片口安史著『改訂 新・心理診断法』金子書房、1987年
河合隼雄著『心理療法序説』岩波書店、1992年
岡堂哲雄著『心理テスト』講談社現代新書、1994年
藤掛明著『描画テスト・描画療法入門』金剛出版、1999年
岡堂哲雄編集『心理査定プラクティス』(現代のエスプリ別冊) 至文堂、1998年
C・コッホ著『バウム・テスト』日本文化科学社、1970年
野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年

産業カウンセリングⅠ

科目コード●050680

担当教員●神末富 春美 美貴ほか

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

教科書にもとづいて、下記の内容を講義する予定です。

- 1 産業カウンセリングの歴史と発展
 - 1) 産業カウンセリングの発展
 - 2) 日本における産業カウンセリングの展開と課題
 - 3) 日本における EAP と産業カウンセリング
- 2 産業カウンセラーの役割と活動
 - 1) 産業カウンセリングの目的と対象
 - 2) 産業カウンセラーの役割
 - 3) 産業カウンセラーの活動

教科書 (「カウンセリングⅠ」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。)

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』(産業カウンセラー養成講座テキスト)『資料編』 日本産業カウンセリングサポートセンター

履修登録上の注意

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済か、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

スクーリング開講予定

平成23年9月3・4日

産業カウンセリングⅡ

科目コード●050681

担当教員●神末富 春美 美貴ほか

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

カウンセラーは適切な技術、知識を学び経験を重ね質の高いサービスを提供しなければなりません。倫理綱領を定めているのは質の悪いカウンセラーにより、相談者が被害にあうことの予防になります。倫理といえば守秘義務や多重関係が浮かぶと思います。しかし、守秘義務も実際の問題では全てを守らなければならないというものでもないのです。また、産業カウンセラーは企業や組織とのかかわりの中で、個人と組織の間での守秘義務が発生します。カウンセラーとしての倫理を産業カウンセラーの立場から理解し実践に即、対応できるものを「産業カウンセラー倫理綱領」から学びます。

また後半では、実際の業務にあたり必要な手順、記録の取り方や逐語の書き方など実践的な事を修得し、逐語検討、事例検討の手順等を修得することにより、即、現場で対応できる必要な技術と知識を身につけることをねらいとします。

スクーリング講義概要

- 1 産業カウンセリング倫理
 - 1) カウンセラーの倫理とは
 - 2) 守秘義務の実際
- 2 面接記録の作成
- 3 対話分析
- 4 逐語記録作成（ピアカウンセリングによる）
- 5 逐語検討
- 6 事例検討（公開事例より）
- 7 まとめ

教科書（「カウンセリングⅠ」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。）

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト）『資料編』 日本産業カウンセリングサポートセンター

履修登録上の注意

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方、または同時に履修登録する方のみが履修登録可能です。

スクーリング開講予定

平成23年10月1・2日

カウンセリングⅠ

科目コード●050682

担当教員●渡部純夫・神春美
末富美貴 ほか

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

教科書にもとづいて、下記の内容を講義する予定です。

- 1 カウンセリングの原理
 - 1) カウンセリングとは
 - 2) カウンセリングの特質
 - 3) カウンセリングの効用と限界
- 2 傾聴の意義と技法
 - 1) 傾聴の意義
 - 2) 傾聴の技法
 - 3) カウンセリングのプロセスと傾聴

教科書

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』(産業カウンセラー養成講座テキスト)『資料編』 日本産業カウンセリングサポートセンター

スクーリング開講予定

仙台：平成23年7月2・3日

東京：平成24年1月21・22日

※「カウンセリングⅠ・Ⅱ」の履修の順序の指定はありません。Ⅰ・Ⅱのいずれを先に受けていただいても、または1科目のみの受講でも大丈夫です。

カウンセリングⅡ

科目コード●050683

担当教員●中村裕子
萩原豪人

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

カウンセリングは、カウンセラーとクライアントによるかかわりあいのプロセスです。そしてカウンセリングの導入期から終結までの各段階には、ある程度共通する課題やかかわり方があると言われてしています。ここでは、このようなカウンセリングの普遍的な側面を中心にお話をしたいと思います。

この授業では、インテーク面接やアセスメントに始まり、面接の契約、目標の設定、そして終結に至るまでのプロセスを辿りながら、カウンセリングが実際どのように進められていくかをご紹介します。また各段階におけるカウンセリングの特徴や使用される代表的なカウンセリングの技法についても取り上げたいと思います。

教科書

平木典子著『カウンセリングとは何か』朝日新聞社、1997年

スクーリング講義予定内容

以下のような内容を予定しています。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 面接が始まる前に | 5. 自己理解と行動変容 |
| 2. インテーク面接 | 6. 終結 |
| 3. アセスメント | 7. 代表的なカウンセリング技法のまとめ |
| 4. 契約と目標の設定 | |

講師紹介

中村裕子 東京大学学生相談所
萩原豪人 慶応義塾大学学生相談室

スクーリング開講予定

平成24年 3月10・11日

カウンセリング演習Ⅰ

科目コード●050685

担当教員●神末富 春美 美貴ほか

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択 A

科目の内容

カウンセリングの基本姿勢である「傾聴」を中心とするグループワークなどを行います。

教科書

（「カウンセリングⅠ」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。）

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト） 日本産業カウンセリングサポートセンター

履修登録上の注意

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方、または同時に履修登録する方が履修登録可能です。

スクーリング開講予定

平成23年11月12・13日

カウンセリング演習Ⅱ

科目コード●050686

担当教員●萩原 豪人

1 単位

S

2 年以上

福祉心理

選択 A

科目の内容

カウンセリングの実践や応用について、演習を通して体験的に理解していくことを目的とした授業です。1対1のカウンセリングにおける傾聴の姿勢を身に付けるだけでなく、逐語記録を使った対話分析等を行い、より適切な応答を細かく検討していきます。また、伝統的な個人面接に加え、臨床現場で行われているサポートネットワーキング、コンサルテーション、危機介入、システムズアプローチ等の援助法についても紹介します。

スクーリング講義内容

ロールプレイ、対話分析、グループワーク、VTR教材鑑賞、講義等を適宜織り交ぜて行う予定です。

できるだけ無理なく楽しく学習できるように配慮するつもりですが、演習が中心となりますので、授業へ積極的に参加する姿勢が必要です。どうしてもコミュニケーションの苦手な学生は、申し出てください。

【ロールプレイ】 カウンセラー役、クライアント役を実際に演じてもらいながら、カウンセリングの応答についてトレーニングを行います。カウンセリングの各種技法の理解と習得を目指します。

【対話分析】 カウンセリング場面を文字に起こした教材を使い、1つ1つの応答を検討していきます。

【グループワーク】 グループワークやグループ討議を通じて、各種対人援助法についての理解を深めます。ロールプレイの感想のシェアリング等も行います。

【VTR教材鑑賞】 実際のカウンセリング場面を見ながら、解説を加えていきます。

【講義】 カウンセリングについて基礎的な講義を行います。

履修登録上の注意

本講義は原則的に「カウンセリングⅠ」または「Ⅱ」または「カウンセリング演習Ⅰ」のスクーリングを受講されるなど、カウンセリングの基礎知識をお持ちの方を対象として

おります。

教科書

福島脩美『カウンセリング演習』金子書房、1997年

講師紹介

萩原豪人 慶應義塾大学学生相談室

スクーリング開講予定

平成24年 2月 4・5日

産業心理学

科目コード●050687

担当教員●吉田信彌

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

産業心理学は20紀初頭に米国を中心に起こったが、その背景には米国の資本主義とくに工場の労働状態への反省があった。産業心理学はつねに時代とともに変遷する。本講義では勃興期の産業心理学の問題から現在までの進展を、時代背景とともに簡単に解説する。

1911年にテラーは『科学的管理の原理』を、ギルプレス夫妻は『動作研究』を公刊し、工場での作業を中心にその効率化が産業心理学の初期のテーマの一つであった。講義ではその内容とその後の発展を紹介する。

次に「産業心理学の動機づけの理論」を紹介する。労働では物的な環境ではなく人間の動機づけが大きいとの立場が登場するきっかけを与えたホーソン研究とそこから人間関係論等への展開を紹介する。

動機づけの基礎理論として精神分析、行動主義、マズロー等の人間主義心理学の立場を復習しながら、産業心理学で展開する動機づけ論の応用、たとえばハーズバーグの理論や職務満足、コミットメントなどの研究を紹介する。

後半は、「人事と適性」を扱う。いかに組織の構成員の動機づけを高めるかが産業心理学の課題となる。いかにして適材適所とするか、人事に役立つ心理学が求められる。組織の中でリーダーシップを発揮できる人材や特殊な業務にあった人材を見つける方法はないか、という要請が生じる。そうした要請に対する心理学の知見を紹介する。

最後は試験を実施する。

教科書

- 1) 吉田信彌著『事故と心理』中公新書、2006年
- 2) 日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』(産業カウンセラー養成講座テキスト) 第10章

講師紹介

吉田信彌 東北学院大学 教養学部教授

組織心理学

科目コード●050688

担当教員●小林 裕

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

現代人にとって、企業・官庁・学校・病院など組織との関わりは避けて通れない。産業心理学は、広く産業活動で生じる問題に対して心理学の知識や方法を応用する分野として20世紀はじめに成立したが、20世紀後半になると社会と人間に対する組織の「支配」が進んだため、組織と個人の関係に焦点を当てた組織心理学が心理学の一領域として確立した。これら2つの心理学を併せたものが、産業・組織心理学である。この授業では、特に人間の心理・行動を〈組織との関わり〉から考える組織心理学に焦点をあて、組織がそのメンバーの心理・行動にどのような影響を及ぼすか、逆に、個々のメンバーの行動は組織全体の業績にどのように結びつくかを考える。授業では、仕事への動機づけ・満足感、職場の人間関係、リーダーシップ、組織コミットメント、組織ストレスなど、組織心理学の主要なトピックスをとりあげるとともに、現代日本企業の人的資源管理の特徴とその影響について検討する。

教科書

社団法人日本産業カウンセラー協会（編）『産業カウンセリング——産業カウンセラー養成講座テキスト』『同・資料編』10-2章

※「カウンセリングI」を履修登録しないと上記教科書の配本は受けられません。

参考図書

外島 裕・田中堅一郎（編著）『産業・組織心理学エッセンシャルズ【増補改訂版】』ナカニシヤ出版、2004年

講師紹介

小林 裕 東北学院大学 教養学部教授

スクーリング開講予定

平成23年8月27・28日

人間関係論

科目コード●050689

担当教員●高田奈緒美

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

今みなさんが抱えている悩みやストレスの原因は何でしょうか？ この問いに「人間関係」と答える人が多いことは、みなさんご存知かもしれません。人間関係は私たちの円滑な毎日の営みを支えるものであり、さらに、人と関わることによって得られる喜びや嬉しさは、人と関わらないで得られるそれらよりも、深く、大きなものです。このように、人間関係が私たちにとって最も重要な関心事であるからこそ、逆に、大きなストレスの原因にもなってしまいます。

この講義では、まず、これまでの研究で明らかにされてきた人間関係の発展から崩壊までのプロセスをご紹介します。さらに、人間関係への満足感に強く影響すると考えられる多様なコミュニケーションについてや、私たちが人間関係を築き、維持していく際に悪影響を及ぼす私たちの認知的な歪みについてもご紹介します。こうした認知的な歪みは、私たちの情報処理を行いやすいように支えている基盤の副作用ともいうべきもので、人なら誰にでも備わっているものですが、こうした歪みによって人間関係が阻害されてしまうこともあります。

この講義を通して得た知識と、ご自分の人間関係に照らし合わせ、自分の有している人間関係がどのプロセスにあるのか、どのような認知的バイアスのもとに人間関係を見ていたか、客観的に捉えなおす機会になればと思います。

教科書

スクーリング時に資料を配付予定

講師紹介

高田奈緒美 東北福祉大学 助教

参考図書

藤森立男編著『人間関係の心理パースペクティブ』誠信書房、2010年

スクーリング開講予定

平成23年 5月21・22日 仙台

平成24年 3月17・18日 札幌

人的資源論

科目コード●050690

担当教員●齊藤幹雄

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

働くことの意味や働きがいが問われている。その問いは、従来いわれてきたマニュアル化・標準化・歯車化された労働様態のみならず、昨今の市場経済化にまつわる労働市場の階層分化と雇用不安の蔓延、「会社中心主義」の弊害などと無縁ではない。同時にこうした問題では、個人と組織（企業）の成長・目標がもはや必ずしも一枚岩ではなくなり、勤労観の変化や価値の多様化が顕在化したことを見逃せない。

上記の動向や問題意識を念頭に本講座では、働くことの意味を職業的自律の可能性・確立に求める。すなわち、職業的自律の基盤としてのキャリア形成について講じるとともに、モチベーションの創出や「勤労生活の質的向上（QWL）」に資する人事労務管理の基礎的知識および経済社会の動向について触れる。かかる労働経済論およびキャリア論を通じて、冒頭の問いかけに関する手がかりを得たい。

1. 労働経済

(1)まず、労働の3側面、労働市場の特異性、労働市場の類型など労働経済の予備的知識を概略する。(2)次いで、年功（賃金）制や終身雇用など日本的雇用慣行の特質を小括する。その上で日本的雇用慣行が、今日あてはまり実際に妥当しているかを検証し、揺らぎ・変容している実相を例証する。(3)そうした問題を踏まえつつも、近年「人的資源管理」と呼称される人事労務管理の対象領域を確認し、賃金管理および人事考課制度などに関する基礎知識を把握する。(4)まとめにかえる形で、成果・業績主義が席捲するなかで人的資源論の欠陥を指摘し、今後の方向性を示唆する。

1. 労働および労働市場に関する予備的知識
2. 日本的雇用慣行の特質とその動揺
3. 人事労務管理（人的資源管理）の機能と領域等
4. 人事考課
5. 職域福利
6. 課題と方向性

II. キャリア論

(1)なぜキャリアの意義・必要性がいわれるのか、その背景について雇用の変容、勤労意識の変化・価値の多様化、フリーター問題にみられるキャリア・クライシスなどをとりあげて本講の導入とする。(2)次いで、ワークキャリアとライフキャリアの統合としてのキャリアの含意、そしてキャリア形成にとって必要な事柄をE.H. シャインのキャリア・デザイン論を手がかりに示す。(3)キャリア・ガイダンスの基礎理論として、職業選択論、状況的・構造論、職業発達論を小括する。また、キャリア選択と不可分のキャリア・カウンセリングの進め方にも触れる。(4)初期キャリアからキャリア・アンカーと連なるキャリア・パスについて、動機づけを伴う「職務充実」や「キャリア・ディベロップメント・プログラム」を、職場での「幅広い専門性」の形成例を交えて解説する。(5)職業的自律の基盤としての職業能力、職業生活の方向性(キャリア・コース)などを概略し、職業の3要素とその意義を述べ、「職業人モデル」を考察する。

1. 求められるキャリア形成・開発
2. キャリアの概念
3. キャリア・ガイダンスの基礎理論とキャリア・カウンセリングの進め方
4. キャリア・ディベロップメント、職務充実と「幅広い専門性」
5. 職業の意義と課題

教科書 (「カウンセリングⅠ」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。)

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング』(産業カウンセラー養成講座テキスト) 日本産業カウンセリングサポートセンター

履修登録上の注意

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済か、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

講師紹介

齊藤幹雄 本学教授

スクーリング開講予定

平成23年10月22・23日



• 資格科目 •

障害児教育 I

科目コード●050711

担当教員●北岡 侃



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

～18年度
入学者

19年度以降
入学者

14～18年度
入学者

科目の内容

この科目では、各障害児教育の歴史、各障害児の特性、各障害児教育の基本的特性、教科指導と生活指導、自立活動の指導等について学習します。

平成19年度から、今までの特殊教育から特別支援教育への制度が転換され、今までの場に応じた教育から一人一人の教育的ニーズに応じた教育がなされるようになったことが大きな違いといえるでしょう。

障害児は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱身体虚弱、言語障害、情緒障害・自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害、重複障害等でくくられていますが、一人一人の障害の種類・程度・特性等による相違があります。障害児一人一人が、自立し、社会参加していくための資質を高めるため、それぞれの障害の種類・程度・特性に応じ、特別支援学校、特別支援学級、特別支援教室においてきめ細かな教育が行われております。

修得するにあたっては、実際に障害児教育の場を見学するなどして、障害児並びに障害児教育についての理解を深めることが大切なことでしょう。また、社会のノーマライゼーションの進展、障害者の自立と社会参加の推進、インクルージョン教育の推進等の大きな流れを把握しつつ、障害児を理解し、教育指導の在り方を考えていかなければなりません。

教科書

佐藤泰正編『特別支援教育概説』学芸図書、2008年

(平成20年度以前履修登録者) 学校教育法等の改正にともない、教科書内の条文表記が一部変更されております。これまでの教科書(2007年発行第2刷)をお持ちの方は、改正後の法規を踏まえたうえで、解答してください。

レポート課題

1 単位め	<p>次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。</p> <p>課題1 聴覚障害児の教科指導における一般的な配慮事項について具体的に述べなさい。</p> <p>課題2 視覚障害児の「自立活動の指導」の特徴について具体的に述べなさい。</p>
2 単位め	<p>知的障害児の心理的特性を要約し、知的障害児教育の基本的特性について具体的に述べなさい。</p>
3 単位め	<p>次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。</p> <p>課題1 脳性まひ児の発達の特徴について述べるとともに、多様な障害像を示す児童生徒の指導上配慮すべき点を述べなさい。</p> <p>課題2 病虚弱児の心理的特性について述べるとともに、生活指導上特に大切なことについて具体的に述べなさい。</p>
4 単位め	<p>次の課題1、課題2、のいずれかを選んで解答しなさい。</p> <p>課題1 言語障害の種類を簡略に説明し、それぞれの障害について指導の要点を述べなさい。</p> <p>課題2 学習障害（LD）児、注意欠陥／多動性障害（ADHD）児、自閉症児のいずれかについて、その特性、および教育上配慮しなければならないことを述べなさい。</p>

（平成18年度以前履修登録者）2011年4月よりレポート課題が一部修正されています。『レポート課題集 2010』記載の課題は2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考図書等をよく読み、自分の言葉で、具体的な事例を織り交ぜるなどしてまとめるように心掛けてください。そのためには、近隣の障害のある人と接するとか障害児の通う特別支援学校あるいは小・中学校の特別支援学級の学校（学級）見学会や文化祭、運動会等へ出向いて、障害児の教育がどのように行われているのかを見聞きして把握することをお勧めします。

1 単位め 解説

テキスト第Ⅱ章「視覚障害教育」もしくは第Ⅲ章「聴覚障害教育」及び参考資料等を熟読し、視覚障害児教育もしくは聴覚障害児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。また、できれば視覚障害者もしくは聴覚障害児と直接接し、視覚障害教育もしくは聴覚障害児教育のあり方を検討した上で、教科指導における一般的な配慮事項・自立活動の指導について具体的に記述することを望みます。

2単位め 解説

テキスト第IV章「知的障害教育」及び参考資料等を熟読し、知的障害児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。できれば知的障害児と直接接し、知的障害児の能力、特性等を十分理解した上で知的障害児教育の基本的特性について記述することを望みます。

3単位め 解説

テキスト第V章「運動障害教育」もしくは第VI章「病虚弱児教育」及び参考資料等を熟読し、運動障害児教育もしくは病虚弱児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。できれば運動障害児もしくは病虚弱児と直接接し、それぞれの障害児の特性等を十分理解した上で課題に取り組むことを望みます。

4単位め 解説

テキスト第VIII章「言語障害教育」もしくは第IX章「学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症教育」及び参考資料等を熟読し、言語障害教育もしくは学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。また、可能であれば、いずれの課題も、それぞれの障害児に直接接し障害児を理解した上で取り組むことを望みます。

参考図書

- 文部科学省『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領（改訂版）』国立印刷局、2009年
- 佐藤泰正編著『視覚障害心理学』学芸図書、1988年
- 佐藤泰正編『視覚障害学入門』学芸図書、1991年
- 草薙進郎・四日市章編『聴覚障害児の教育と方法』コレール社、1996年
- 中野善達・斎藤佐和編『聴覚障害児の教育』福村出版、1996年
- 五十嵐信敬ほか編『教職教養 障害児教育』コレール社、2000年
- 小出進監修・千葉大学教育学部附属養護学校編著『実践生活中心教育——今を主体的に生きるための生活の総合化』学習研究社、2002年
- 全日本特殊教育研究連盟編『自閉児指導のすべて』（改訂増補版）日本文化科学社、1998年
- 佐々木正美著『講座自閉症療育ハンドブック』学習研究社、1998年
- 柘植雅義著『学習障害（LD）——理解とサポートのために』中公新書、2002年
- 吉田昌義・柘植雅義・河村久・吉川光子編著『通常の学級におけるLD・ADHD・高機能自閉症の指導——つまずきのある子の学習支援と学級経営』東洋館出版社、2003年
- 佐々木正美著『気になる連続性の子どもたち ADHD LD 自閉症』子育て協会、2000年
- 上野一彦・牟田悦子・小貫悟編著『LDの教育——学校におけるLDの判断と指導』日

- 本文化科学社、2001年
- 楠本伸枝・岩本英巳・西田清・奈良 ADHD の会「ポップコーン」編『ADHD の子育て・医療・教育』クリエイツかもがわ、2000年
- 聴覚・言語障害児教育関係教官連絡会議編『言語障害児教育』日本文化科学社、1989年
- 内須川洸著『言語障害（改訂版）』放送大学教育振興会、1990年
- 斎藤佐和編『特別支援教育の基礎理論』教育出版、2006年
- 前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版、2006年

障害児教育Ⅱ

科目コード●050712

担当教員●北岡 侃



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

～18年度
入学者

19年度以降
入学者

14～18年度
入学者

科目の内容

この科目では、わが国の障害児教育に関する法体系、障害児教育の対象児・目的・目標・教育課程等、就学義務・就学指導・就学措置・就学援助等、障害児教育の学級編制・教職員定数等、わが国の障害児教育の変遷、障害児教育制度の現状と課題、今後の障害児教育の在り方等について学習します。

修得するに当たっては、教科書等を読み、障害児の教育を受ける権利の保障、教育の機会均等などの観点から法の精神と障害児教育制度の現状を照らし合わせてみるとか、社会のノーマライゼーションの進展や特別支援教育の推進等の観点から障害児教育制度の在り方を検討してみることなどがが必要です。そのためには、障害児教育の現場を見て考えることが大切です。特別支援学校や小・中学校の特別支援学級などの学校開放・文化祭・運動会等が行われる時に参観し、現状を正しく把握することを望みます。

教科書

姉崎洋一ほか編『解説教育六法』三省堂、2010年

※佐藤泰正編『特別支援教育概説』学芸図書（障害児教育Ⅰの教科書）も参考にしてください

（平成20年度以前履修登録者）2007年4月および2009年4月に、それぞれ教科書が変更となりました。2006年度以前の教科書利用の場合は、特別支援学校制度創設にともない、その内容をふまえたうえで、解答してください。

レポート課題

次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。

1 単位め
課題①

特別支援教育の理念と制度の概要について述べなさい。

課題②

特別支援学校および特別支援学級の学級編制と教職員定数、また、特別支援教育担当教員の資格について、根拠となる法令、条文をあげて述べなさい。

次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。

2 単位め
課題①

わが国の障害児教育の歴史を概括し、特殊教育から特別支援教育に転換されたことについて、あなたの考えを述べなさい。

課題②

特別支援教育が充実していくために、どのような条件整備をしていかなければならないか、現状を踏まえあなたの考えを述べなさい。

アドバイス

平成18年度から障害児教育の制度が特別支援教育になりました。教科書「特別支援教育概要・第1章」その他の参考図書・資料、インターネット等に目を通し、その概要を把握してください。次に各課題ごとの関係箇所を熟読し、理解を深めた上でレポートを作成するようにしてください。また、法令に関することは『必携 学校小六法』により確認するようにしてください。

1 単位め
解説

教科書・参考図書・インターネット上等に、特別支援教育に関する情報が沢山あります。それらで、特別支援教育の理念や基本的な骨組み等を調べるとともに、現状がどうなっているのかを特別支援学校や特別支援教室へ出向いて、実際に参観させてもらったり話を聞いたりすると具体的に理解できるでしょう。

2 単位め
解説

障害のある児童生徒の教育は時代とともに量的に拡大し、質的に向上してきました。また、ノーマライゼーションの理念の進展に伴い、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に学ぶ教育が推進されてきております。障害児教育の歴史を概括し、現状を把握することにより今後の在り方が見えてくるでしょう。

参考図書

- 障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規出版、2003年
日本特殊教育学会特殊教育システム検討委員会自治体研究班編『「特殊支援教育」への転換』クリエイツかもがわ、2003年

文部科学省『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領（改訂版）』国立印刷局、2009年

精神薄弱問題史研究会編『人物でつづる障害者教育史』日本文化科学社、1993年

文部科学省特別支援教育課『生きる力をはぐくむために——一人一人のニーズに応じた教育』、2002年

文部省『特殊教育百年史』東洋館出版、1978年

文部省『特殊教育120年のあゆみ』電算印刷、1999年

障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規出版、2003年

障害児の指導法



科目コード●050715

担当教員●阿部 芳久

4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

~18年度
入学者

19年度以降
入学者

14~18年度
入学者

科目の内容

特別支援教育の現場においては、個々の児童生徒を対象とした指導（身辺処理の指導、言語能力を高める指導等）と児童生徒の集団を対象とした指導（体育や音楽の指導等）が行われています。1単位めと2単位めの課題においては、児童生徒の実態に応じた個別的な指導をどのように計画したらよいかを学習します。3単位めと4単位めの課題においては、複数の児童生徒を対象とした指導、すなわち一斉指導場面での指導をどのように展開したらよいかを学習します。

教科書

阿部芳久著『障害児教育 授業の設計』日本文化科学社、1997年

レポート課題

1 単位め	障害児を対象とした個別的な指導の過程で留意すべき事柄を整理しなさい。
2 単位め	障害児を対象とした個別的な指導の指導事例を2つ選び、それらの指導がどのように展開されたかを要約してください。
3 単位め	集団を対象とした授業を質の高いものにするためには、指導目標を設定する際にどのようなことに留意すべきかを述べてください。
4 単位め	集団を対象とした一単位時間の授業を児童生徒にとって充実したものにするためには、学習指導案の「教師の働きかけと指導上の留意点」にどのようなことが記載されなければならないかを述べてください。

アドバイス

まずテキストを熟読してください。さらに、障害児教育関連の教師対象の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）および著書に掲載されている指導実践例を可能な限り多く読んでください。また、可能であるならボランティア活動等を通して実際に障害児

と一緒に行動をともし、指導の対象像を具体的に描いてください。実際に障害児と日々接している方はその障害児を指導の対象とすることを想定し、レポート課題に取り組んでください。

1単位め 解説

まず、個別的な指導の基本を学習します。個別的な指導の過程のそれぞれの過程（「問題の把握」「指導目標の設定」「指導プログラムの作成」等の過程）における重要事項を抽出し、レポートとしてまとめてください。

2単位め 解説

上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）および著書に掲載されている指導実践例から事例を2つ選択してください。その事例を熟読し、対象児の実態、指導目標、指導計画（指導プログラム）、指導上の留意点、対象児の変容等の項目を設定し、事例を要約してください。

3単位め 解説

3単位めと4単位めでは、集団の児童生徒を対象とした授業をどのように構成するかを学習します。テキストの第Ⅱ章「授業の設計」における「1 すぐれた授業の条件」「2 単元・題材設定の観点と指導目標の設定」「3 単元・題材の指導目標設定の観点」を熟読し、レポート課題に取り組んでください。上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）および著書に掲載されている指導実践例等も参考にしてください。

4単位め 解説

テキストの第Ⅱ章「授業の設計」における「4 指導計画の作成」「5 学習グループの編成と授業の展開」「6 ティームティーチングの効果的運営」「7 効果的な教示の仕方」「8 一斉指導における個別的対応」「一単位時間の授業の設計」を熟読し、レポート課題に取り組んでください。上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）および著書に掲載されている指導実践例等も参考にしてください。

参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社

季刊雑誌『特別支援教育実践情報』明治図書

安藤隆男編著『自立活動における個別の指導計画の理念と実践』川島書店、2001年

教育原理

科目コード●050301

担当教員●寺下 明



4 単位

R

1 年以上

社会福祉
資格

社会教育
必修

科目の内容

現代日本の教育は、混迷した厳しい状況にあり、問題は深く複雑です。混迷の要因の一つとして、教育における理念の不明確さや人間理解の矮小化があげられます。今日の教育問題を解決するためにわたしたちは、教育あるいは人間形成とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。何故、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは一体何か、という問いにわたしたちはいま直面しているのです。古くて新しい問いかけです。その問いに対する何らかの解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるはずです。

教科書

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房、2003年
(平成14年度履修登録者) 寺下明著『教育の現在』近代文芸社、1995年にもとづくレポート課題も同じ。

レポート課題

1 単位め	カントの「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」という言葉の意味について述べなさい。
2 単位め	日本における子ども観について述べなさい。
3 単位め	日本の近代化において、教育の果たした役割について述べなさい。
4 単位め	学校とは何か。家庭、地域社会との関係で論じなさい。

アドバイス

各課題についてテキストおよび関連文献を参考にして、ただ「丸写し」するのではなく、

自分の言葉で、理解された内容をまとめるように心がけてください。テキストの内容を十分に踏まえたうえで、他の文献や自分の意見などを加えるのは自由です。

1単位め 解説

教育とは何か。これを考えてもらうのがここでの学習の出発点となります。教育を説明することは難しい。その難しさは、実は教育という行為が直接人間に関わるからです。教育の問題は、根底において、多義的で不可解な人間そのものに対する問いに深く関わっています。教育は、人間についての把握がなければ不可能です。教育とは何かの問いは、われわれにとって永遠の課題の一つです。ここでは、人間は教育を必要とし、教育の可能な動物、すなわち、教育的存在としての人間という観点から、教育の意味について考えてみましょう。

2単位め 解説

子ども観を、子どもに対する明確に意識され概念化されたイメージと考えるならば、それは西欧近代の産物です。もちろん、日本にも子どもを大人と違った存在として慈しみ育てる慣習と、断片的なイメージはありました。しかし、子どもをどう見るかということに明確な視点を与えてくれたのはルソーの『エミール』です。したがって、子ども観の考察は、まず西欧の子ども観の探究からはじめ、それがいかなる背景のもとで成立したのか、また、実際の教育にどのような影響を及ぼしたのかについて考えることが大切です。そして、西欧の子ども観と日本の子ども観を比較しながら、日本における子どもをめぐる問題の特殊性を明らかにしたい。子どもは、いかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に全体としての人間存在を問い直してみることがねらいです。

3単位め 解説

日本が「近代化」に成功したのは、単に後発の利点を生かし、他国のまねをして、キャッチ・アップしたわけではありません。いくつかの要因が整っていたことの結果であると考えられます。ここでは、その重要な要因として、近世からの教育の普及と充実を取り上げてみたいと思います。特に、教育の質を上げることが重要です。しかし、日本が近代化を実現していく過程で、近代化が遅れていたがゆえに、教育によって先進文明を効率よく伝達しようとしてきました。伝統からの脱皮を急ぎつつ、先進文明を大量に伝達しようとしてきました。そこから教育行政の中央集権化がはじまり、その結果として学校文化の「画一化」が生じてきました。それは、いわば近代化の遅れがもたらしたものです。その点を十分踏まえながら、日本の近代化に果たした教育の役割についてレポートを作成してください。

**4単位め
解説**

近代における公教育制度は、国家の文明化と豊かな産業社会の実現をめざすシステムでありました。今日、日本の識字率、就学率、高学歴は世界の最高水準に達し、公教育以外にもさまざまな教育の機会が充実し、もっとも学校化された社会の一つを実現しています。しかし、80年代その量的制度的拡充がピークに達した頃から、校内暴力、不登校、いじめ問題等が深刻さを増し、その「制度疲労」が目立つようになってきました。近代の、学校を中心とした教育システムが自明としてきた原理そのものが崩壊してきたのです。こうした現代日本における実態についてテキストにこだわることなく、自分で実態を考察し、そこから考えたことを十分取り入れて課題にアプローチしてください。

参考図書

- 大田堯著『教育とは何か』岩波新書、1990年
恒吉僚子著『人間形成の日米比較』中公新書、1996年
河上亮一著『教育改革国民会議で何が論じられたか』草思社、2000年

情報処理 I

科目コード●050332

担当教員●似内 寛



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
資格

社会教育
選択 A

科目の内容

かつて情報処理は一部の専門家のもものと認識されておりましたが、近年では社会生活の隅々まで浸透しています。個人の日常生活では、携帯電話や電子メールによるコミュニケーションをはじめ、ブログによる情報発信、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を介して広がるネットワークコミュニティ、Twitter のつぶやきによる新しい形の情報共有など、幅広い用途で活用されます。そして職業人としての IT 活用は、ワープロ・表計算といったアプリケーションソフトから、ネットワークとデータベースを利用した種々の情報管理システムの活用と、データベースに蓄積した情報の分析 / 活用へと、応用範囲が拡大しています。

このような状況の中で、情報処理に関する正確な知識を学習することは、情報の共有と職場の課題を把握・分析し解決するための手段を身につけ、さらに業務に付加価値を生み出していく「パスポート」として重要性を増しております。

この科目では「情報機器の操作」として、Microsoft 社の Windows がインストールされているパーソナルコンピュータの基本的な操作を学ぶことを目的としています。

教科書

『学生のための Office2010 & 情報モラル』 noa 出版、2010年
(平成22年度以前履修登録の方へ)

※2011年4月より教科書・レポート課題が大幅に変更されました。『レポート課題集 2010』記載の課題に取り組むことは2012年9月まで可能です。なお、『レポート課題集2010』の修正版を履修登録者に2011年2月にお送りしています。

この科目は教職免許に必要な科目であるため「情報機器の操作」を内容に含むことが求められています。「情報機器の操作」として Microsoft Office の操作の習得を内容としております。しかし昨年度までのテキストで解説されている OS やソフトウェアは、旧バージョンとなっております。2012年には Word2007も5年前のソフトウェアということとなり、そのような旧バージョンの操作方法の習得をもって、「情報機器の操作」について単

位認定を行うことは妥当ではないと判断いたしました。そのため『レポート課題集2010』の課題は2012年9月で受付を終了します。2012年10月以降はMicrosoft Office2010に対応した新課題のみを受け付けます。

レポート課題 ※1単位めが合格してから2単位めを提出すること

次のいくつかのMicrosoft Wordの操作手順の解説を作成してください。解説文書はMicrosoft Wordを使用して作成してください。手順の解説は、画面のキャプチャー画像を用いて、どのような手順で操作を行うのかについて、採点者にはっきりわかるように作成してください。解説は、すべての問について1つのファイルに作成してください。(操作画面のキャプチャー方法は「アドバイス」で解説します。)

1 ご自分のお名前を入力して次の書式を設定

- (ア) フォントを「MS ゴシック」に設定する
- (イ) フォントサイズを24に設定する
- (ウ) 中央寄せする
- (エ) フォントの色を「赤」にする
- (オ) 文字列を太字に設定する
- (カ) アンダーライン(下線)を引く

2 次の文章を入力して、一行目に1字の左インデントを設定。1行目以外のぶら下げインデントは0字に設定

「さて、過日ご請求いただきました弊社新商品パンフレットを送付いたします。ご検討いただき、なにとぞご用命いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。」

次の文章を入力して全体に左2字、右2字のインデントを設定

「日時_20XX年8月6日(☆) 12:00(雨天の場合は延期)

目的地_香澄公園 野外炉」

3 「日時」と「目的地」の後にある「_」をtabに置き換えて、この2行に「タブとリーダー」設定を行い、「20XX」と「香澄公園」の開始位置が「10」にそろうように設定

4 「日時」と「目的地」を均等割り付け設定で6字に設定

5 罫線の作成と編集

- (ア) 5行×4列の表を作成する
- (イ) 列幅を1列目40.9mm、2列目50mm、3列目17mm、4列目50mmに設定する
- (ウ) 1行目の1列目と2列目を結合する
- (エ) 表全体を4文字分右にインデントする

1 単位め

資格科目

1 単位め

6 図形描画

- (ア) 下記の文章を入力して、適当なクリップアートを挿入し、「文字列の折り返し」に「四角」を設定して文章の右にクリップアートが来るように設定。

「そろそろ待ちに待った夏休みがやってきます♪。エコサークルWingsでは、サークル設立5周年記念イベントとして、『エコなバーベキュー大会』を香澄公園にて実施します。友人やクラスメイトを誘ってレッツバーベキュー～！」

7 印刷設定：1ページの行数を「40行」に設定

8 ページ番号の挿入

- (ア) ページ番号を「ページ下部」に挿入。その際に「番号のみ3」を選択。
- (イ) ページ番号の書式設定で「1ページ」「2ページ」のように、「ページ数」の後ろに「ページ」という文字が表示される書式を設定。

9 スタイル設定

- (ア) 次の文章を入力して、「第1章 小学生の携帯電話所持について」に「見出し1」のスタイルを設定、「第1節 大人側の視点」に「見出し2」のスタイルを設定。

「第1章 小学生の携帯電話所持について
第1節 大人側の視点
小学生が携帯電話を所持することにより、不当請求されるゲームや社会犯罪に巻き込まれるケースも多く発生している。そのため、大人は子どもの携帯電話所持を危惧への窓口としてとらえがちである。」

作成したレポートはA4判用紙にプリントアウトし、郵送にて提出してもらいます。通信教育部ワープロパソコン印字用レポート表紙に貼り付けて、提出してください（貼り付け方＝p.14～16参照）。

2 単位め

次のいくつかのMicrosoft Excelの操作手順の解説をすべて作成してください。解説文書の作成にはMicrosoft Wordを使用してください。手順の解説は、画面のキャプチャー画像を用いて、どのような手順で操作を行うのかについて、採点者にはっきりわかるように作成してください。解説はすべての問について1つのファイルに作成してください。（操作画面のキャプチャー方法は「アドバイス」で解説します。）

1. 関数挿入ダイアログボックスの使用方法：IF関数を例に、関数挿入ダイアログボックスの使用法を解説してください

2 単位め

2. 罫線設定の中で「格子」「外枠太罫線」「二重線」の設定方法を解説してください
3. 「印刷」メニューで「印刷の向き」を変更する方法を解説してください
4. シート名の変更方法を解説してください

5. データの並べ替え

次の表は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成22年3月31日現在）」の「平成22年住民基本台帳年齢別人口（都道府県別）」より作成した、東北6県の男女別人口と、男女別65才以上人口です。この表を Excel の新しいブックに作成して、次の問に答えてください。

県	ふりがな	男性	65才以上男性	女性	65才以上女性
青森県	あおもり	667,377	141,526	738,158	212,378
岩手県	いわて	645,922	146,227	699,085	214,322
宮城県	みやぎ	1,132,240	217,767	1,197,104	299,023
秋田県	あきた	523,940	127,913	584,297	193,693
山形県	やまがた	566,781	131,708	609,978	189,499
福島県	ふくしま	998,942	207,901	1,052,684	294,801

- (ア) 新しい列を右に追加して、各県の男女を合計した人口を求める手順を解説してください。列名は「人口」と入力してください。
- (イ) 新しい列を右に追加して、各県の65才以上の男女を合計した人口を求める手順を解説してください。列名は「65才以上人口」と入力してください。
- (ウ) 新しい列を右に追加して、各県の人口に占める65才以上の割合を求め、%表示する手順を解説してください。列名は「65才以上人口割合」と入力してください。
- (エ) 表全体を65才以上人口の割合が高い順で並べ替える手順を解説してください。

6. 積み上げ横棒グラフの作成

次の表は、上記の表から「65才以上男性」と「65才以上女性」の人口データのみを取り出したものです。この表を Excel のワークシートに作成して、このデータを元にした「積み上げ横棒グラフ」を作成する手順を解説してください。ただしグラフは次の条件を満たすものとしてください。

- ・縦軸は「軸のオプション」の「軸を反転する」チェックボックスをオンにして、縦軸項目が「青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島」の順になるように設定

2 単位め

- ・このグラフが表しているデータに適切なタイトルを自分で考え、グラフタイトルを追加
- ・凡例の位置を下側に変更
- ・横軸ラベルとして「人」を追加

県	65才以上男性	65才以上女性
青森県	141, 526	212, 378
岩手県	146, 227	214, 322
宮城県	217, 767	299, 023
秋田県	127, 913	193, 693
山形県	131, 708	189, 499
福島県	207, 901	294, 801

作成したレポートは A4 判用紙にプリントアウトし、郵送にて提出してもらいます。通信教育部ワープロパソコン印字用レポート表紙に貼り付けて、提出してください（貼り付け方 = p.14~16参照）。


アドバイス

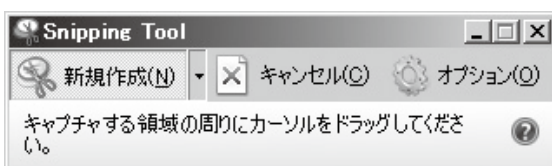
本科目の性格上、Windows がインストールされているパソコンを操作することが主題となります。そのためパソコンがあることが前提となっています。

課題については Windows 版の Microsoft Office2010 がインストールされていることが前提です（Mac 版は不可）。教科書である『学生のための Office2010 & 情報モラル』の内容を学習した後に、このテキストを参照しながら取り組むことを想定しております。

教科書だけでは解決できない問題があった場合は、Windows のスタートボタンをクリックし「ヘルプとサポート」を使用し、必要な情報について検索を行ってください。

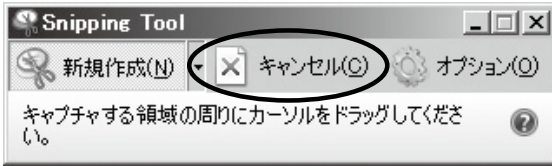
操作画面キャプチャーの方法について

Windows2007には操作画面を取り込むための「Snipping Tool」というソフトウェアがあります。「スタート」ボタンをクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「Snipping Tool」を選択することで起動します。くわしい操作方法については、「」をクリックすると表示されるヘルプを参照してください。



操作中の Word や Excel の状態をそのままキャプチャーする手順は次の通りです。

① Snipping Tool が起動したばかりの状態であれば「キャンセル」ボタンをクリック。

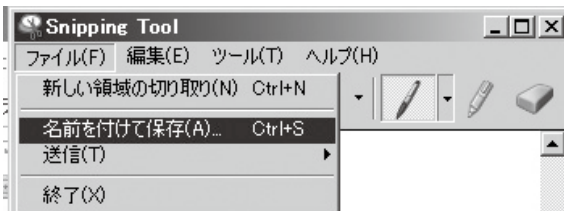


すでに何かキャプチャーした後の状態であれば、「新規作成」をクリックしてから、「キャンセル」をクリック。



②右上の Word のフォントサイズ設定のような、プルダウン状態をキャプチャーするには、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら [PrintScreen] キーを押します。詳しくは Snipping Tool のヘルプから「メニューの切り取り領域をキャプチャーするには」を参照してください。なお [Print Screen] キーはパソコンの機種によって [Print Scn]、[PrtScn]、[PrtSc] というように、省略された名前になっている場合があります。またノートパソコンの場合 [Fn] キーを押しながら操作する場合があります。Print Screen キーが見あたらない場合は、使用しているパソコンの説明書を確認してください。

キャプチャーした図は、「ファイル」メニューの「名前をつけて保存」で、「ファイルを種類」を「ポータブルネットワークグラフィックス ファイル (PNG)」に設定して、適当なフォルダに保存してください。



保存した画像を Word に読み込んで使用する手順はテキスト41ページの「図の挿入」を参照してください。

作成したレポートは A4 判用紙にプリントアウトし、郵送にて提出してもらいます。通

信教育部ワープロパソコン印字用レポート表紙に貼り付けて、提出してください（貼り付け方＝ p.14～16参照）。

※ 「Snipping Tool」 がインストールされていない場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」と操作しても Snipping Tool が見あたらない場合でも、Print Screen キーを操作して操作画面をキャプチャーすることができます。詳しくは「スタート」→「ヘルプとサポート」で「ヘルプの検索」キーワードに「printscreen」と入力して検索されるヘルプ項目から「画像の取り込みを行う(PrintScreen)」を選択して、取り込み方法を確認してください。Snipping Tool を使用しない場合、Print Screen キーを押すと画面全体が画像データとしてクリップボードに取得されます（Alt キーを押しながら Print Screen キーを押すと現在操作している画面のみキャプチャーされます）。これを Word に「貼り付け」すると、解説したい部分よりも、解説と関係のない部分の方が大部分になってしまうことがあります。その場合、「書式」メニュー（貼り付けた画像をクリックするとメニューバー中出现します）の中の「トリミング」を使用して、不要部分をカットしてください。トリミングについての解説が Word のヘルプ項目「図をトリミングする」に掲載されております。

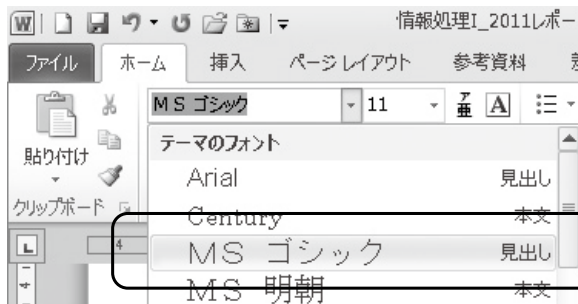
1 単位め 解説
この課題では、操作手順をできるだけ詳しく、わかりやすく解説してください。操作方法の解説を作成することが最終的なゴールとなります。操作を行っただけでは不可です。例えば課題 1 - (ア) では入力されている自分の名前のフォントを「MS ゴシック」に設定する方法を解説しなければなりません。例えば次のような解説を想定しています。

1- (ア) 名前のフォントを MS ゴシックにする

- ① 「福祉太郎」を範囲指定する。

福祉太郎

- ② 「ホーム」タブの「フォント」で「MS ゴシック」を選択する。



- ③ フォントが変更される。

2単位め
解説

Excel の基本的操作についての課題です。教科書をすべて読み理解してから取り組んでください。

1～4では、ご自分で適当なサンプルデータを用意して、そのデータを操作する画面のキャプチャーを用いて解説を作成してください。

5はデータの作成部分の解説は不要です。(ア)(イ)(ウ)(エ)についての解説を作成してください。

6は特にテキストを参照しながら取り組んでください。

参考図書

- 『よくわかる Microsoft Word 2010ドリル』富士通エフオーエム出版、2010年
 『よくわかる 初心者のための Microsoft Excel2010』富士通エフオーエム出版、2010年
 『よくわかる初心者のための Microsoft Word2010』富士通エフオーエム出版、2010年
 『文書作成・プレゼンに役立つ！実践ドリルで学ぶ Office 活用術2010対応』noa 出版、2010年
 『繰り返して慣れる！完全マスター Word2010』noa 出版、2010年
 『繰り返して慣れる！完全マスター Excel2010』noa 出版、2010年

※情報処理 I の科目修了試験申込み

「情報処理 I」の科目修了試験は、メールで送信された課題を自宅で期限までに解答する方法で実施しています。

「情報処理 I」のレポートが2単位とも合格した方で、科目修了試験受験を希望する場合はレポートの送信先アドレス ur@tsukyo.tfu.ac.jp に、学籍番号・氏名・科目名と科目修了試験を受験する旨記して、電子メールでお申込みください。

※「Microsoft」「Windows」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 ※ Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

教職論

科目コード●050702

担当教員●寺下 明



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

平成10年教育職員免許法が改正され、「教職に関する科目」のなかに「教職論」が新設されました。本科目のねらいは、現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を考察し、教職とはどんな仕事か、その基本的な性格や社会的使命などのついでの理解を深めることにあります。

教科書

教職問題研究会編『教職論（第2版）』ミネルヴァ書房、2009年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より教科書が改訂されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め 教職の意義と教員の使命について

2 単位め 教員の仕事と役割について

アドバイス

各課題について、テキストや参考文献を「丸写し」するのではなく、自分の言葉で理解した内容をまとめるように心がけてください。

1 単位め
解説

教職とはいかなる仕事か、専門性の高い基本的な性格を理解し、激動する社会の中で、教師の使命や役割について、その求められる資質をふまえてまとめましょう。

**2単位め
解説**

学校では、さまざまな教職員が校務を分担しています。まず、教員の職務内容を把握してください。そして、今日多発する「いじめ」「不登校」「学級崩壊」に対して、教員としてどのように取り組むのかを考えることによって、職業人としての教員についての理解を深めましょう。

参考図書

佐伯胖・黒崎勲編『教師像の再構築』(岩波講座 6 現代の教育) 岩波書店、1998年

高等学校教育課程の意義と編成

科目コード●050703

担当教員●吉井 宏



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

1999年3月、高等学校学習指導要領の全面的な改訂が行われ、専門教育の中に新たに「福祉科」が加わりました。またこれに先立って、98年には教育職員免許法が改定されました。そして改定に伴い「教職に関する科目」の中に「高等学校教育課程の意義と編成」が誕生しました。

高校福祉科の教員免許取得を希望する者にとっては基本となる科目です。そこで学習指導要領が示す教育課程とはどのようなものなのか、改訂の要点に注目しつつ、その編成について高等学校学習指導要領の総則に従って理解を深めていくことにします。

教科書

文部科学省『高等学校学習指導要領解説・総則編』東山書房、2009年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より学習指導要領の改正にともない、上記教科書に変更されます。改正の内容については、文部科学省ホームページ等で情報を入手し、学習を進めてください。

レポート課題

1 単位め

学習指導要領上、教育課程とはどのようなものか、また教育課程編成の原則とはどのようなものか、まとめなさい。

2 単位め

学習指導要領改訂の基本方針をふまえて、改訂の要点をまとめなさい。ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい。

アドバイス

課題についてレポートを書くのに、最低、テキスト1冊があれば事足ります。ただし精読しなければいけません。

『高等学校学習指導要領解説・総則編』は、いうまでもなく2009年3月に公示された『高

『高等学校学習指導要領』の第1章総則について、文部科学省が解説を加えたものです。学習指導要領そのものではありませんが、これがないと学習指導要領が理解しきれません。

学習指導要領が各学校段階ごとに編纂されるようになって、もう随分年月がたちますが、この形式のままで総則や各教科・特別活動などの細部にいたるまで記述したとすると、膨大な紙数が必要となります。そこで詳述を避け、必要最低限だけを列記したのが現行の学習指導要領ということになります。しかしそれでは読者がさまざまに解釈してしまうおそれが生じます。そうなれば教育課程の基準であるという学習指導要領の基準性が揺らぐことになりかねません。ですから問題が起きないように、文部科学省は公式注釈書を作成する必要があったのです。そのようにして、解説編は学習指導要領が改訂されるたびに文部科学省自身の著作として発表されてきました。

冒頭で、この1冊を精読すればレポートが書けると述べたのは、そうした事情があったからなのです。ところが実際にテキストを開くと、字面は追えるのに結局何が書いてあるのかよくわからない、という声もしばしば耳にします。確かに意味がつかみにくい文章かもしれません。しかし焦らないでください。真面目に取り組めば取り組むほど悩まされるかもしれません。しかし「読書百遍、意自ずから通ず」といいます。文章がどのような構成になっているかを把握しながら読み進んでみてください。学習指導要領はしばしば教員採用試験にも出題されます。それを意識してノートにまとめてみるのも良いでしょう。頭の中だけでは理解しにくいことも、書いてみると案外簡単にわかるということもあるうかと思えます。

ただ初めて教職を目指す方は、一見すると何でもないような用語にも十分気をつけてほしいものです。教科と科目の違いはおわかりですか。学校教育の目的と目標との違いについては大丈夫でしょうか。それどころではありません。肝心の「教育課程」の定義まで専門家によって見解の分かれるところです。教育課程は一般にカリキュラムの訳語として理解されますが、特別活動を教育課程には含めるがカリキュラムには含めないという考えがあります。このように厄介なものですから、気になる教育用語は、簡単な用語集などを横に置いてこまめに調べてみてください。

1 単位め 解説

教育課程とはどのようなものかといっても、いわゆる教育専門書が教育課程をいかに定義づけているかをレポートせよと言っているわけではありません。あくまでも2009年に発表された学習指導要領ではどのように記していますか、ということなのです。しかしそうはいつでもまったくイメージが湧かないのも困りますから、まずは「教育課程」とはどのようなものか、その意味を理解してください。あまり高度な専門書を選ぶ必要はありません。辞書的な解釈だけでもよいのです。

さて、それが理解できたらいよいよテキストです。「第2章 教育課程の基準」を開い

てみましょう。「第1節 教育課程の意義」では、学校がその学校の教育課程を編成するには、まず教育課程に関する法令や学習指導要領に基づく必要があると説いています。私立学校といえども公教育に携わるからには、国が示す学校教育の目的や目標を逸脱することは許されません。その範囲内で学校独自の目的や目標を定める必要があるのです。次に学校は学校独自のそれらを達成するために、その学校にふさわしい指導内容を選択し組織する必要がありますが、これも国が示す範囲を守る必要があるということです。そうであれば「第2節 教育課程に関する法制」も、レポートを書くに当たって無視することはできないでしょう。

さあ、ここまでがおおよそレポートの前半の課題「教育課程とはどのようなものか」についての解説ということになります。第2章をまとめたら一気に第3章に読み進みましょう。第3章は「教育課程の編成及び実施」について書いてありますが、あまりここで解説しすぎてみなさんが考える余地を奪ってしまいそうですから、一言だけ触れておきます。レポート後半の課題「教育課程編成の原則とはどのようなものか」については、第3章全体をまとめるよう言っているではありません。「第1節 教育課程編成の一般方針」の中の「1 教育課程編成の原則」に注目すればよいのです。

以上、テキストでいえば第2章および第3章第1節「1 教育課程編成の原則」をじっくり読んで、まとめてみてください。

2単位め 解説

この課題はテキストの第1章をまとめればよいのですが、要点は改訂の基本方針をどのような形で実現化しようとしているのか、理念と具体的な改訂内容との関係を十分見極めてレポートしなければならない点です。1単位めの課題と異なり、おそらく理解しやすい内容だと思いますが、第1節には「改訂の経緯」が書いてあります。改訂の背景となる2つの要因に触れています。教育課程の改善しなければならない理由が書かれているのですから、この節をまとめることから始めてください。第2節以下が理解しやすくなるはずですよ。

レポート課題には「ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい」と書きましたが、<福祉>はしっかり覚えて下さい。みなさんが取得を希望している教科だからです。

参考図書

- 安彦忠彦編著『高等学校新学習指導要領の展開・総則編』明治図書出版、2009年
安彦忠彦編『高等学校学習指導要領 改訂のピンポイント解説』明治図書出版、2009年
天野正輝編『教育課程・重要用語300の基礎知識』明治図書出版、1999年

福祉科の指導法

科目コード●050704

担当教員●佐藤 暢 芳 (左)
赤塚 俊 治 (右)



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

「福祉科の指導法」は、高校福祉科の社会福祉に関する専門教科の科目ではなく、教科教育法に関する科目である以上、社会福祉の制度や歴史そのものを理解するというより、その理解のさせ方に関する教育実践上の視点、留意点、その教育方法と教材の仕方に関して学ぶ科目です。しかしながら、その内容と展開過程は当然のことながら、社会福祉の基礎知識を体系的に理解するのと同じような考え方が根底になければなりません。

本科目では、「福祉科」を学ぶことの意義、また、福祉のもつ社会的な役割について学ぶことを目的としています。しかも専門教科「福祉」の科目の構成は、教科の目標を達成するとともに、職業資格取得との関連、とりわけ介護福祉士国家試験受験資格取得との関連を考慮し、9科目（社会福祉基礎・介護福祉基礎・コミュニケーション技術・生活支援技術・介護過程・介護総合演習・介護実習・こころとからだの理解・福祉情報活用）で構成されているだけに、それぞれの科目に共通した指導法をどのように展開するかが大きな課題となっています。そこで本科目では、今日の社会福祉の動向を的確に把握するとともに、いかにして学ぶ側の生徒の視点に立ちながらわかりやすい授業を展開するための教授の方法と技術、教材教具研究の方法および授業計画の作成方法、具体的な指導計画案などについての可能性を探り、将来の福祉科教員としての資質を高める内容にしたいと考えています。

また、平成12年に初めて告示された学習指導要領における教科「福祉」の科目は、7科目（社会福祉基礎・社会福祉制度・社会福祉援助技術・基礎介護・社会福祉実習・社会福祉演習・福祉情報処理）でしたが、平成21年に告示された学習指導要領において、上記の9科目に改訂になりました。なお、今回告示の9科目と従前の7科目との関連としては、従来の7科目を整理統合した科目（1科目）や名称変更した科目（5科目）、と新設された科目（3科目）に改訂されています。

なお、新学習指導要領は、平成21年より一部前倒しで実施されてきましたが、平成23年度に完成年度を迎えます。よって、平成23年度の1年生から3年生まで新学習指導要領に沿って教科「福祉」を学ぶこととなります。

教科書

- 1) 大橋謙策編著『福祉科指導法入門』中央法規出版、2002年
- 2) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 福祉編』海文堂出版、2010年(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より学習指導要領の改正にともない、2)が上記教科書に変更されています。改正の内容については、文部科学省ホームページ等で情報を入手し、学習を進めてください。

レポート課題

1 単位め	教科「福祉」の科目を具体的に教える際の教育目標を設定し、その考え方を決定する場合、何を教育上留意すべきかを論述しなさい。
2 単位め	教科「福祉」の科目における教材教具決定の技術について論述しなさい。
3 単位め	福祉科教諭の資質について論述しなさい。
4 単位め	社会福祉基礎の中から一つの「単元」を取り上げ、その授業の具体的な授業展開について、簡潔に論述しなさい。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で締め切りました。

アドバイス

「福祉科の指導法」を学習する前に教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには、「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。改訂の背景には、科学技術の発展、社会経済の国際化・情報化、人口の少子高齢化、環境問題の深刻化などの社会状況にあります。こうした社会状況から生み落とされるさまざまな生活問題に対応する人材とその育成が必要となりました。そこで新たに加えられた教科「福祉」の目標については、「社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的・体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てることを重視した」と掲げています。このことは福祉サービスに従事する人材の確保と資質の向上や福祉サービスの多様化に対応するために専門的知識と技術を取得した人材需要の増大を見込んだ改訂とも思われます。

こうした教科「福祉」の目標に沿って、どのような指導法が適切なのかは現在のところ

模索の域を越えていないのが現状と思われます。いずれにしても教科「福祉」を学んだ生徒が社会福祉関連の職業に従事するにしても、基本的人権やプライバシーの尊重など自立生活を支援するための態度の必要性を習得した者が『現場』で実践的に行うことが何よりも重要なことです。そのためには「福祉科の指導法」では教育目標と教育内容の考え方を明確にし、より具体的な授業の展開方法を学ぶことが大切です。とくに、生徒の社会的経験、体験が教える側である教員からすると希薄であり、たとえ同じ生活問題を捉えるにしても意味内容においてもズレが生じる場合があります。したがって一つの生活問題を取り上げるにしても発問や教材の工夫によっては大きく変わってくる場合があります。そうした点を十分に留意しながら授業を展開することが大切になります。

なお、レポート作成を行う際は、常に学ぶ側の視点にたった指導法を考慮しながら仕上げてください。

1単位め 解説

レポート作成に取り掛かる前に『高等学校学習指導要領福祉編』を熟読してから、教科「福祉」の9科目（従前は7科目）の教科内容や位置づけについて理解を深めることが重要です。その際、生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。その学習が終了した上で、テキストの第1章から第11章までをよく読み、「福祉科の指導法」の基本的な理解に努めてください。教科書「福祉科指導法入門」は、従前の7科目に関してまとめられています。内容としては、新たな9科目とも関連が深いので、新旧の科目の整理を行いながら理解を深めてください。とにかく、冒頭にも記述したようにこの科目は社会福祉に関する専門科目ではなく、教科教育法に関する科目であることを忘れないでください。こうした科目の特徴を踏まえながら「教育者として何を生徒たちに教え、また、教えたいのか」、「福祉科の教員として、何を具体的に教え、そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」、また、生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させる前に、教える側の教員にとって「福祉とは何か」をきちんと理解しておく必要があります。このような教科「福祉」の特徴を踏まえながら、福祉科教員として生徒たちに現代の社会福祉をどのような方法で教えるべきかを考察して、簡潔に述べてください。

2単位め 解説

授業を開始する以前にあらかじめ、どのような授業をするかについて考えておく必要があります。そのために必要なことは、授業の「計画」であり、授業の「案を練ること」です。一般にこのことは「教材研究」とよんでいます。今回の課題は教材教具決定の技術について論述しなければなりません。教材教具決定の技術とは、「何のために」「何を」教えるかを定める技術のことです。「何のために」は、教育目標であり、「何を」は教材教具にあたります。教材教具決定の技術を明らかにするため

には、教育目標と教材教具ということはおよび両者の関係を明確にしておく必要があります。この課題に関する内容については、テキストの第2部を参考にしながら、可能な限り具体的な例を取り上げて書いてください。

3単位め 解説

福祉科教諭の資質を検討する前に、教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには、「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。とくに教科「福祉」の目標を十分に理解するとともに、福祉科教諭を目指す学生は、教育目標と教育内容の考え方を明確にし、より具体的な授業の展開方法を学ぶことが大切です。前述したように、生徒の社会的経験・体験と教える側である教諭（実習生）とではズレが生じる場合があります。その際、生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。そして何よりも「教育者として何を生徒たちに教え、また、教えたいのか」、「福祉科の教員として、何を具体的に教え、そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」、また、生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させるためには、教える側である教員にとって「福祉とは何か」を理解しておく必要があります。こうした点を考察しながら福祉科教諭としての資質について論述してください。

4単位め 解説

テキスト第2部第5章（社会福祉基礎）および第6章（社会福祉制度）のそれぞれの科目の考え方、内容および具体的展開方法を熟読し、その中で最も関心のある部分を「単元」として取り上げ、具体的な授業の展開を論述してください。平成21年に告示された学習指導要領の科目「社会福祉基礎」は、従来の「社会福祉基礎」と「社会福祉制度」が整理統合された内容となっています。レポートの提出科目は、「社会福祉基礎」ですが、内容としては、従来の「社会福祉基礎」と「社会福祉制度」双方が該当します。この際、科目の位置づけおよび教育上留意すべきポイントと教材例を考えながら、生徒に教えるつもりで論述してください。なお、授業時間は、1単位時間（50分）を想定し、書き方は第5章および第6章の「具体的な授業展開例」を参考にしながら作成してください。表にして書く必要はありません。

参考図書

硯川真旬・佐藤豊道・柿本誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房、2002年
保住芳美編著『高等学校新学習指導要領の展開 福祉科編』明治図書、2010年

特別活動の指導法

科目コード●050705

担当教員●谷津 紘



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

学校において教師と生徒との信頼関係および生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒が自主的に判断・行動し積極的に自己を生かしていくことができるようにするにはどのようなことが必要かを考察します。内容としては、特別活動の歴史の変遷、意義・目的、実践的な4つの領域である学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事の内容と指導法を扱ったものとなります。

教科書

江川玫成編『特別活動の理論と方法 三訂版』学芸図書、2009年
(平成20年度以前履修登録者) 2009年6月より教科書が改訂されました。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

- | | |
|-------|---|
| 1 単位め | 教育の今日的課題と特別活動の意義と目的についてまとめなさい。 |
| 2 単位め | 学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事、それぞれの意義とその指導上の留意点について述べなさい。 |

アドバイス

1 単位め
解説

まず、日本における現代教育の課題は何かを念頭におきながら、特別活動が教育課程上でどのように位置づけられているかを理解してください。その上で、特別活動を展開することの教育的な意義と目的についてまとめましょう。

2 単位め
解説

テキスト3～7章を読み、特別活動の指導原理を踏まえながら、実践的な領域における活動の意義と内容について検討し、その指導上の留意点についてもまとめましょう。

参考図書

『個性をひらく特別活動』 ミネルヴァ書房、2009年

『中学校学習指導要領の展開 特別活動編』 明治図書、2008年

『学習指導要領 平成20年3月』(中学校・高等学校) 文部科学省

『学習指導要領解説 特別活動編 平成20年9月』(中学校・高等学校) 文部科学省

教育方法論（視聴覚教育等を含む）

科目コード●050706

担当教員●白井 秀明



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

教育方法学は教育実践にもっとも近い学問分野のひとつであるといわれています。現代の教授理論を学ぶとともに、教育機器利用の意義と方法についても理解を深めることを目的とします。

教科書

多田俊文編『教育の方法と技術 四訂版』学芸図書、2009年

レポート課題

- | | |
|-------|--|
| 1 単位め | 現代の教授理論にはどのようなものがあるか、その特徴について述べなさい。 |
| 2 単位め | 教育においてコンピュータを利用することのメリット、および利用する上での留意点について述べなさい。 |

アドバイス

1 単位め
解説

テキストの3章をよく読んで、日本の戦後から今日にいたるまでの代表的な教授理論を取り上げてその特徴をまとめてください。

2 単位め
解説

教育工学的な視野のもとに、教育方法の改善に寄与する教育機器利用の意義と方法について、およびその利用上の留意点について考察してください。

参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

生徒指導論 (進路指導を含む)

科目コード●050707

担当教員●谷津 紘



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

教育臨床的行動問題として、校内暴力、家庭内暴力、いじめ問題、青少年の無気力化と自殺、女子非行の増加、性非行、不登校の増加、引きこもり、薬物乱用、刃物不法所持とつぎつぎと問題行動が登場し、社会問題となっています。

いま学校の中で、最も困難を極めているのが生徒指導だといわれています。そうした生徒指導に関する実態を明らかにすると共に、現実子どもたちの中で起こっている問題行動やその背景にどんな事情があるのかを検討します。

そうした検討をふまえて、生徒指導の今後のあり方を探っていきたいと思います。

教科書

江川玫成編『生徒指導の理論と方法 改訂版』学芸図書、2009年

レポート課題

1 単位め

人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について論述せよ。

2 単位め

【説明型レポート：ただし、自分のことば、自分で考えて】

下記について各300字以上500字以内で具体的に説明せよ。

- ① 生徒指導の内容と指導原理について
- ② 生徒理解について
- ③ 学校教育相談について
- ④ 反社会的行動と非社会的行動について
- ⑤ 進路指導の目的について

アドバイス

1 単位め
解説

人間が成長発達していくためには、それぞれの年代において身につけなければならない課題があります。これは、人間として望ましい「人格」を形成するために生まれたときから成人になるまで習得しなければならない成長の道しる

べのことで「発達課題」といいます。

子どもは、それぞれの発達課題に挑戦しながら、その子らしい「個性」や「能力」を伸ばし成長していきます。

生徒指導を行うにあたっては、子どもがどのような発達過程を一般にたどるのかということをも十分認識しておく必要があります。それぞれの発達課題には、普通の子どもが普通の環境下であれば達成されるはずの発達課題があるが、環境がひどく偏っている場合には、その発達課題が達成されず、それがそのときの不適応行動として現れたり、かなり後の問題行動の遠因となることもあります。

子どもの「今」だけを注視すると、しばしば現象に振り回され、対策に追われることとなります。

以上のことをふまえて、人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について具体的に考察してください。字数は2,000字前後が望ましいです。

2単位め 解説

教科書や参考図書などの文献を参照しながら、自身で整理し、まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

参考図書

- 坂本昇一著『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』文教書院、1999年
 松田文子・高橋超編『生き方が育つ生徒指導と進路指導』北大路書房、2008年
 原田信之編『心をささえる生徒指導』ミネルヴァ書房、2009年
 文部科学省『生徒指導の手引き 改訂版』
 文部科学省『学習指導要領 平成20年3月』(中学校・高等学校)
 文部科学省『中学校指導書 教育課程一般編』

カウンセリング

科目コード●050708

担当教員●衛藤順子

2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

この科目は、教職免許希望者向けの「カウンセリング」です。福祉心理学科の「カウンセリングⅠ・Ⅱ」は p.266～267 をご覧ください。

科目の内容

近年、カウンセリングの需要が高まっています。これは、日本だけではなく世界的な傾向であると言われています。そうした中、カウンセラーの専門化、資格化の動きが進む一方、「心の専門家」についての疑問も提起され始めています。カウンセリングの技法やシステムに関する論述が盛んであるのに対し、カウンセリングとは何かという本質的論議がなおざりにされているように思われます。

本科目では、カウンセリングの理論と技法の基本的な知識を学ぶにとどまらず、なぜ人はカウンセリングを必要としているか、人生におけるカウンセリングの意義、その本質を考えていくことを目的とします。

教科書

- 1) 水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編『カウンセリングを学ぶ(新版)』有斐閣選書、1987年
- 2) 追加資料(A3両面1枚)

レポート課題

本科目のレポート課題は問題形式になっています。専用解答用紙(教科書送付の際同封、再提出分はホームページ「レポート課題一覧」よりPDFファイルで提供)を、うす桃色の表紙(英語の科目で使用するものと同じ)に貼りつけて送付して下さい。または、以下の各問題番号を記入したうえでその解答を通常のレポート用紙に記入しても可です。

1 単位め

こんにちは、さまざまなカウンセリング、心理療法が行われていますが、いずれも、それぞれの創始者のきわめて個人的な体験から生み出されたものです。彼らの個人的体験が普遍的価値をもつようになったということが

1 単位め

大切です。

カウンセリング、心理療法の創始者について、次の質問に答えて下さい。

問1 次の文中の①から⑮の空欄に適当な語句を入れて下さい。いずれもテキストの文中にある言葉です。(テキスト13~39頁)

- a) ジークムント・フロイトは、(①)年に、現在のチェコ共和国のモラビア地方の小都市フライベルグに生まれました。父親は(②)人で毛織物商人でした。フロイトが4歳の時に、一家はオーストリアの(③)に移住しました。(③)こそ、彼がナチス・ドイツに追われて、83歳の時、(④)に亡命するまで、ずっと住みついた土地なのです。
- b) フロイトが精神分析を創始することに、最も影響を与えたのは、先輩(⑤)でした。(⑤)が扱ったヒステリーの症例O・アンナに、(⑤)は催眠暗示療法を施していたのですが、アンナが「甘える」ことを視てとっていたのでした。アンナはこのような状況で感情を吐露したのです。これを(⑥)と呼びます。(⑤)は、このやり方を催眠カタルシスと呼んでいたのです。アンナ自身は、これを(⑦)とか煙突掃除法とも呼んでいました。
- c) フロイトは、治療の方法として、カタルシス療法から(⑧)への道筋をたどるようになります。
- d) アルフレット・アドラーは(⑨)年ウイーンに生まれ、両親はユダヤ人でした。4歳までクル病のために歩行できなく、何度も路上で事故に遭いました。彼は、自分のそのような身体的虚弱の代償として、知的に優秀になることで、それを補ったのでした。アドラーは、神経症や性格の形成において重要な役割を果たすものは、(⑩)を克服しようとする(⑪)への意志であると考えました。この(⑪)への意志というのは、F・ニーチェのいう権力意志のことです。
- e) (⑫)は、1875年スイスで生まれました。父親はプロテスタントの牧師でした。彼のなかに強い宗教的色彩があるのは、父親やその一族が教会の牧師であったことと無関係ではないと思われます。母親は、(⑫)にとって複雑で問題の深い人でした。

(⑫)が3歳のとき、両親は一時別居し、その際(⑫)もひどい湿疹にかかったのでした。母親は情緒障害と抑うつに悩まされていたのでした。母なるものの二重性、人格には、外面と内面の両面が共存し

1 単位め

ているという(12)の理論は幼少期からの自らの体験を通して、打ち出されたと考えられます。

- f)「いつの時代にも、その時代に特有のノイローゼがあります。いまは、かつてないほど多くの人たちが、生き甲斐を見失い、生きることの無意味さ、つまらなさに悩んでいます」。これこそ(13)が強調し、現代を象徴する苦悩と呼んだものです。

(13)の人間観は、人間の(14)への意志にあります。このような人間観は、自らが原体験したナチス・ドイツの強制収容所での深刻な事態を通して、より一層確実なものになりました。

- g) エリクソンは、1902年ドイツに生まれました。両親はデンマーク人でした。父親はエリクソンが生まれると間もなく亡くなり、やがて母親はエリクソンを連れて再婚しました。彼は若い頃は絵描きになるよう努力し、本格的な精神分析の訓練を受けたのは、30歳直前の頃でした。こうした生い立ちの中で(15)の概念が成立したと考えられます。

問2 ロジャーズの来談者中心のカウンセリングについて、以下の問に答えてください。

- ロジャーズが自分自身の見解を編み出すようになった、重要な経験について簡単に述べて下さい。(テキスト31~32頁)
- カウンセリング過程での必要十分条件について説明してください。(テキスト33~34頁)
- カウンセリングの目標はということにありますか。(テキスト73~76頁)

問3 分析的カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト93~110頁)

- カウンセラーの役割は、何とされていますか。
- 「転移」「治療的退行」について、簡単に説明してください。
- 分析的カウンセリングの目標はということにありますか。

問4 行動カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト37~39頁、111~121頁)

- 基礎にある理論は何という理論ですか。

1 単位め	<p>b その理論の代表的人物を3名あげてください。</p> <p>c 行動カウンセリングの原理について、簡単に説明してください。</p>
2 単位め	<p>課題1. 教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について、述べなさい。(追加資料を参照)</p> <p>課題2. (提出は任意) テキストの「3 現代人の生活とカウンセリング」(第11章から第14章)の中から関心ある分野を1つ選び、あなたの経験や見解も入れて、説明してください。</p>

アドバイス

1単位め 解説 創始者のどのような経験から、その理論、技法が導き出されたのかを知ることによってそれぞれの本質をよくつかむことができます。自伝、原典を「味わう」ことをお勧めします。

2単位め 解説 因みに、フランクフルは、「ノイローゼが治るとは、苦悩する能力を甦らせることにほかならぬ」「自由な意志と決断とをもって、苦悩に耐えながら、人生を切り拓いていく人間を健康と考える」と述べています。

フロイトは「精神分析を受けたならば、苦痛はなくなるでしょうか」という患者の質問に対し、「あなたのつまらない悩みはなくなるでしょう。しかし、人間としての悩みはますます増えるでしょう」と答えています。

レポート用紙の使い方

本科目専用の解答用紙に記入することが望ましいが、通常のレポート用紙に問題番号等を記入して解答してもよい。

参考図書

佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』東京大学出版会、1996年

カウンセリングを深く学んでみたい方は是非この本も参考にレポートをまとめてください。とくに1単位め問2については、この本のa28~31頁、b39~51頁、c9~13頁が参考になります。

・ 特講科目 ・

特講科目はスクーリング受講のみで単位修得となる科目です。ここにあげた科目は23年度のみ開講予定です。平成24年度以降に同じ科目が開講されることは原則としてありませんので、今年度のスクーリング開講予定日に受講が可能な方のみ履修登録をしてください。

特講科目は、履修登録をもってその科目のスクーリングも申込んだこととみなします。受講を希望する特講科目は、年度始めの履修登録、または6・11月の追加履修登録を行ってください。別途スクーリングの申込みは不要です。スクーリング受講料を期限までに納入した方のみ（および追加履修費が必要な方は追加履修費を納入した方）にスクーリング受講2週間前を目処に教科書を発送します。

特講・社会福祉学10(スクールソーシャルワーク論)

科目コード●050210

担当教員●川口正義

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

平成21年度にこの科目を履修登録した方は、この科目のスクーリングを受講する旨の申込みが必要です。

申込方法は、任意の様式でよいので書面（メール us@tsukyo.tfu.ac.jp ・ FAX022-233-2212 ・ 郵送 ・ 持参）のいずれかで、規程の申込締切日までに①学籍番号、②氏名、③スクーリング受講希望科目を記載して、通信教育部あてご連絡ください。規程の申込締切日から10日たっても、納入依頼書が届かない場合は、至急通信教育部までご連絡をお願いいたします。

科目の内容

今日の学校現場には、いじめ、不登校、非行、児童虐待、発達障がい、外国籍の児童生徒の就学問題、貧困など、憂慮すべき状況が生じ、教育上の大きな課題となっています。

これら児童生徒の「問題行動」などの状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに家庭、友人関係、学校、地域などの児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っています。

このため、児童生徒の抱えるさまざまな問題を、家庭や地域、友人関係などあらゆる視点で見極め、児童生徒や家族への対応だけでなく、関係機関との連携や調整を含めながら児童生徒を取り巻く環境との関係に介入する専門家である「スクールソーシャルワーカー」(以下、SSWr) に対する関心が高まってきました。

スクールソーシャルワーク (以下、SSW) は、人権と社会正義を基盤とし、児童生徒が学校生活を円滑に送れるようにするために、また、教師や学校組織が立案した教育活動を展開できるようにするための方法・技術です。

わが国では先駆的な自治体などによる実践を踏まえ、平成20年度より文部科学省による「スクールソーシャルワーカー活用事業」が始められています。

本講義においては、今日わが国の学校現場で切に求められてきているSSWの支援方法、役割、および課題について皆さんとともに学び、考えてみたいと思います。

スクーリング講義内容

講師が公立小・中学校のスクールソーシャルワーカー(S S W r)として経験した事例や取り組んだ実践の紹介も含め、以下のものを予定しています。

- 1) 今日の学校現場が抱える課題とその実態
- 2) S S Wを導入する必要性と意義
- 3) S S Wの発展史(日本を中心として)
- 4) S S Wの価値、倫理、実践モデル
- 5) 学校・教師文化の特徴とS S Wの基本的視点・特殊性
- 6) S S W rに必要な資質と専門性
- 7) S S Wの支援方法と支援の実際(事例検討による演習を含む)
- 8) S S Wにおけるスーパービジョン
- 9) スクールカウンセラーとの相違点及び連携のあり方
- 10) S S Wの今後の課題

スクーリング受講事前学習

教科書のI章、II章、IV章、VI章を読んだ上で受講されることを望みます。

教科書

日本学校ソーシャルワーク学会編『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規出版, 2008年

資料

当日、補足資料、レジュメを配付します。

講師紹介

川口正義 独立型社会福祉士事務所：子どもと家族の相談室／寺子屋お～ぶん・どあ
共同代表、静岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー兼スーパーバイザー

スクーリング開講予定

平成24年3月3・4日

特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)

科目コード●050608

担当教員●菊住 彰

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

平成21年度にこの科目を履修登録した方は、この科目のスクーリングを受講する旨の申込みが必要です（今年度履修登録者の申込みは不要です）。

申込方法は、任意の様式でよいので書面（メール us@tsukyo.tfu.ac.jp ・ FAX022-233-2212 ・ 郵送 ・ 持参）のいずれかで、4月25日までに①学籍番号、②氏名、③スクーリング受講希望科目を記載して、通信教育部あてご連絡ください。5月10日になっても、納入依頼書が届かない場合は、至急通信教育部までご連絡をお願いいたします。

科目の内容

ストレスがたまって仕方がないという方。どうして自分だけがこんなにストレスを被りながら生きなくてはいけないんだろうと嘆く方。どうせストレスなんかなくなると耐える覚悟を決めている方……。霞を食べて生きるという仙人か、自給自足で誰にも煩わされずに生きられる人ではない限り、人間は少なからずストレスを抱えながら過ごしています。

まずストレスを抱えやすい性格を、心理テストなどを多用して客観的に自己分析します。ストレスを自己増幅してしまう思考パターンに気づき、その循環に歯止めをかける方法も考えていきます。その際に、座学による講義だけではなく、グループワークやロールプレイを取り入れます。さらに、理屈ばかりでなく、カラダに働きかけるストレスコントロールの方法を体験していただきます。座ったり寝転んだりしやすい服装でご参加ください。

テキストは介護専門職を対象に作成したのですが、これをもとにした講義の内容は、一般の生活ストレスに悩んでいる方や、人間の心や身体をフォローする「ヒューマン・サービス業」、つまり看護・保育・教育・福祉に従事する方にも、きっと燃え尽き（バーンアウト）症候群を予防するヒントを得ていただけるものであろうと考えています。

教科書

川崎美織・菊住彰 著『こころもからだもスッキリ！ 一人のできる介護のストレス解消法』中央法規出版、2008年

講師紹介

まぐずみ
菊住 彰 東京学芸大学 特任准教授

スクーリング開講予定

平成23年6月4・5日

座ったり寝転んだりしやすい服装でご参加ください。また、可能な限りフロアーにしくためのビニールシートをご持参ください。

特講・福祉心理学11(受容と排斥の心理学)

科目コード●050611

担当教員●浦 光博

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

人間の行動は単に個人的な要因のみによって説明できるわけではない。個人を取り囲む他者、集団・組織、社会、文化といったさまざまな環境的要因が単独で、また相互に折り重なり合いながら個人の行動に影響を及ぼしている。それら多様な要因の間の関連を的確に分析することで人間行動のより良い理解が可能となる。

本講義では、このような人と環境との重層的な相互影響過程を的確に理解するための理論的枠組みを紹介する。また、実証的な研究のための方法論の解説も行う。これらの目的のための具体的なテーマとして「受容と排斥」を取り上げる。

- (1) 対人関係や集団・組織、社会からの受容と排斥が個人にいかなる影響を及ぼすのか、
- (2) 対人関係の希薄化が人と社会にどのように影響するのか、
- (3) それらの影響の具体的なメカニズムとはどのようなものなのか、
- (4) 受容や排斥を生み出す個人的ならびに環境的条件としてどのようなものが考えられるのか、

といったテーマについての研究を紹介し、人と社会のより良い関係とはどのようなものかについて考察する。

教科書

浦 光博著『排斥と受容の行動科学』サイエンス社、2009年

講師紹介

浦 光博 広島大学大学院総合科学研究科教授

スクーリング開講予定

平成23年8月13・14日

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかとまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずですよ。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。

1・2年次配当科目
レポート課題集 [平成23年度版]

2011年2月20日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部
〒981-8522(本学専用) 仙台市青葉区国見1-8-1
電話022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>
印刷・製本 (株)ホクトコーポレーション

©Tohoku Fukushi University 2011 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

学籍番号	
氏名	
住所	〒 -

